

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 本製品は1階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 本製品は躯体取付け専用のため、躯体から独立して設置しないでください。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング・シリコン(株)	SE960

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 施工終了後は、パネルの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

<基礎工事についてのご注意>

⚠ 注意

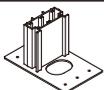
- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

INDEX

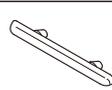
1. 各部の名称と作業手順	12
2. 基本寸法	22
3. 断面納まり図	28
4. 施工前の重要確認事項	56
5. 水盛遣方・水系張り	66
6. 垂木掛けの取付け	67
7. 3尺延長用柱の建込み	72
8. 桁の取付け	75
9. 柱の組立て	82
10. 垂木、妻垂木側面材の取付け	88
11. 柱キャップの取付け	92
12. バルコニー前桁取付材の取付け	94
13. 柱樋カバーの取付け	96
14. 桁下部フタの取付け	98
15. 屋根材の取付け	99
16. 出幅フィックス枠台座の取付け	100
17. 垂木カバーの取付け	102
18. 垂木化粧材の取付け	104
19. 垂木掛けキャップの取付け	106
20. 妻梁上部側面フィックス部の施工	107
21. バルコニー前 側面フィックス部の施工	112
22. 妻梁の取付け	119
23. 上部方立スペーサーの取付け	120
24. 妻梁上部側面フィックスパネルの取付け	121
25. バルコニー前 側面フィックス枠の取付け	124
26. バルコニー下用フィックスの取付け	129
27. ミゾ塞ぎ材の取付け	136
28. 延長部分本体の取付け	137
29. 3尺延長用ルールについて	138
30. 側面パネル納まり	141
31. 戸当りゴムの取付け	143
32. 面材の切出し	144

■ 梱包明細表

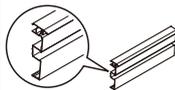
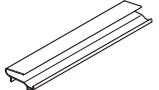
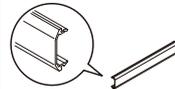
【1】 3尺延長用柱固定ベースセット

名 称	略 図	員 数
3尺延長用柱固定ベースプレート		2

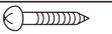
【2】 3尺延長用柱 右セット

名 称	略 図	員 数	
		H33	ロング柱
3尺延長用柱 右		1	1
3尺延長用柱側面材 右		1	1
3尺延長用柱樋カバー		1	1
柱樋カバー (柱上部用)		1	1
3尺延長用雨樋下部品		1	1
92° エルボ		2	2
縦樋		1	1
縦樋 L=800		1	1
雨樋ジョイナー		2	2
柱戸当り		1	1

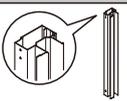
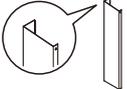
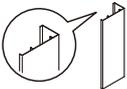
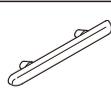
【4】 垂木掛けセット

名 称	略 図	員 数			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
垂木掛け		1	1	1	1
屋根材受け		3	4	5	6
垂木掛け用ミゾ塞ぎ		3	4	5	6

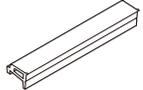
【1】 つづき

名 称	略 図	員 数
【1-1】φ4×13 ナベドリルネジ		8
【1-2】φ4.5×63 丸木ネジ		12
【1-3】φ5×35 セルフタッパアンカー		12

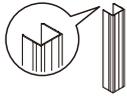
【3】 3尺延長用柱 左セット

名 称	略 図	員 数	
		H33	ロング柱
3尺延長用柱 左		1	1
3尺延長用柱側面材 左		1	1
3尺延長用柱樋カバー		1	1
柱樋カバー (柱上部用)		1	1
3尺延長用雨樋下部品		1	1
92° エルボ		2	2
縦樋		1	1
縦樋 L=800		1	1
雨樋ジョイナー		2	2
柱戸当り		1	1

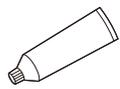
【4】 つづき

名 称	略 図	員 数			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
垂木掛け後付けビート材		3	4	5	6
垂木組付金具		4	5	6	7

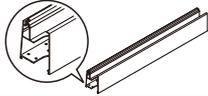
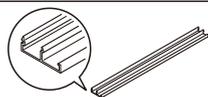
【5】方立補強材セット

名 称	略 図	員 数
柱スリーブ		2
雨樋ジョイナー		2

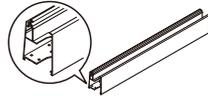
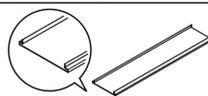
【5】つづき

名 称	略 図	員 数
雨樋部品用接着剤		1
【5-1】φ4×13 ナベドリルネジ		6
【5-2】φ4×19 ナベドリルネジ		8

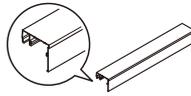
【6】桁セット

名 称	略 図	員 数			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1
ルーム用桁フタ		1	1	1	1
垂木組付金具		4	5	6	7

【7】テラス用桁セット

名 称	略 図	員 数			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1
テラス用桁フタ		1	1	1	1
垂木組付金具		4	5	6	7

【8】バルコニー下桁取付材セット

名 称	略 図	員 数
桁上部フタ		1
桁上部フタ端部塞ぎ金具		2
【8-1】φ4×14 トラストピンネジ3種		12
【8-2】φ4×13 ナベドリルネジ		9

■ 梱包明細表 (つづき)

【9】 バルコニー前桁取付材セット

名 称	略 図	員 数
バルコニー前桁取付材 A		1
バルコニー前桁取付材 B		1
バルコニー前桁取付材 C		2
【9-1】φ4×13 ナベドリルネジ		8
【9-2】φ4.5×63 丸木ネジ		18

【10】 レール取付材

名 称	略 図	員 数			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
レール取付材		1	1	1	1
【10-1】φ5×16 ナベドリルネジ		14	14	20	20

【11】 部品箱 (3尺延長用)

名 称	略 図	員 数
桁キャップ 右		1
桁キャップ 左		1
柱キャップ 右		1
柱キャップ 左		1
垂木掛けキャップ 右		1
垂木掛けキャップ 左		1
3尺延長用桁金具 右		1
3尺延長用桁金具 左		1

【11】 つづき

名 称	略 図	員 数
桁キャップ穴塞ぎ部品		1
アンカー棒		2
ブチルコーキング剤		1
雨樋部品用接着剤		1
【11-1】φ4×13 ナベドリルネジ		80
【11-2】φ4×14 トラストッピンネジ 3種		75
【11-3】φ4×12 トラストッピンネジ 2種 (ゴムワッシャー付き)		65
【11-4】φ5×14 トラストッピンネジ 3種		8
【11-5】φ6×70 六角コーチスクリュー		14
【11-6】 M6 平座金		14
【11-7】φ4×13 サラドリルネジ		2
取付説明書<E270>	—	1
取扱説明書<UE077>	—	1

【12】 垂木掛け取付材セット

名 称	略 図	員 数
垂木掛けスペーサー		1
桁下部フタ		1
【12-1】φ4×14 トラストッピンネジ 3種		8
【12-2】φ5×16 トラストッピンネジ 3種		16

【13】 垂木1本入セット

名 称	略 図	員 数
垂木		1
垂木カバー		1
垂木カバー先端キャップ		1

【14】 垂木化粧材1本入セット

名 称	略 図	員 数
垂木化粧材		1
ミゾ塞ぎ		2
内部日除けレールエンドピース		2
雪下ろし指示シール		1

【15】 積雪地用垂木化粧材1本入セット

名 称	略 図	員 数
積雪地用垂木化粧材		1
ミゾ塞ぎ		2
内部日除けレールエンドピース		2
雪下ろし指示シール		1

【16】 妻垂木化粧材1本入セット右

名 称	略 図	員 数
ルーム用妻垂木化粧材 右		1
妻垂木側面材 右		1
フィックス押え		1
ミゾ塞ぎ		3
内部日除けレールエンドピース		1
取付説明書<E274>	-	1

【17】 妻垂木化粧材1本入セット左

名 称	略 図	員 数
ルーム用妻垂木化粧材 左		1
妻垂木側面材 左		1
フィックス押え		1
ミゾ塞ぎ		3
内部日除けレールエンドピース		1
取付説明書<E274>	-	1

【18】 テラス用妻垂木化粧材1本入セット右

名 称	略 図	員 数
テラス用妻垂木化粧材 右		1
妻垂木側面材 右		1
ミゾ塞ぎ		2
内部日除けレールエンドピース		1

■ 梱包明細表 (つづき)

【19】 テラス用妻垂木化粧材1本入セット左

名 称	略 図	員 数
テラス用妻垂木化粧材 左		1
妻垂木側面材 左		1
ミゾ塞ぎ		2
内部日除けレールエンドピース		1

【20】 ポリカ屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		2枚入	3枚入
屋根材クリア		2	3
屋根材クリアマット		2	3

【23】 妻梁3尺用1本入セット

名 称	略 図	員 数	
		標準	バルコニー前 部分屋根用
妻梁		1	1
妻梁フタ		1	1
上部方立 A		1	1
上部方立 B		1	1
上部方立用ミゾ塞ぎ		2	2
妻パネル方立枠		2	2
上部方立スペーサー		1	1
上部方立スペーサー用ミゾ塞ぎ		1	1
妻梁金具 右		1	1

【21】 熱線吸収ポリカ屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		2枚入	3枚入
屋根材クリアブルー		2	3

【22】 垂木掛けキャップセット

名 称	略 図	員 数
垂木掛けキャップ 右		1
垂木掛けキャップ 左		1

【23】 つづき

名 称	略 図	員 数	
		標準	バルコニー前 部分屋根用
妻梁金具 左		1	1
上部方立金具		1	1
上部方立スペーサーフタ金具		1	1
上部方立キャップ		3	3
上部方立用グレチャン		2	2
妻梁用グレチャン		1	1
ミゾ塞ぎ先付けビード (L=595.5)		2	3
【23-1】φ4×14 トラストピンネジ3種		21	21
【23-2】φ4.5×63 丸木ネジ		4	4
【23-3】φ4×13 ナベドリルネジ		6	6
【23-4】φ4×20 サラタッピン ネジ2種 D=6、G=5		2	2

【24】 妻梁 3尺バルコ前用セット

名 称	略 図	員 数	
		右	左
妻梁		1	1
妻梁フタ		1	1
上方立 右		1	-
上方立 左		-	1
上方立用ミゾ塞ぎ (L=400)		1	1
上方立スペーサー		1	1
上方立スペーサー用 ミゾ塞ぎ (L=288.5)		1	1
バルコニー前桁取付材 C		1	1
妻梁金具 右		1	1
妻梁金具 左		1	1
上方立スペーサーフタ金具		1	1
上方立キャップ		1	1
【24-1】φ4×14 トラス タッピンネジ3種		9	9
【24-2】φ4.5×63 丸木ネジ		4	4
【24-3】φ4×13 ナベドリルネジ		10	10
【24-4】φ4×20 サラタッピン ネジ2種 D=6、G=5		2	2

【25】 バルコニー下フィックス枠 束柱セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	3本入
バルコニー下束柱		1	3
束柱フタ		1	3
束柱固定金具		2	6
【25-1】φ4×13 ナベドリルネジ		8	24
【25-2】φ4×13 サラドリルネジ		6	18
【25-3】φ4.5×63 サラ木ネジ		3	9

【26】 バルコ下フィックス枠前セット

名 称	略 図	員 数
フィックス枠間口用 縦 (L=997)		2
フィックス枠間口用 横 (L=799)		2
フィックス枠フタ 縦		2
フィックス枠フタ 横		2
フィックス枠連結金具		4
フィックス枠グレチャン		4
【26-1】φ4×13 ナベドリルネジ		28
【26-2】φ4.5×63 丸木ネジ		3

■梱包明細表 (つづき)

【27】 バルコ下フィックス枠横セット

名 称	略 図	員 数
フィックス枠出幅用 縦 (柱側) (L=996)		2
フィックス枠出幅用 縦 (躯体側 右) (L=929) 片側ナナメカットあり		1
フィックス枠出幅用 縦 (躯体側 左) (L=929) 片側ナナメカットあり		1
フィックス枠出幅用 横 (上側) (L=768.5)		2
フィックス枠出幅用 縦 (下側 右) (L=774) 両側ナナメカットあり		1
フィックス枠出幅用 縦 (下側 左) (L=774) 両側ナナメカットあり		1

【27】 つづき

名 称	略 図	員 数
フィックス枠フタ 縦		4
フィックス枠フタ 横		4
出幅フィックス枠台座		2
フィックス枠連結金具		8
フィックス枠グレチャン		8
【27-1】φ4×13 ナベドリルネジ		50
【27-2】φ4.5×63 丸木ネジ		12

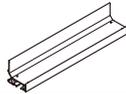
【28】 移動方立セット

名 称	略 図	員 数	
		右	左
移動方立		1	1
方立フタ		1	1
パネル用方立 B 右		1	-
パネル用方立 B 左		-	1
方立取付金具 A		2	2
方立取付金具 B		1	1
方立取付金具 C 右		1	-
方立取付金具 C 左		-	1
パネル用方立キャップ		1	1
上部方立キャップ		1	1

【28】 つづき

名 称	略 図	員 数	
		右	左
調整フィックス調整縦枠		1	1
調整フィックス戸当り枠		1	1
フィックス調整縦枠キャップ 右		1	-
フィックスパネルキャップ 右		1	-
フィックス調整縦枠キャップ 左		-	1
フィックスパネルキャップ 左		-	1
【28-1】φ4×13 ナベドリルネジ		20	20
【28-2】φ4×10 トラストッピンネジ 1種		2	2
【28-3】φ4.1×40 サラネジ D=8.2		6	6
【28-4】S6 フィッシャープラグ		3	3
【28-5】φ4×13 サラドリルネジ		3	3
【28-6】φ4×14 トラストッピンネジ 3種		2	2
【28-7】φ4×25 ナベドリルネジ		2	2
【28-8】φ4.5×63 サラネジ		6	6
【28-9】φ4×13 サラドリルネジ D=6		3	3
【28-10】φ4×20 ナベタッピンネジ 2種 G=5		2	2
取付説明書〈E263〉	-	1	1

【29】側面レールセット

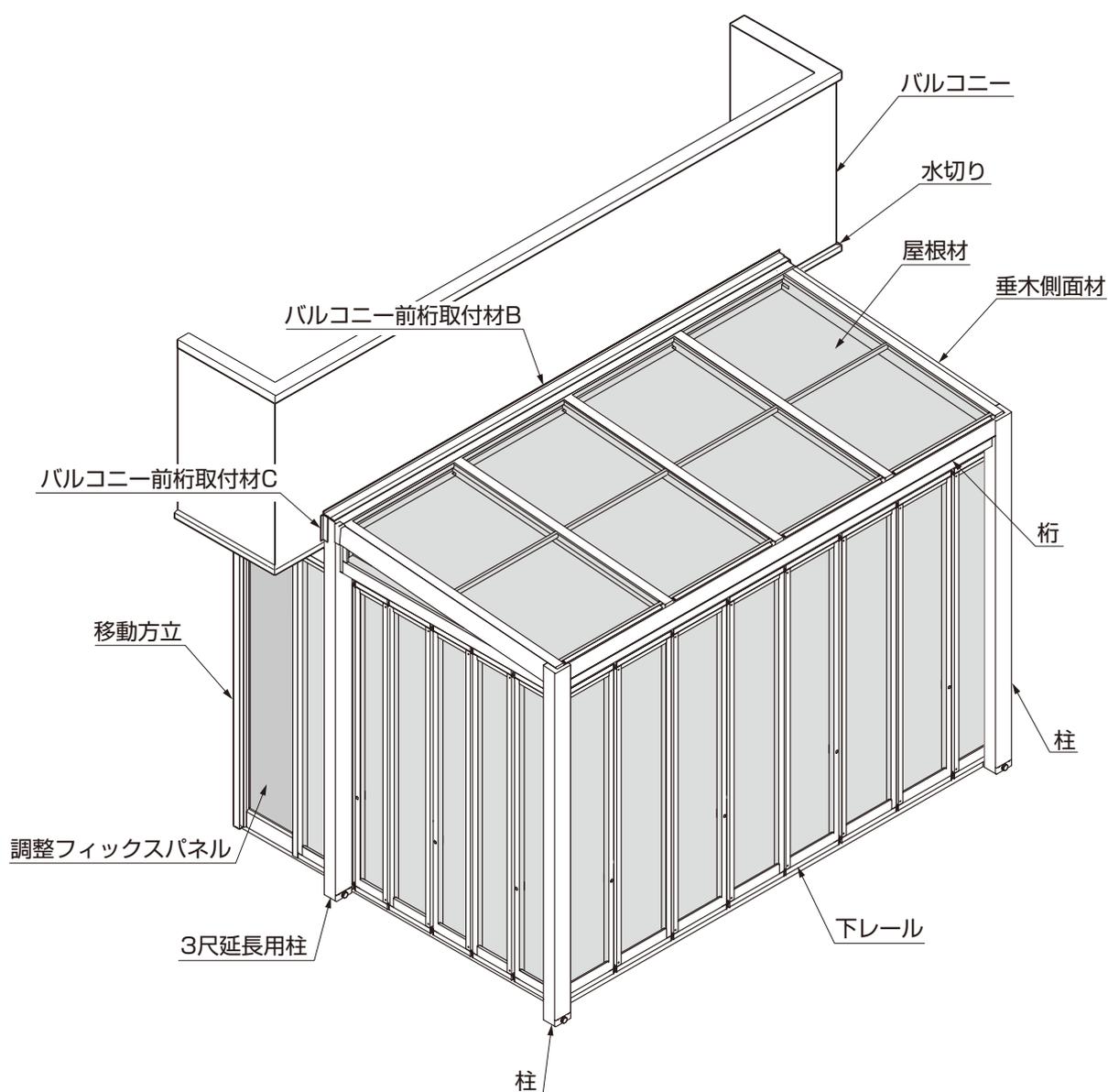
名 称	略 図	員 数	
		3尺	3尺 バルコ前
上レール		1	1
下レール		1	1
レール連結金具		2	2
パネル戸当りゴム		2	2
【29-1】 S6 フィッシャープラグ		3	4
【29-2】 φ4.1×32 丸木ネジ		3	4
【29-3】 φ4.5×63 丸木ネジ		3	4
【29-4】 φ4×13 ナベドリルネジ		3	4
【29-5】 φ4×40 ナベドリルネジ		2	2
【29-6】 φ4×6 サラタッピンネジ3種 D=6		5	5
【29-7】 M6 平座金		2	2

1. 各部の名称と作業手順

[1-A] バルコニー前納め

ポイント

●各タイプの作業は左頁の作業手順の通りに行なってください。



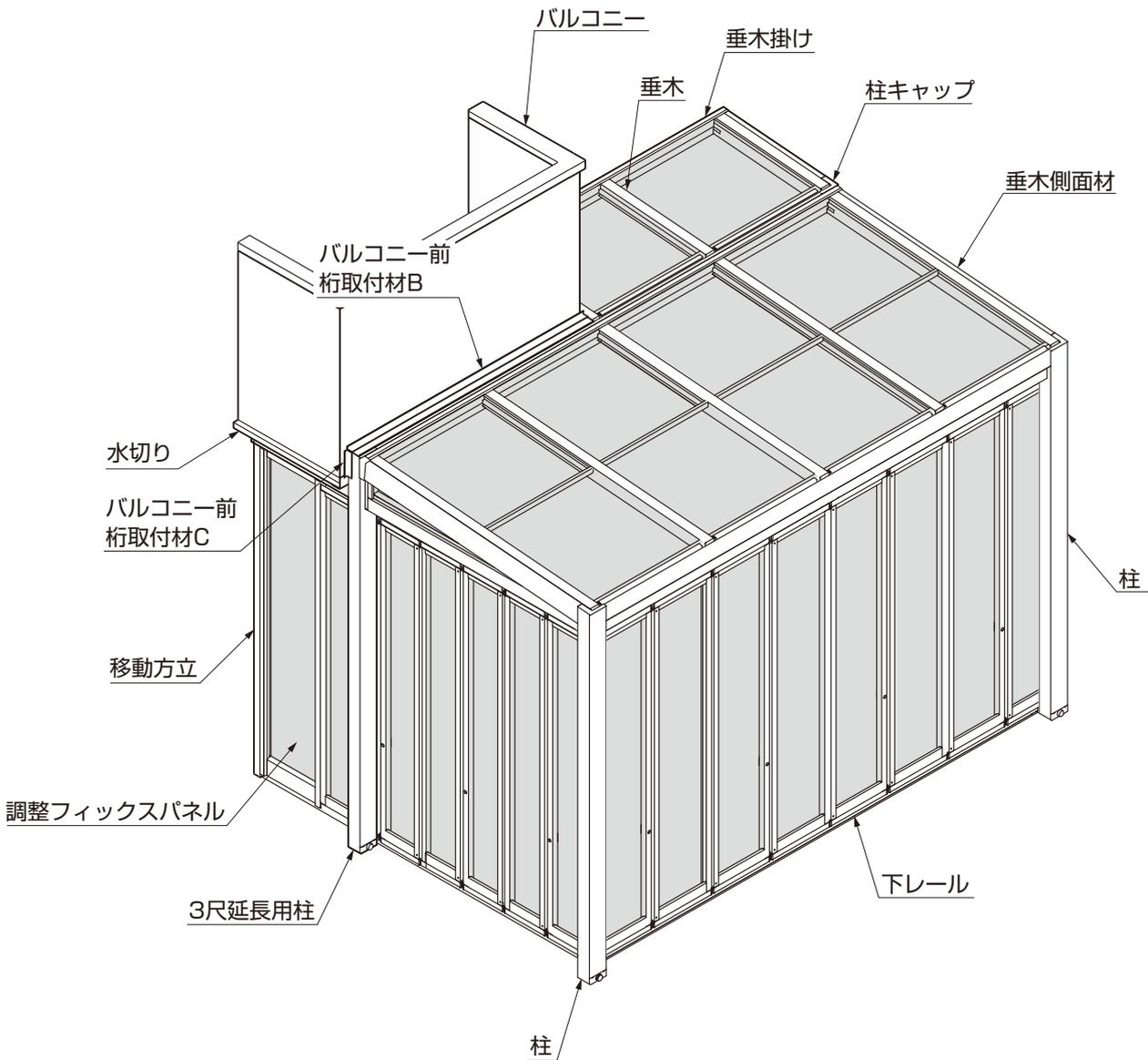
☑	作業手順	☑	作業手順
<input type="checkbox"/>	1. 各部の名称と作業手順	<input type="checkbox"/>	21. バルコニー前 側面フィックス部の施工
<input type="checkbox"/>	2. 基本寸法	<input type="checkbox"/>	21-1 部材の取付け
<input type="checkbox"/>	3. 断面納まり図	<input type="checkbox"/>	21-2 部材の加工
<input type="checkbox"/>	4. 施工前の重要確認事項	<input type="checkbox"/>	21-3 上部方立の組立て
<input type="checkbox"/>	5. 水盛遺方・水系張り	<input type="checkbox"/>	21-4 上部方立の取付け
<input type="checkbox"/>	7. 3尺延長用柱の建込み	<input type="checkbox"/>	22. 妻梁の取付け
<input type="checkbox"/>	7-1 3尺延長用柱の加工	<input type="checkbox"/>	22-1 妻梁用グレチャンのはめ込み
<input type="checkbox"/>	7-2 3尺延長用柱の建込み	<input type="checkbox"/>	22-2 妻梁の取付け
<input type="checkbox"/>	8. 桁の取付け	<input type="checkbox"/>	23. 上部方立スペーサーの取付け
<input type="checkbox"/>	8-2 桁の組立て	<input type="checkbox"/>	23-1 部材の加工
<input type="checkbox"/>	8-3 垂木掛けスペーサーの取付け	<input type="checkbox"/>	23-2 上部方立スペーサーの取付け
<input type="checkbox"/>	8-4 バルコニー前桁取付け材Aの取付け	<input type="checkbox"/>	25. バルコニー前 側面フィックス枠の取付け
<input type="checkbox"/>	8-5 桁キャップの取付け	<input type="checkbox"/>	25-1 側面フィックスの組立て
<input type="checkbox"/>	8-6 桁の取付け	<input type="checkbox"/>	25-2 側面フィックス枠の取付け
<input type="checkbox"/>	9. 柱の組立て	<input type="checkbox"/>	25-3 シーリング処理
<input type="checkbox"/>	9-1 雨樋上部の取付け	<input type="checkbox"/>	27. ミゾ塞ぎ材の取付け
<input type="checkbox"/>	9-2 柱スリーブの取付け	<input type="checkbox"/>	28. 延長部分本体の取付け
<input type="checkbox"/>	9-3 3尺延長用柱側面材の取付け	<input type="checkbox"/>	29. 3尺延長用レールについて
<input type="checkbox"/>	9-4 雨樋下部の取付け	<input type="checkbox"/>	29-1 部材の加工
<input type="checkbox"/>	9-5 縦樋の取付け	<input type="checkbox"/>	29-2 レールの連結
<input type="checkbox"/>	11. 柱キャップの取付け	<input type="checkbox"/>	30. 側面パネル納まり
<input type="checkbox"/>	12. バルコニー前桁取付材の取付け	<input type="checkbox"/>	30-2 [1-A]、[1-B] の場合
<input type="checkbox"/>	13. 柱樋カバーの取付け	<input type="checkbox"/>	31. 戸当りゴムの取付け
<input type="checkbox"/>	13-1 妻梁あり仕様の場合	<input type="checkbox"/>	31-1 パネル戸当りゴムの取付け
<input type="checkbox"/>	13-2 妻梁なし仕様の場合	<input type="checkbox"/>	31-2 柱戸当りゴムの取付け
<input type="checkbox"/>	14. 桁下部フタの取付け	<input type="checkbox"/>	32. 面材の切出し
		<input type="checkbox"/>	32-4 側面フィックス部 [1-A]、[1-B] の場合

1. (つづき)

[1-B] バルコニー前納め (部分屋根)

ポイント

●各タイプの作業は左頁の作業手順の通りに行なってください。



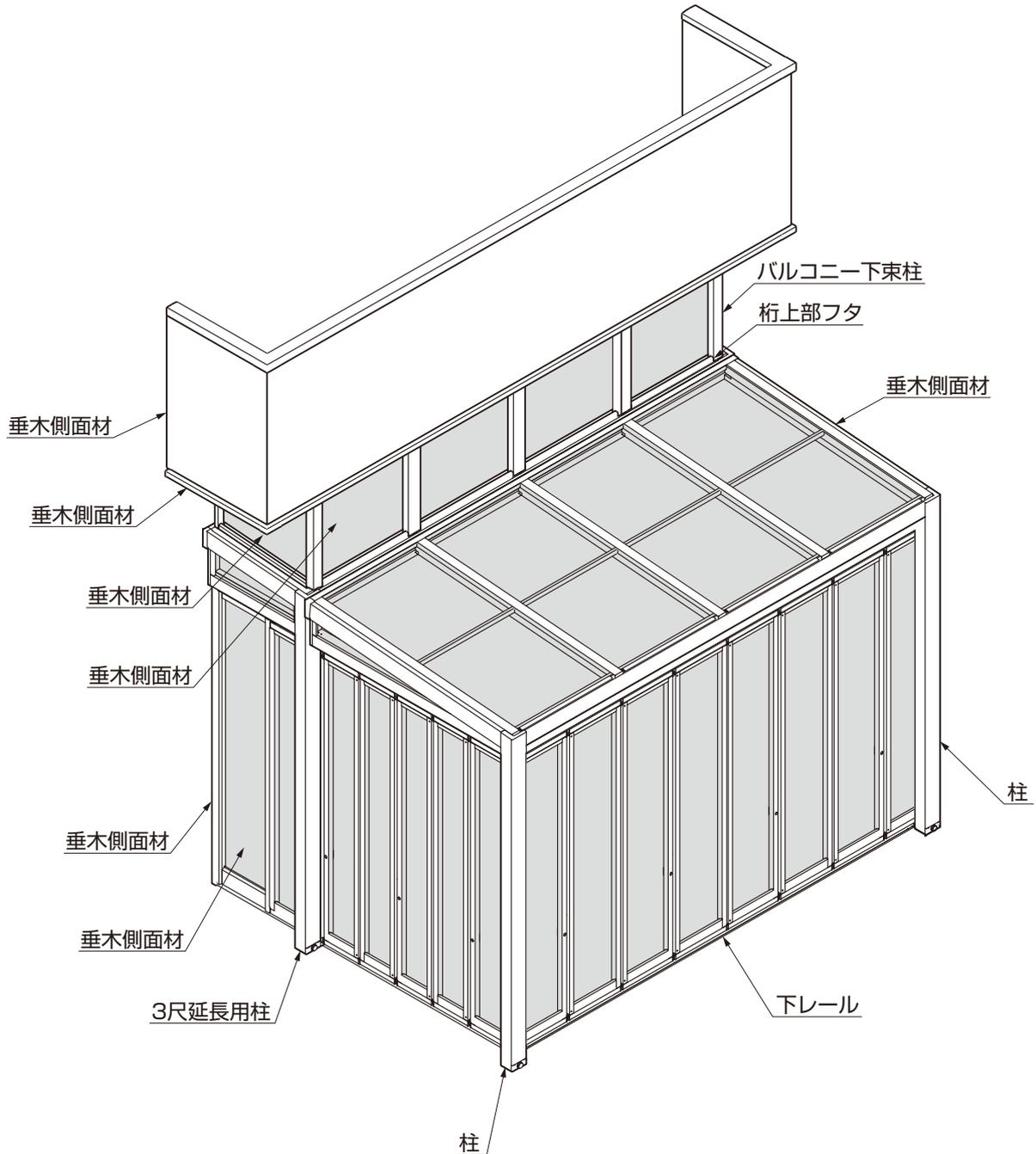
☑	作業手順	☑	作業手順
<input type="checkbox"/>	1. 各部の名称と作業手順	<input type="checkbox"/>	21. バルコニー前 側面フィックス部の施工
<input type="checkbox"/>	2. 基本寸法	<input type="checkbox"/>	21-1 部材の取付け
<input type="checkbox"/>	3. 断面納まり図	<input type="checkbox"/>	21-2 部材の加工
<input type="checkbox"/>	4. 施工前の重要確認事項	<input type="checkbox"/>	21-3 上部方立の組立て
<input type="checkbox"/>	5. 水盛遺方・水系張り	<input type="checkbox"/>	21-4 上部方立の取付け
<input type="checkbox"/>	6. 垂木掛けの取付け	<input type="checkbox"/>	22. 妻梁の取付け
<input type="checkbox"/>	6-1 垂木掛けの加工	<input type="checkbox"/>	22-1 妻梁用グレチャンのはめ込み
<input type="checkbox"/>	6-2 垂木掛けの取付け	<input type="checkbox"/>	22-2 妻梁の取付け
<input type="checkbox"/>	7. 3尺延長用柱の建込み	<input type="checkbox"/>	23. 上部方立スペーサーの取付け
<input type="checkbox"/>	7-1 3尺延長用柱の加工	<input type="checkbox"/>	23-1 部材の加工
<input type="checkbox"/>	7-2 3尺延長用柱の建込み	<input type="checkbox"/>	23-2 上部方立スペーサーの取付け
<input type="checkbox"/>	8. 桁の取付け	<input type="checkbox"/>	24. 妻梁上部側面フィックスパネルの取付け
<input type="checkbox"/>	8-1 屋根材受けの取付け	<input type="checkbox"/>	24-1 妻パネル方立枠の取付け
<input type="checkbox"/>	8-2 桁の組立て	<input type="checkbox"/>	24-2 妻梁上部側面フィックスパネルの取付け
<input type="checkbox"/>	8-3 垂木掛けスペーサーの取付け	<input type="checkbox"/>	24-3 フィックス押えの取付け
<input type="checkbox"/>	8-4 バルコニー前桁取付け材Aの取付け	<input type="checkbox"/>	25. バルコニー前 側面フィックス枠の取付け
<input type="checkbox"/>	8-5 桁キャップの取付け	<input type="checkbox"/>	25-1 側面フィックスの組立て
<input type="checkbox"/>	8-6 桁の取付け	<input type="checkbox"/>	25-2 側面フィックス枠の取付け
<input type="checkbox"/>	9. 柱の組立て	<input type="checkbox"/>	25-3 シーリング処理
<input type="checkbox"/>	9-1 雨樋上部の取付け	<input type="checkbox"/>	27. ミゾ塞ぎ材の取付け
<input type="checkbox"/>	9-2 柱スリーブの取付け	<input type="checkbox"/>	28. 延長部分本体の取付け
<input type="checkbox"/>	9-3 3尺延長用柱側面材の取付け	<input type="checkbox"/>	29. 3尺延長用レールについて
<input type="checkbox"/>	9-4 雨樋下部の取付け	<input type="checkbox"/>	29-1 部材の加工
<input type="checkbox"/>	9-5 縦樋の取付け	<input type="checkbox"/>	29-2 レールの連結
<input type="checkbox"/>	10. 垂木、妻垂木側面材の取付け	<input type="checkbox"/>	30. 側面パネルの納まり
<input type="checkbox"/>	10-1 [1-B] の場合の部分屋根部の部材切詰め	<input type="checkbox"/>	30-2 [1-A]、[1-B] の場合
<input type="checkbox"/>	10-2 垂木・妻垂木側面材の取付け	<input type="checkbox"/>	31. 戸当りゴムの取付け
<input type="checkbox"/>	11. 柱キャップの取付け	<input type="checkbox"/>	31-1 パネル戸当りゴムの取付け
<input type="checkbox"/>	12. バルコニー前桁取付け材の取付け	<input type="checkbox"/>	31-2 柱戸当りゴムの取付け
<input type="checkbox"/>	13. 柱樋カバーの取付け	<input type="checkbox"/>	32. 面材の切出し
<input type="checkbox"/>	13-1 妻梁あり仕様の場合	<input type="checkbox"/>	32-2 屋根部 [1-B] の場合
<input type="checkbox"/>	13-2 妻梁なし仕様の場合	<input type="checkbox"/>	32-3 妻梁上部側面フィックス部 [1-B]、[2-A]、[2-B]、[3-A] の場合
<input type="checkbox"/>	14. 桁下部フタの取付け	<input type="checkbox"/>	32-4 側面フィックス部 [1-A]、[1-B] の場合
<input type="checkbox"/>	15. 屋根材の取付け	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	17. 垂木カバーの取付け	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	18. 垂木化粧材の取付け	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	19. 垂木掛けキャップの取付け	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	20. 妻梁上部側面フィックス部の施工	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	20-1 部材の加工	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	20-2 部材の取付け	<input type="checkbox"/>	

1. (つづき)

[2-A] バルコニー下納め

ポイント

●各タイプの作業は左頁の作業手順の通りに行なってください。



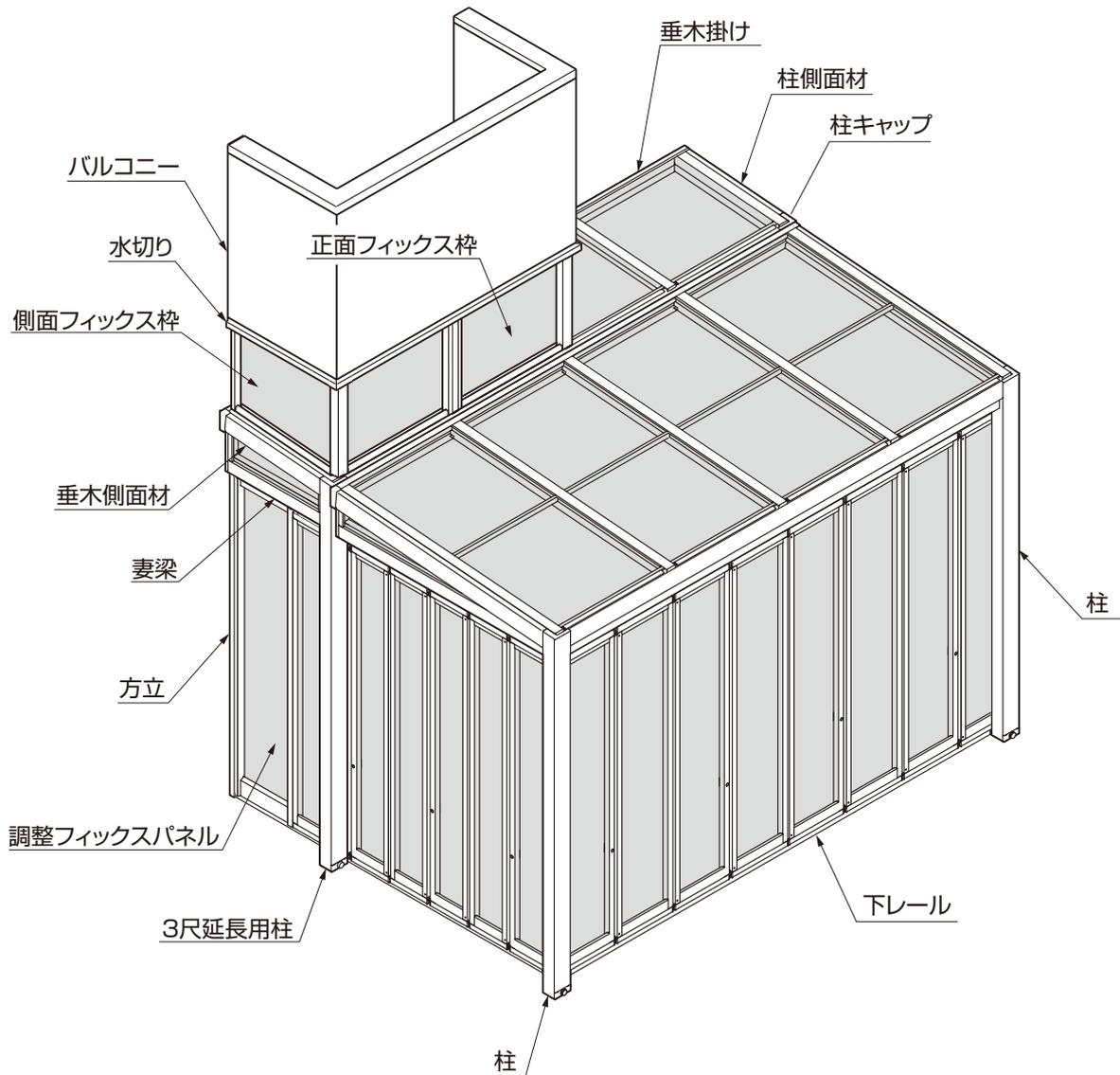
☑	作業手順	☑	作業手順
<input type="checkbox"/>	1. 各部の名称と作業手順	<input type="checkbox"/>	22. 妻梁の取付け
<input type="checkbox"/>	2. 基本寸法	<input type="checkbox"/>	22-1 妻梁用グレチャンのはめ込み
<input type="checkbox"/>	3. 断面納まり図	<input type="checkbox"/>	22-2 妻梁の取付け
<input type="checkbox"/>	4. 施工前の重要確認事項	<input type="checkbox"/>	23. 上部方立スペーサーの取付け
<input type="checkbox"/>	5. 水盛遣方・水系張り	<input type="checkbox"/>	23-1 部材の加工
<input type="checkbox"/>	6. 垂木掛けの取付け	<input type="checkbox"/>	23-2 上部方立スペーサーの取付け
<input type="checkbox"/>	6-1 垂木掛けの加工	<input type="checkbox"/>	24. 妻梁上部側面フィックスパネルの取付け
<input type="checkbox"/>	6-2 垂木掛けの取付け	<input type="checkbox"/>	24-1 妻パネル方立枠の取付け
<input type="checkbox"/>	7. 3尺延長用柱の建込み	<input type="checkbox"/>	24-2 妻梁上部側面フィックスパネルの取付け
<input type="checkbox"/>	7-1 3尺延長用柱の加工	<input type="checkbox"/>	24-3 フィックス押えの取付け
<input type="checkbox"/>	7-2 3尺延長用柱の建込み	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	8. 桁の取付け	<input type="checkbox"/>	26. バルコニー下用フィックスの取付け
<input type="checkbox"/>	8-2 桁の組立て	<input type="checkbox"/>	26-1 束柱の取付け
<input type="checkbox"/>	8-3 垂木掛けスペーサーの取付け	<input type="checkbox"/>	26-2 正面フィックス枠の組立て
<input type="checkbox"/>	8-5 桁キャップの取付け	<input type="checkbox"/>	26-3 側面フィックス枠の組立て
<input type="checkbox"/>	8-6 桁の取付け	<input type="checkbox"/>	26-4 フィックス枠の取付け
<input type="checkbox"/>	8-7 桁上部フタの取付け	<input type="checkbox"/>	26-5 シーリング処理
<input type="checkbox"/>	9. 柱の組立て	<input type="checkbox"/>	27. ミゾ塞ぎ材の取付け
<input type="checkbox"/>	9-1 雨樋上部の取付け	<input type="checkbox"/>	28. 延長部分本体の取付け
<input type="checkbox"/>	9-2 柱スリーブの取付け	<input type="checkbox"/>	29. 3尺延長用レールについて
<input type="checkbox"/>	9-3 3尺延長用柱側面材の取付け	<input type="checkbox"/>	29-1 部材の加工
<input type="checkbox"/>	9-4 雨樋下部の取付け	<input type="checkbox"/>	29-2 レールの連結
<input type="checkbox"/>	9-5 縦樋の取付け	<input type="checkbox"/>	30. 側面パネルの納まり
<input type="checkbox"/>	10. 垂木、妻垂木側面材の取付け	<input type="checkbox"/>	30-1 [2-A]、[2-B]、[3-A] の場合
<input type="checkbox"/>	10-2 垂木・妻垂木側面材の取付け	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	11. 柱キャップの取付け	<input type="checkbox"/>	31. 戸当りゴムの取付け
<input type="checkbox"/>	13. 柱樋カバーの取付け	<input type="checkbox"/>	31-1 パネル戸当りゴムの取付け
<input type="checkbox"/>	13-1 妻梁あり仕様の場合	<input type="checkbox"/>	31-2 柱戸当りゴムの取付け
<input type="checkbox"/>	13-2 妻梁なし仕様の場合	<input type="checkbox"/>	32. 面材の切出し
<input type="checkbox"/>	14. 桁下部フタの取付け	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	16. 出幅フィックス枠台座の取付け	<input type="checkbox"/>	32-3 妻梁上部側面フィックス部 [1-B]、[2-A]、[2-B]、[3-A] の場合
<input type="checkbox"/>	17. 垂木カバーの取付け	<input type="checkbox"/>	32-5 前面フィックス部 [2-A]、[2-B] の場合
<input type="checkbox"/>	18. 垂木化粧材の取付け	<input type="checkbox"/>	32-6 側面フィックス部 [2-A]、[2-B] の場合
<input type="checkbox"/>	19. 垂木掛けキャップの取付け	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	20. 妻梁上部側面フィックス部の施工	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	20-1 部材の加工	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	20-2 部材の取付け	<input type="checkbox"/>	

1. (つづき)

[2-B] バルコニー下納め (部分屋根)

ポイント

●各タイプの作業は左頁の作業手順の通りに行なってください。



2-B

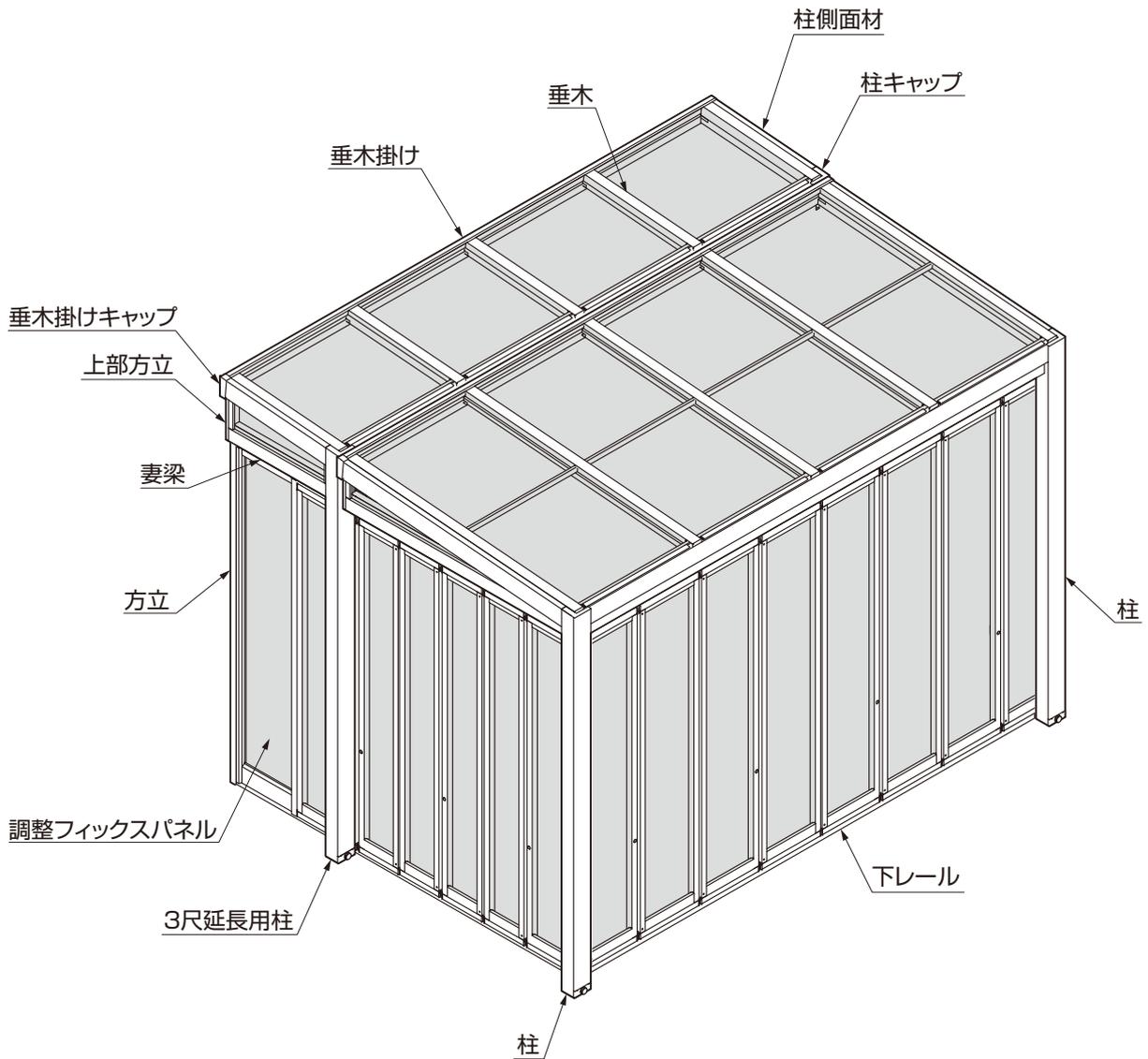
☑	作業手順	☑	作業手順
<input type="checkbox"/>	1. 各部の名称と作業手順	<input type="checkbox"/>	22. 妻梁の取付け
<input type="checkbox"/>	2. 基本寸法	<input type="checkbox"/>	22-1 妻梁用グレチャンのはめ込み
<input type="checkbox"/>	3. 断面納まり図	<input type="checkbox"/>	22-2 妻梁の取付け
<input type="checkbox"/>	4. 施工前の重要確認事項	<input type="checkbox"/>	23. 上部方立スペーサーの取付け
<input type="checkbox"/>	5. 水盛遣方・水系張り	<input type="checkbox"/>	23-1 部材の加工
<input type="checkbox"/>	6. 垂木掛けの取付け	<input type="checkbox"/>	23-2 上部方立スペーサーの取付け
<input type="checkbox"/>	6-1 垂木掛けの加工	<input type="checkbox"/>	24. 妻梁上部側面フィックスパネルの取付け
<input type="checkbox"/>	6-2 垂木掛けの取付け	<input type="checkbox"/>	24-1 妻パネル方立枠の取付け
<input type="checkbox"/>	7. 3尺延長用柱の建込み	<input type="checkbox"/>	24-2 妻梁上部側面フィックスパネルの取付け
<input type="checkbox"/>	7-1 3尺延長用柱の加工	<input type="checkbox"/>	24-3 フィックス押えの取付け
<input type="checkbox"/>	7-2 3尺延長用柱の建込み	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	8. 桁の取付け	<input type="checkbox"/>	26. バルコニー下用フィックスの取付け
<input type="checkbox"/>	8-1 屋根材受けの取付け	<input type="checkbox"/>	26-1 束柱の取付け
<input type="checkbox"/>	8-2 桁の組立て	<input type="checkbox"/>	26-2 正面フィックス枠の組立て
<input type="checkbox"/>	8-3 垂木掛けスペーサーの取付け	<input type="checkbox"/>	26-3 側面フィックス枠の組立て
<input type="checkbox"/>	8-5 桁キャップの取付け	<input type="checkbox"/>	26-4 フィックス枠の取付け
<input type="checkbox"/>	8-6 桁の取付け	<input type="checkbox"/>	26-5 シーリング処理
<input type="checkbox"/>	8-7 桁上部フタの取付け	<input type="checkbox"/>	27. ミゾ塞ぎ材の取付け
<input type="checkbox"/>	9. 柱の組立て	<input type="checkbox"/>	28. 延長部分本体の取付け
<input type="checkbox"/>	9-1 雨樋上部の取付け	<input type="checkbox"/>	29. 3尺延長用レールについて
<input type="checkbox"/>	9-2 柱スリーブの取付け	<input type="checkbox"/>	29-1 部材の加工
<input type="checkbox"/>	9-3 3尺延長用柱側面材の取付け	<input type="checkbox"/>	29-2 レールの連結
<input type="checkbox"/>	9-4 雨樋下部の取付け	<input type="checkbox"/>	30. 側面パネルの納まり
<input type="checkbox"/>	9-5 縦樋の取付け	<input type="checkbox"/>	30-1 [2-A]、[2-B]、[3-A] の場合
<input type="checkbox"/>	10. 垂木、妻垂木側面材の取付け	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	10-2 垂木・妻垂木側面材の取付け	<input type="checkbox"/>	31. 戸当りゴムの取付け
<input type="checkbox"/>	11. 柱キャップの取付け	<input type="checkbox"/>	31-1 パネル戸当りゴムの取付け
<input type="checkbox"/>	13. 柱樋カバーの取付け	<input type="checkbox"/>	31-2 柱戸当りゴムの取付け
<input type="checkbox"/>	13-1 妻梁あり仕様の場合	<input type="checkbox"/>	32. 面材の切出し
<input type="checkbox"/>	13-2 妻梁なし仕様の場合	<input type="checkbox"/>	32-1 屋根部 [2-B]、[3-A] の場合
<input type="checkbox"/>	14. 桁下部フタの取付け	<input type="checkbox"/>	32-3 妻梁上部側面フィックス部 [1-B]、[2-A]、[2-B]、[3-A] の場合
<input type="checkbox"/>	15. 屋根材の取付け	<input type="checkbox"/>	32-5 前面フィックス部 [2-A]、[2-B] の場合
<input type="checkbox"/>	16. 出幅フィックス枠台座の取付け	<input type="checkbox"/>	32-6 側面フィックス部 [2-A]、[2-B] の場合
<input type="checkbox"/>	17. 垂木カバーの取付け	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	18. 垂木化粧材の取付け	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	19. 垂木掛けキャップの取付け	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	20. 妻梁上部側面フィックス部の施工	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	20-1 部材の加工	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	20-2 部材の取付け	<input type="checkbox"/>	

1. (つづき)

[3-A] 基本+3尺

ポイント

●各タイプの作業は左頁の作業手順の通りに行なってください。



3-A

☑	作業手順	☑	作業手順
<input type="checkbox"/>	1. 各部の名称と作業手順		
<input type="checkbox"/>	2. 基本寸法		
<input type="checkbox"/>	3. 断面納まり図		
<input type="checkbox"/>	4. 施工前の重要確認事項		
<input type="checkbox"/>	5. 水盛遣方・水系張り		
<input type="checkbox"/>	6. 垂木掛けの取付け		
<input type="checkbox"/>	6-2 垂木掛けの取付け		
<input type="checkbox"/>	7. 3尺延長用柱の建込み		
<input type="checkbox"/>	7-1 3尺延長用柱の加工		
<input type="checkbox"/>	7-2 3尺延長用柱の建込み		
<input type="checkbox"/>	8. 桁の取付け		
<input type="checkbox"/>	8-1 屋根材受けの取付け		
<input type="checkbox"/>	8-2 桁の組立て		
<input type="checkbox"/>	8-3 垂木掛けスペーサーの取付け		
<input type="checkbox"/>	8-5 桁キャップの取付け		
<input type="checkbox"/>	8-6 桁の取付け		
<input type="checkbox"/>	9. 柱の組立て		
<input type="checkbox"/>	9-1 雨樋上部の取付け		
<input type="checkbox"/>	9-2 柱スリーブの取付け		
<input type="checkbox"/>	9-3 3尺延長用柱側面材の取付け		
<input type="checkbox"/>	9-4 雨樋下部の取付け		
<input type="checkbox"/>	9-5 縦樋の取付け		
<input type="checkbox"/>	10. 垂木、妻垂木側面材の取付け		
<input type="checkbox"/>	10-2 垂木・妻垂木側面材の取付け		
<input type="checkbox"/>	11. 柱キャップの取付け		
<input type="checkbox"/>	13. 柱樋カバーの取付け		
<input type="checkbox"/>	13-1 妻梁あり仕様の場合		
<input type="checkbox"/>	13-2 妻梁なし仕様の場合		
<input type="checkbox"/>	14. 桁下部フタの取付け		
<input type="checkbox"/>	15. 屋根材の取付け		
<input type="checkbox"/>	17. 垂木カバーの取付け		
<input type="checkbox"/>	18. 垂木化粧材の取付け		
<input type="checkbox"/>	19. 垂木掛けキャップの取付け		
<input type="checkbox"/>	20. 妻梁上部側面フィックス部の施工		
<input type="checkbox"/>	20-1 部材の加工		
<input type="checkbox"/>	20-3 部材の取付け		
<input type="checkbox"/>			22. 妻梁の取付け
			22-1 妻梁用グレチャンのはめ込み
			22-2 妻梁の取付け
			23. 上部方立スペーサーの取付け
			23-1 部材の加工
			23-2 上部方立スペーサーの取付け
			24. 妻梁上部側面フィックスパネルの取付け
			24-1 妻パネル方立枠の取付け
			24-2 妻梁上部側面フィックスパネルの取付け
			24-3 フィックス押えの取付け
			27. ミゾ塞ぎ材の取付け
			28. 延長部分本体の取付け
			29. 3尺延長用レールについて
			29-1 部材の加工
			29-2 レールの連結
			30. 側面パネルの納まり
			30-1 [2-A]、[2-B]、[3-A] の場合
			31. 戸当りゴムの取付け
			31-1 パネル戸当りゴムの取付け
			31-2 柱戸当りゴムの取付け
			32. 面材の切出し
			32-1 屋根部 [2-B]、[3-A] の場合
			32-3 妻梁上部側面フィックス部 [1-B]、[2-A]、[2-B]、[3-A] の場合

2. 基本寸法

2-1 基本+3尺の場合

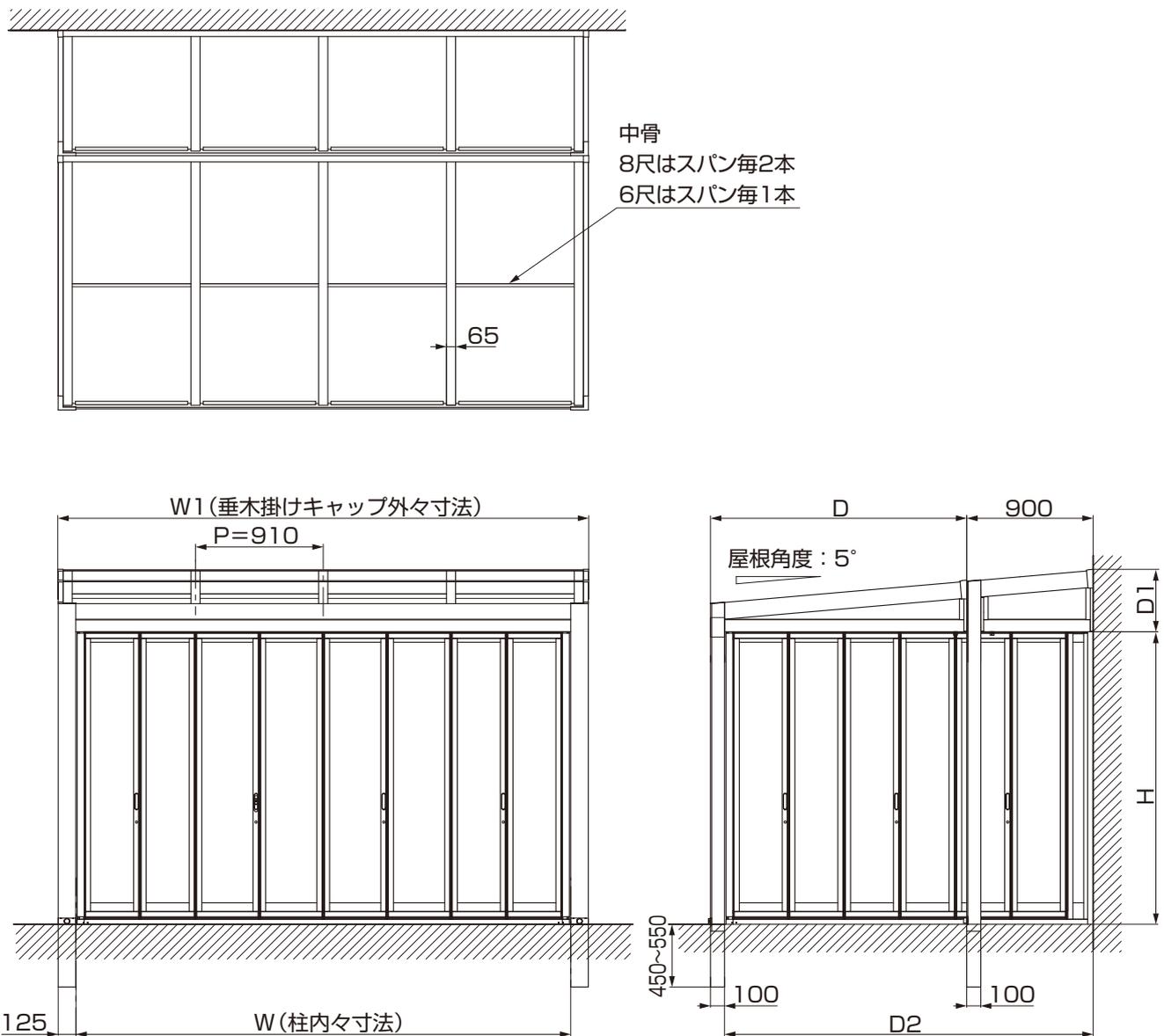


表 2-1 間口寸法

	1.5間	2.0間	2.5間
W	2615	3525	4435
W1	2871	3781	4691

表 2-2 出幅寸法

	D	D1	D2
6尺+3尺	1825	448.4	2625
8尺+3尺	2425	500.9	3225

表 2-3 高さ寸法

	H21	H23	H25
H	2100	2300	2500

2-2 基本+3尺テラス(妻梁上部側面フィックスなし)の場合

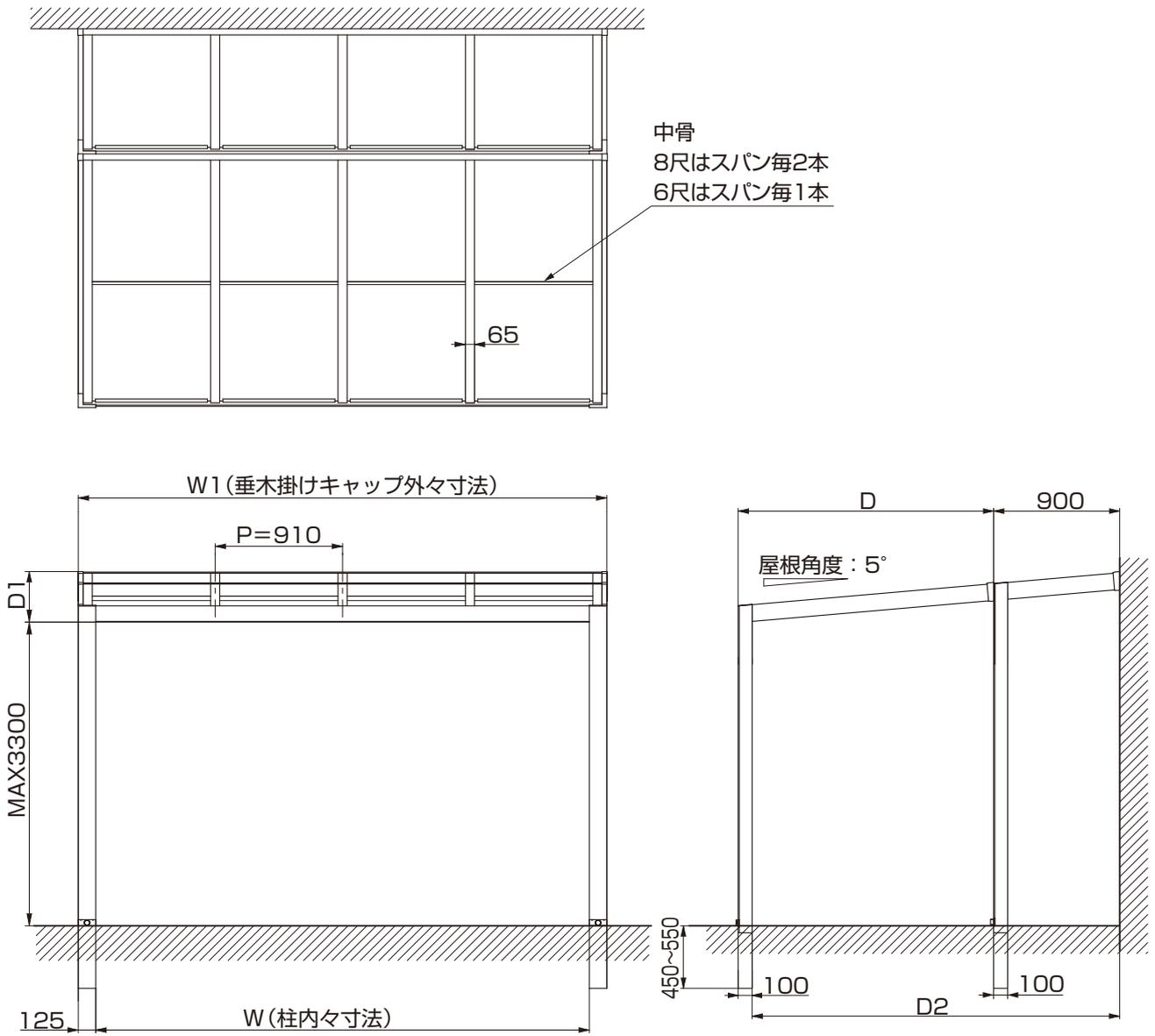


表 2-4 間口寸法

	1.5間	2.0間	2.5間
W	2615	3525	4435
W1	2871	3781	4691

表 2-5 出幅寸法

	D	D1	D2
6尺+3尺	1825	363.4	2625
8尺+3尺	2425	415.9	3225

2. (つづき)

2-3 基本+3尺バルコニー下の場合

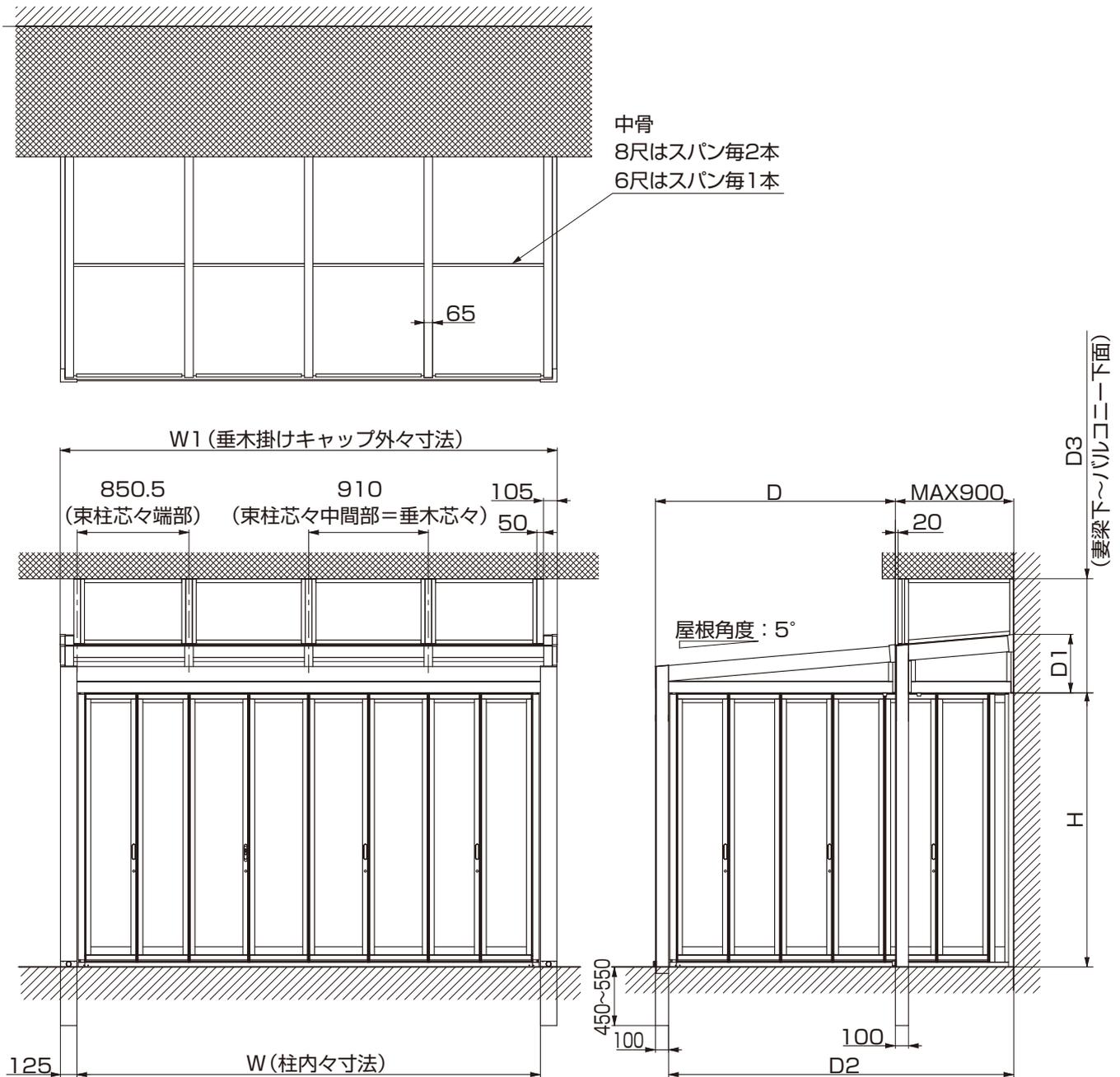


表 2-6 間口寸法

	1.5 間	2.0 間	2.5 間
W	2615	3525	4435
W1	2871	3781	4691

表 2-7 出幅寸法

	D	D1	D2	D3
6 尺+3 尺	1825	448.4	2625	575~1275
8 尺+3 尺	2425	500.9	3225	628~1328

表 2-8 高さ寸法

	H21	H23	H25
H	2100	2300	2500

2-4 基本+3尺バルコニー下(妻梁上部側面フィックスなし)の場合

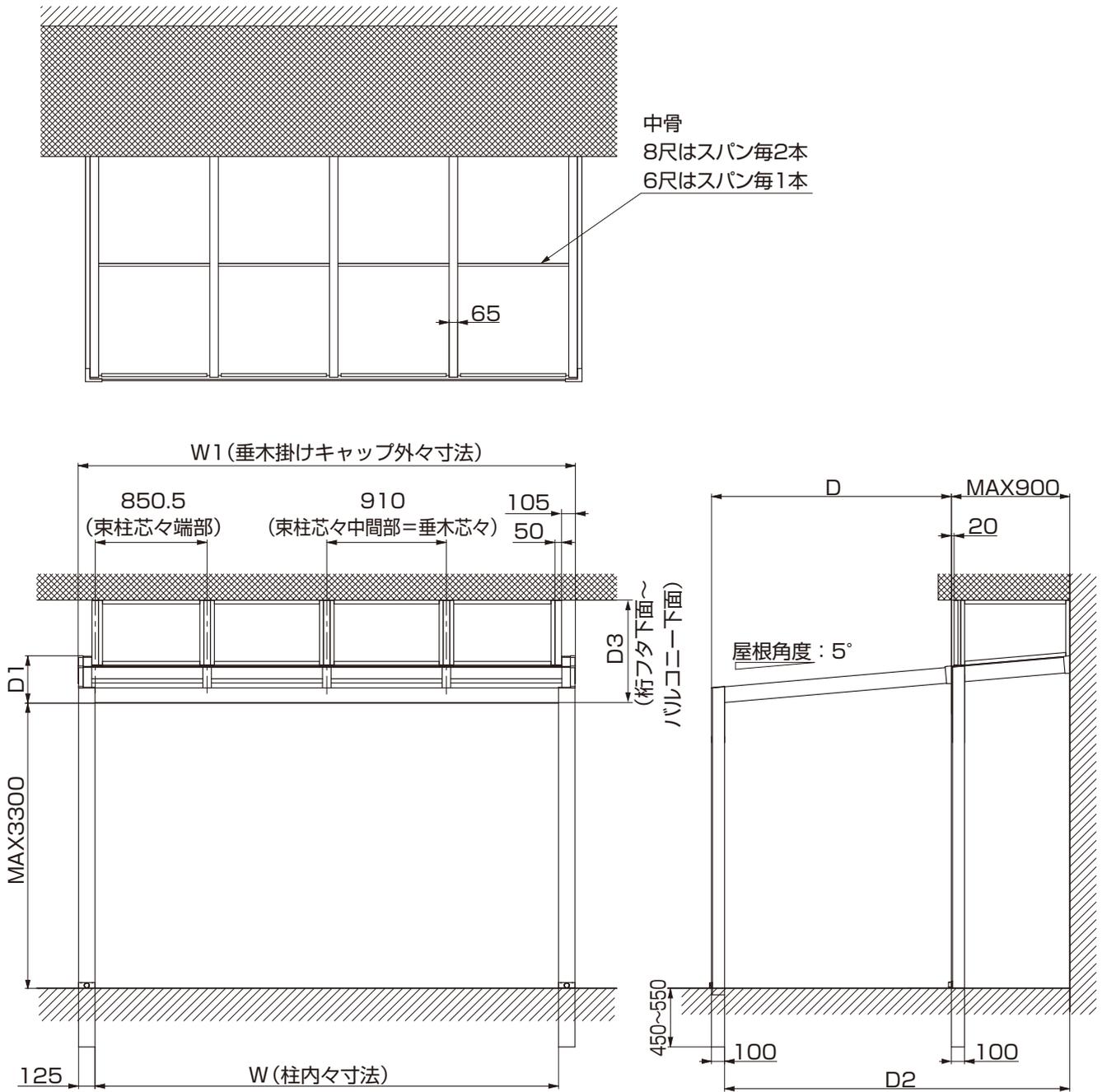


表 2-9 間口寸法

	1.5間	2.0間	2.5間
W	2615	3525	4435
W1	2871	3781	4691

表 2-10 出幅寸法

	D	D1	D2	D3
6尺+3尺	1825	363.4	2625	490~1190
8尺+3尺	2425	415.9	3225	543~1243

2. (つづき)

2-5 基本+3尺バルコニー前の場合

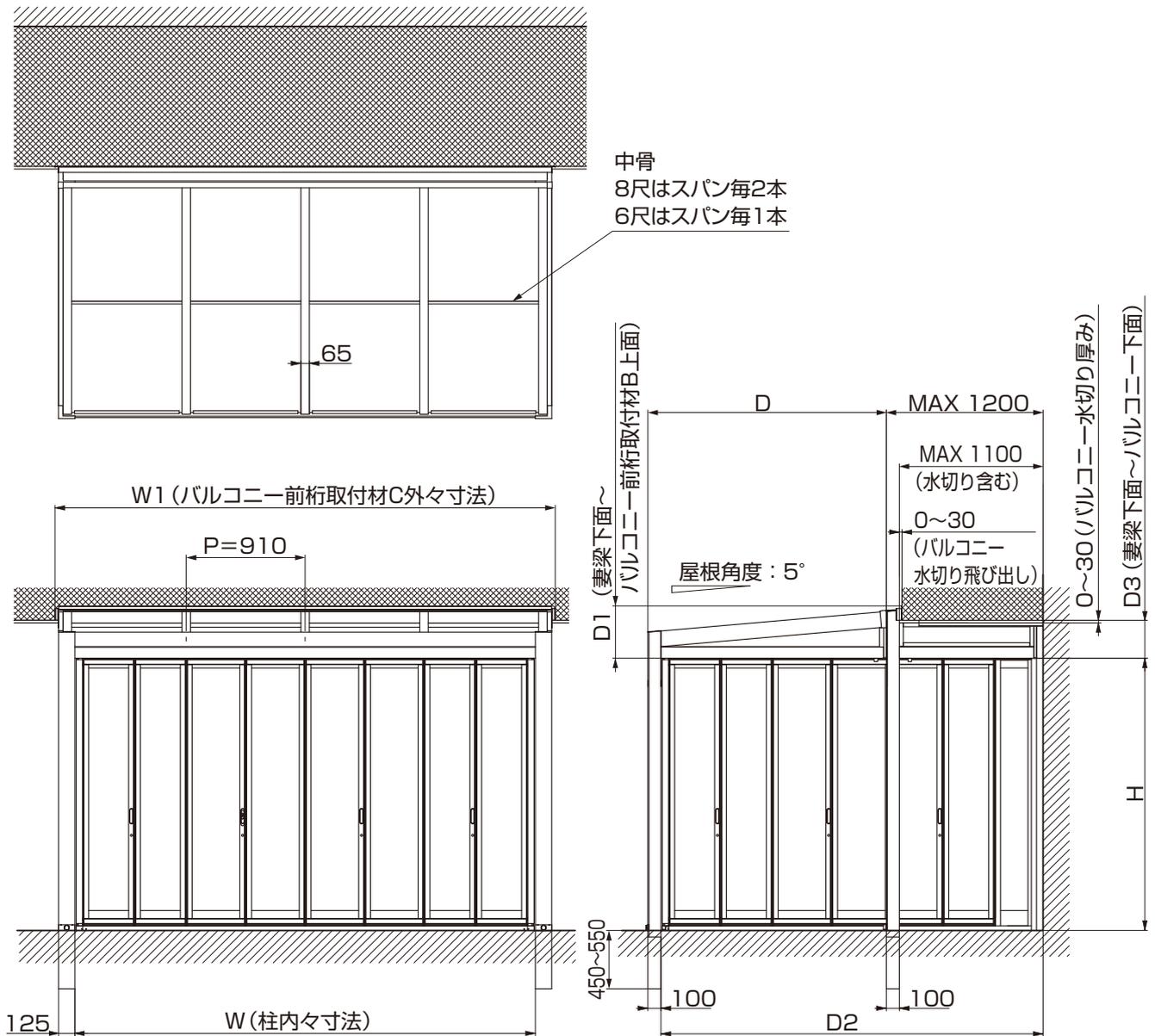


表 2-11 間口寸法

	1.5間	2.0間	2.5間
W	2615	3525	4435
W1	2919.4	3829.4	4739.4

表 2-12 出幅寸法

	D	D1	D2	D3
6尺+3尺	1825	403.4	2925	213~373
8尺+3尺	2425	455.9	3525	213~426

表 2-13 高さ寸法

	H21	H23	H25
H	2100	2300	2500

2-6 基本+3尺バルコニー前(妻梁上部側面フィックスなし)の場合

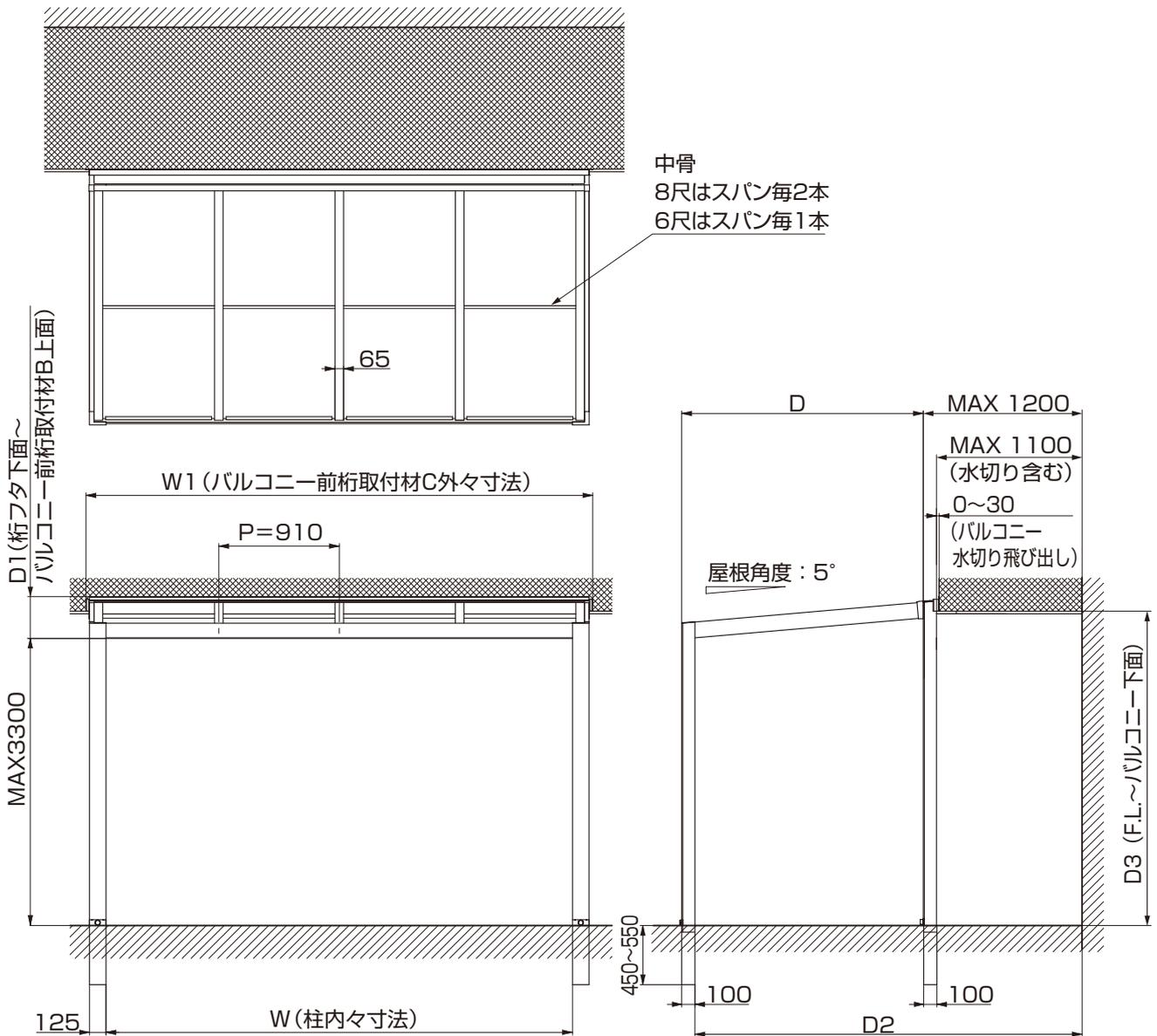


表 2-14 間口寸法

	1.5間	2.0間	2.5間
W	2615	3525	4435
W1	2919.4	3829.4	4739.4

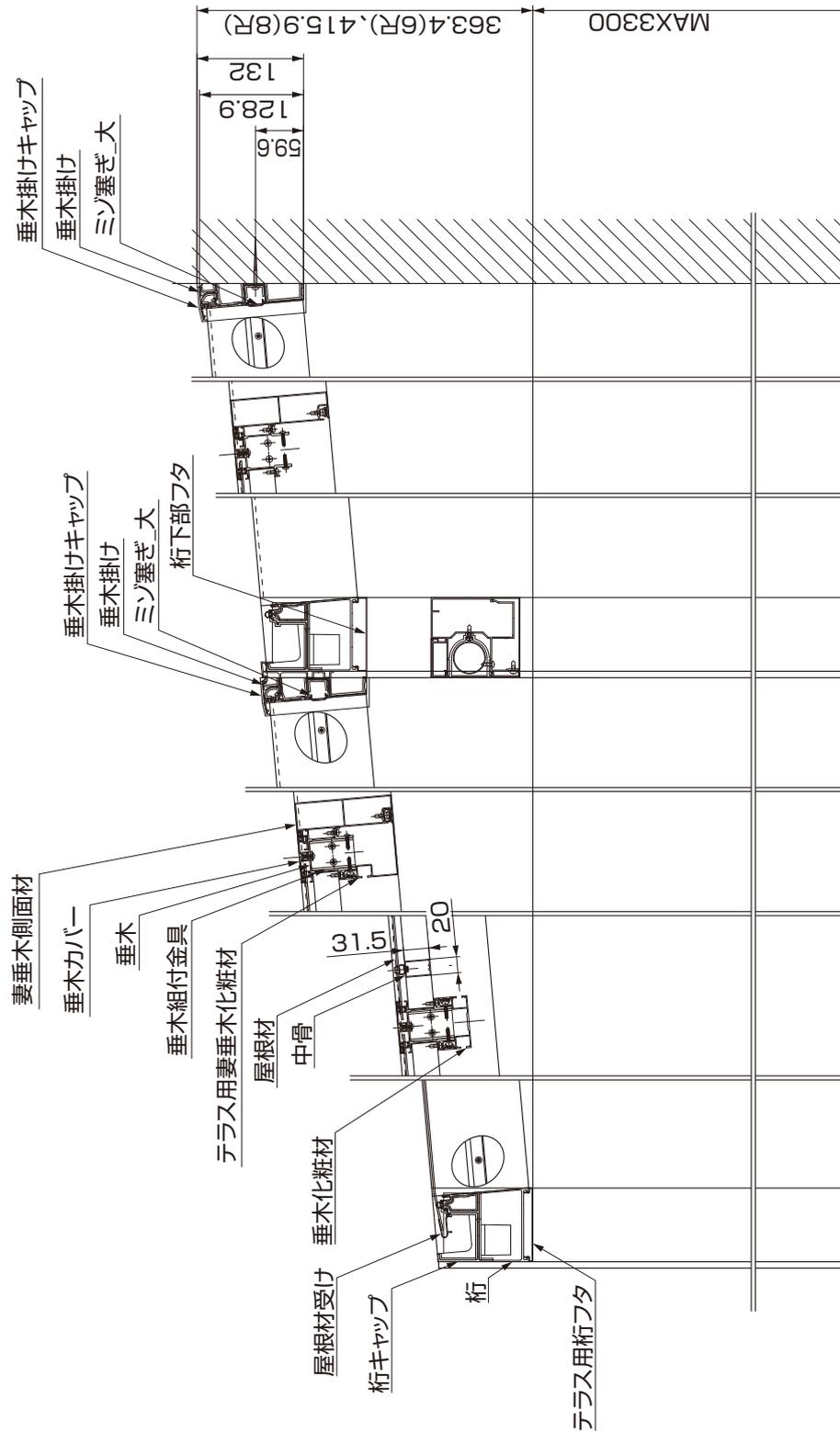
表 2-15 出幅寸法

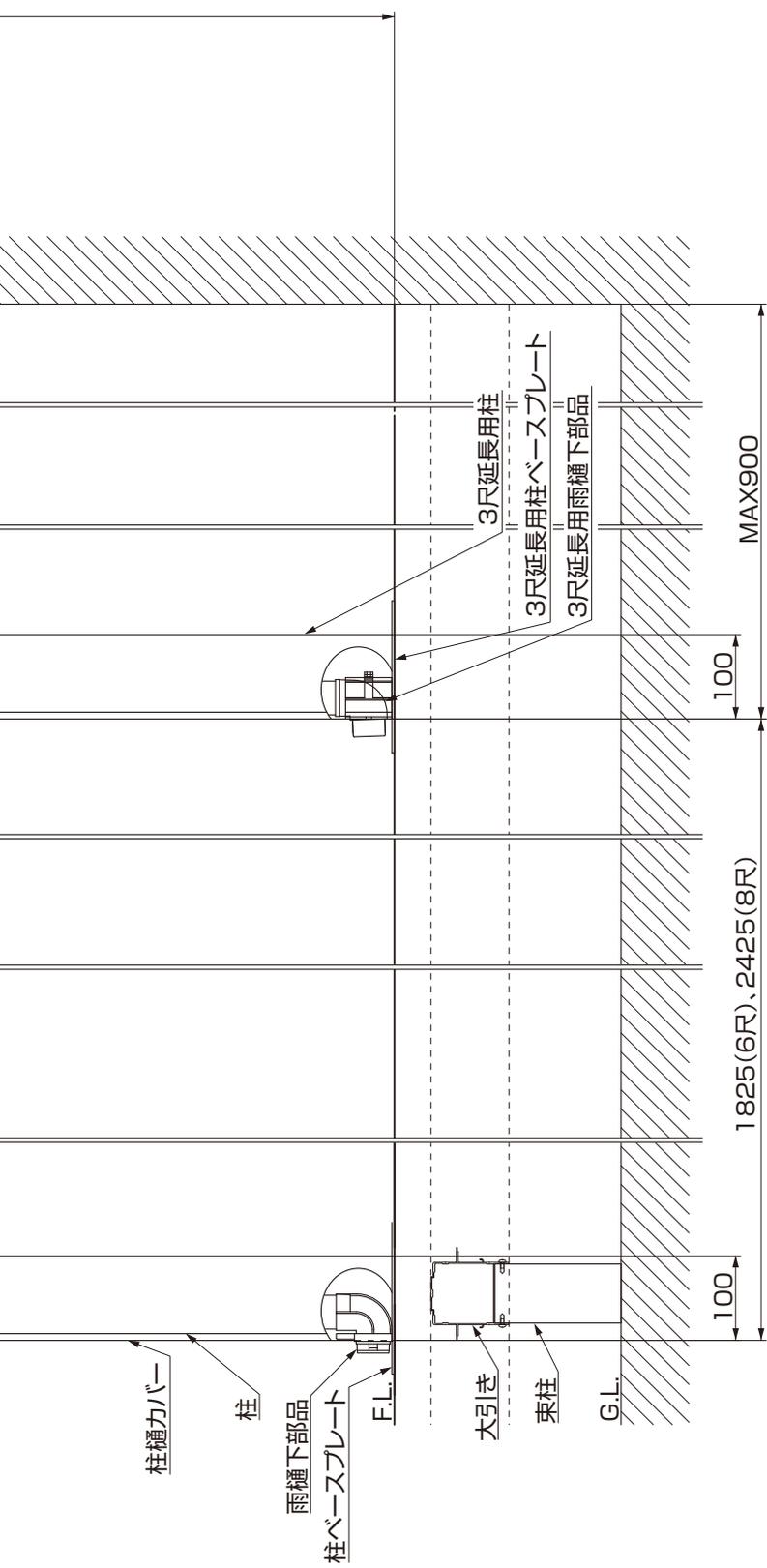
	D	D1	D2	D3
6尺+3尺	1825	318.4	2925	2598~3588
8尺+3尺	2425	370.9	3525	2651~3641

3. (つづき)

3-1 つづき

(2) 基本+3尺テラスタイプ (妻梁上部側面フィックスなし)

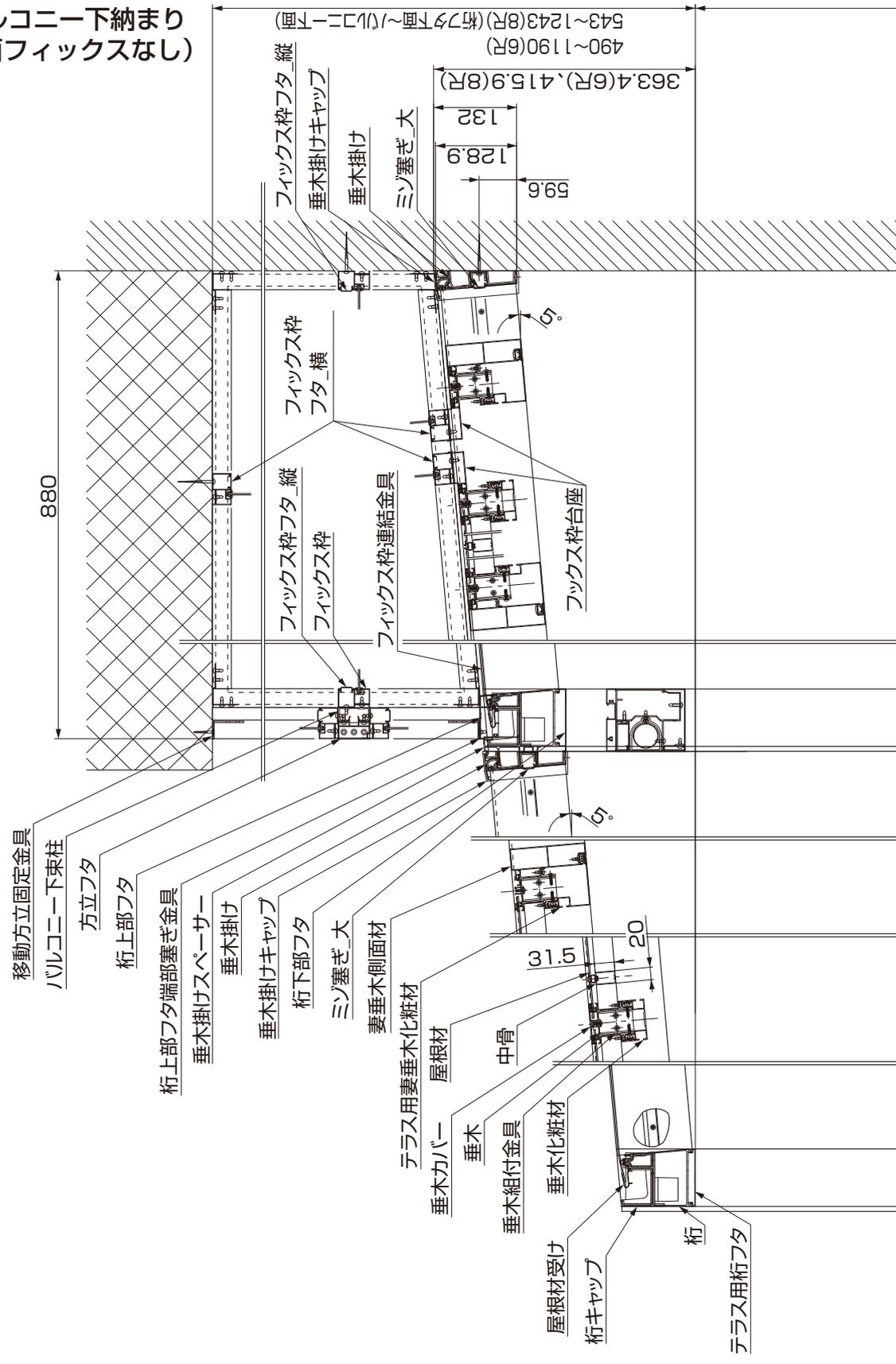


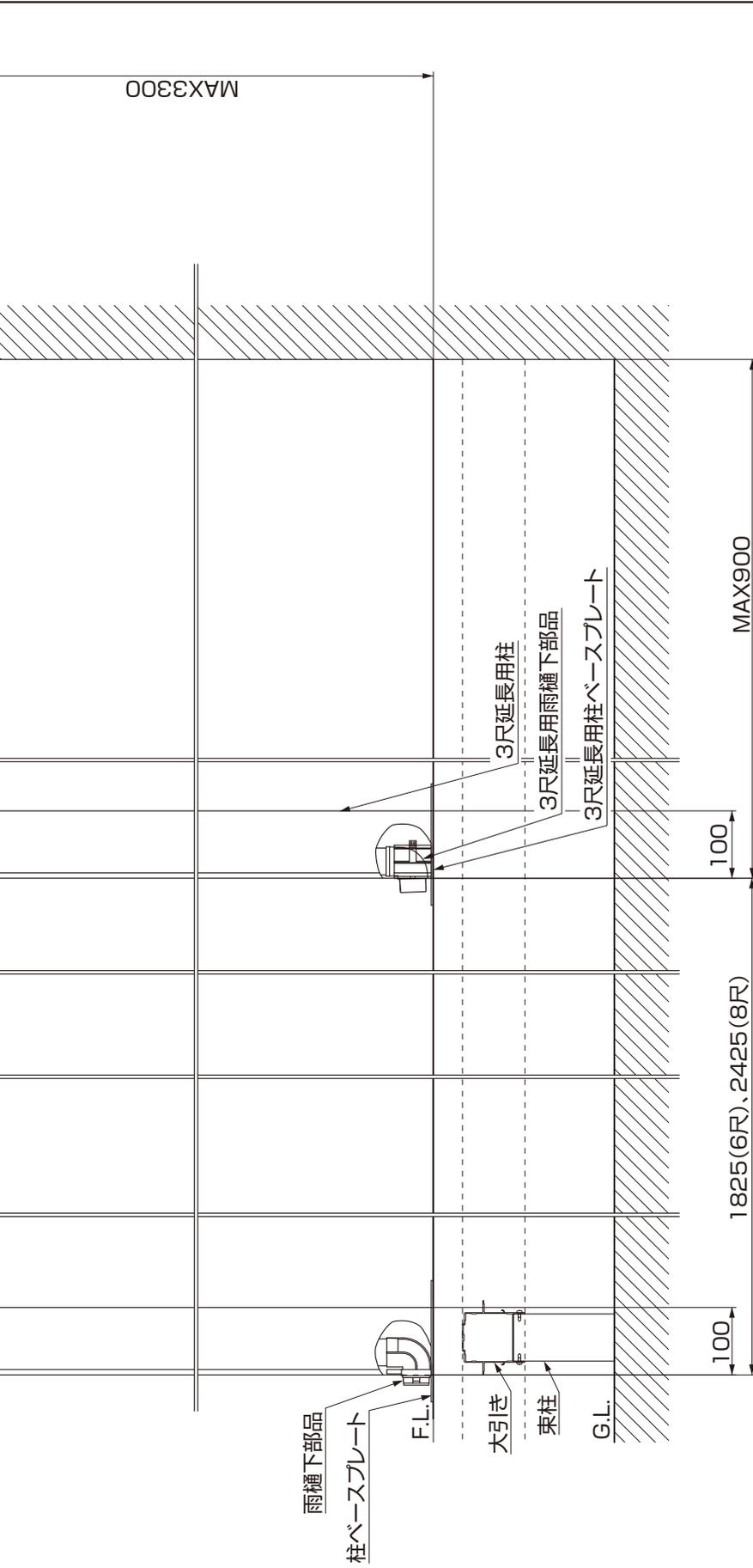


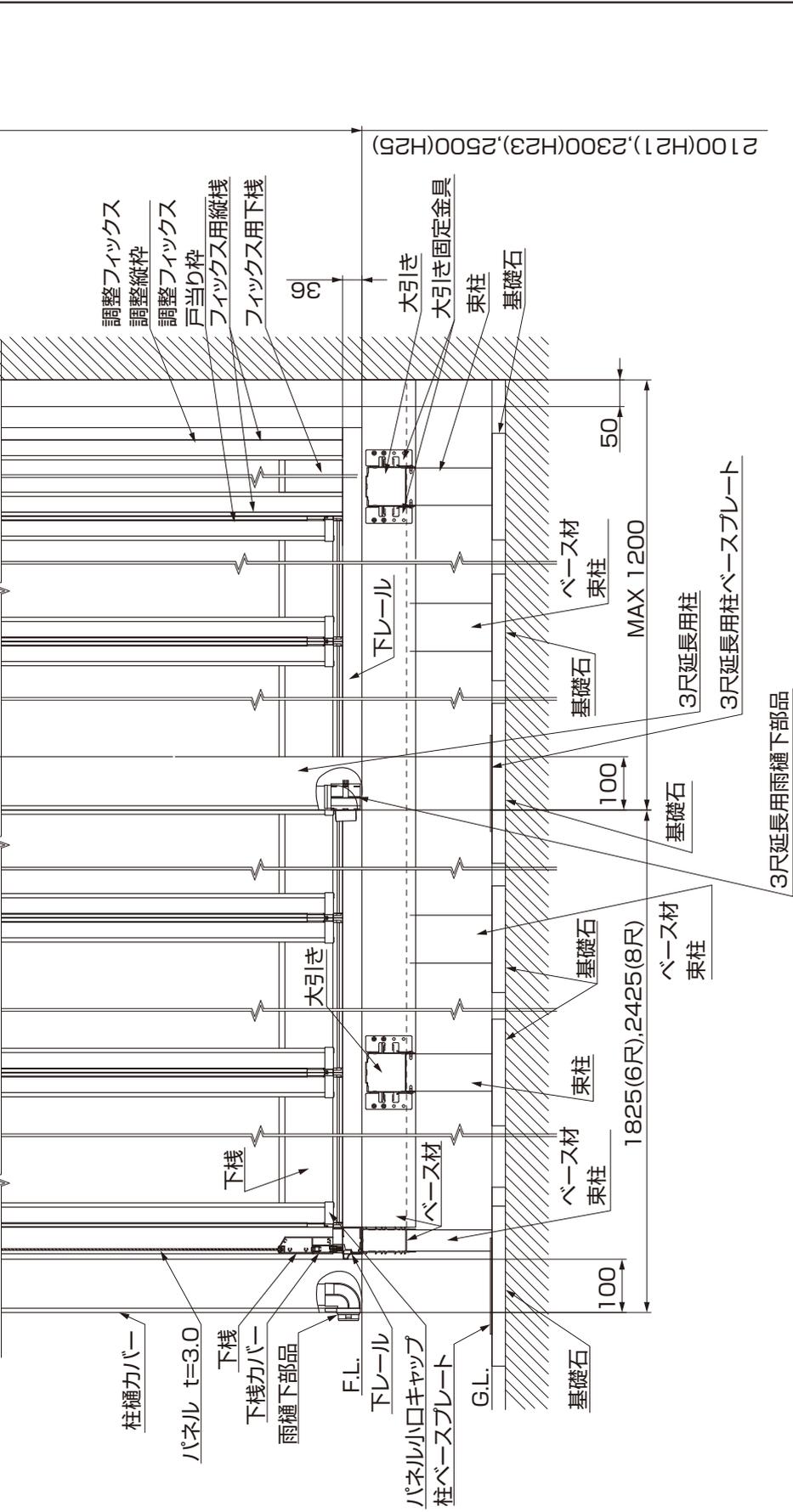
3. (つづき)

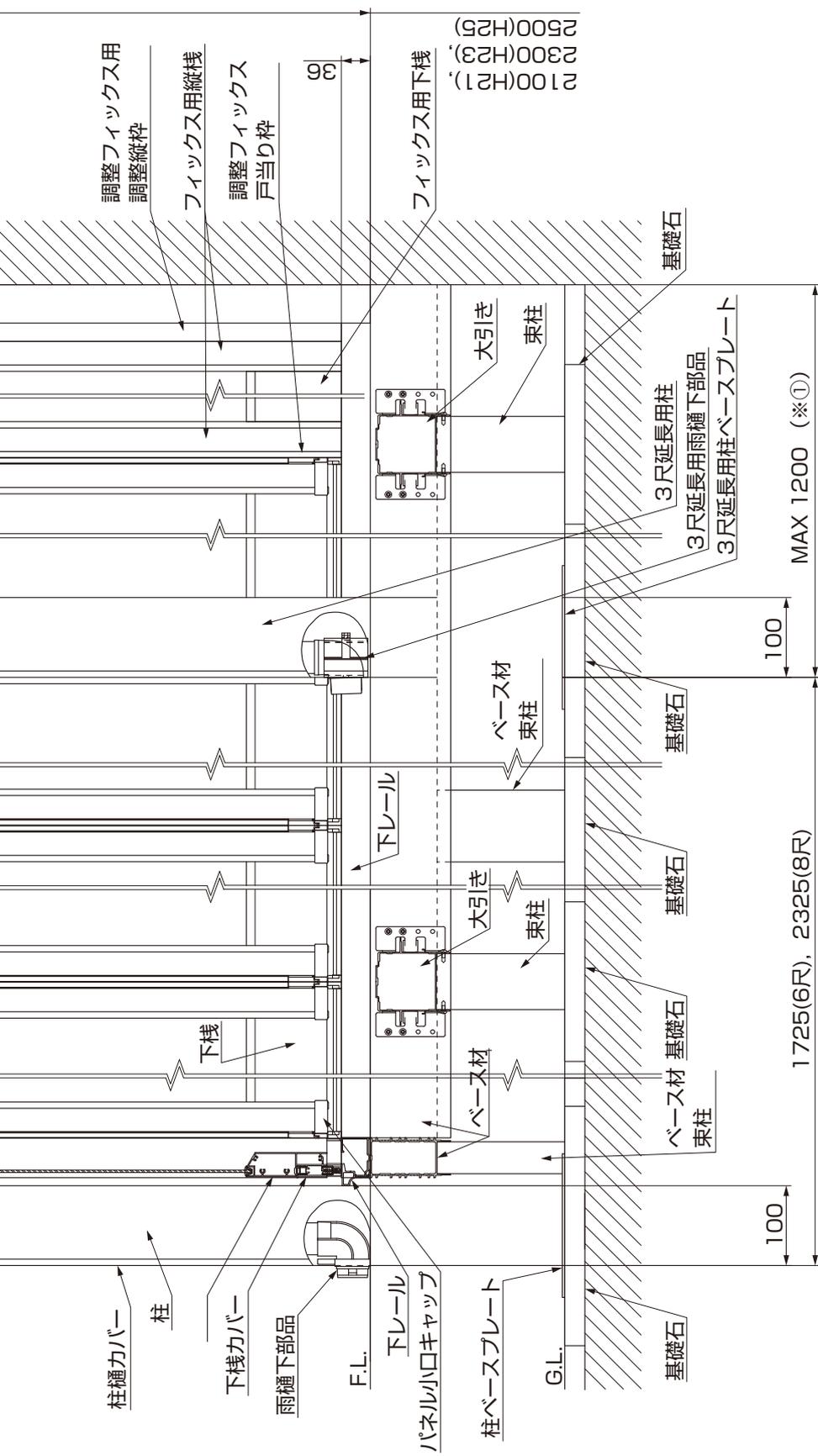
3-1 つづき

(4) 基本+3尺バルコニー下納まり
(妻梁上部側面フィックスなし)







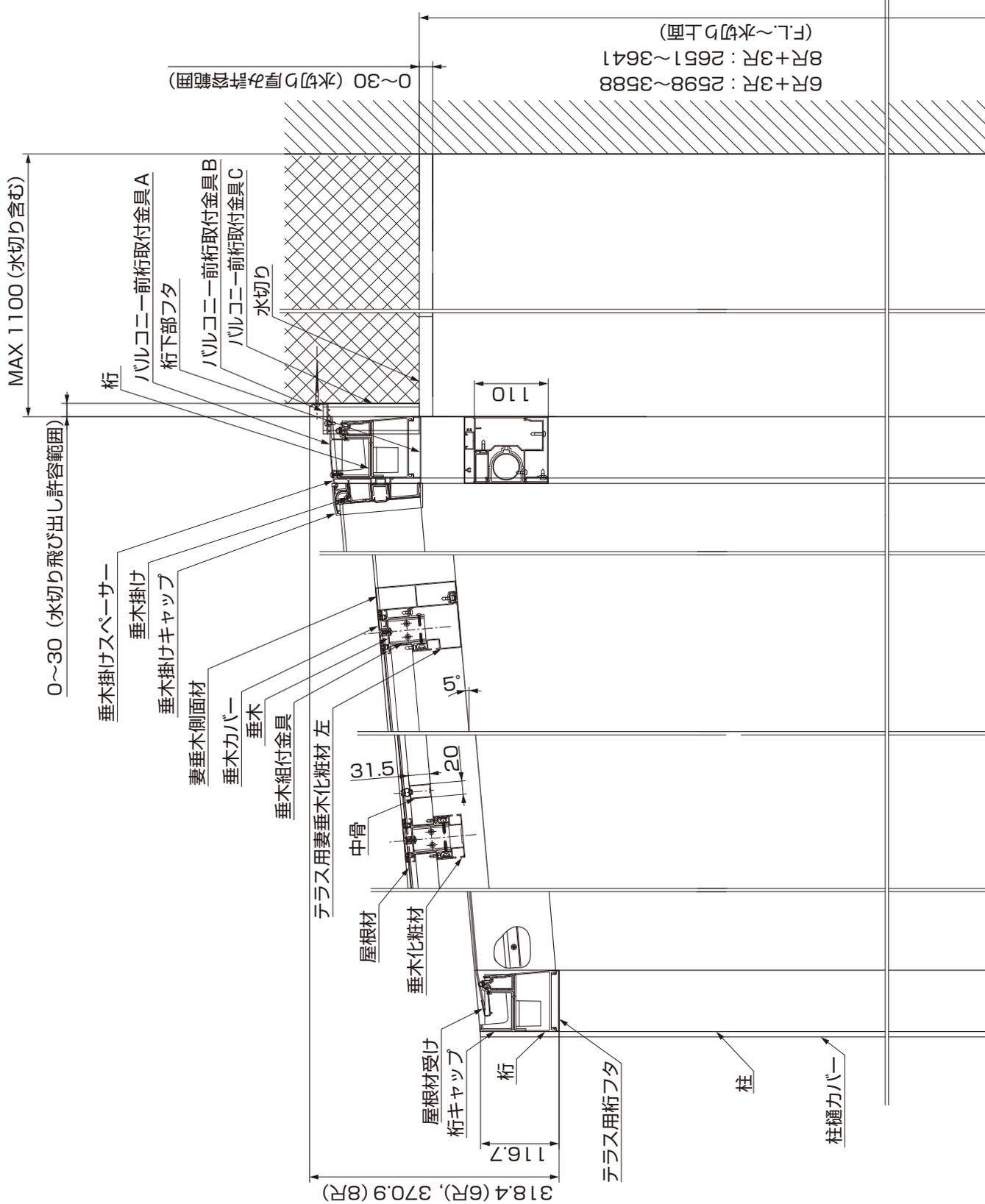


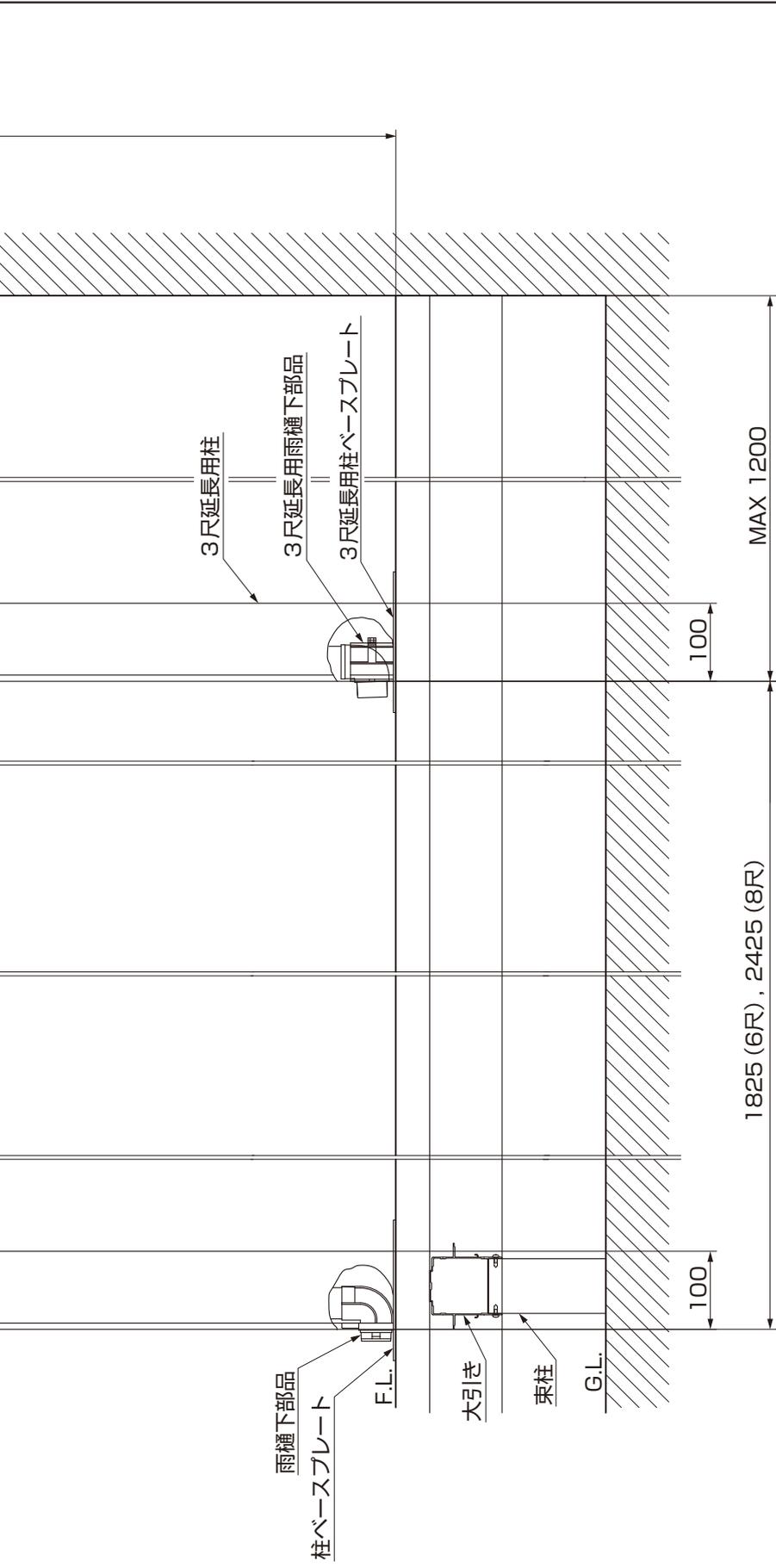
※②の寸法算出方法
 6尺の場合 0.0874 × ※① (基本本体6尺の垂木掛け背面～躯体) + 370.3 - 0.5
 8尺の場合 0.0874 × ※① (基本本体8尺の垂木掛け背面～躯体) + 422.8 - 0.5

3. (つづき)

3-1 つづき

(7) 基本+3尺バルコニー前納まりテラスタイプ (妻梁上部側面フィックスなし)

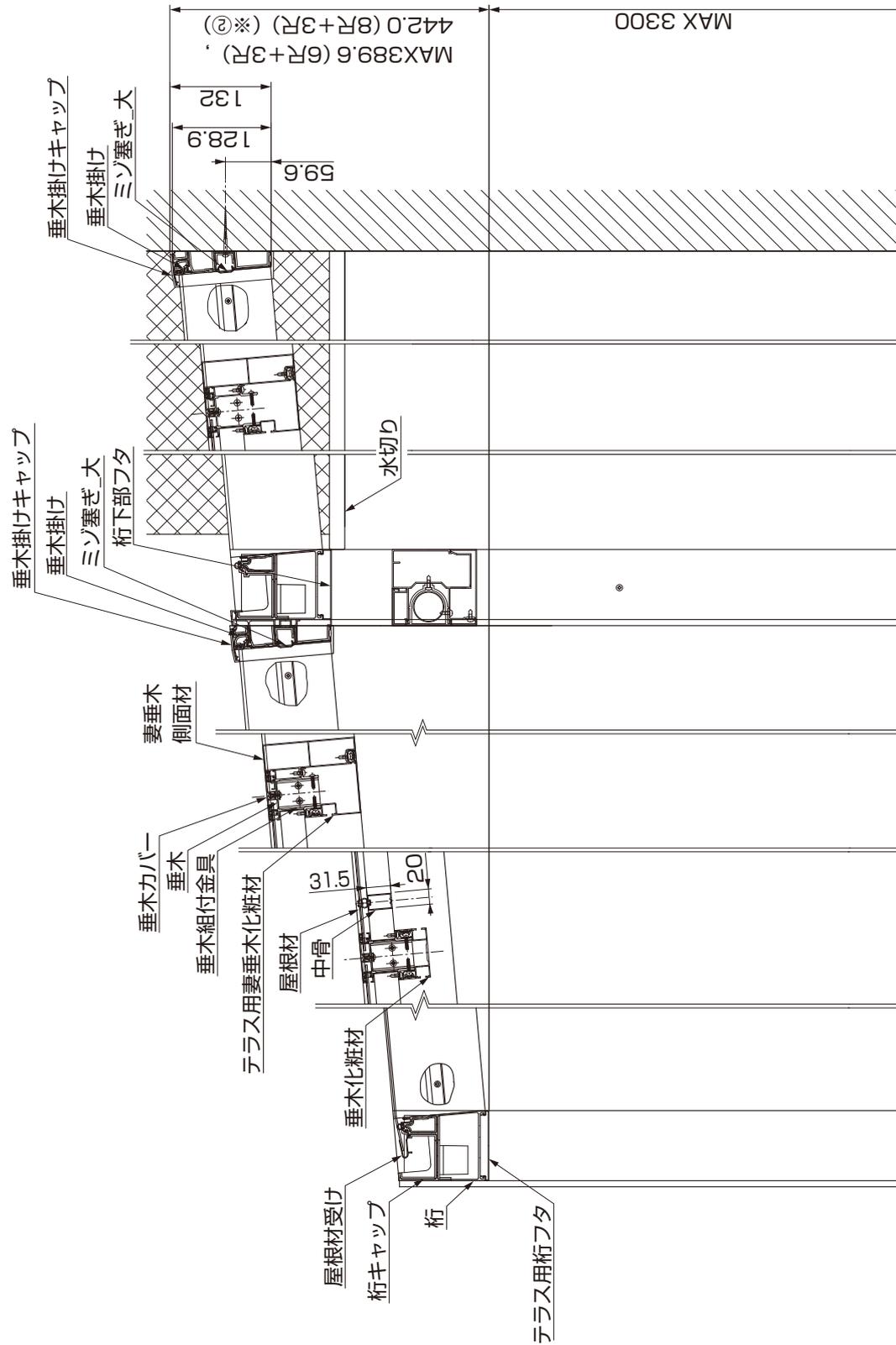


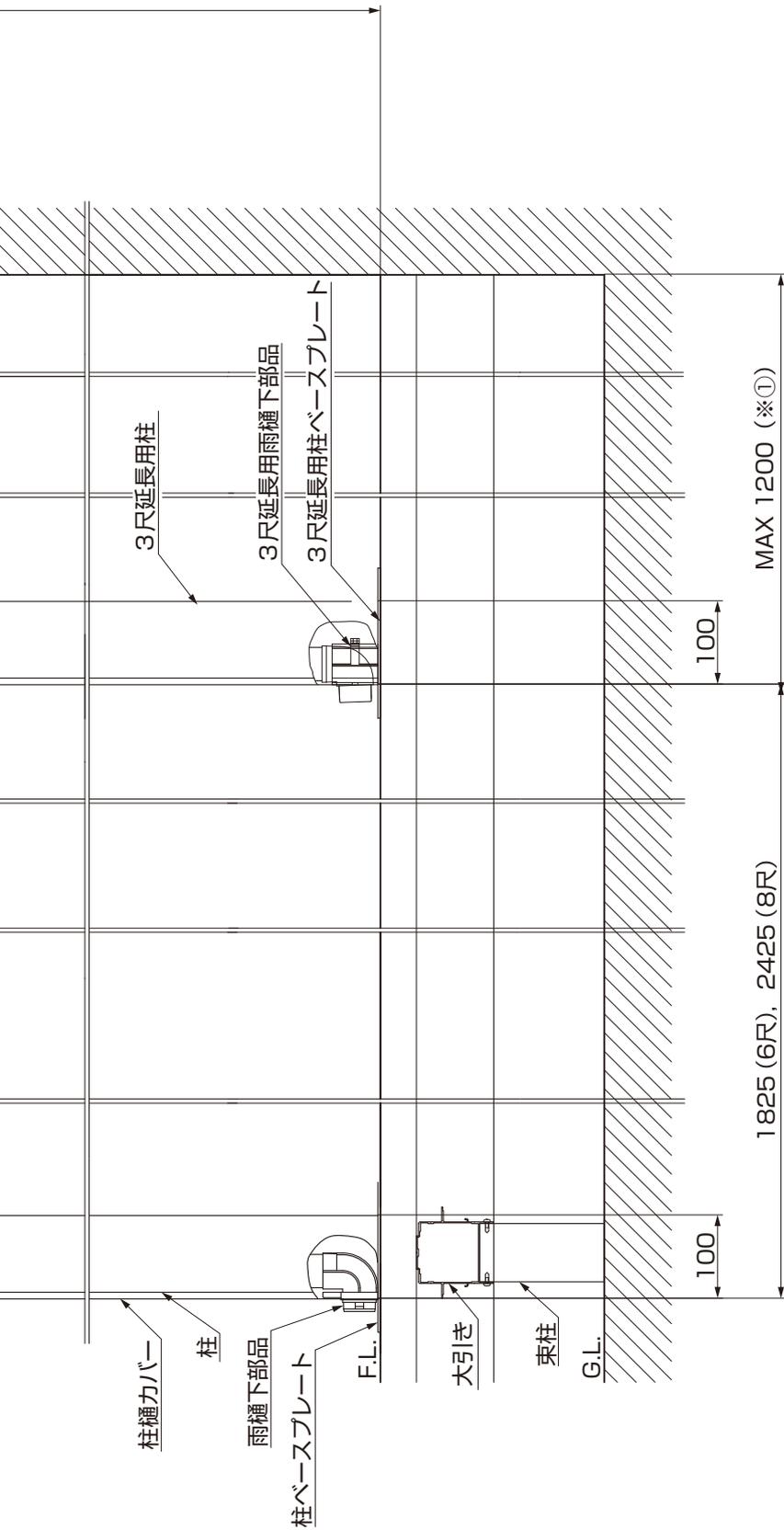


3. (つづき)

3-1 つづき

(8) 基本+3尺バルコニー前納まりテラスタイプ(妻梁上部側面フィックスなし) 部分屋根側



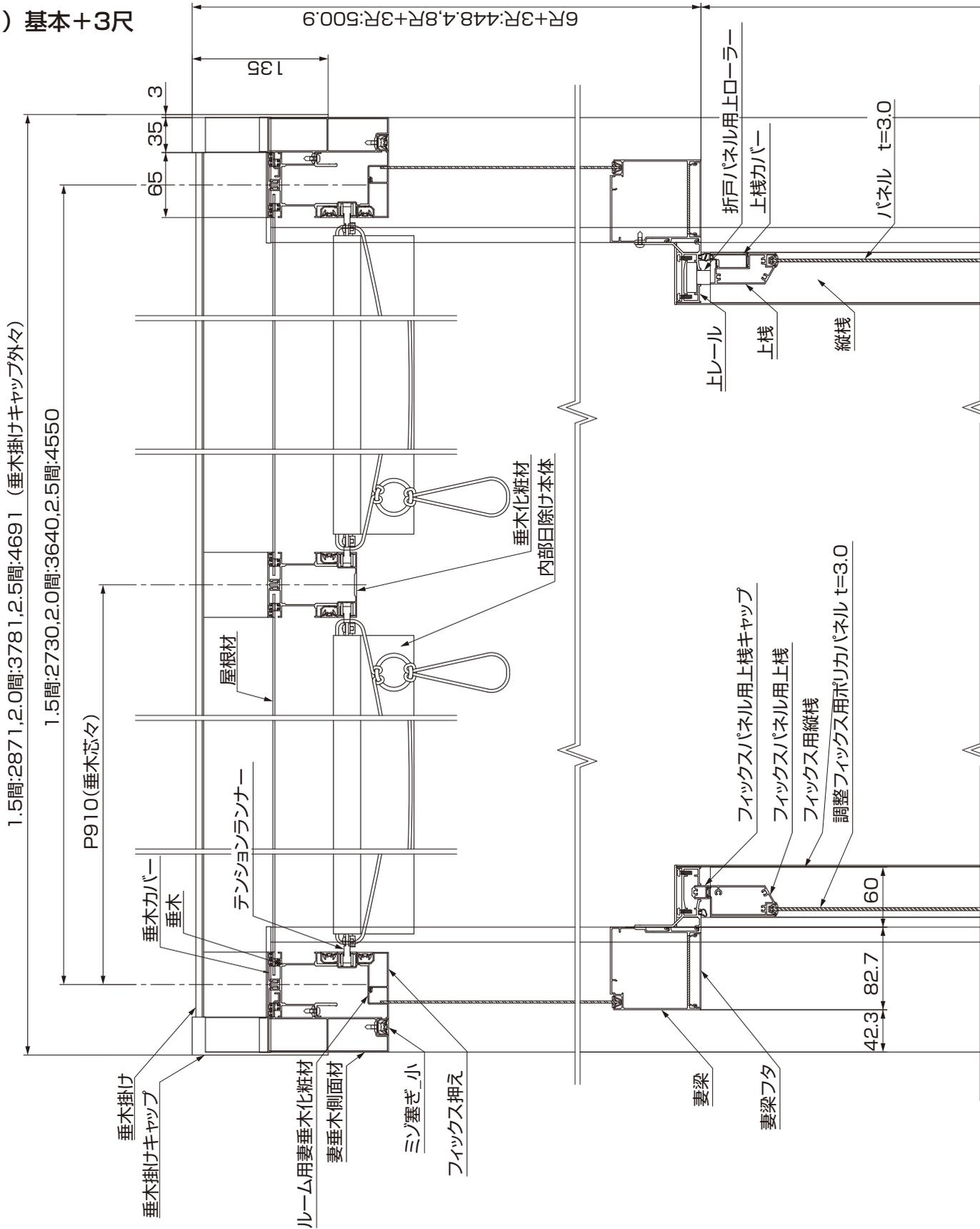


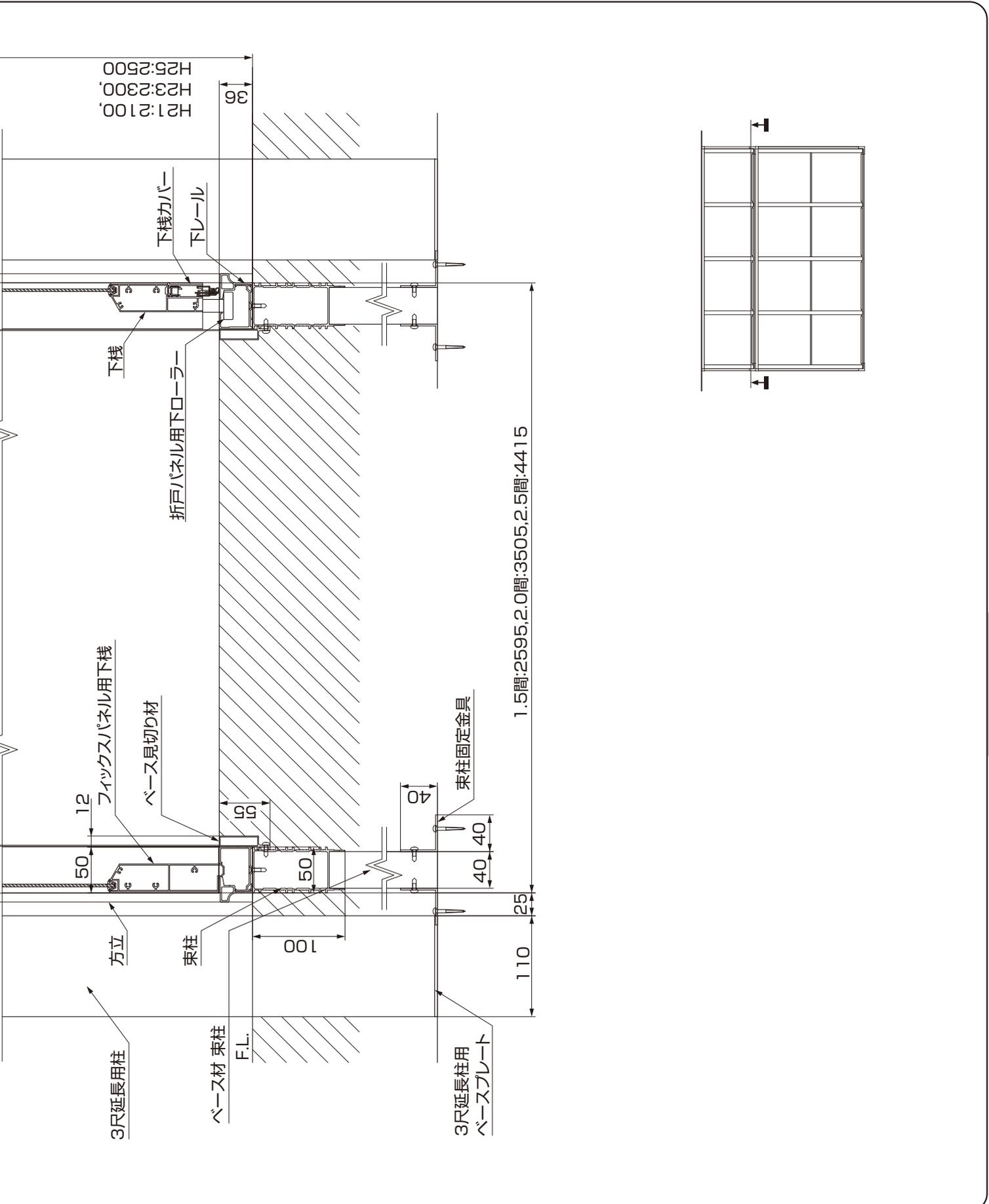
※②の寸法算出方法 6尺の場合 0.0874 × ※① (基本本体6尺の垂木掛け背面～躯体) + 370.3 - 0.5
 8尺の場合 0.0874 × ※① (基本本体8尺の垂木掛け背面～躯体) + 422.8 - 0.5

3. (つづき)

3-2 間口断面納まり図

(1) 基本+3尺



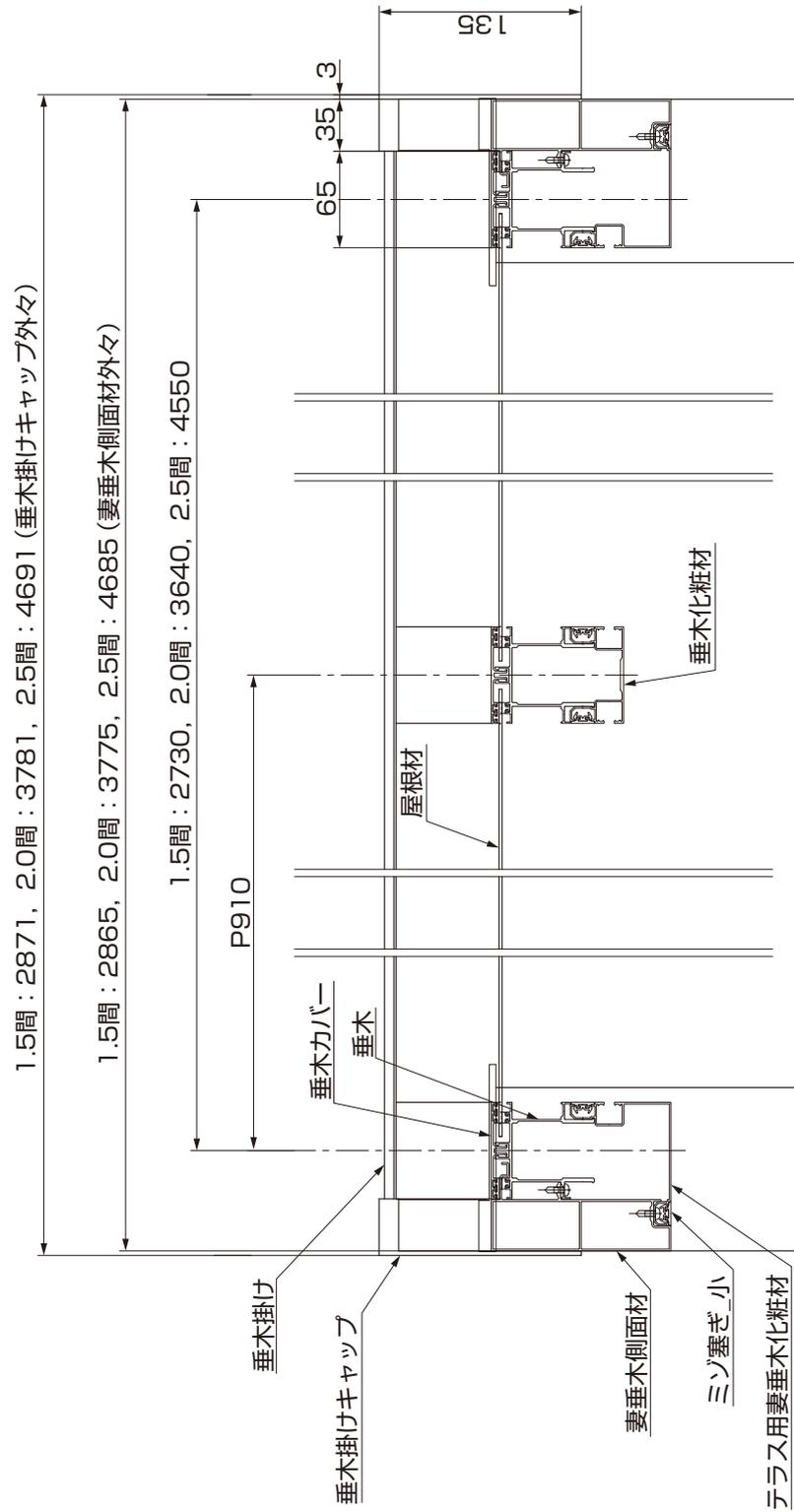


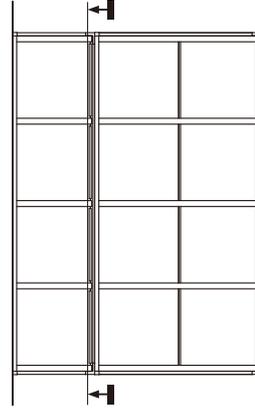
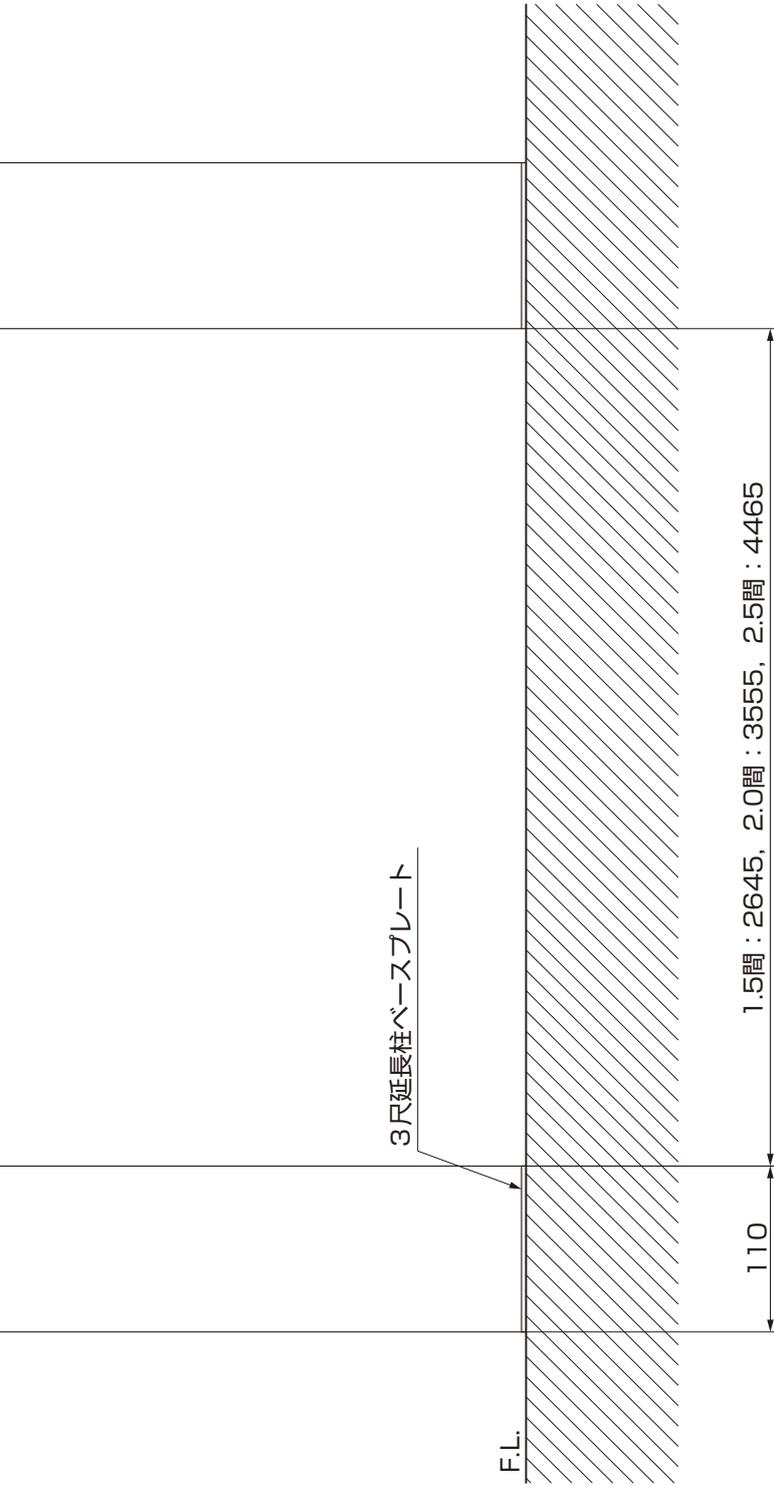
3-A

3. (つづき)

3-2 つづき

(2) 基本+3尺テラスタイプ(妻梁上部側面フィックスなし)

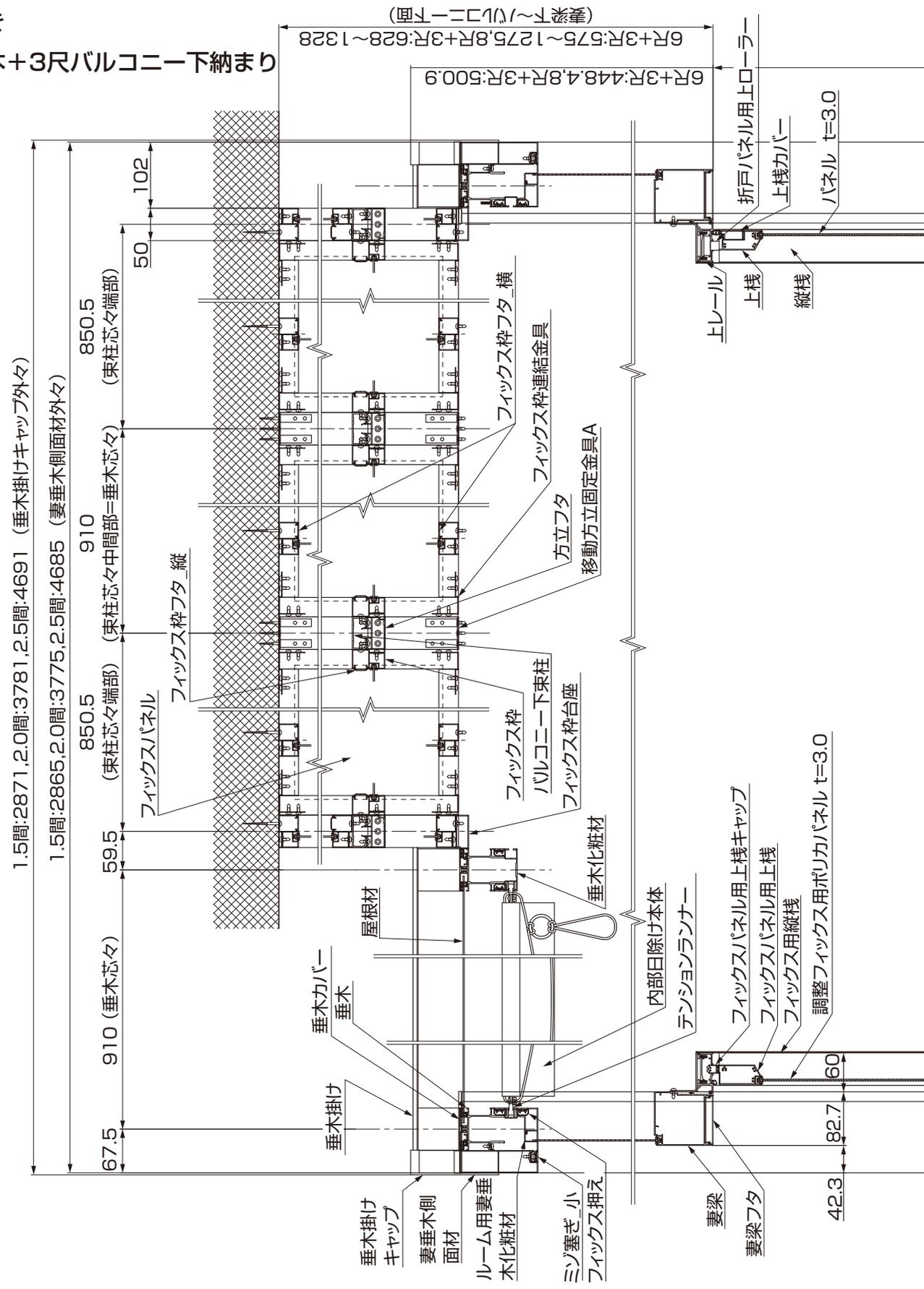


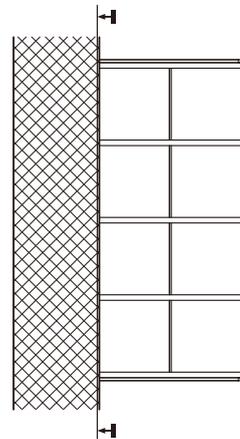
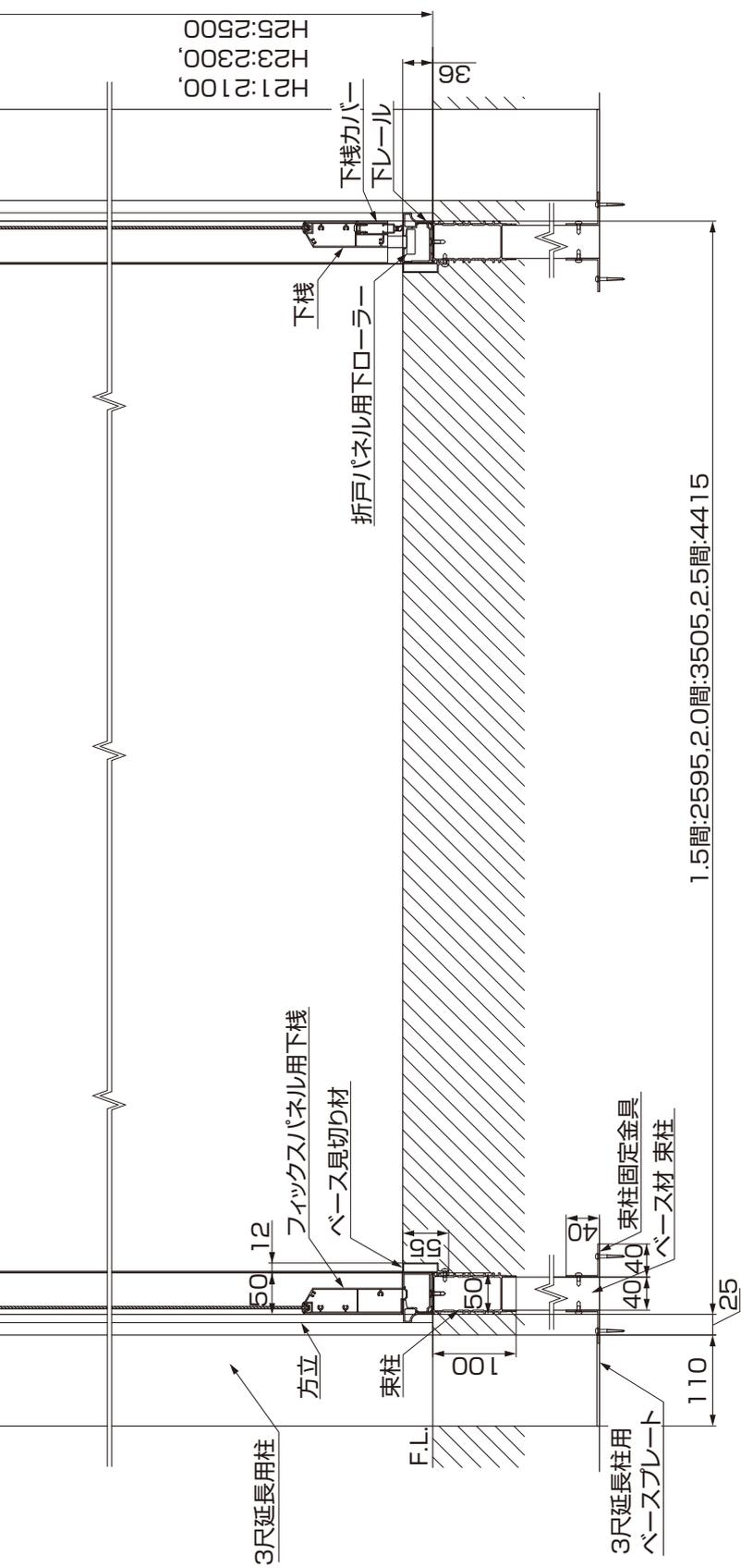


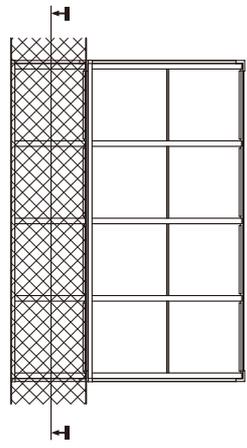
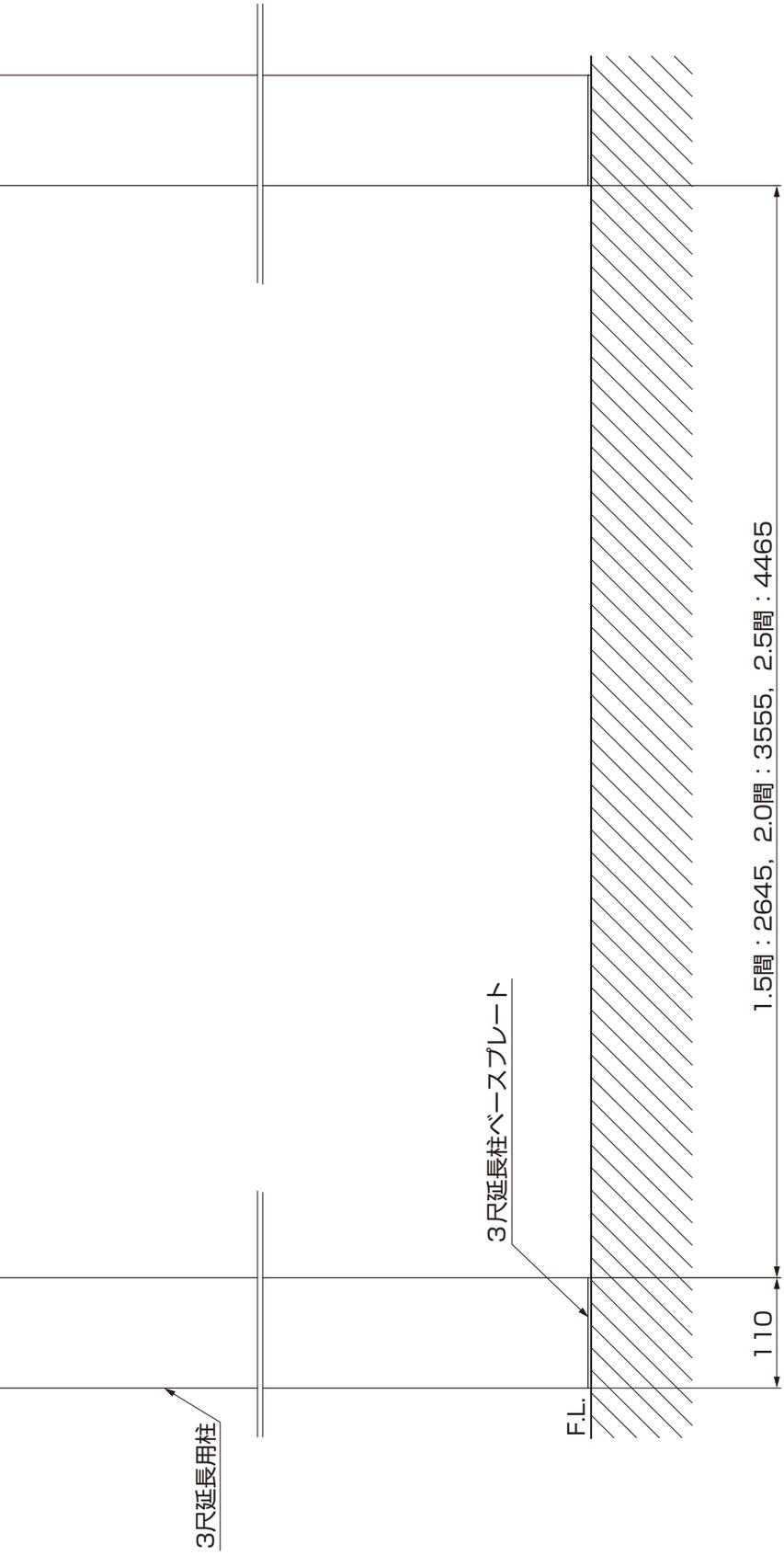
3. (つづき)

3-2 つづき

(3) 基本+3尺バルコニー下納まり



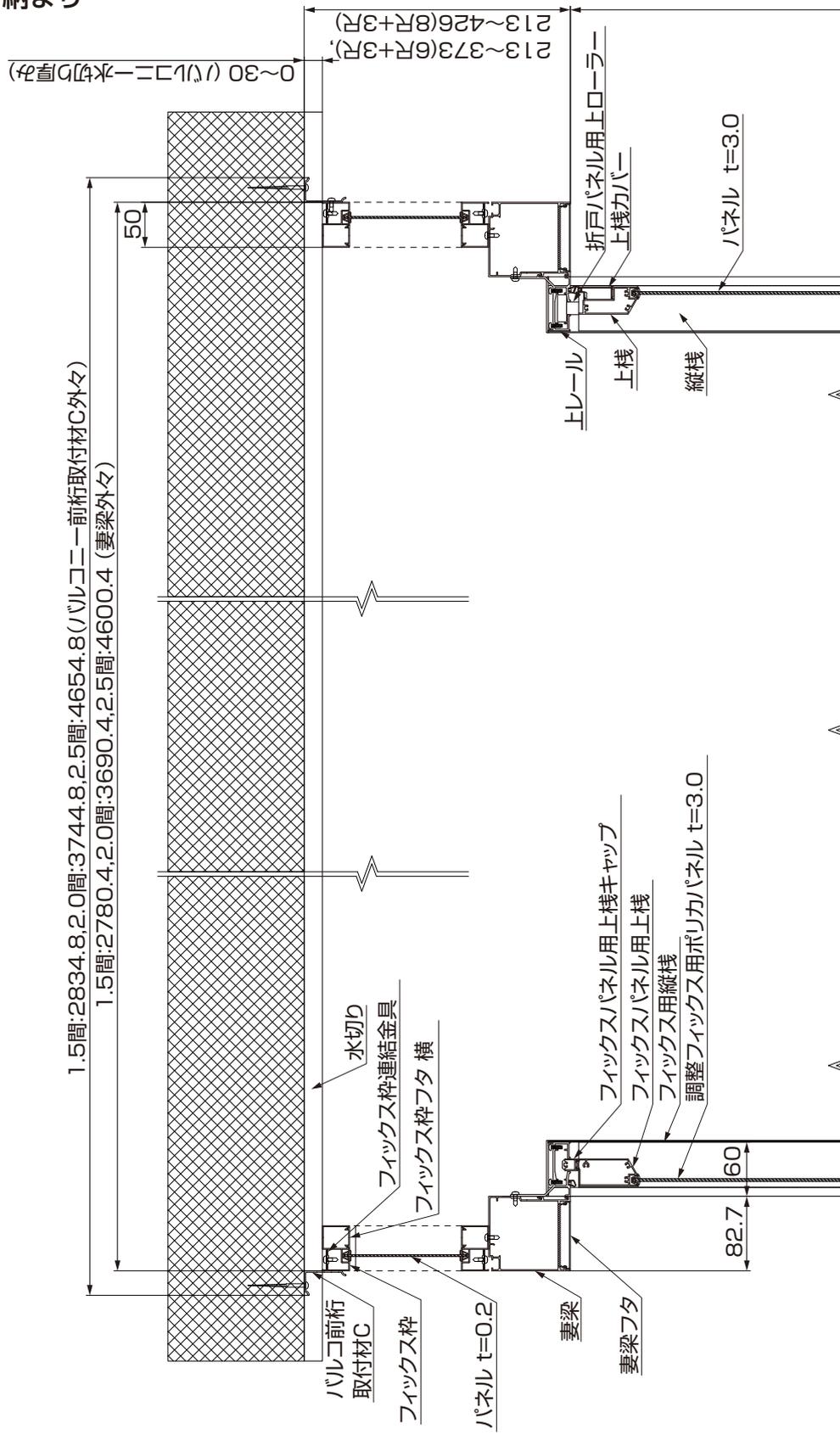


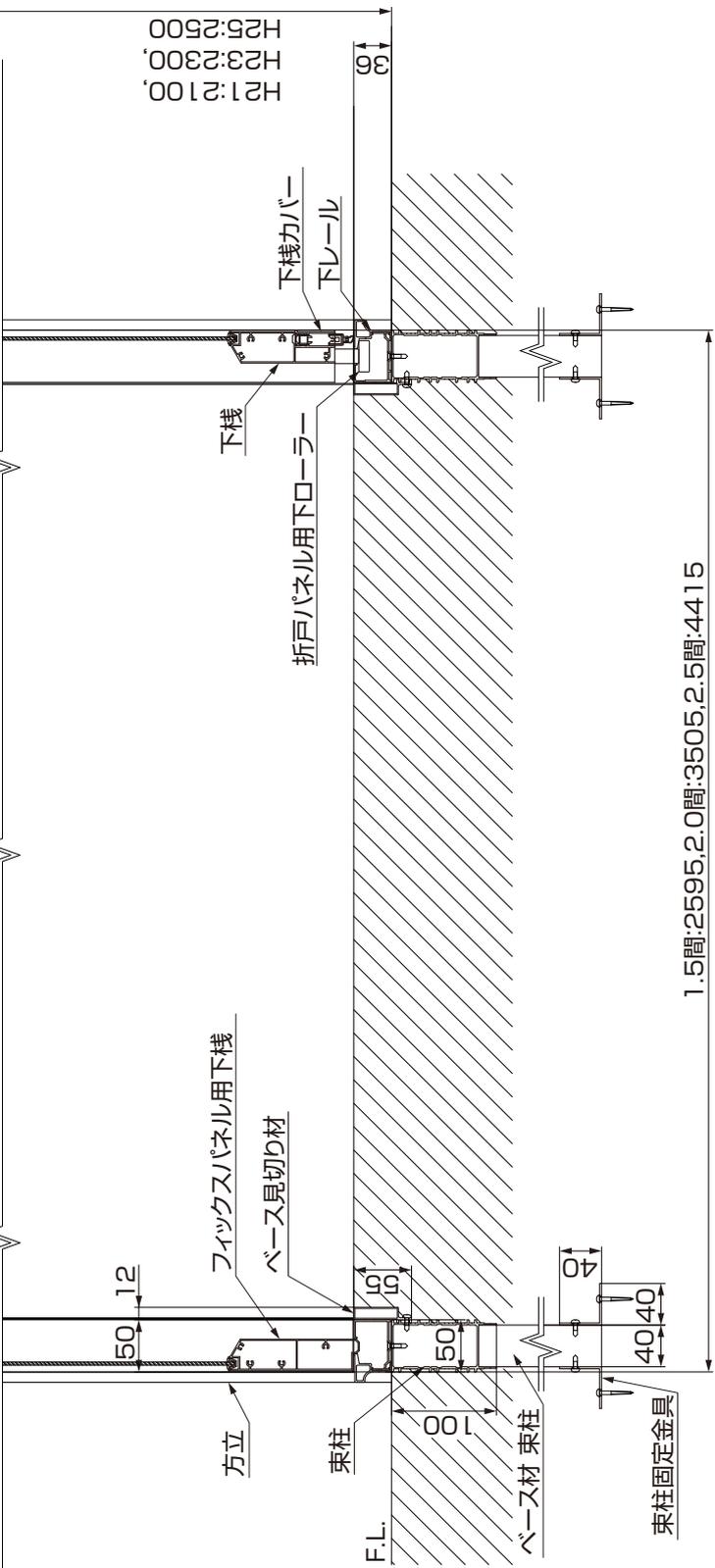


3. (つづき)

3-2 つづき

(5) 基本+3尺バルコニー前納まり

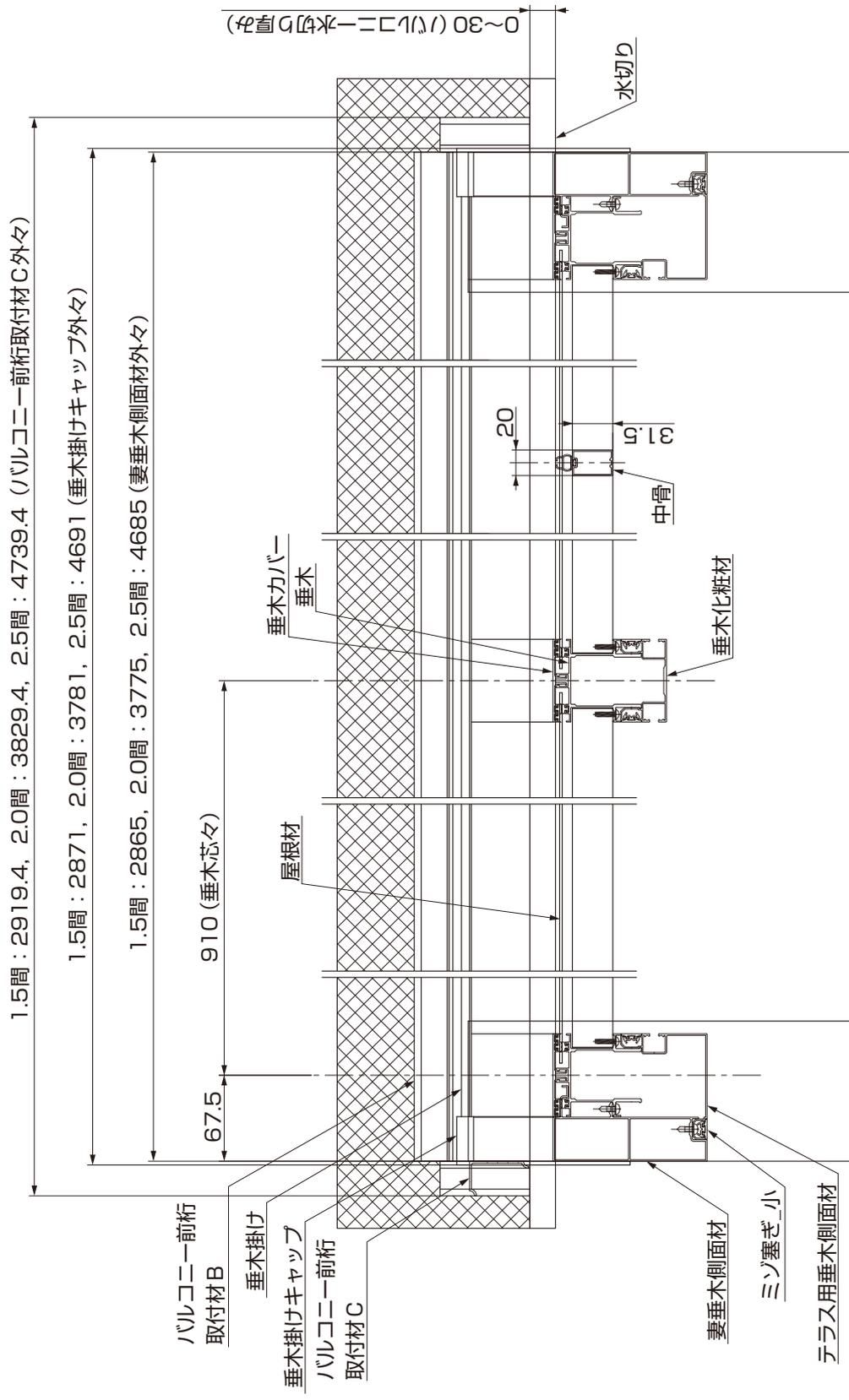


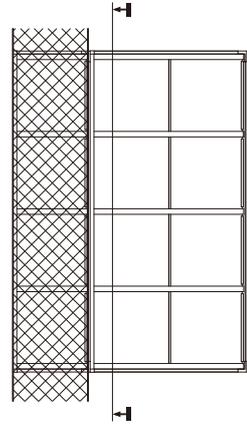
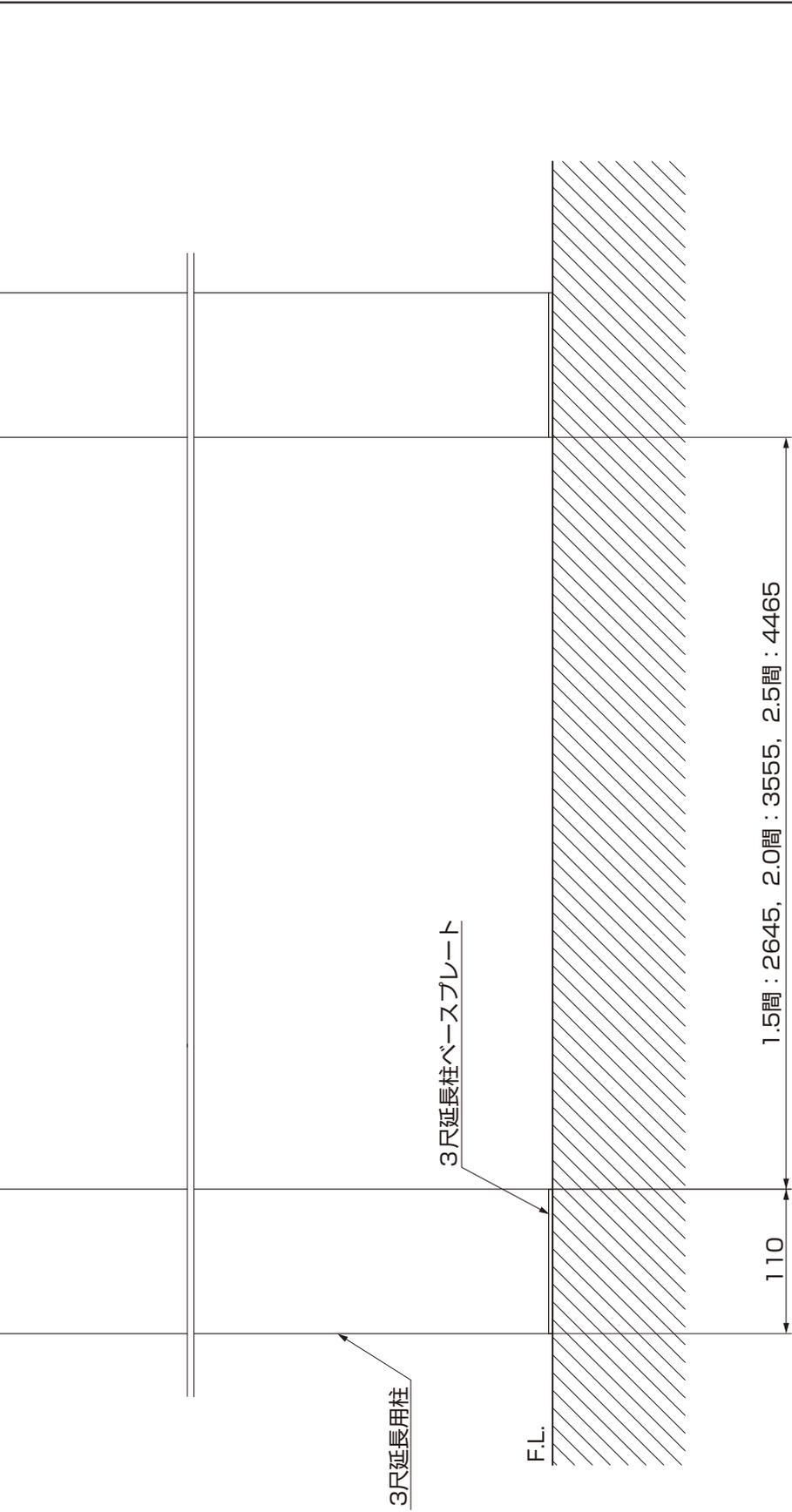


3. (つづき)

3-2 つづき

(6) 基本+3尺バルコニー前納まりテラスタイプ (妻梁上部側面フィックスなし)





4. 施工前の重要確認事項

4-1 柱・垂木掛けの取付け ※本製品でG.L.は束柱上のラインとします。

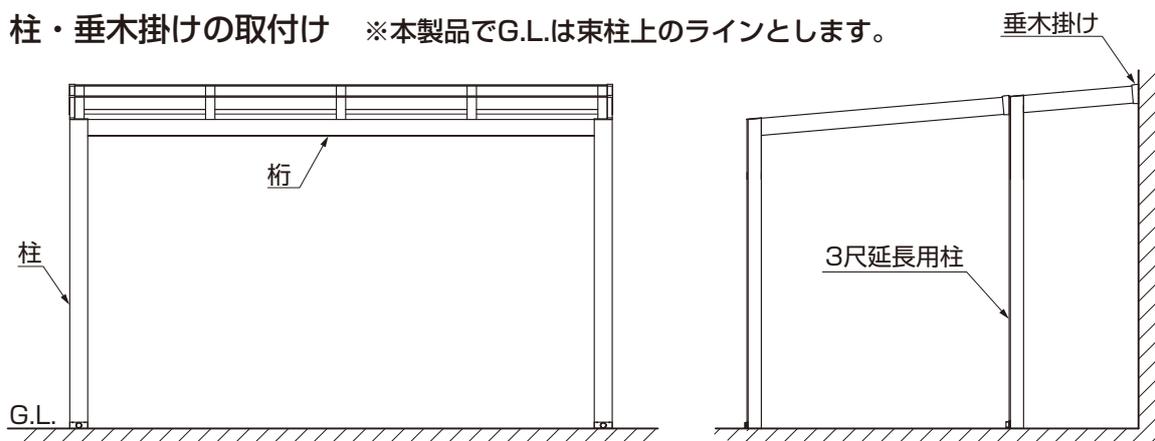


図4-1

表4-1 垂木掛け固定位置 [2-A]、[2-B]、[3-A] の場合 (F.L.～垂木掛け下面)

	6尺+3尺	許容範囲		8尺+3尺	許容範囲
H2100	2416.4 (2100+316.4)	2414~2417	H2100	2468.9 (2100+368.9)	2466~2469
H2300	2616.4 (2300+316.4)	2614~2617	H2300	2668.9 (2300+368.9)	2666~2669
H2500	2816.4 (2500+316.4)	2814~2817	H2500	2868.9 (2500+368.9)	2866~2869

表4-2 垂木掛け固定位置 [1-A]、[1-B] の場合 (バルコニー前に取付ける垂木掛けの設置位置)

	6尺+3尺	許容範囲		8尺+3尺	許容範囲
H2100	2338.3 (2100+238.3)	2336~2339	H2100	2390.8 (2100+290.8)	2388~2391
H2300	2538.3 (2300+238.3)	2536~2539	H2300	2590.8 (2300+290.8)	2588~2591
H2500	2738.3 (2500+238.3)	2736~2739	H2500	2790.8 (2500+290.8)	2788~2791

表4-3 垂木掛け固定位置 [1-B] の場合 (躯体に取付ける部分屋根側の垂木掛けの設置位置)

	6尺+3尺	許容範囲		8尺+3尺	許容範囲
H2100	2442.6 (2100+342.6※)	2440~2443	H2100	2495 (2100+395※)	2492~2495
H2300	2642.6 (2300+342.6※)	2640~2643	H2300	2695 (2300+395※)	2692~2695
H2500	2842.6 (2500+342.6※)	2840~2843	H2500	2895 (2500+395※)	2892~2895

※3尺延長部分が最大1200mmの場合の数値になります。「3. 断面納まり図 3-1 出幅断面納まり図」を確認して垂木掛け下面の寸法を計算してください。また、許容範囲は、計算結果に対して+1mm、-2mmとなります。

表4-4 柱埋込み深さ、加工寸法

	標準寸法	許容範囲
埋込み仕様 (埋込み深さ)	550	450~553 (※1)
ベースプレート仕様 (柱切断長)	553	553~555 (※2)

ポイント

- 柱の長さは、埋込み寸法の最大値を550mm、G.L.～F.L.寸法の最大値を550mmとして設定しております。
- 柱を埋込む仕様で、埋込み寸法、G.L.～F.L.寸法がいずれも550mmよりも短い場合は、それぞれ550mmとの差を規定の切断寸法に加えて切断してください。柱の埋込み寸法は必ず450mm以上を確保してください。(※1)
例) 柱埋込み寸法450mm、G.L.～F.L.寸法500mmの場合：(550mm-450mm) + (550mm-500mm) = 150mmとなるので、指定切断寸法に150mmを加算して切断してください。
- 柱をベースプレート固定する仕様で、G.L.～F.L.寸法が550mmよりも短い場合は、550mmとの差を規定の切断寸法に加えて切断してください。
- それぞれが短くなった分、エクシオールおよびテラスの高さを高くしないでください。
- 「2. 基本寸法図」、「3. 断面納まり図」を参照して柱、垂木掛け等の位置出しを行なってください。
- ルームタイプでは垂木掛けの固定の高さ、柱の埋込みや柱の切断寸法は表4-1、表4-2、表4-3の許容範囲に納まるように施工してください。許容範囲外で施工した場合、パネルのボトム材の作動に悪影響をきたし、雨水などの浸入の原因になります。
- 柱の垂直出しは確実に行ってください。躯体からの距離は基準にしないでください。

4. (つづき)

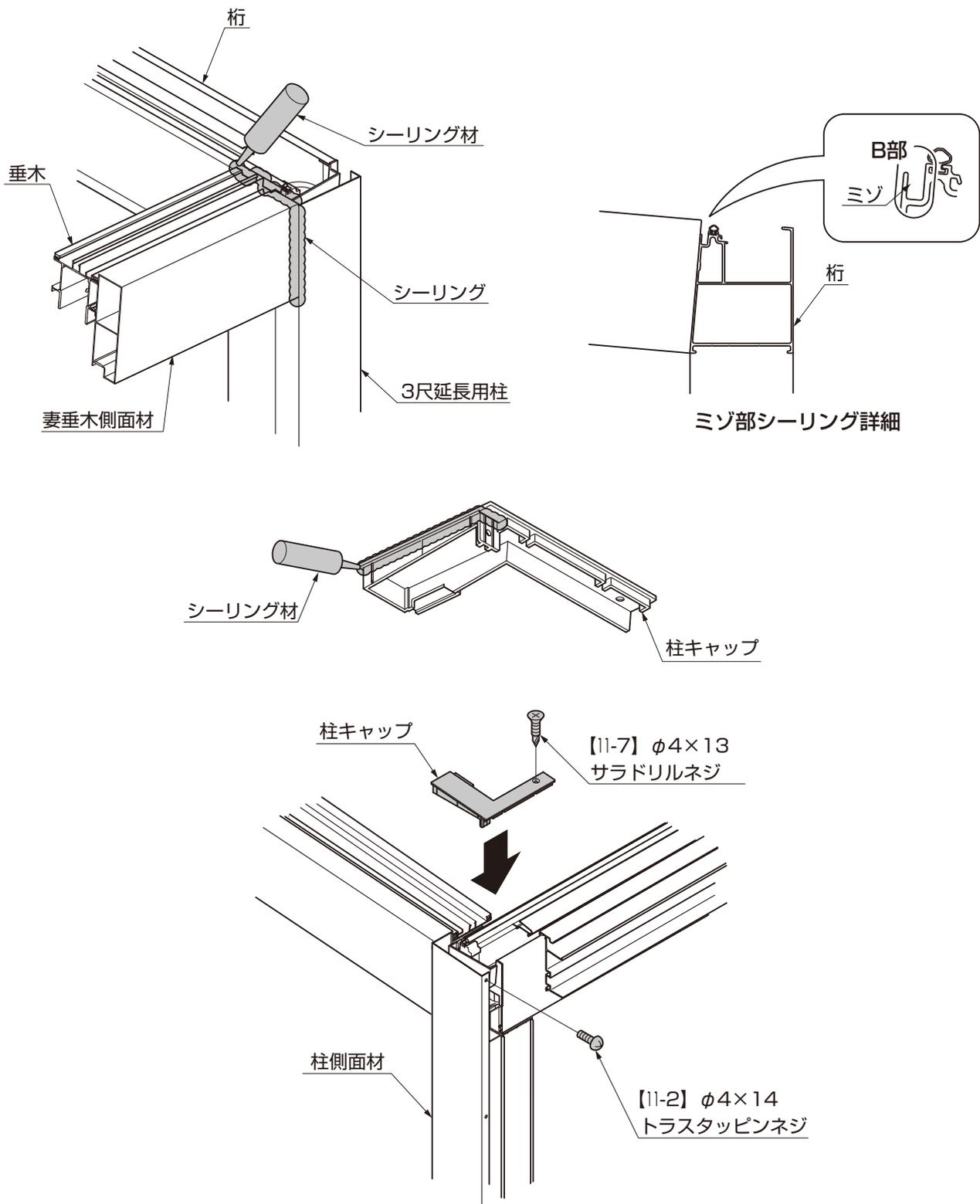


図4-4 柱キャップ、柱・妻垂木側面材

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- A部、B部のミゾは、シーリングで埋めないようにしてください。(図1-2、図1-3参照)

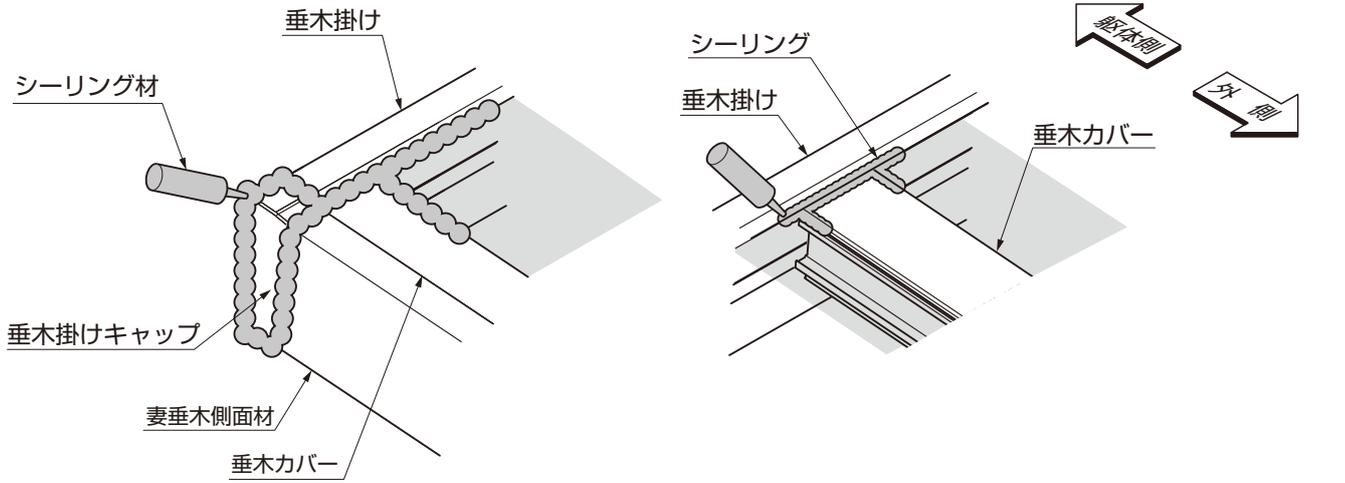


図4-5 垂木掛け、垂木掛けカバー

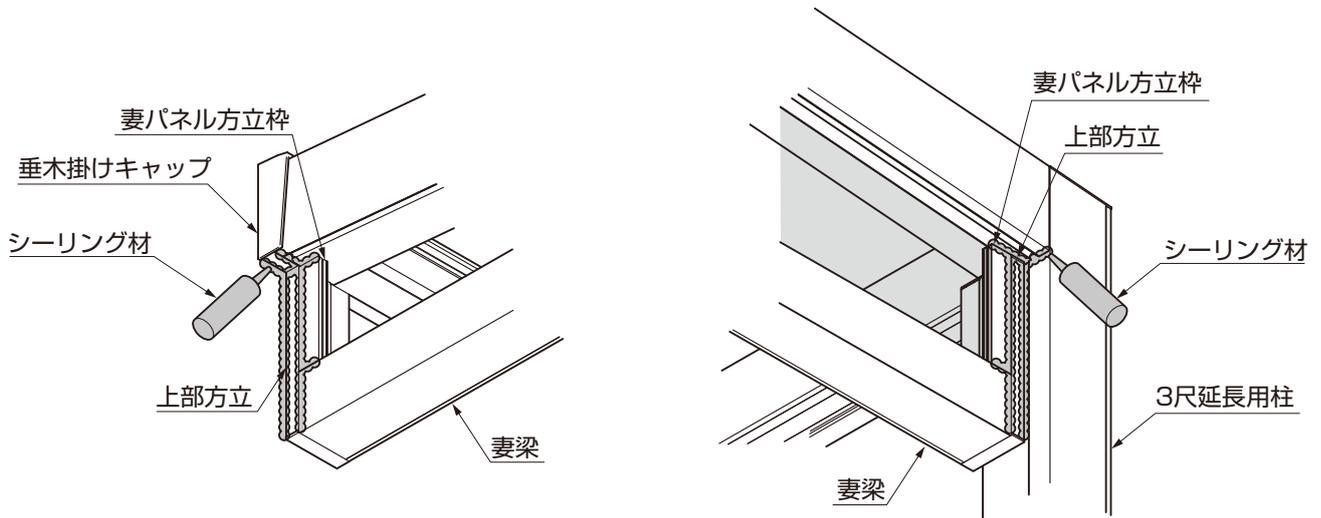


図4-6 垂木掛けキャップ・上部方立・妻パネル方立枠・垂木・妻垂木側面材

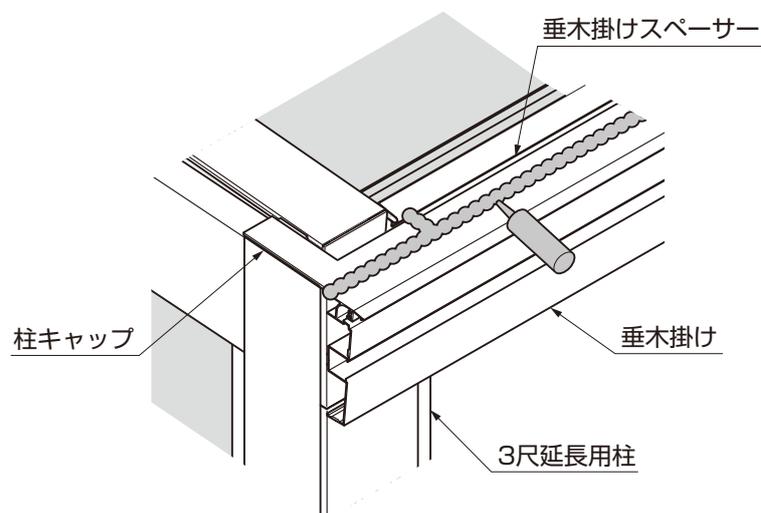


図4-7 垂木掛けスペーサー

4. (つづき)

(2) バルコニー前タイプの場合

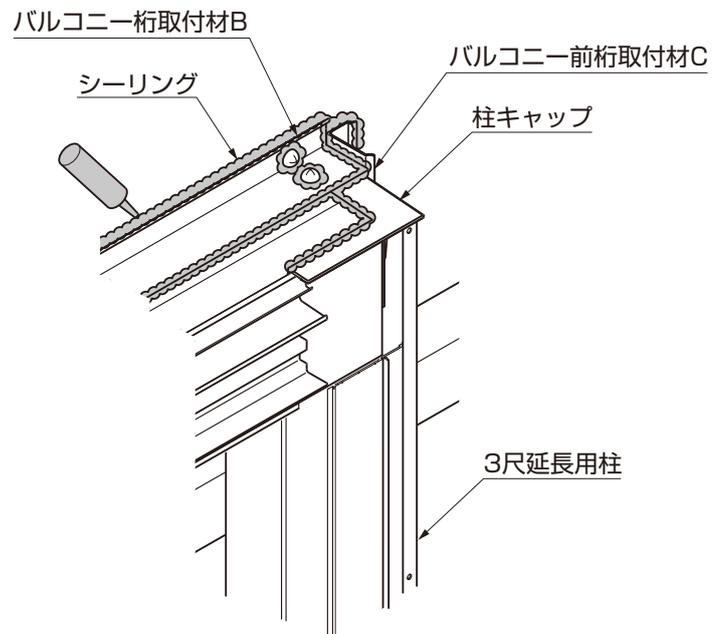
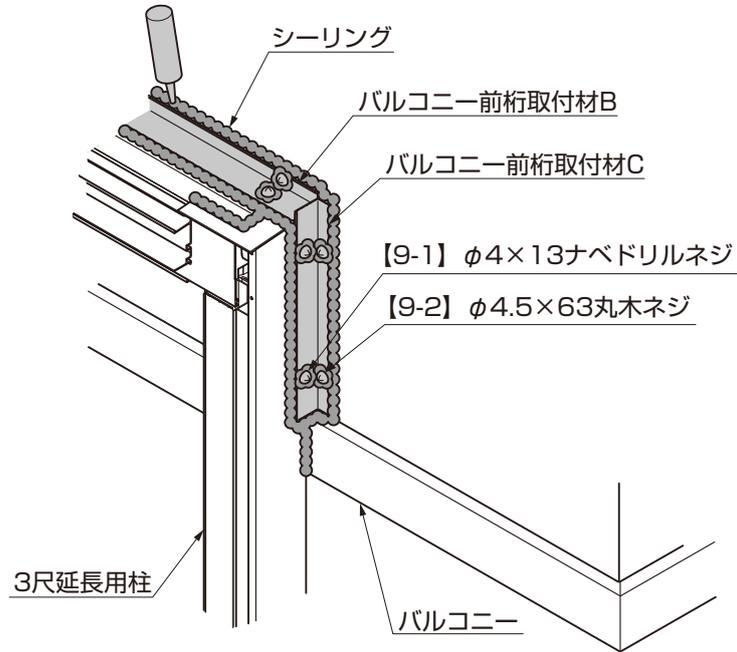


図4-8 バルコニー前桁取付材B・C、柱キャップ

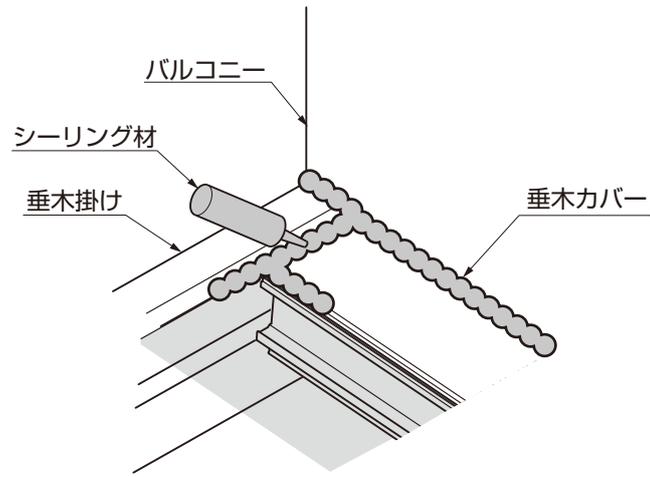


図4-9 バルコニー隣接部

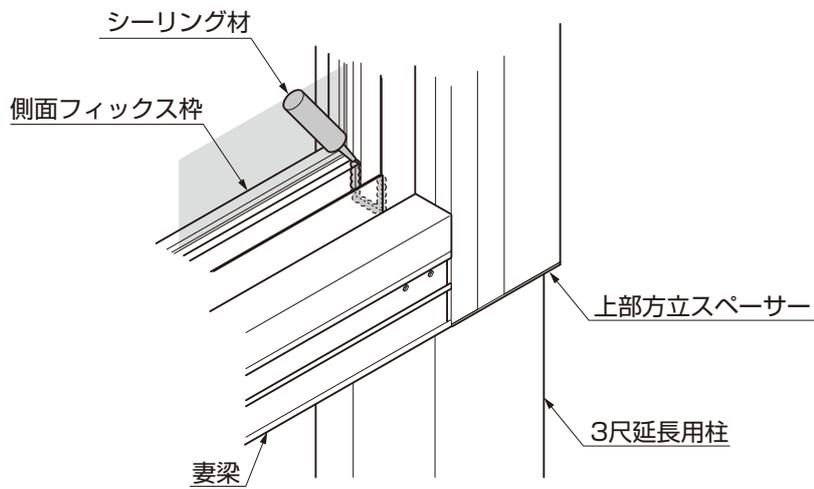
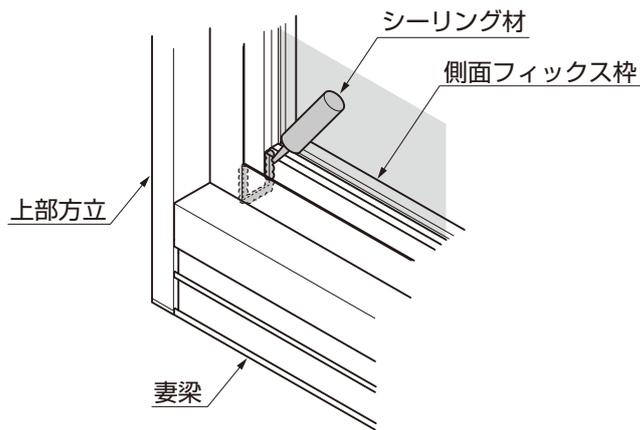
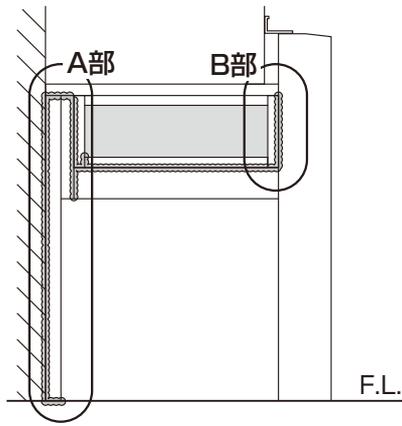


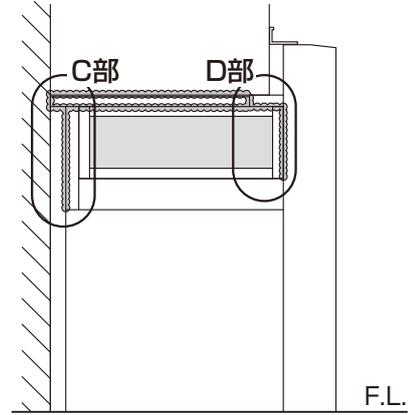
図4-10 フィックス枠縦、フィックス枠横

4. (つづき)

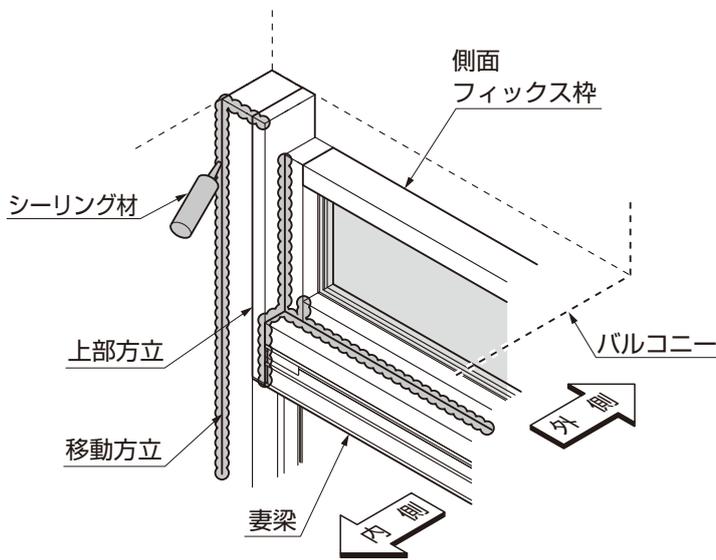
1-A
1-B



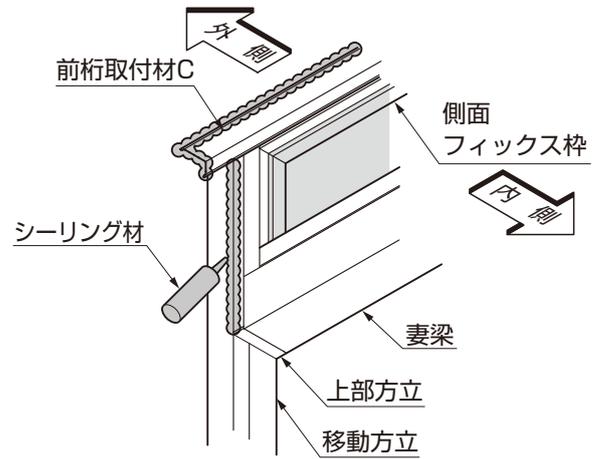
内側からのシーリング箇所



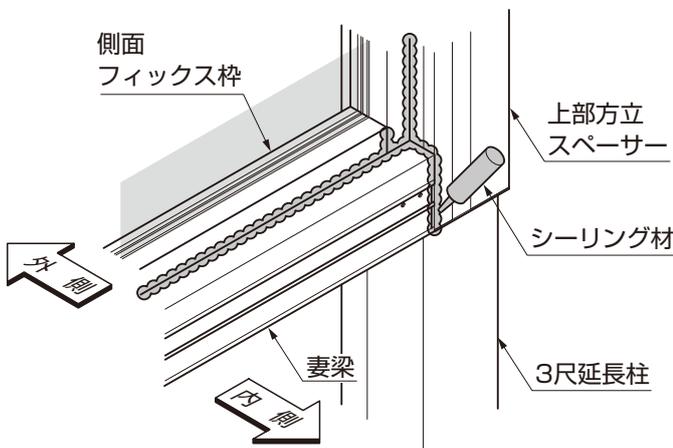
外側からのシーリング箇所



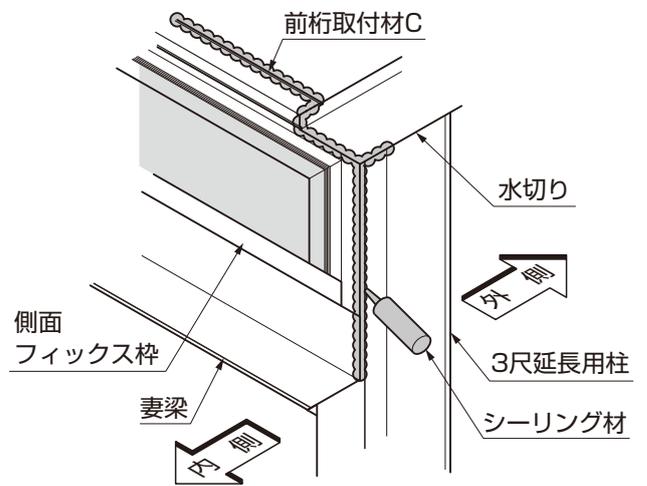
A部詳細図



C部詳細図



B部詳細図



D部詳細図

図4-11 側面側フィックス枠

(3) バルコニー下タイプの場合

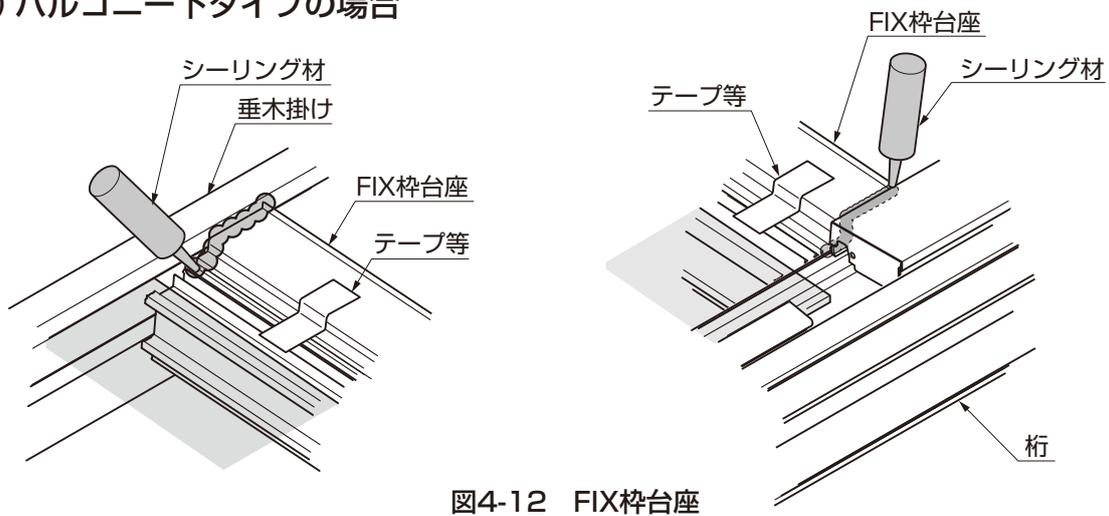


図4-12 FIX柵台座

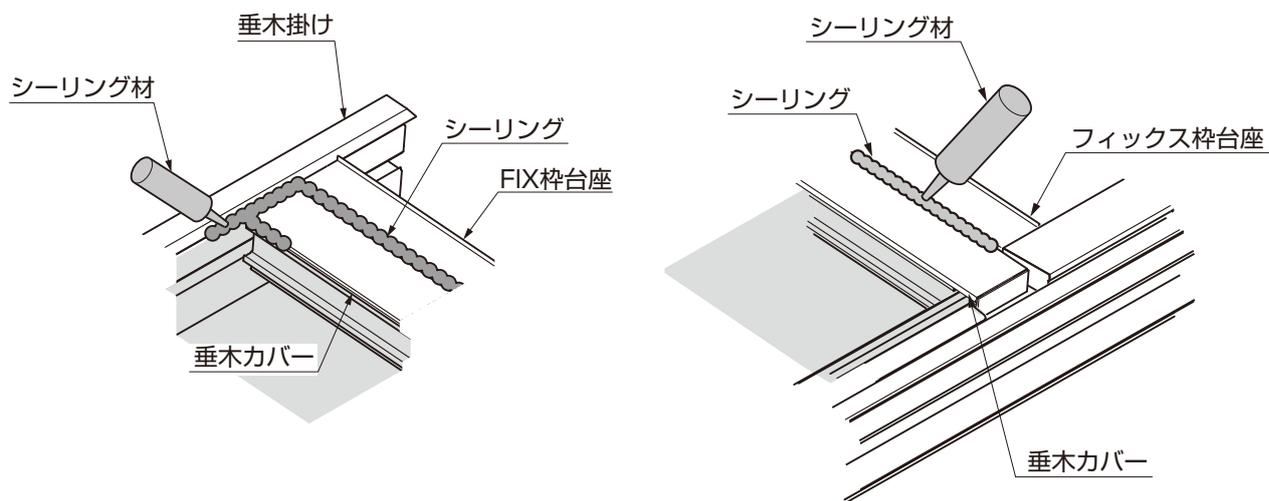


図4-13 垂木カバー、FIX柵台座

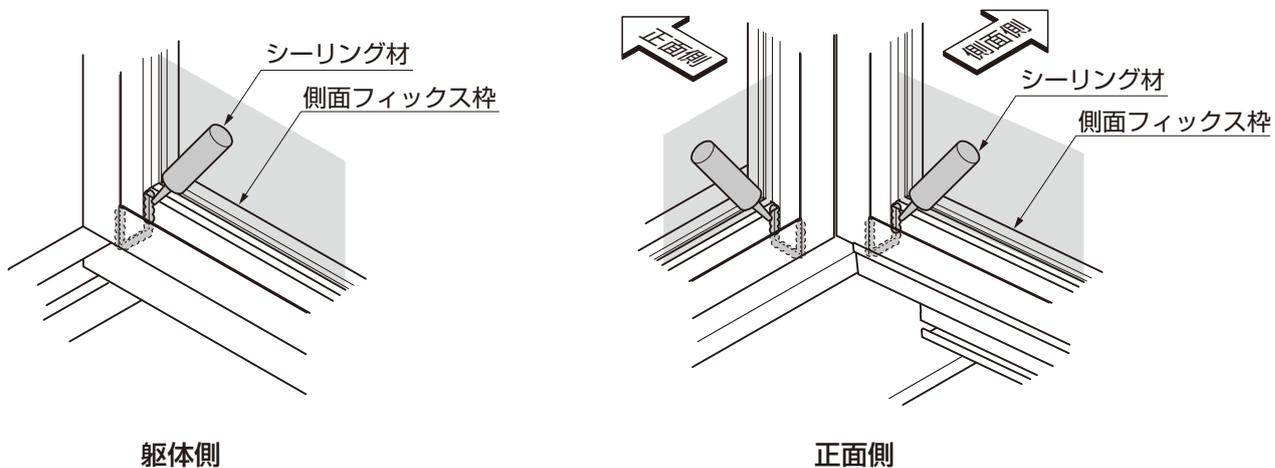
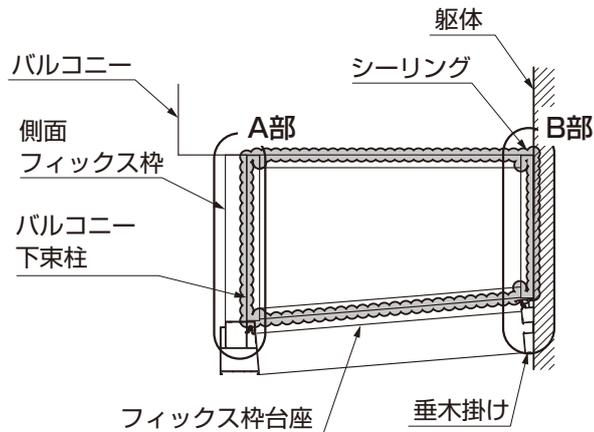
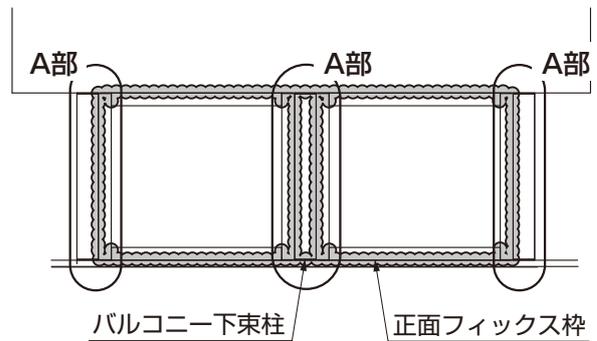


図4-14 フックス柵

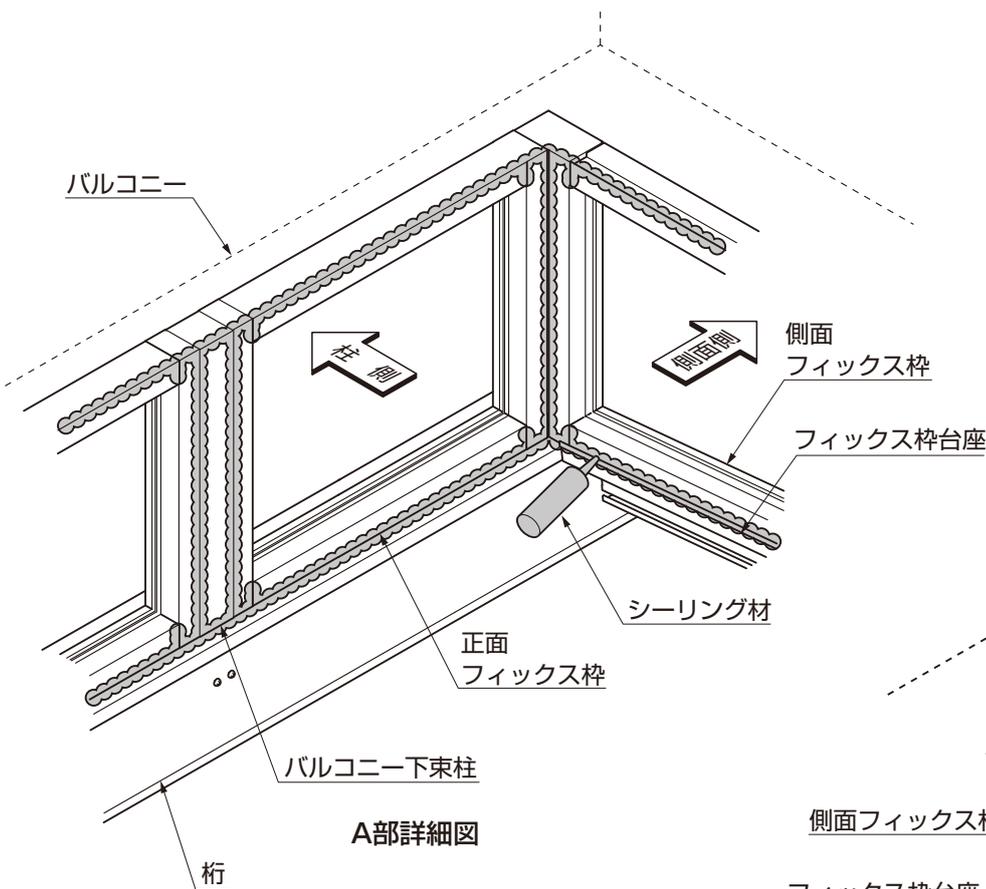
4. (つづき)



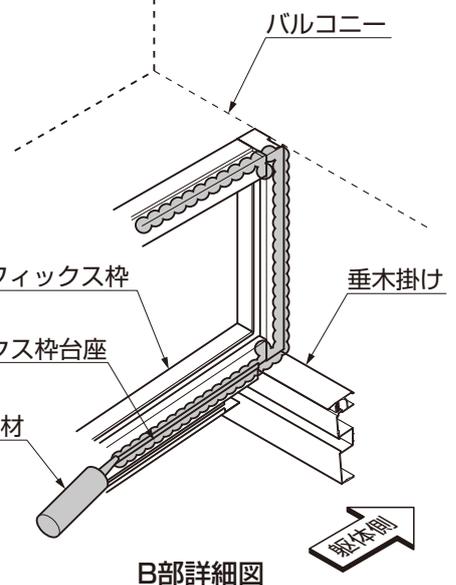
側面フィックス枠内側からのシーリング箇所
 ← 柱側 躯体側 →



正面フィックス枠内側からのシーリング箇所



A部詳細図



B部詳細図

図4-15 側面・正面フィックス枠 内側からのシーリング箇所

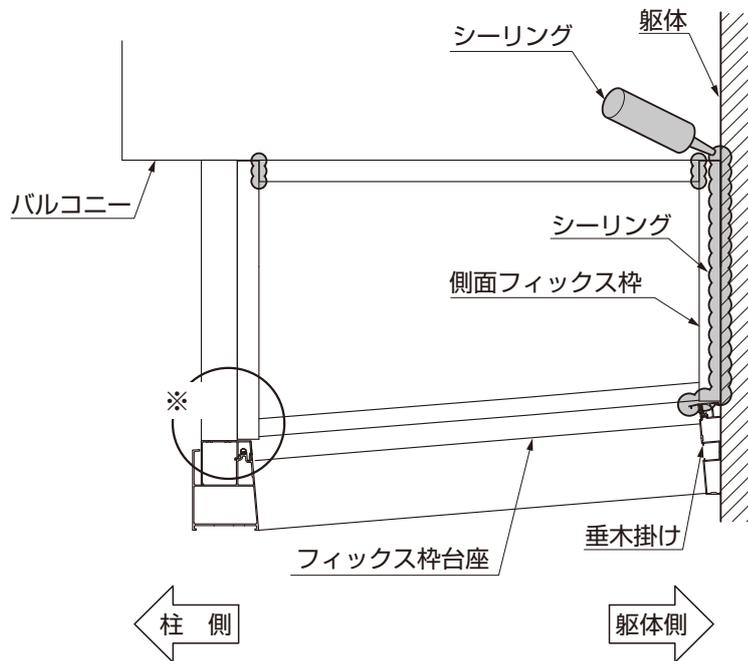


図4-16 側面フィックス枠 外側からのシーリング箇所

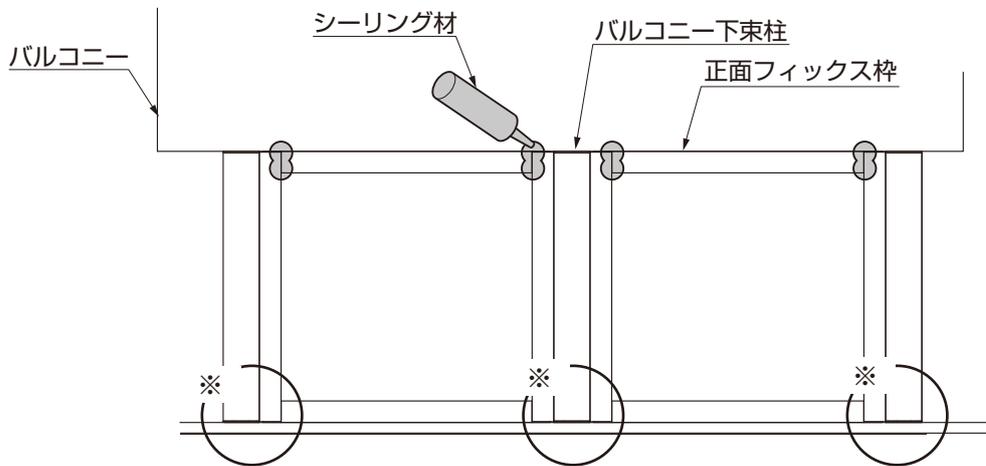


図4-17 正面フィックス枠 外側からのシーリング箇所

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
- ※指定の箇所には、シーリングをしないでください。部材の中に入った雨水が排水できずに、ルーム内へ流れ出す場合があります。

5. 水盛遣方・水糸張り

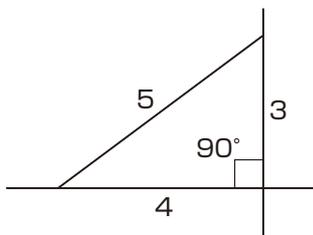
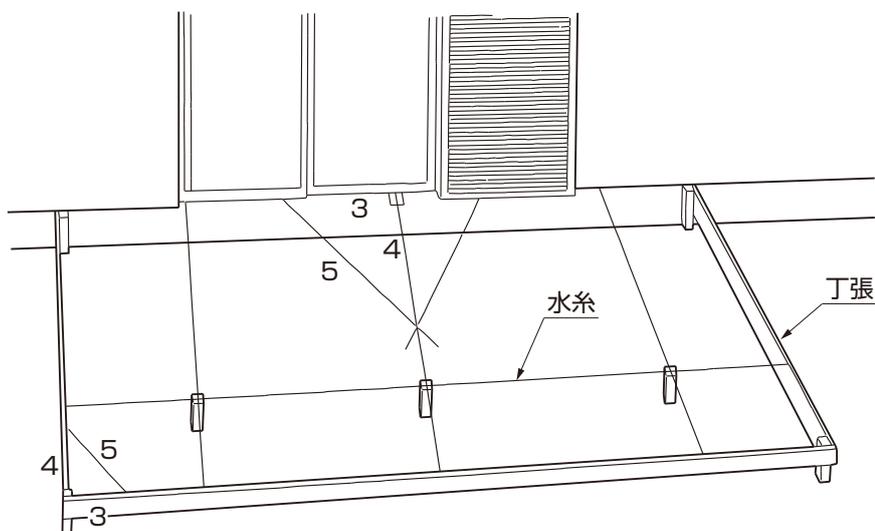


図5-1 直角出し寸法

- ① 「2. 基本寸法」、「3. 断面納まり図」を参照して本体の取付位置およびフロアの高さを決めてください。
- ② 前面・両側面に丁張を組んでください。
- ③ 躯体に柱寸法の印をつけ、図5-1の方法で直角をだし、束柱の位置を出してください。
- ④ 束柱の位置から、両側の柱位置を決めてください。
- ⑤ 基準となる箇所の寸法を図5-2を参照し、必要部分の墨出しをしてください。

ポイント

- ルームタイプの場合は、下レール取付けレベルの高さを正確に位置出しし、水平に土間を仕上げてください。下レール取付けレベルの高さが正確でないとパネルの開閉に支障が出る場合があります。
- 丁張の位置は本体外寸より前面・両側面ともにやや大きめに決めてください。
- 丁張は水準器等で水平を取ってください。
- 各コーナーの直角を定規、図5-1の方法等で割り出してください。

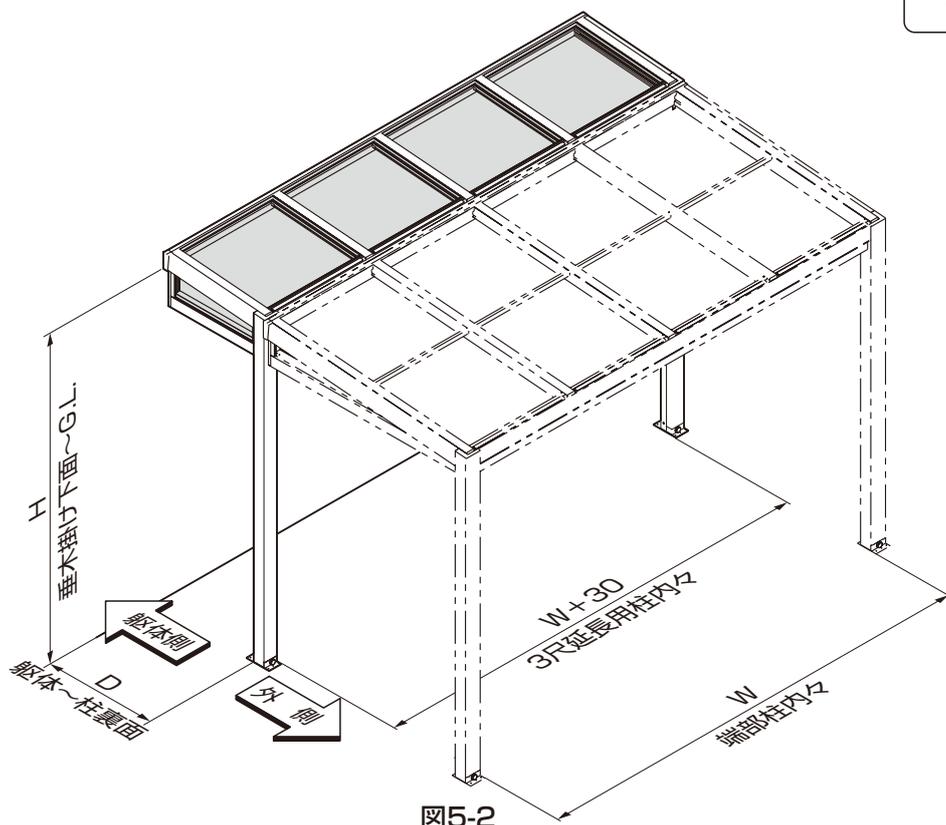


図5-2

6. 垂木掛けの取付け

6-1 垂木掛けの加工 ※ [1-A]、[3-A]はこの作業を行ないません。

(1) [2-A]、[2-B] の場合

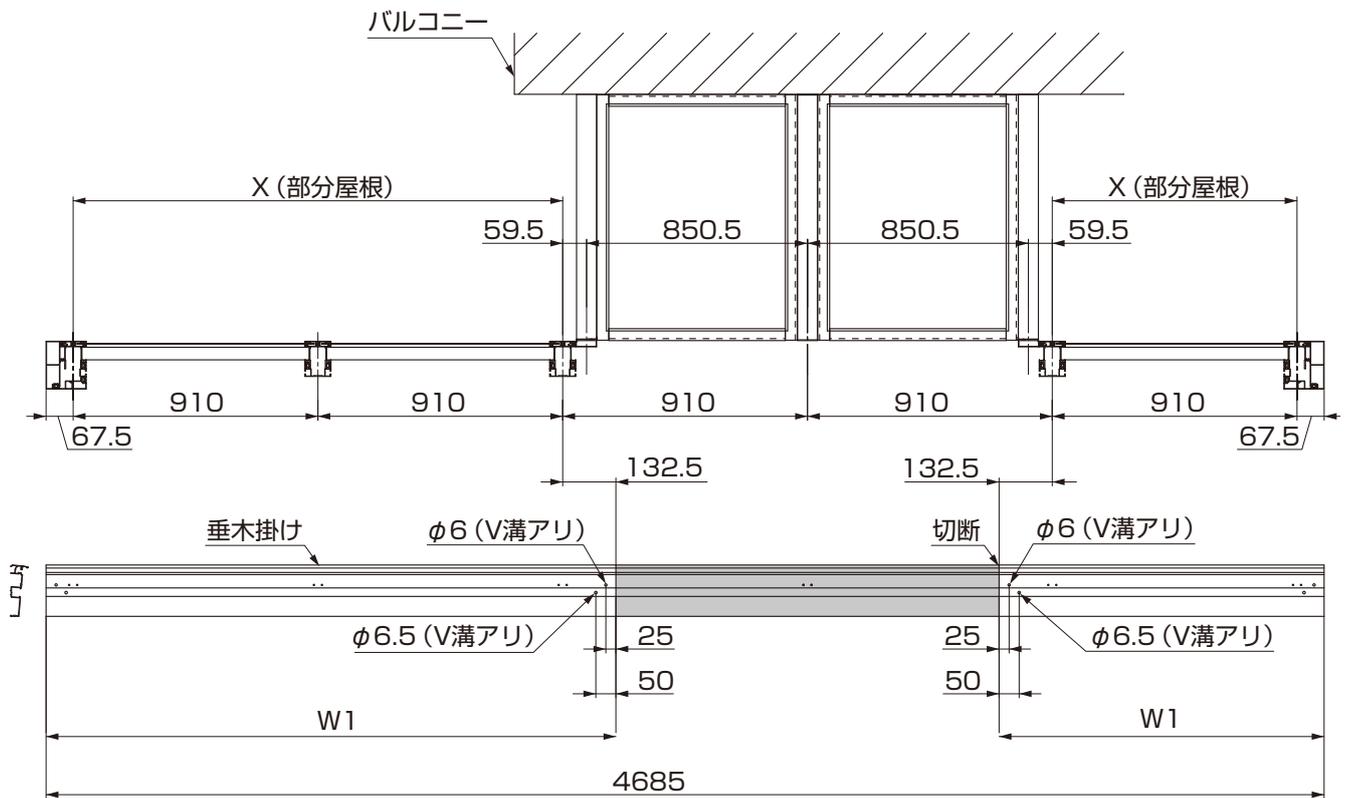


図6-1

表6-1 垂木掛け加工寸法表

X (部分屋根)	W1
部分屋根なし	200
910 (0.5間)	1110
1820 (1.0間)	2020
2730 (1.5間)	2930
3640 (2.0間)	3840

①施工する各タイプの基本寸法を確認して、バルコニー下にくる垂木掛けを図6-1、表6-1を参照して加工してください。

ポイント

- [2-A] の場合は、垂木掛けは両端部200mmずつになります。

6. (つづき)

(2) [1-B] の場合

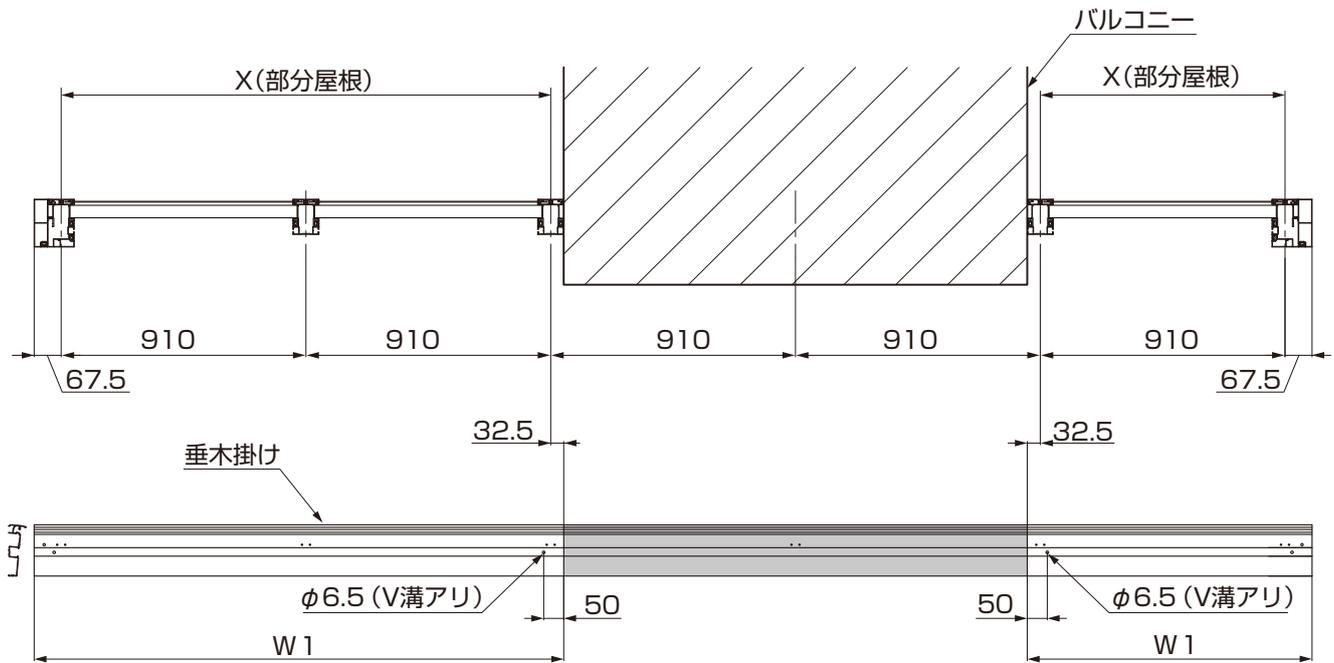


図6-2

表6-2 垂木掛け加工寸法表

X (部分屋根)	W1
部分屋根なし	垂木掛けなし
910 (0.5間)	1010
1820 (1.0間)	1920
2730 (1.5間)	2830
3640 (2.0間)	3740

①基本寸法を確認して垂木掛けを図6-2、表6-2を参照して加工してください。

ポイント

- 垂木掛けは、バルコニー側面に突き当てる納まりになります。

6-2 垂木掛けの取付け ※ [1-A] はこの作業を行いません。

(1) [3-A] の場合

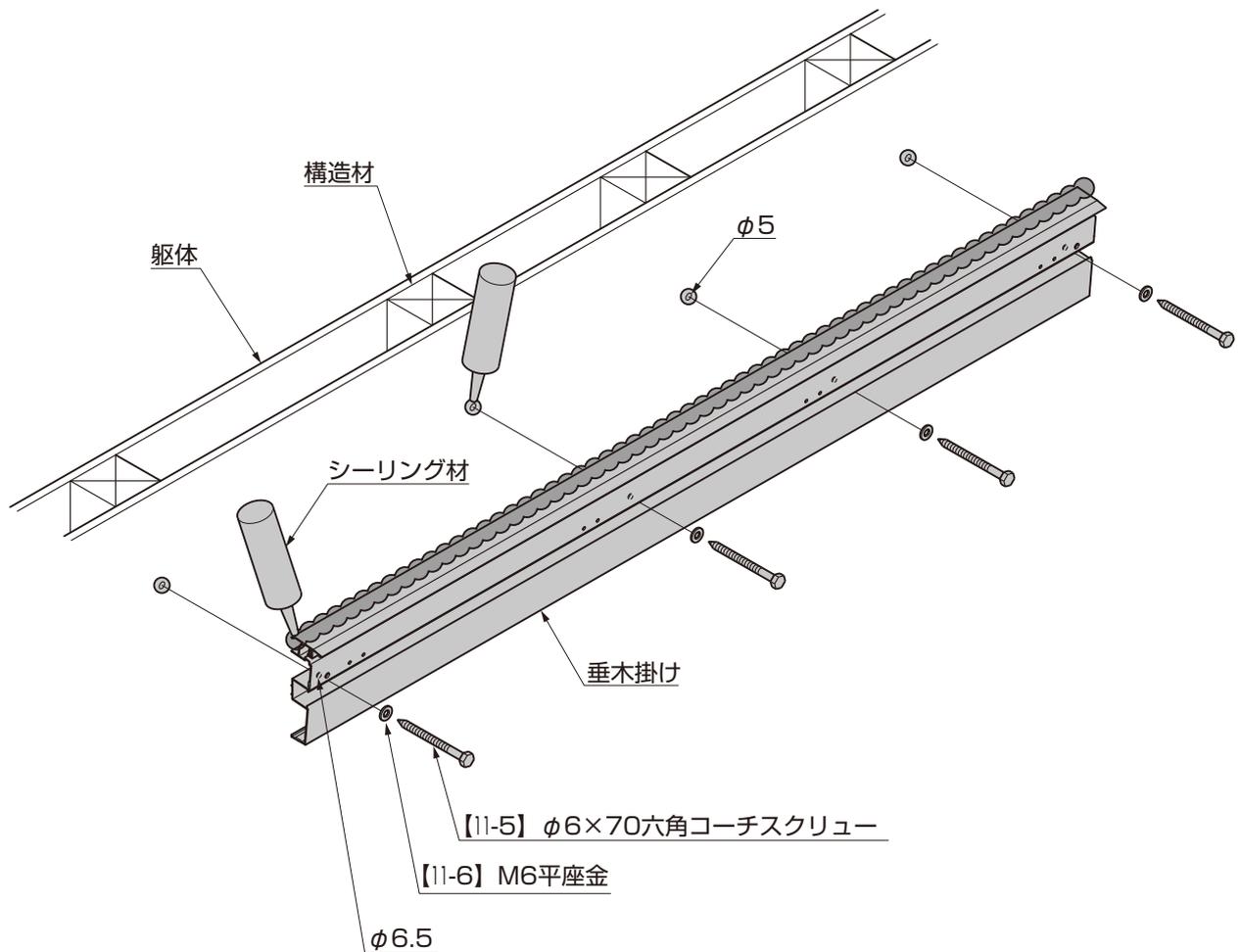


図6-3

- ①垂木掛けV溝部にφ6.5の穴をあけてください。
- ②垂木掛け取付け用穴位置を躯体にけがいて、φ5の下穴をあけてください。
- ③垂木掛けを躯体に、【11-5】、【11-6】で取付けてください。

⚠ 注意

- 垂木掛けは強度確保のため、必ず躯体構造材に取付けてください。

🔑 ポイント

- 垂木掛けの水平・垂直に注意してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

6. (つづき)

(2) [2-A]、[2-B] の場合

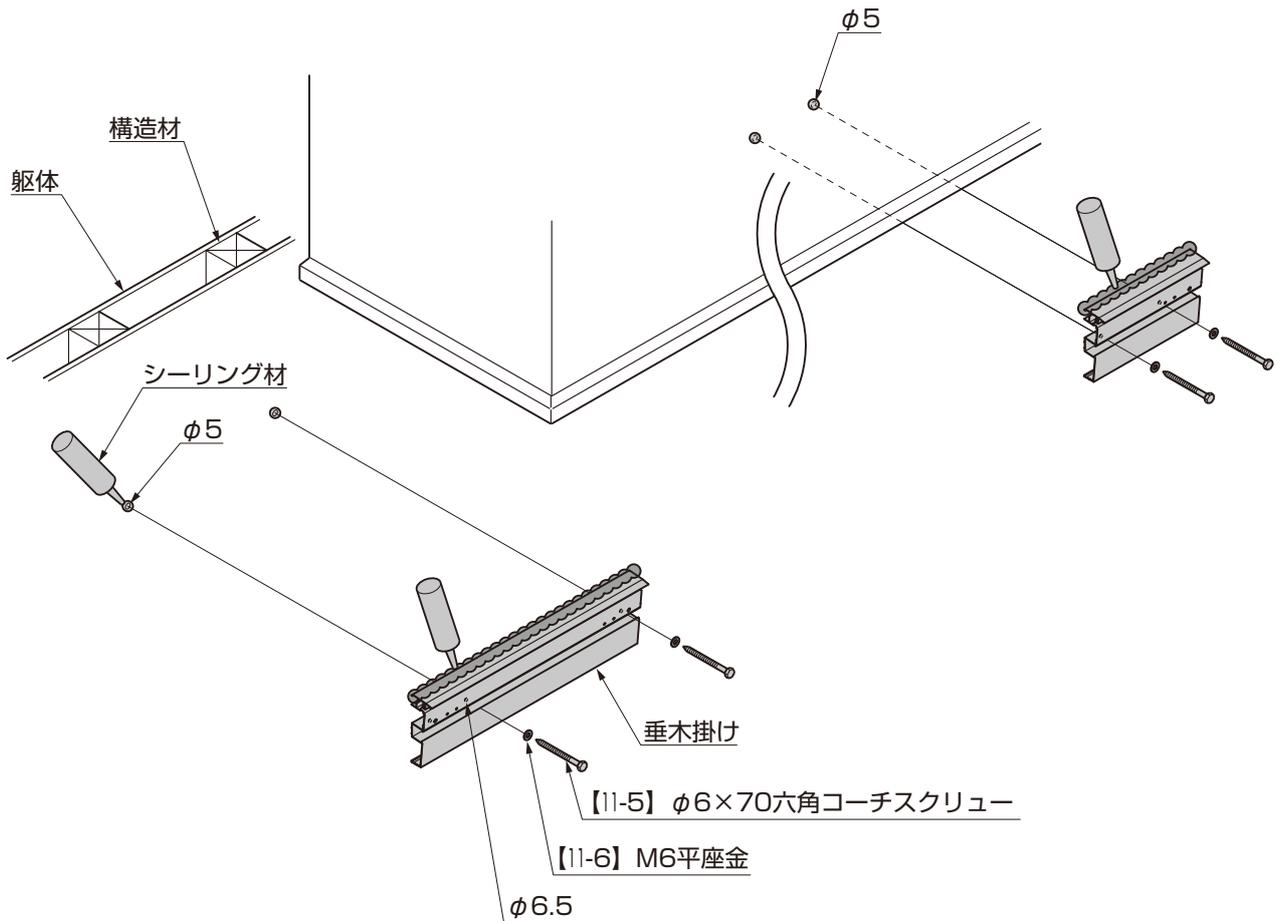


図6-4

- ①切断した垂木掛けV溝部にφ6.5の穴をあけてください。
- ②垂木掛け取付け用穴位置を躯体にけがいて、φ5の下穴をあけてください。
- ③垂木掛けを躯体に、【11-5】、【11-6】で取付けてください。

⚠ 注意

- 垂木掛けは強度確保のため、必ず躯体構造材に取付けてください。

🔑 ポイント

- 2つに切断している垂木掛けは必ず水平になるように取付けてください。
- 垂木掛けの水平・垂直に注意してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

(3) [1-B] の場合 ※左右に部分屋根が取付く場合は、左右に垂木掛けを取付けてください。

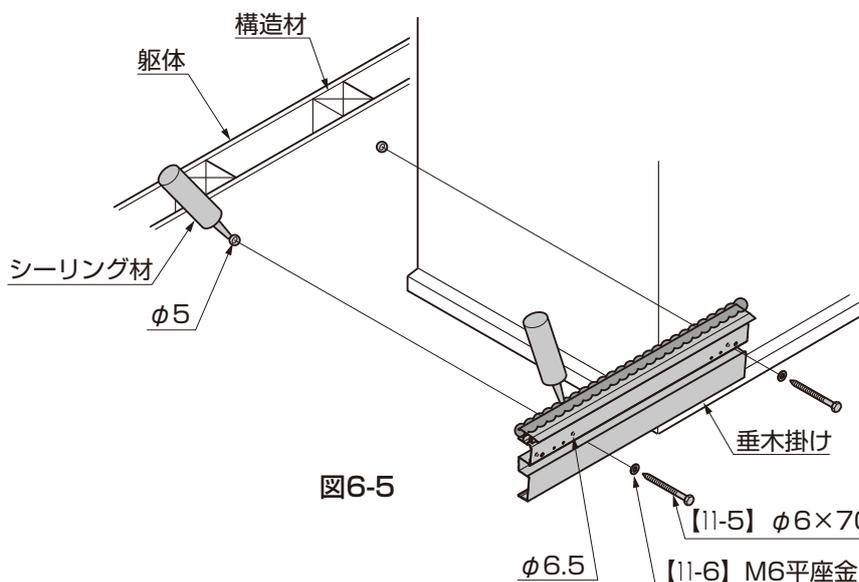


図6-5

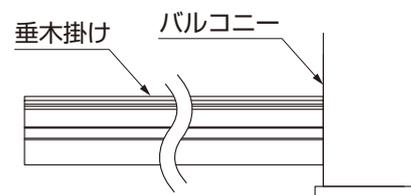


図6-6

- ①垂木掛けV溝部にφ6.5の穴をあけてください。
- ②垂木掛け取付け用穴位置を躯体にけがいて、φ5の下穴をあけてください。
- ③垂木掛けを図6-6のようにバルコニーに接する状態で躯体に、【11-5】、【11-6】で取付けてください。

注意

●垂木掛けは強度確保のため、必ず躯体構造材に取付けてください。

ポイント

- 垂木掛けの水平・垂直に注意してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

(4) 垂木組付金具の取付け

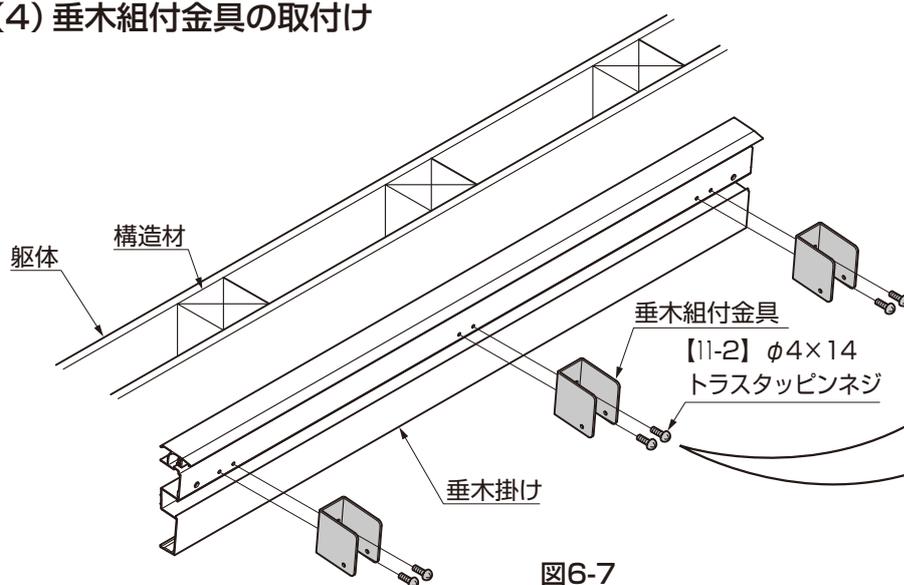


図6-7

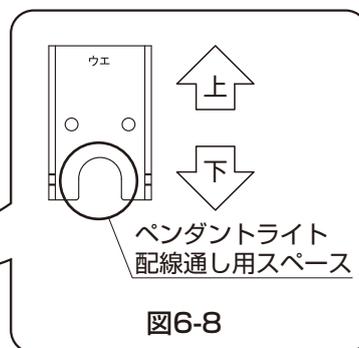


図6-8

- ①垂木組付金具を垂木掛けに【11-2】で取付けてください。

ポイント

●ペンダントライトなどを設置するために垂木内に配線をする場合、垂木組付金具は図6-8を参照して取付けてください。

7. 3尺延長用柱の建込み

7-1 3尺延長用柱の加工

(1) 3尺延長用柱埋込み仕様の場合

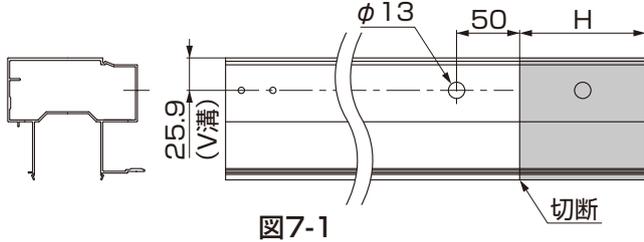


図7-1

表7-1 3尺延長用柱切断寸法

	H				(参考) F.L.より上部分の柱寸法H	
	6尺からの延長	8尺からの延長	6尺からの延長	8尺からの延長	6尺からの延長	8尺からの延長
H21	1167	1115	2350	2402		
H23	967	915	2550	2602		
H25	767	715	2750	2802		
H33(テラス)	52	-	3465	3517		

①図7-1と表7-1を参照して、3尺延長用柱を加工してください。

ポイント

- 柱の長さは、埋込み寸法の最大値を550mm、G.L.~F.L.寸法の最大値を550mmとして設定しております。
- 表7-1に記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず現場実寸法を確認してください。
- 柱は必ず下側より切断してください。
- 現場の埋込み寸法、G.L.~F.L.寸法がいずれも550mmよりも短い場合は、それぞれ550mmとの差を表7-1のH寸法に加えて切断してください。柱の埋込み寸法は必ず450mm以上を確保してください。
例) H21、6尺からの延長で、埋込み深さ450mm、G.L.~F.L.寸法が500mmの場合：
 $(550\text{mm}-450\text{mm}) + (550\text{mm}-500\text{mm}) = 150\text{mm}$ なので、柱下端より1167mm+150mm=1317mm切断してください。
- それぞれが短くなった分、エクシオールおよびテラスの高さを高くしないでください。

(2) 3尺延長用柱固定ベース仕様の場合

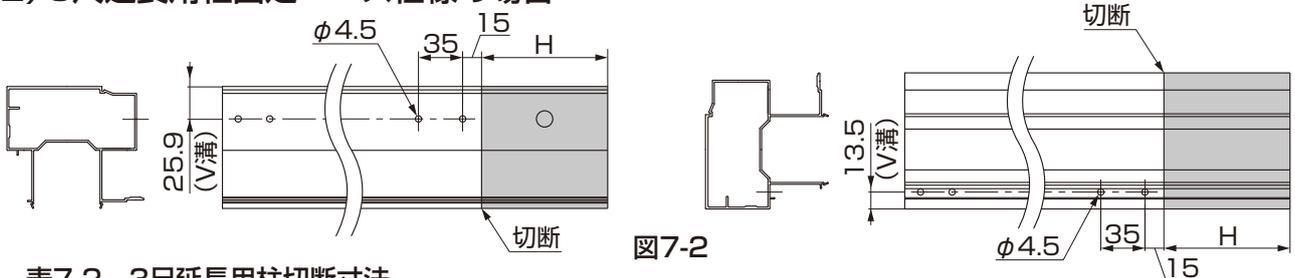


図7-2

表7-2 3尺延長用柱切断寸法

		H				(参考) F.L.より上部分の柱寸法H	
		内面デッキ立上げ		フラット床		6尺からの延長	8尺からの延長
		6尺からの延長	8尺からの延長	6尺からの延長	8尺からの延長		
標準柱	H21	1170	1118	1720	1668	2347	2402
	H23	970	918	1520	1468	2547	2602
	H25	770	718	1320	1268	2747	2802
	H33	-	-	605	553	3462	3517
ロング柱	H21	1720	1668	-	-	2347	2402
	H23	1520	1468			2547	2602
	H25	1320	1268			2747	2802

①図7-2と表7-2を参照して、3尺延長用柱を加工してください。

ポイント

- 柱の長さは、G.L.~F.L.寸法の最大値を550mmとして設定しております。
- 表7-2に記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず現場実寸法を確認してください。
- 柱は必ず下側より切断してください。
- 現場のG.L.~F.L.寸法が550mmより低い場合は、550mmとの差を表7-2のH寸法に加えて切断してください。
例) H21、内面立上げ、標準柱、6尺からの延長で、G.L.~F.L.寸法が400mmの場合：
 $550\text{mm}-400\text{mm} = 150\text{mm}$ なので、柱下端より1170mm+150mm=1320mm切断してください。
- それぞれが短くなった分、エクシオールおよびテラスの高さを高くしないでください。

7-2 3尺延長用柱の建込み

(1) 3尺延長用柱を埋込む場合

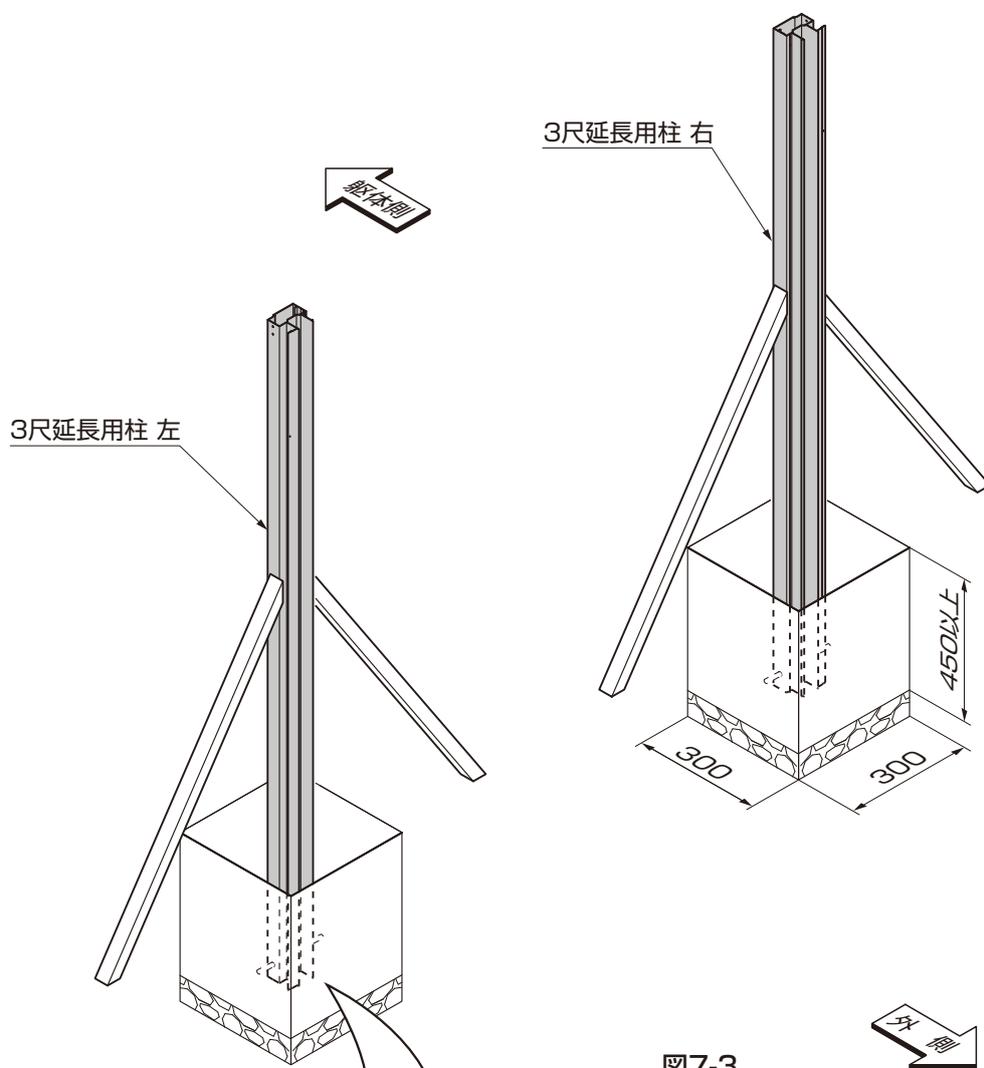
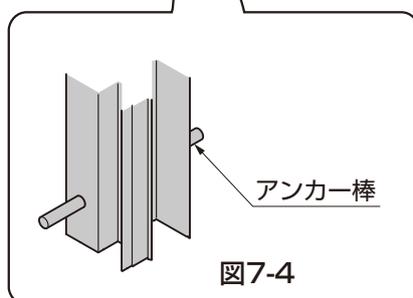


図7-3



- ①3尺延長用柱にアンカー棒を差込んで建込んでください。
- ②3尺延長用柱が倒れないように、カイモノ等で仮固定してください。

🔑ポイント

- 3尺延長用柱を固定するカイモノ等は現場で調達してください。

7. (つづき)

(2) 3尺延長用柱を埋込まない場合

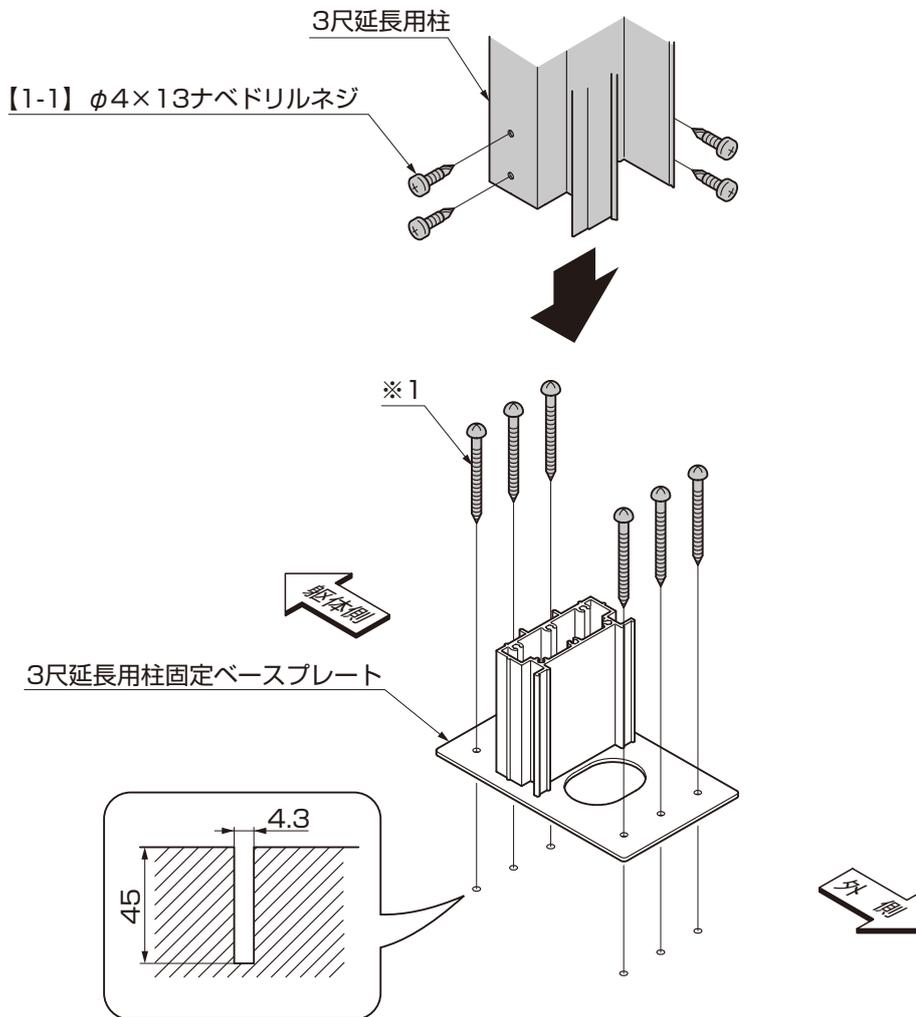


図7-5 3尺延長用柱の固定

表 7-3 (※1) 3尺延長用柱ベースプレート取付けネジ一覧

	取付けネジ	下穴・深さ
土間・束石用	【1-3】φ5×35 ナベセルフタップアンカー	φ4.3・45mm
デッキ用	【1-2】φ4.5×63 サラ木ネジ	不要

ポイント

●土間仕様の場合は、柱の位置を正確に出して、取付けてください。一度取付けると、位置の変更ができません。

- ①3尺延長用柱固定ベースプレートを床に仮止めしてください。(図7-5参照)
- ②3尺延長用柱を3尺延長用柱固定ベースプレートに取付けてください(※1)。

ポイント

- 柱固定ベースプレートを固定するネジ(※1)は、土間・束石用とデッキ用とは異なります。(表7-3参照)
- 土間に固定する際は、土間の強度を確認してください。

8. 桁の取付け

8-1 屋根材受けの取付け ※[1-A]、[2-A]は、この作業を行いません。

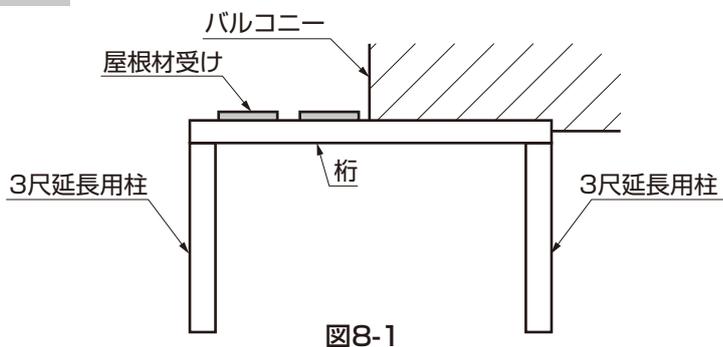


図8-1

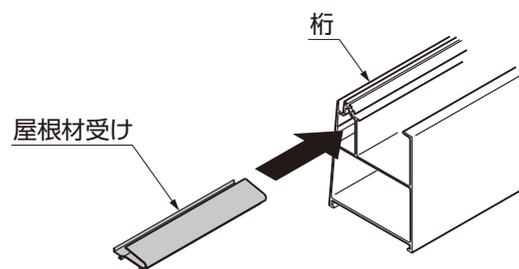


図8-2

①バルコニー前、またはバルコニー下の部分屋根と [3-A] の全ての屋根材取付け箇所には屋根材受けを取付けてください。

ポイント

- 屋根材受けは垂木掛けセットに同梱しています。

8-2 桁の組立て

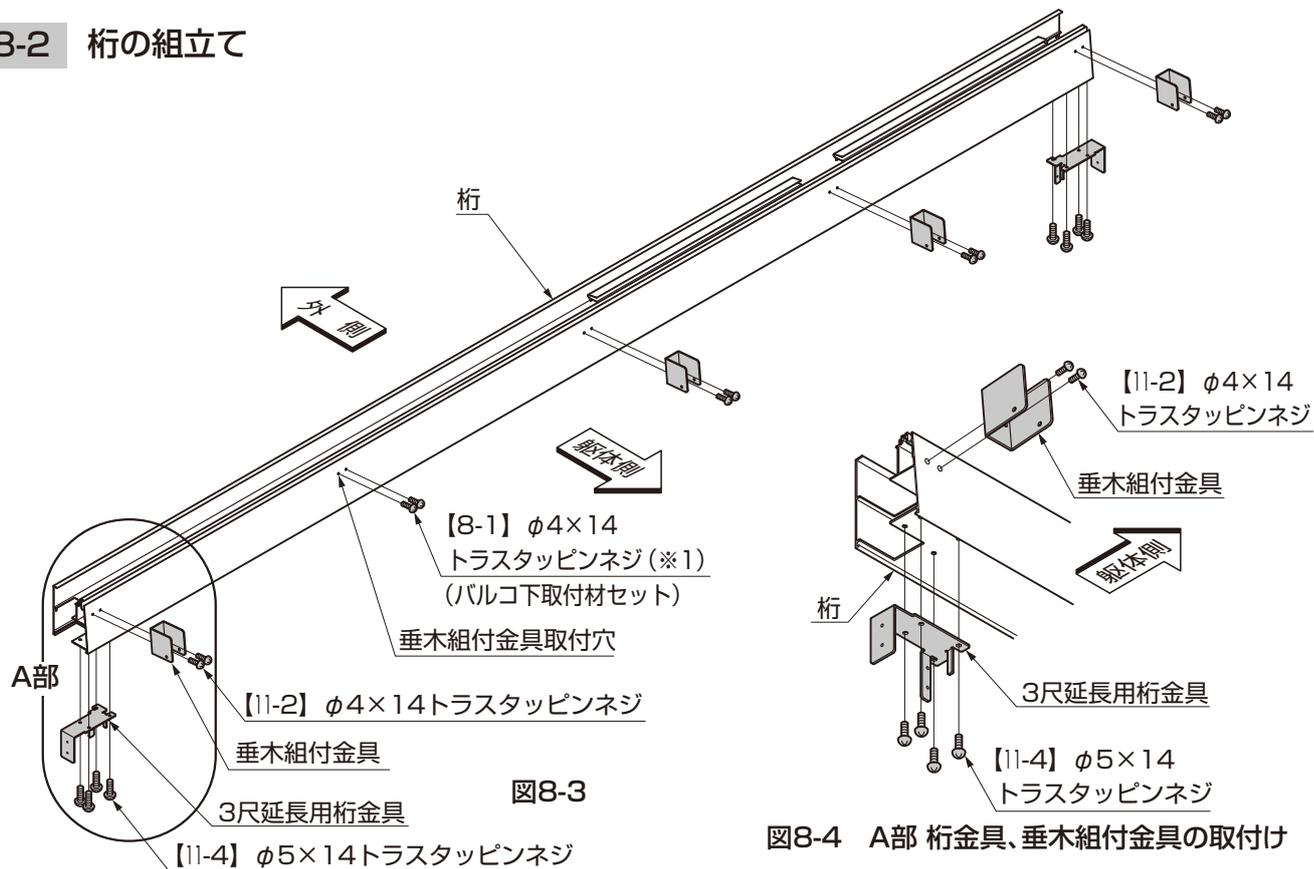


図8-3

図8-4 A部 桁金具、垂木組付金具の取付け

- ①垂木組付金具を桁に垂木必要本数分 [11-2] で取付けてください。
- ②3尺延長用桁金具を桁に [11-4] で取付けてください。

ポイント

- [1-A] の場合は3尺延長用桁金具のみ取付けてください。垂木組付金具は不要です。
- バルコニー下になる部分で垂木組付金具が必要ない箇所は、【8-1】(※1)で垂木組付金具取付穴をふさぐように打ち込んでください。
- バルコニー前になる部分で垂木組付金具が必要ない箇所は、垂木組付金具取付穴についてそのまま何もしないでください。

8. (つづき)

8-3 垂木掛けスペーサーの取付け

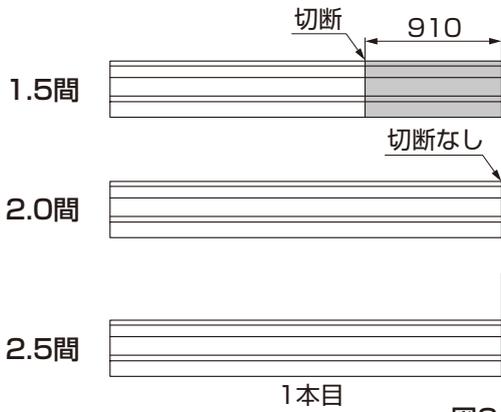


図8-5

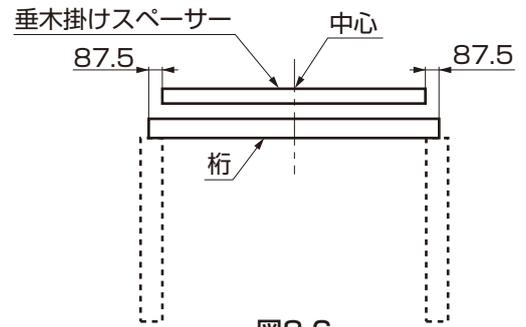


図8-6

表8-1

サイズ	P
1.5間	4
2.0間	6
2.5間	8

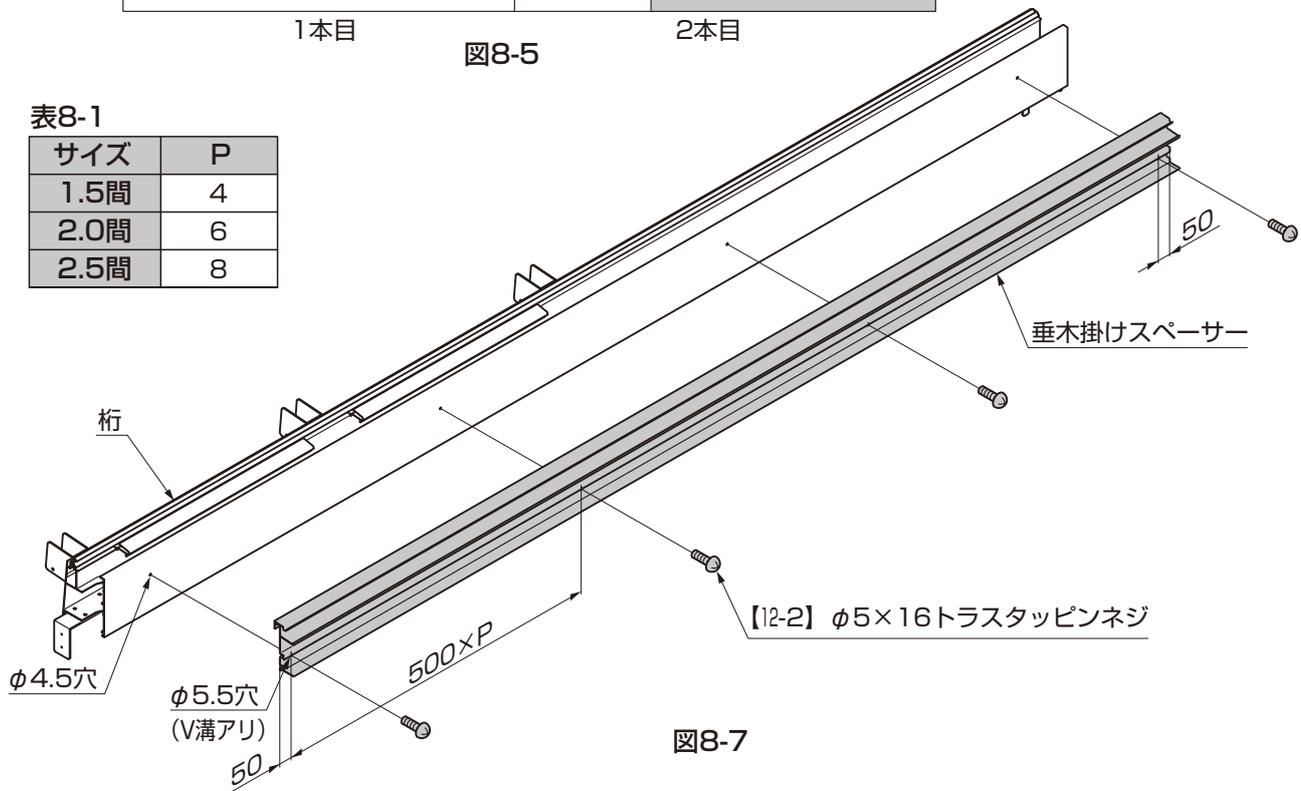


図8-7

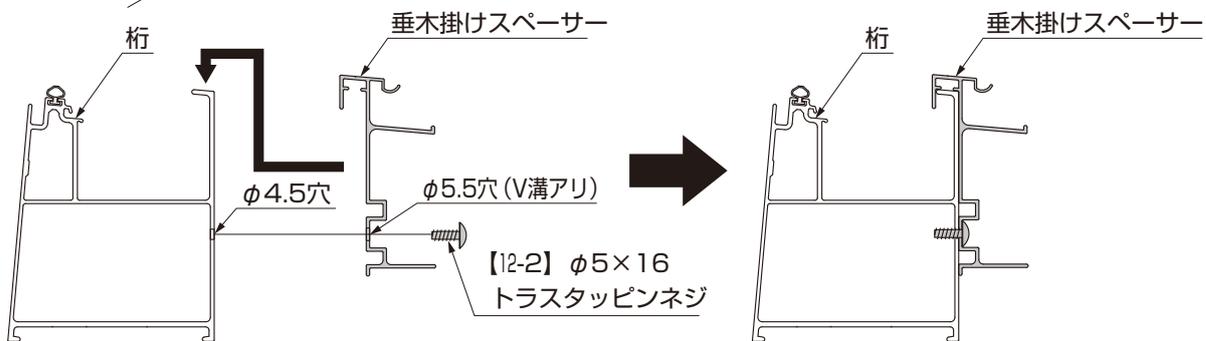


図8-8

図8-9

- ① 図8-5を参照して垂木掛けスペーサーを切断してください。
- ② 桁と垂木掛けスペーサーの中心を合わせてください。(図8-6参照)
- ③ 垂木掛けスペーサーにφ5.5の穴をあけてください。
- ④ 垂木掛けスペーサーを桁に引っ掛けてください。
- ⑤ 垂木掛けスペーサーのφ5.5の穴をガイドにして桁にφ4.5の穴をあけてください。
- ⑥ 垂木掛けスペーサーと桁を【12-2】で取付けてください。

8-4 バルコニー前桁取付材Aの取付け ※ [1-A]、[1-B] の場合の作業です。

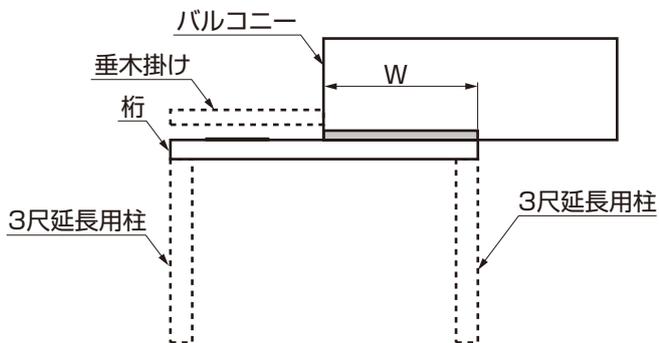


図8-10

表8-2 1-Aの場合

バルコニー前部	W寸法
1.5間	2794
2.0間	3704
2.5間	4614

表8-3 1-Bの場合

バルコニー前部	W寸法
0.5間	909
1.0間	1819
1.5間	2729
2.0間	3639

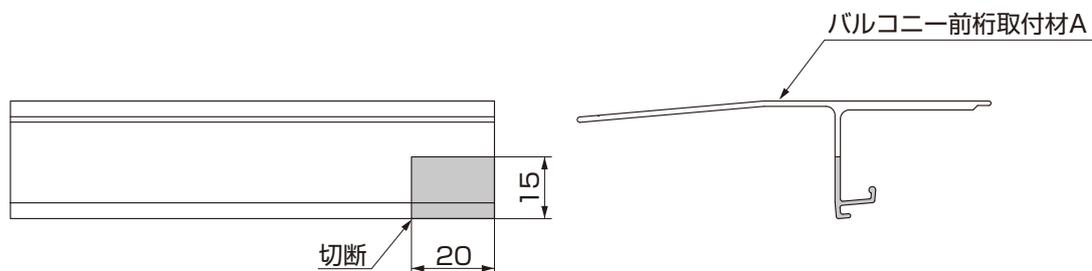


図8-11 バルコニー前桁取付材Aの切断

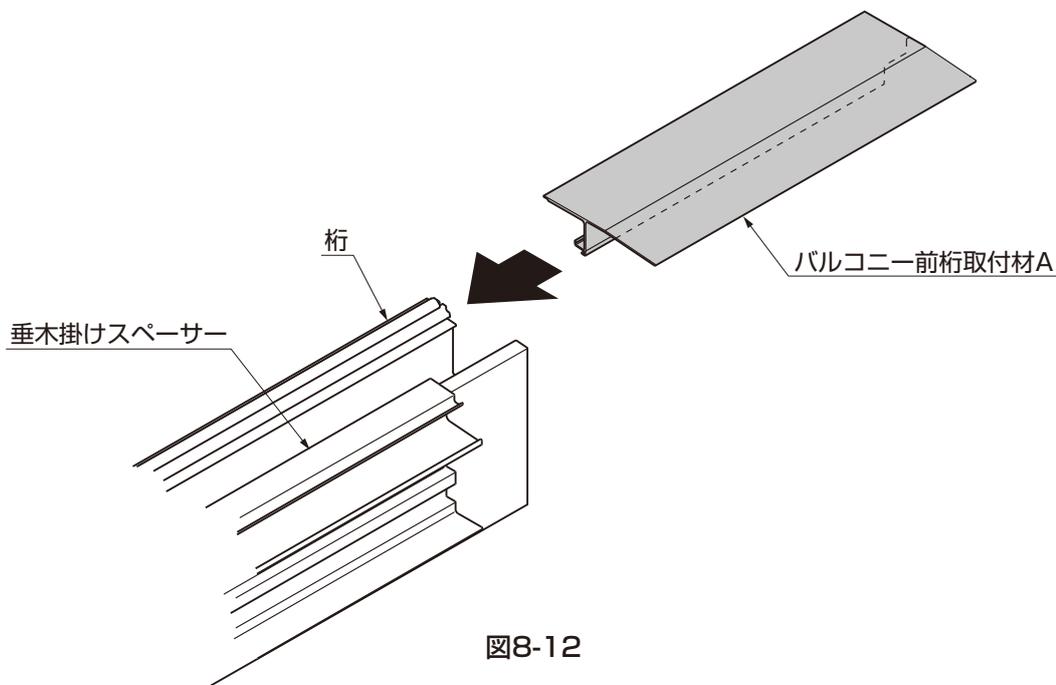


図8-12

- ①バルコニー前桁取付材AをW寸法に切断してください。(図8-10、表8-2、表8-3参照)
- ②バルコニー前桁取付材Aの端部(桁端部側)のフィンを切欠いてください。(図8-11参照)
- ③バルコニー前桁取付材Aを桁に差込んでください。(図8-12参照)

8. (つづき)

8-4 つづき

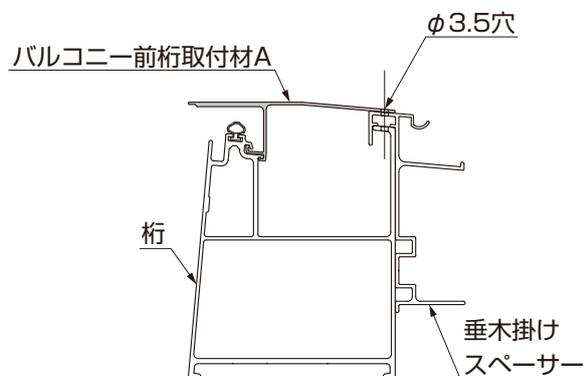


図8-13

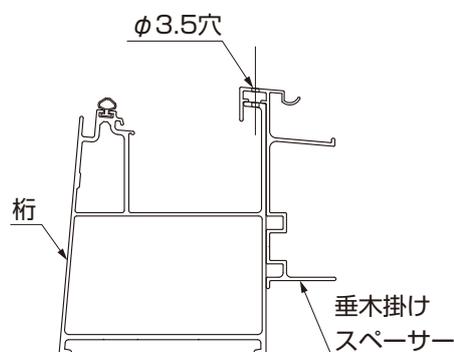


図8-14

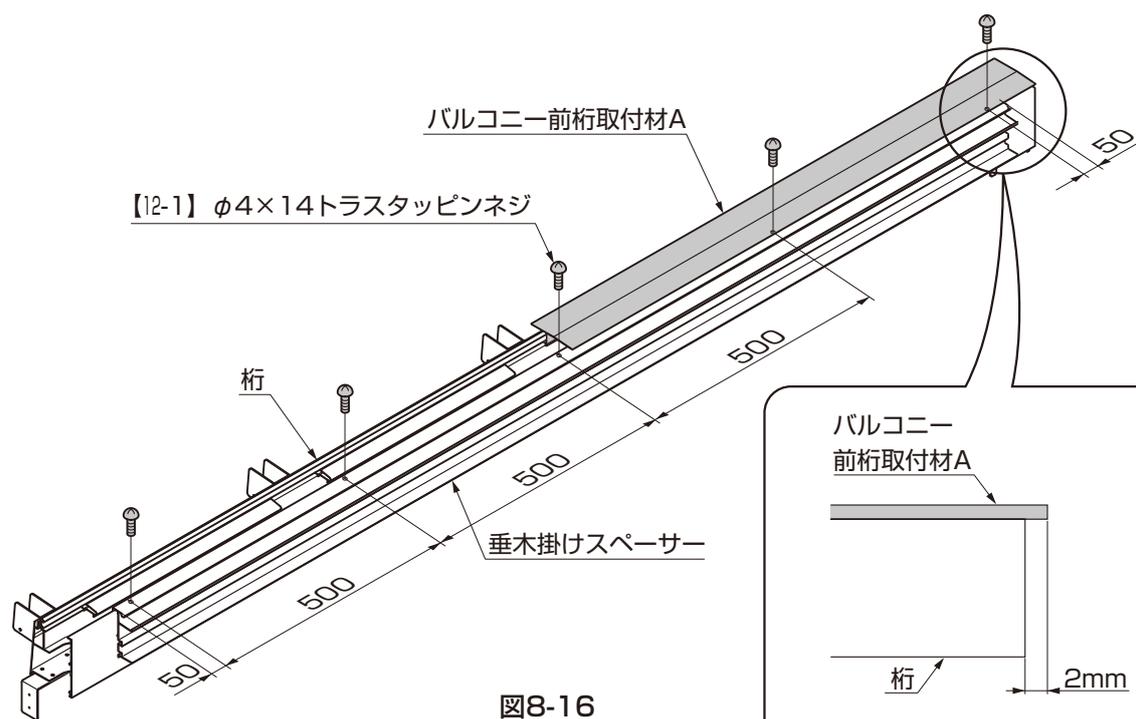


図8-16

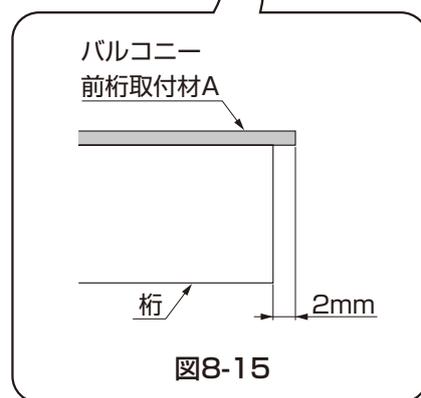


図8-15

- ④バルコニー前柵取付材Aが柵端部から2mmはみ出す位置でφ3.5で柵のフィンまで貫通で穴加工してください。(図8-13、図8-15参照)
- ⑤バルコニー前柵取付材Aを取付けない箇所の垂木掛けスペーサーも柵のフィンまで貫通で穴加工してください。(図8-14参照)
- ⑥④と⑤の加工穴に【12-1】を取付けて垂木掛けスペーサーを固定してください。

8-5 桁キャップの取付け

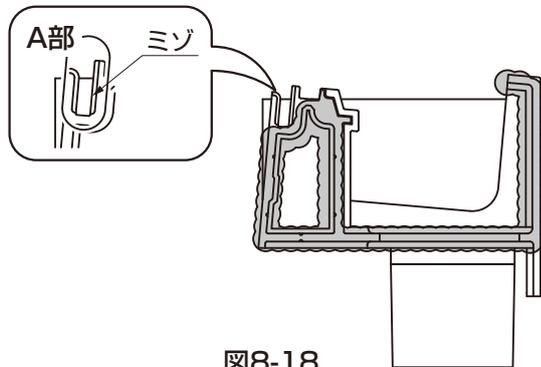


図8-18

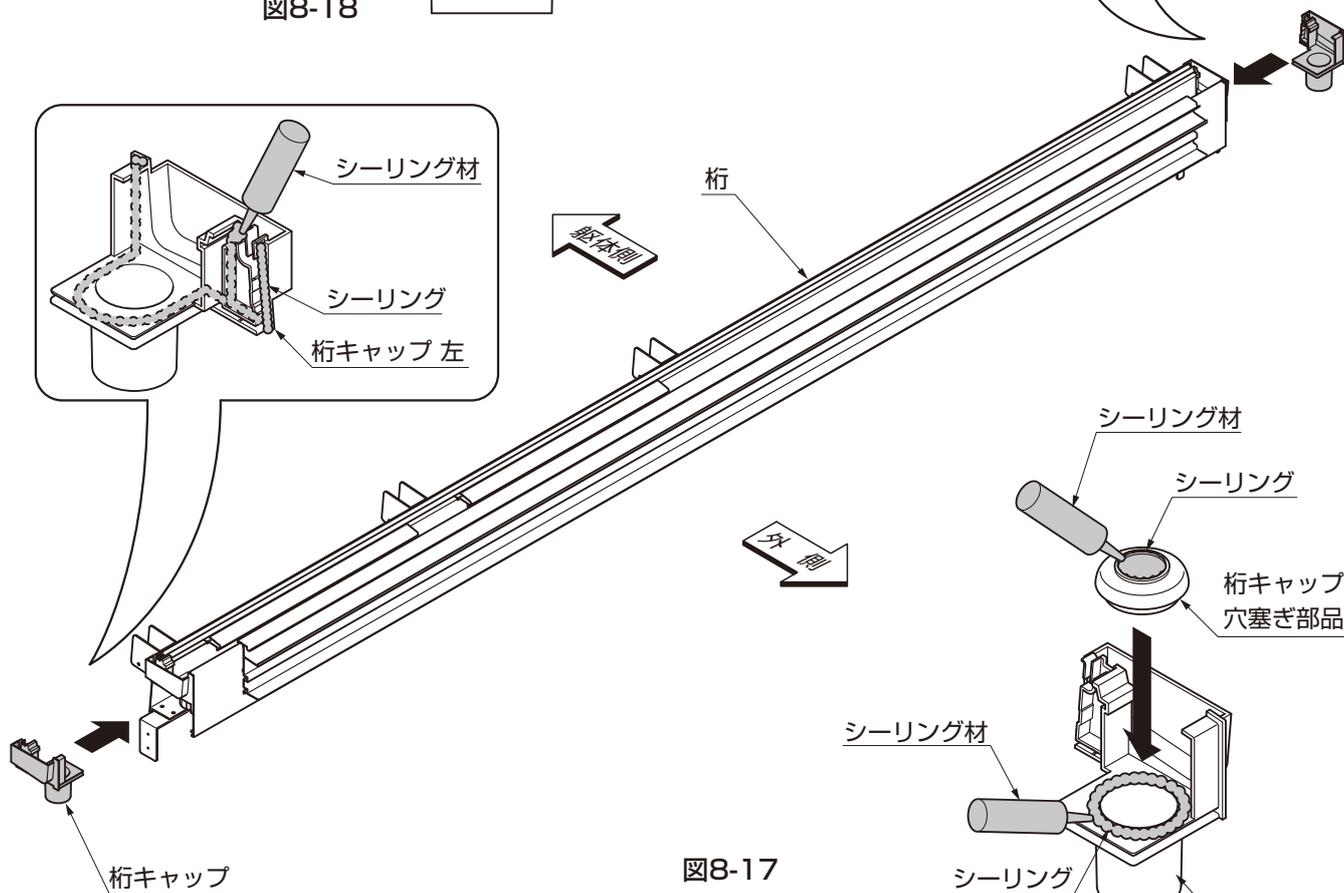
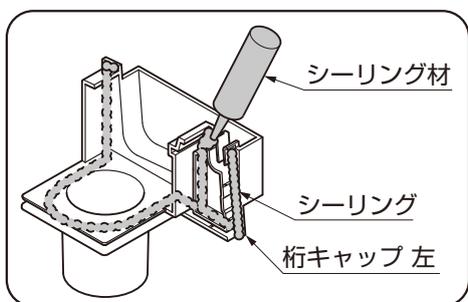
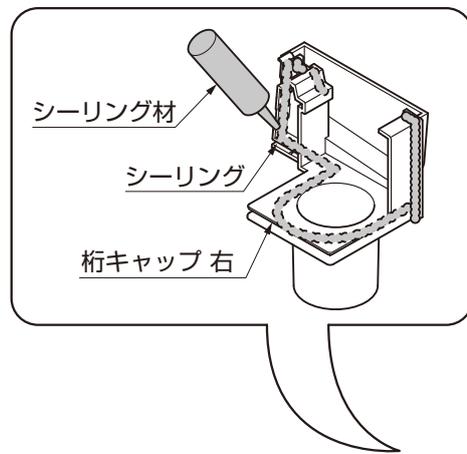


図8-17

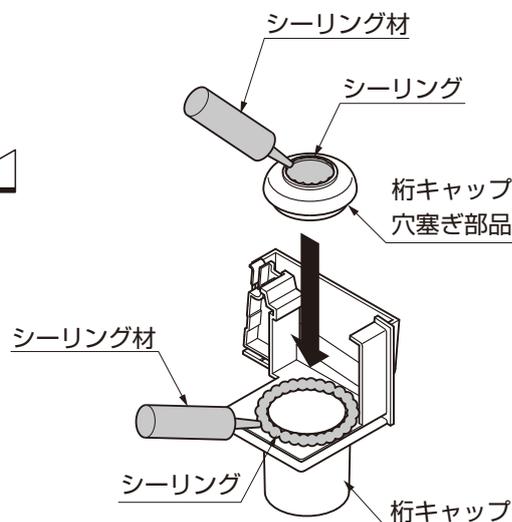


図8-19

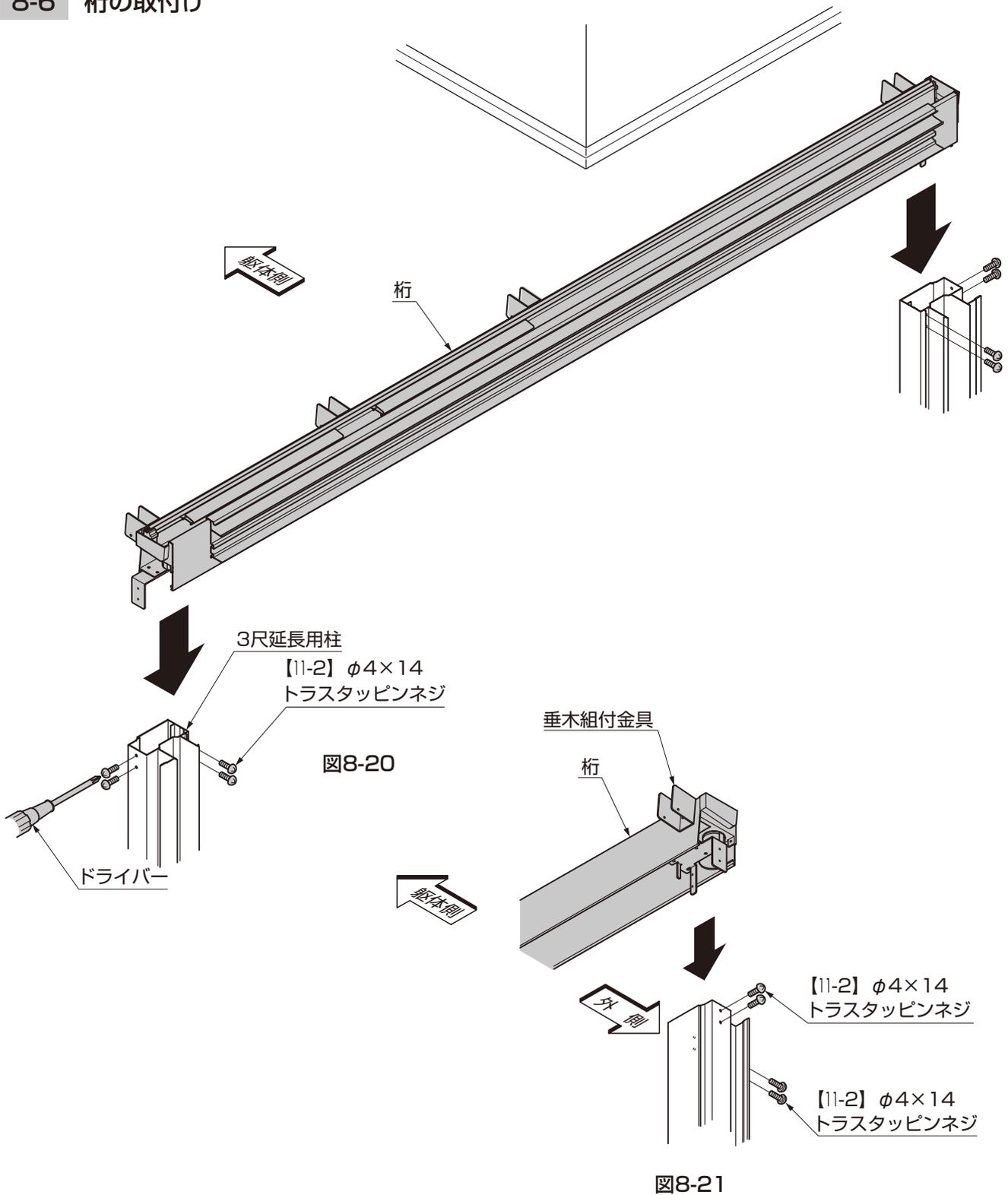
- ① 桁キャップにシーリングをしてください。
- ② 桁キャップを桁の切欠きに当るよう、奥まで差込んでください。

ポイント

- 片側入隅仕様の場合、入隅側の桁キャップに桁キャップ穴塞ぎ部品を取付けてください。(図8-19参照)
- 両側入隅仕様の場合は、片側に桁キャップ穴塞ぎ部品を取付けて、もう一方から排水できるように、現場で調整してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
- A部のミゾは、シーリングで埋めないようにしてください。(図8-18参照)
- 桁キャップ取付け前に、必ず屋根材受けが桁に取付いているか確認してください。([1-A]、[2-A] を除く)

8. (つづき)

8-6 桁の取付け



① 桁を3尺延長用柱に【11-2】で取付けてください。

ポイント

- 【11-2】で桁を取付ける場合は、手回しドライバーで取付けてください。電動ドライバーで作業すると、ネジが金具にうまく取付かない場合があります。

8-7 桁上部フタの取付け ※ [2-A]、[2-B] の場合の作業です。

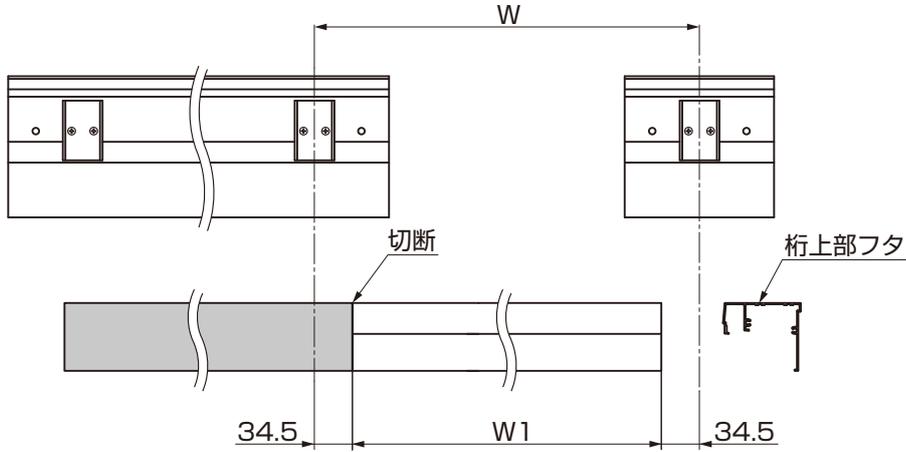


表8-4 桁上部フタ必要寸法

W	W1
910 (0.5間)	841
1820 (1.0間)	1751
2730 (1.5間)	2661
3640 (2.0間)	3571
4550 (2.5間)	4481

図8-22

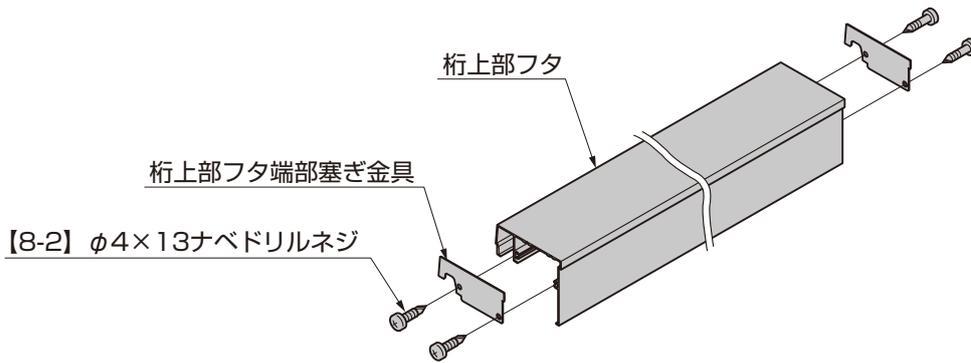


図8-23

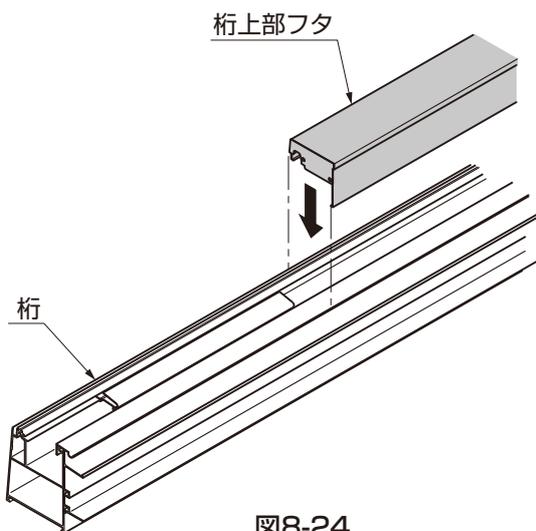


図8-24

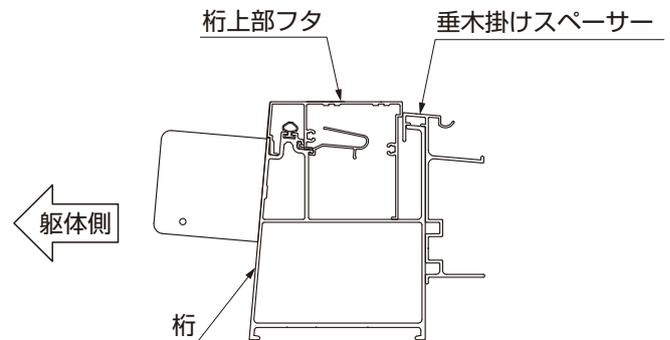


図8-25

- ① 桁上部フタを切断してください。(図8-22、表8-4参照)
- ② 桁上部フタ端部塞ぎ金具を桁に【8-2】で取付けてください。
- ③ 桁上部フタを桁にはめ込んでください。

9. 柱の組立て

9-1 雨樋上部の取付け

※ジーマテラスの妻梁なし仕様は、この作業を行いません。
 ※入隅仕様時の場合で桁キャップに穴塞ぎを行なった側には、この作業を行いません。

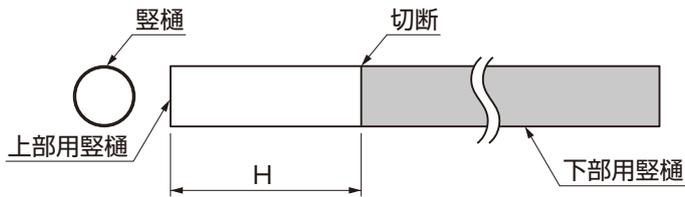


図9-1 縦樋の切断

表9-1

	6尺+3尺の場合	8尺+3尺の場合
H	350	400

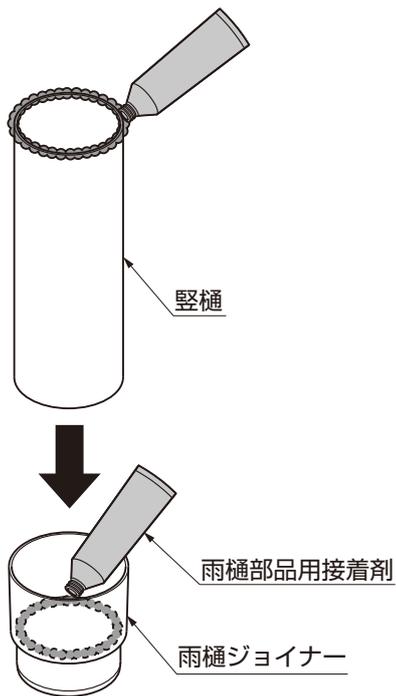


図9-2

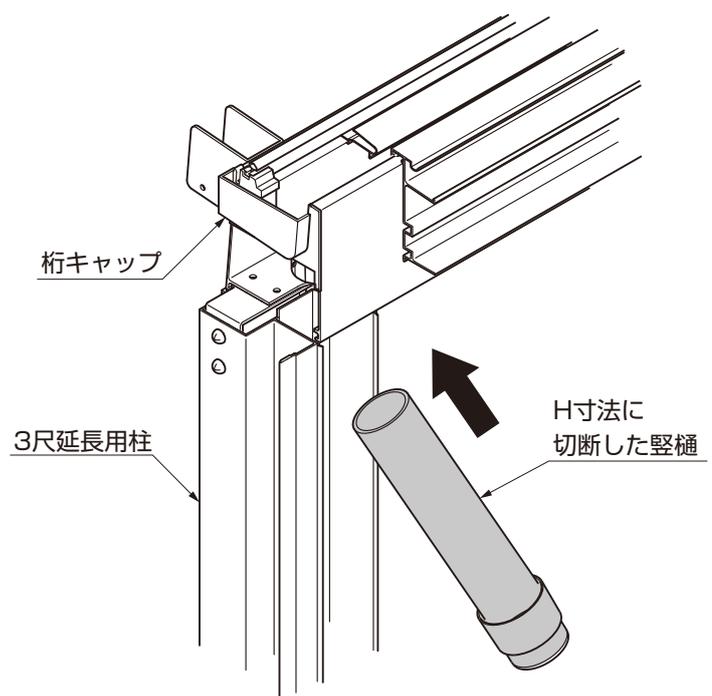


図9-3

- ① 縦樋をH寸法に切断してください。(図9-1、表9-1参照)
- ② 縦樋に雨樋部品用接着剤を塗布し、雨樋ジョイナーを取付けてください。(図9-2参照)
- ③ 縦樋を桁キャップにはめ込んでください。(図9-3参照)

9-2 柱スリーブの取付け ※ジーマテラスの妻梁なし仕様は、この作業を行いません。

(1) 柱スリーブの加工

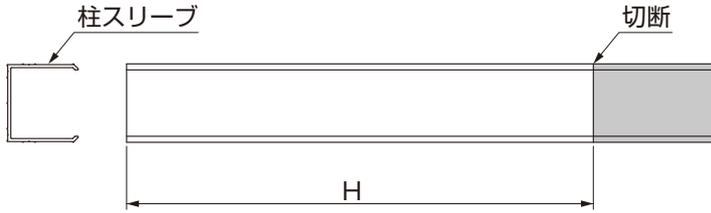


図9-4

①柱スリーブをH寸法に切断してください。(図9-4、表9-2参照)

表9-2

	6尺+3尺の場合	8尺+3尺の場合
H	250	切断不要

(2) 柱スリーブの取付け

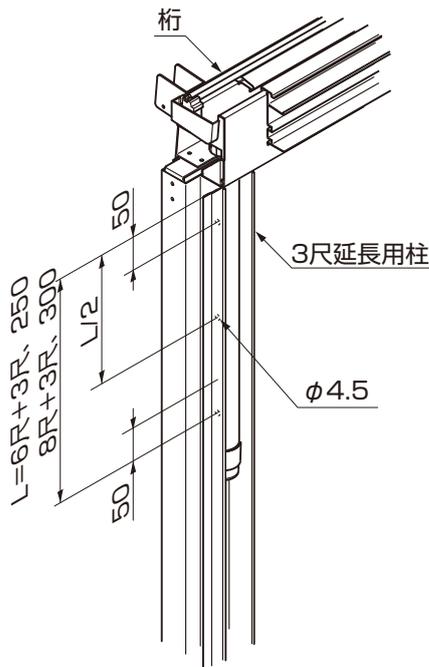


図9-5

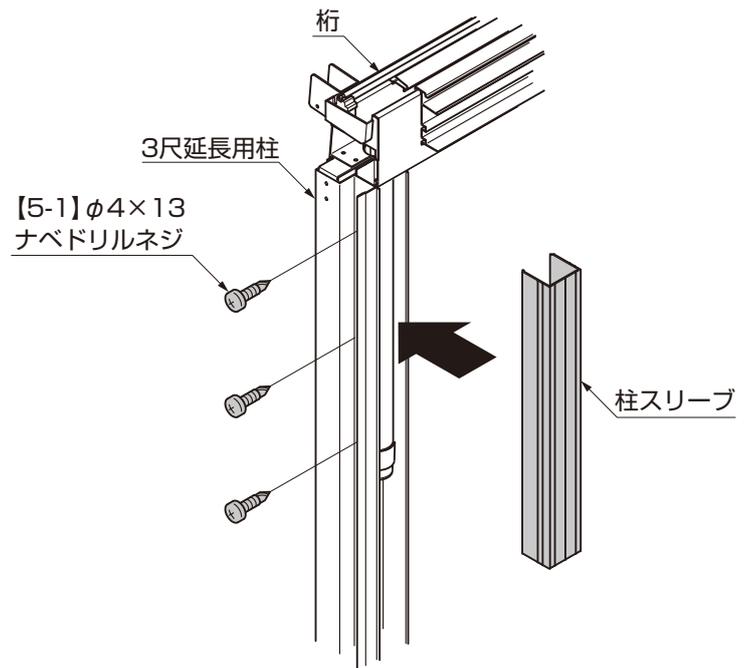


図9-6

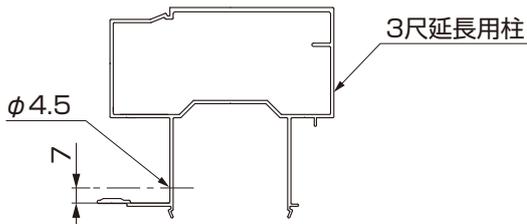


図9-7

- ①3尺延長用柱にφ4.5の穴をあけてください。(図9-5、図9-7参照)
- ②柱スリーブを【5-1】で3尺延長用柱に取付けてください。(図9-6参照)

9. (つづき)

9-3 3尺延長用柱側面材の取付け

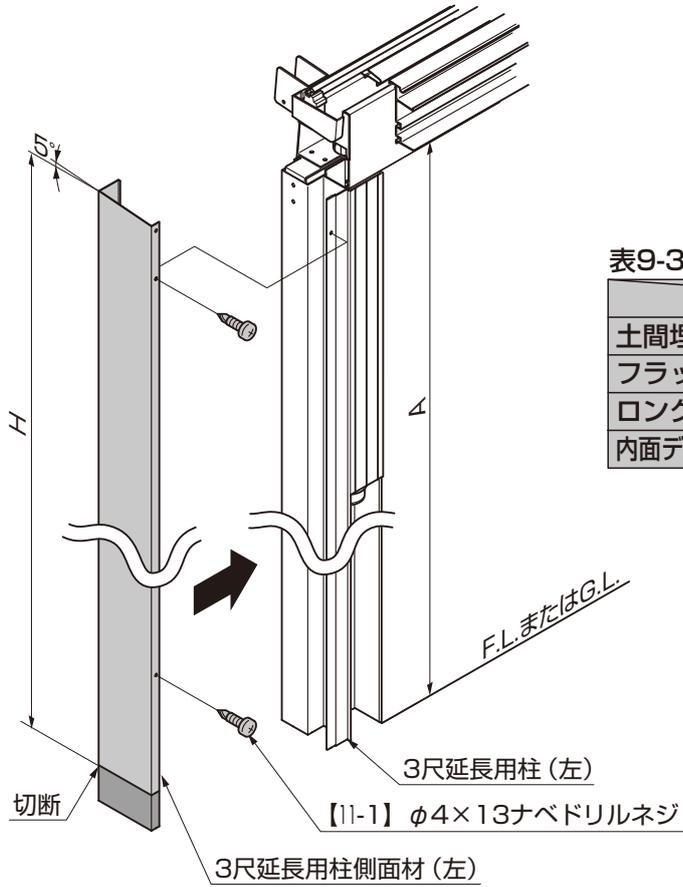


図9-8

表9-3 3尺延長用柱側面材の切断寸法

	H
土間埋め込み施工	A+170.5
フラット床施工 (ベースプレートF.L.固定)	A+117.5
ロング柱 (ベースプレート束柱固定)	A+5
内面デッキ立上げ施工 (ベースプレート束柱固定)	A+5

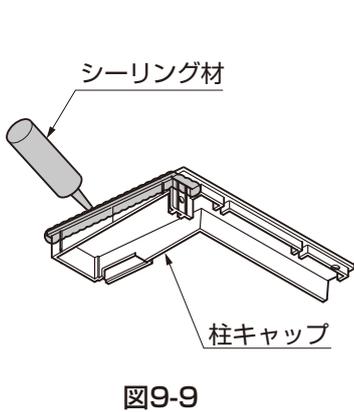


図9-9

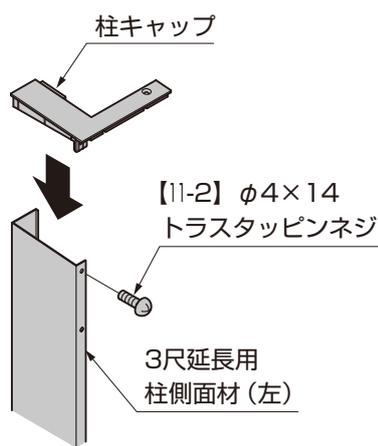


図9-10

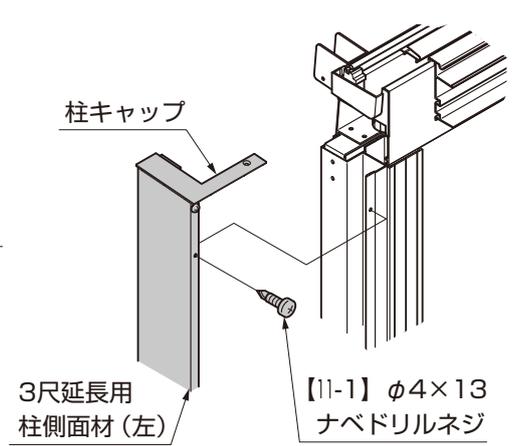


図9-11

①図を参考に3尺延長用柱側面材を3尺延長用柱に合わせて切断加工してください。

②3尺延長用柱側面材を3尺延長用柱に【11-1】で取付けてください。

ポイント

- 【1-A】の場合、柱キャップにシーリングをし、【11-2】で柱側面材に取付けてから、柱側面材を3尺延長柱に取付けてください。(図9-9、図9-10、図9-11参照)

9-4 雨樋下部の取付け ※入隅仕様で桁キャップに穴塞ぎを行なった側には、この作業を行いません。

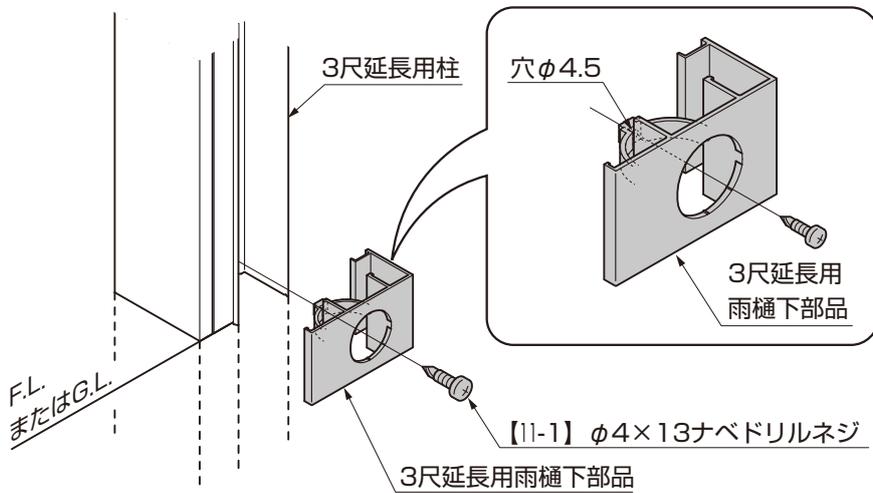


図9-12

表9-4 雨樋下部品下端位置

施工方法	位置
内面デッキ立上げ施工 (※1)	F.L.
土間施工 柱埋込	
内面デッキ立上げ施工 ロング柱埋込 (※1)	
外面床なし施工 ロング柱	G.L.

- ① 3尺延長用雨樋下部品にφ4.5の穴加工をしてください。(図9-12参照)
- ② 3尺延長用雨樋下部品を3尺延長用柱に【11-1】で取付けてください。

補足

●ロング柱を使用している場合、雨樋下部品下端をG.L.にすることで排水をデッキ下にすることができます。(※1)
この場合、雨樋の掃除がしにくくなるおそれがあります。

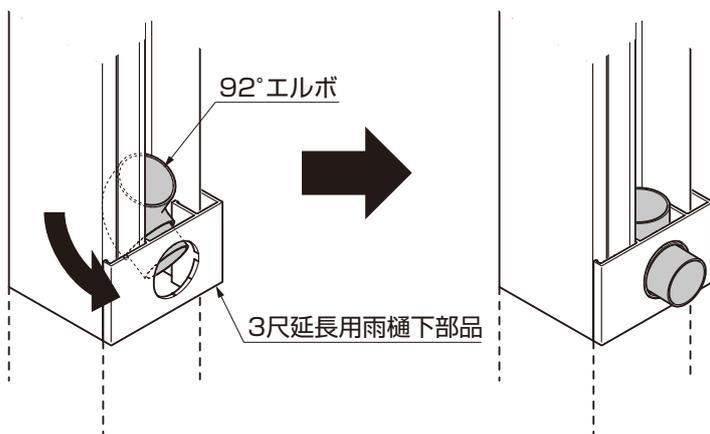


図9-13

- ③ 92°エルボを3尺延長用雨樋下部品に回転させながらはめ込んでください。

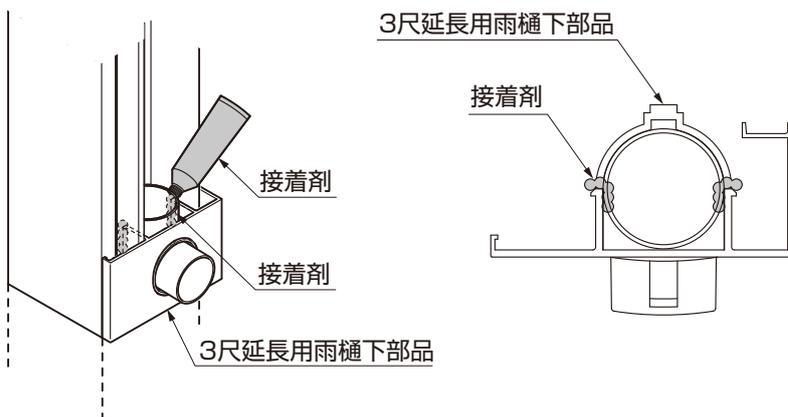


図9-14

- ④ 図9-11を参照して、3尺延長用雨樋下部品に接着剤を塗ってください。

9. (つづき)

9-5 縦樋の取付け ※入隅仕様で桁キャップに穴塞ぎを行なった側には、この作業を行いません。

(1) ルームタイプおよびテラスタイプ妻梁ありの場合

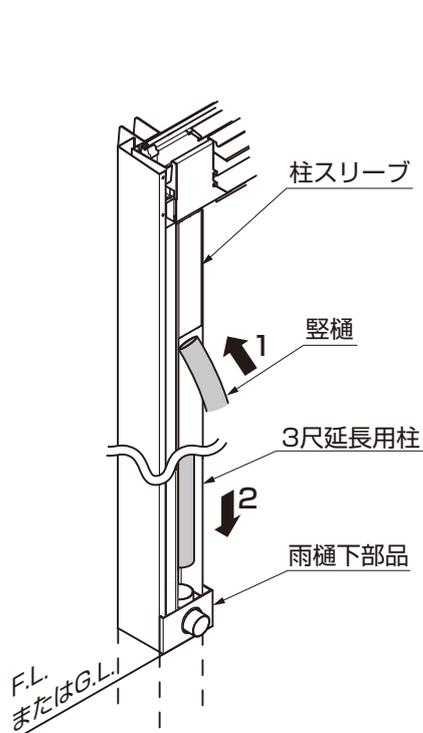


図9-15 標準柱の場合

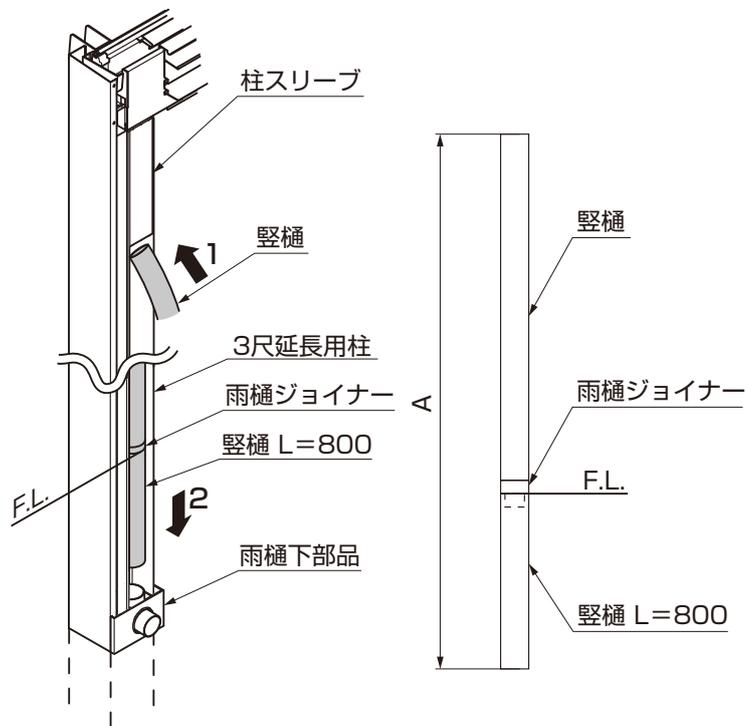


図9-16 ロング柱の場合

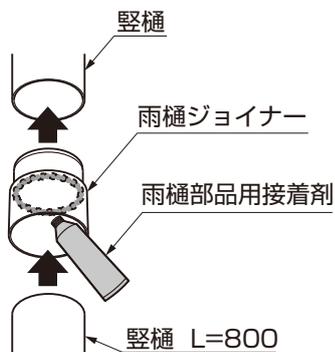


図9-17

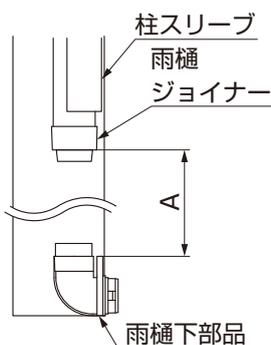


図9-18

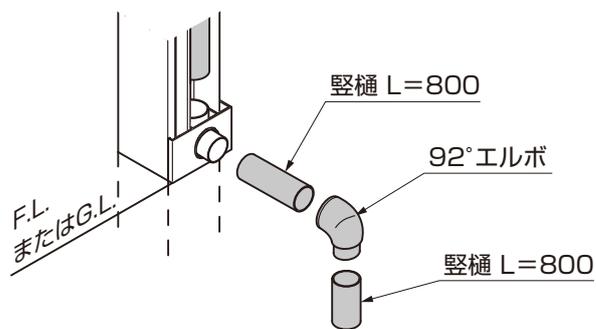


図9-19

- ① A寸法を実測してください。(図9-18参照)
- ② 縦樋を実測A寸法に切断してください。(図9-16参照)
- ③ 縦樋を柱スリーブの裏にある雨樋ジョイナーにはめ込んでください。
- ④ 縦樋を雨樋下部品にはめ込んでください。(図9-15、図9-16参照)

ポイント

- 縦樋、雨樋ジョイナー、雨樋下部品は接着しないでください。
- 縦樋が足りない場合は、本体に付属の雨樋ジョイナーと縦樋を使用してください。(図9-17参照)

補足

- 雨樋下部品に柱セットに同梱のL=800の縦樋とエルボ使用して床下に排水するなどが可能です。(図9-19参照)

(2) テラストイプ、妻梁なしの場合

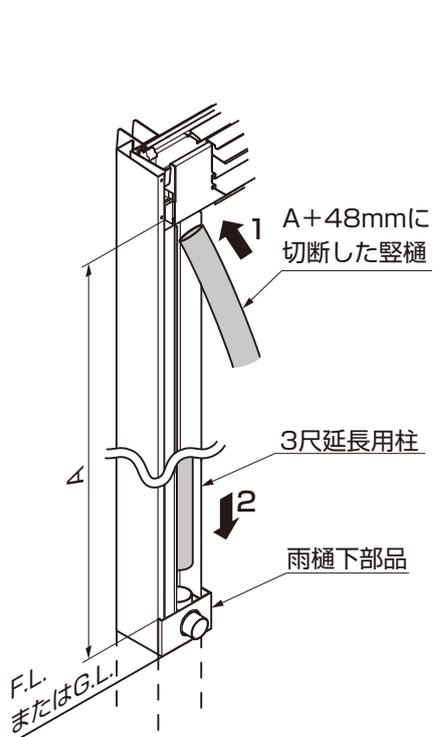


図9-20 標準柱の場合

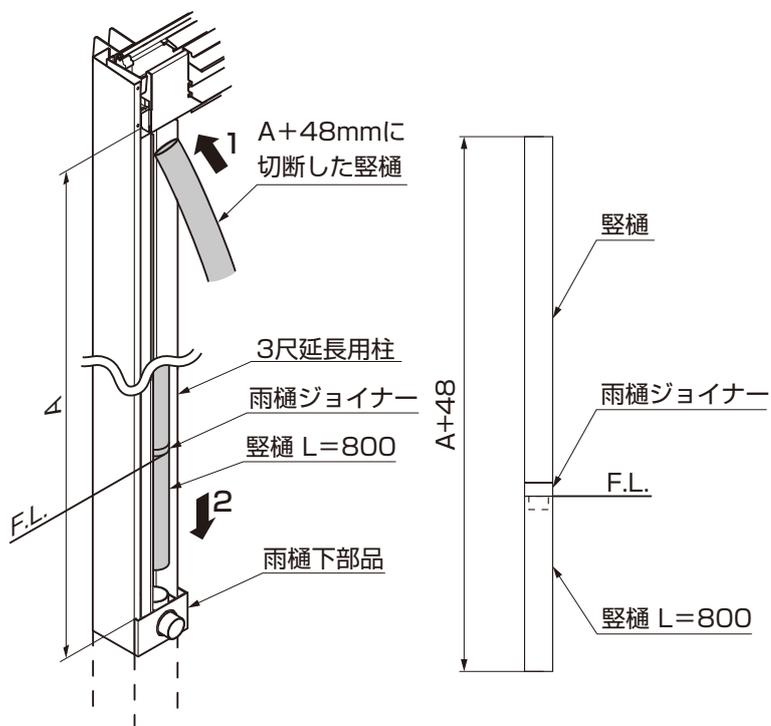


図9-21 ロング柱の場合

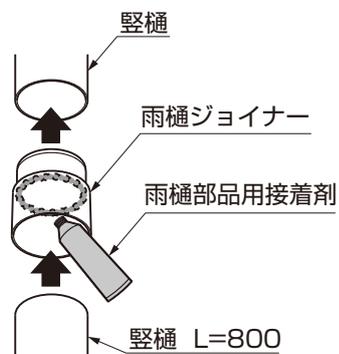


図9-22

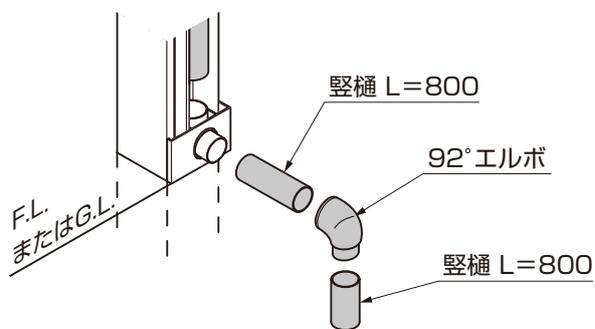


図9-23

- ① 桁下から雨樋下部品まで実測してください。(図9-20、図9-21参照)
- ② 実測したA寸法+48mmに縦樋を切断してください。(図9-21参照)
- ③ 縦樋を桁キャップにはめ込んでください。
- ④ 縦樋を雨樋下部品にはめ込んでください。(図9-20、図9-21参照)

ポイント

- 縦樋、桁キャップ、雨樋下部品は接着しないでください。
- 縦樋が足りない場合は、本体に付属の雨樋ジョイナーと縦樋を使用してください。(図9-22参照)

補足

- 雨樋下部品に柱セットに同梱のL=800の縦樋とエルボ使用して床下に排水するなどが可能です。(図9-23参照)

10. 垂木、妻垂木側面材の取付け

10-1 [1-B] の場合の部分屋根部の部材切詰め

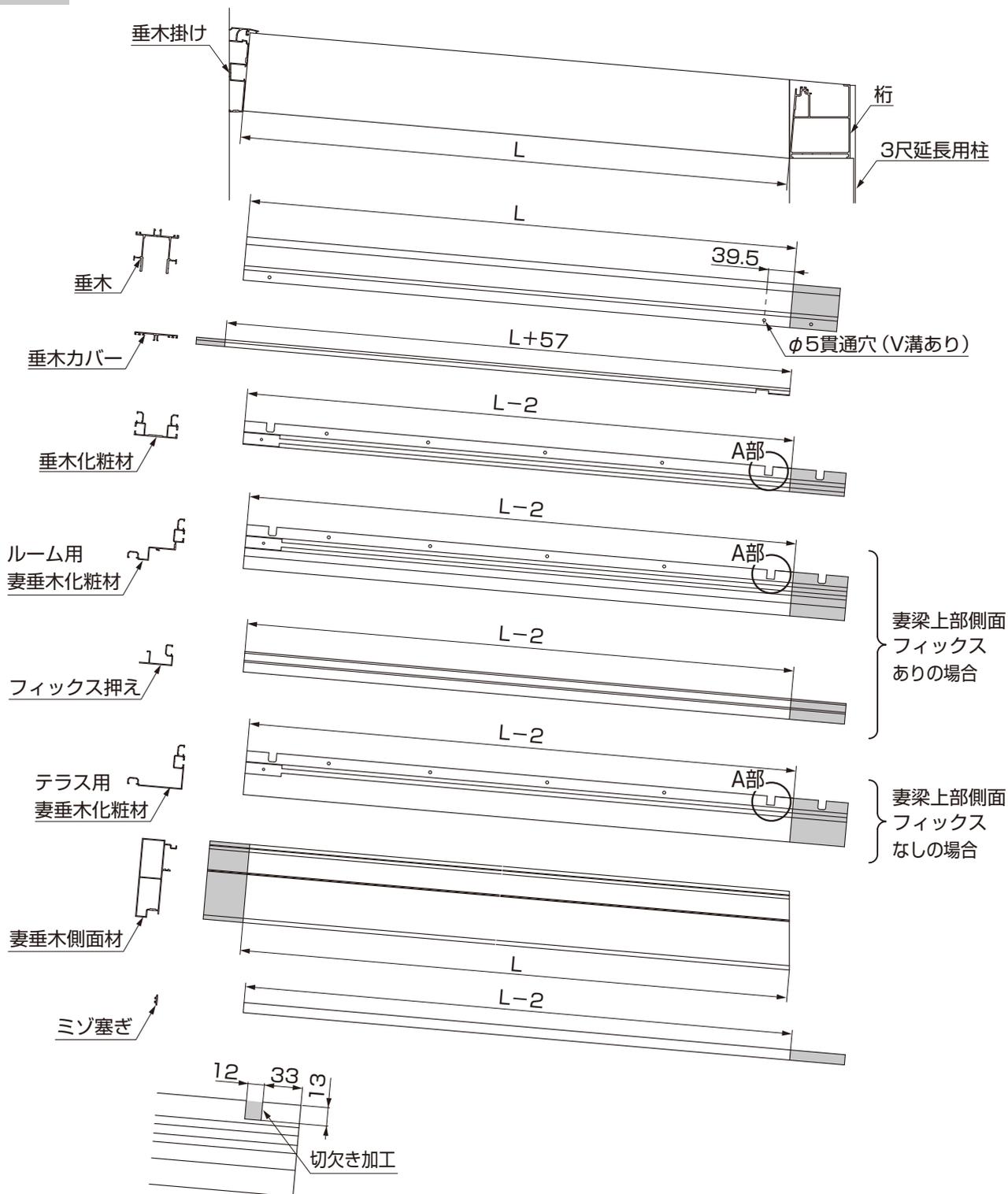


図10-1 A部詳細図

①図を参照して屋根部材を加工してください。

ポイント

●屋根部材の切断は、上図の示す方向を必ず切断してください。部材によっては、その後の取付けが困難になります。

1-B

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

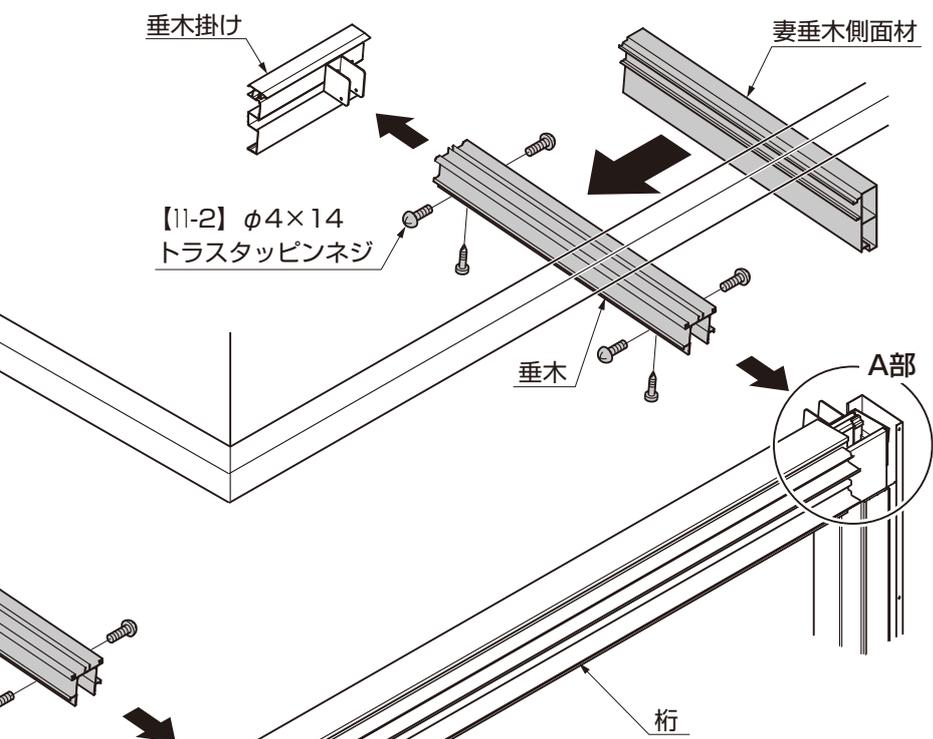
.....

.....

.....

.....

.....



- ① 垂木を妻垂木組付金具に【11-2】で取付けてください。
- ② 両端の垂木の端から100mmの箇所にφ5の穴をあけてください。
- ③ 妻垂木側面材を垂木につき当て【11-1】で取付けてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。(図10-3参照)
- B部のミゾは、シーリングで埋めないようにしてください。(図10-4参照)
- 妻垂木側面材を固定後に、※1の部分の垂木ビート材をカッター等で切断してください。(図10-7参照)

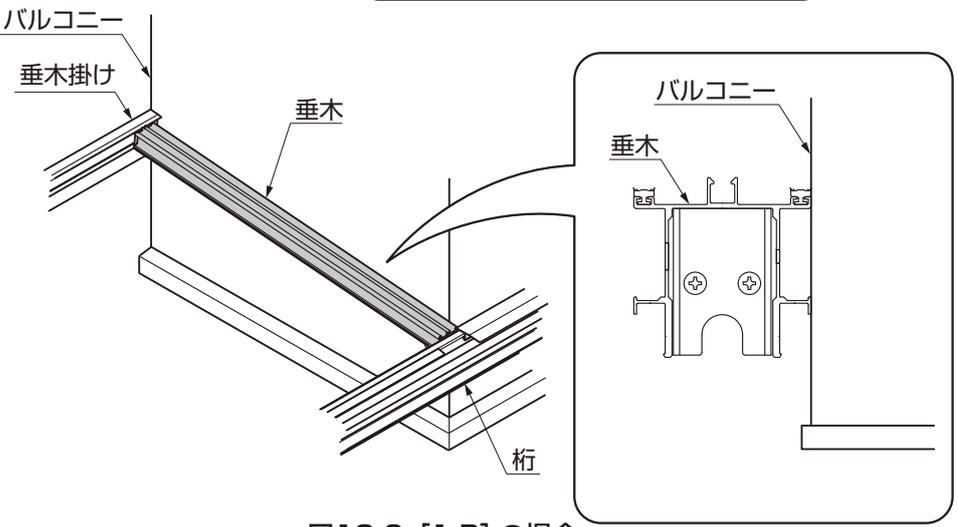
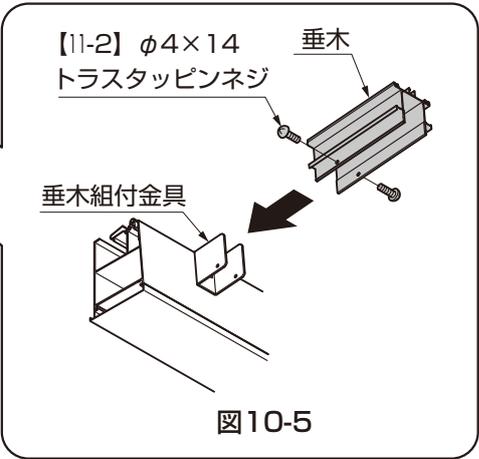


図10-6 [1-B]の場合

11. 柱キャップの取付け

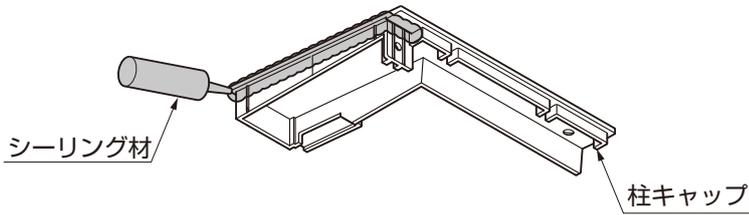


図11-1

ポイント

- [1-A] の場合は、手順②のみ行なってください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

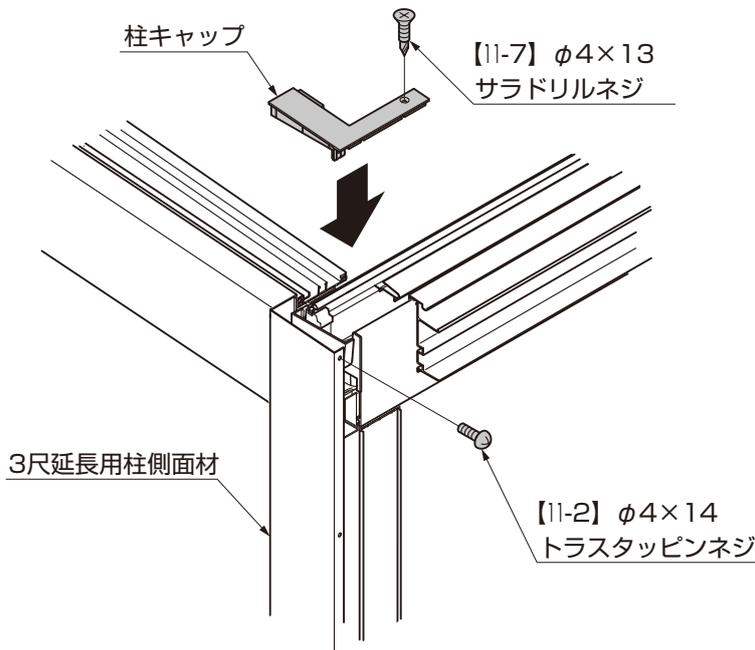


図11-2

- ① 柱キャップを3尺延長用柱側面材に【11-2】で取付けてください。
- ② 柱キャップを桁に【11-7】で取付けてください。

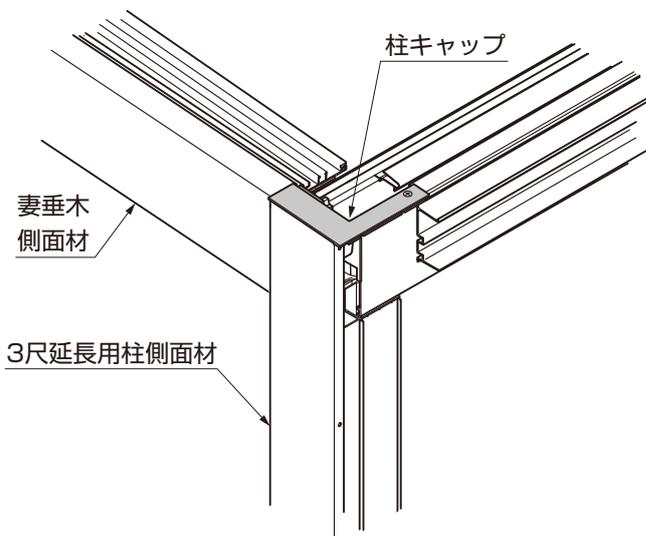


図11-3

1-A
1-B
2-A
2-B
3-A

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

12. バルコニー前桁取付材の取付け ※ [1-A]、[1-B] の場合の作業です。

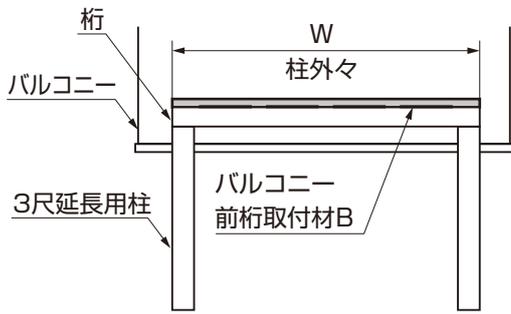


図12-1 [1-A]の場合

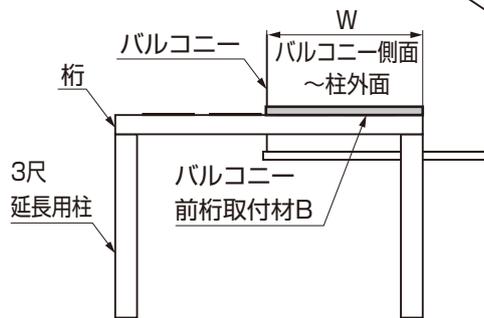


図12-2 [1-B]の場合

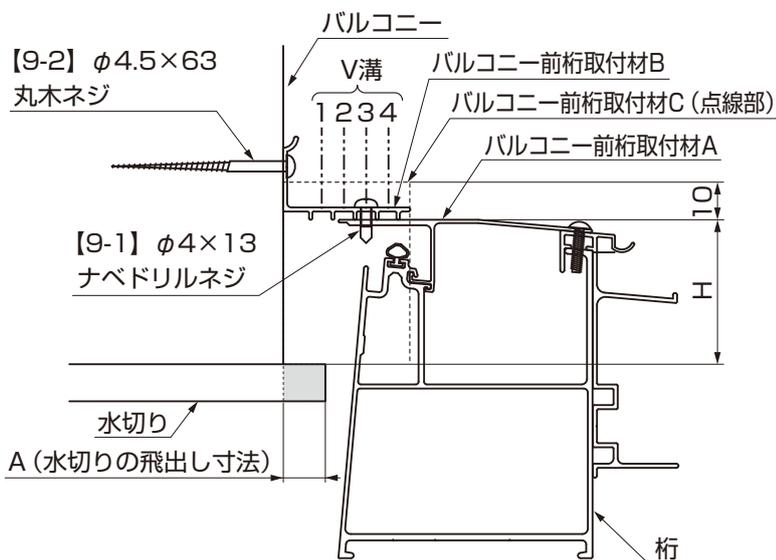
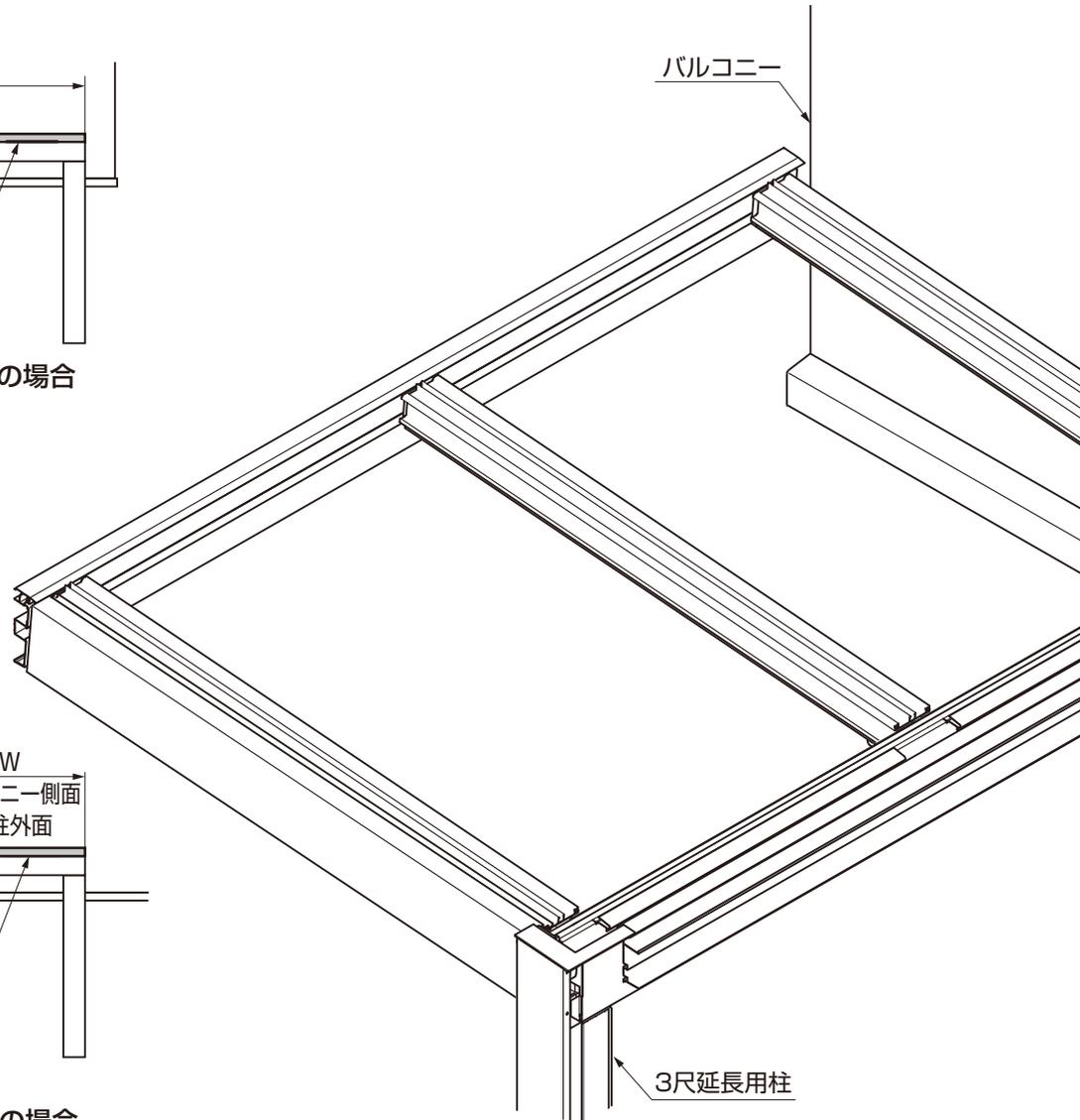


図12-3

表12-1

A (水切りの飛出し寸法)	ネジ取付け用のV溝
0	1
1~10	2
11~20	3
21~30	4

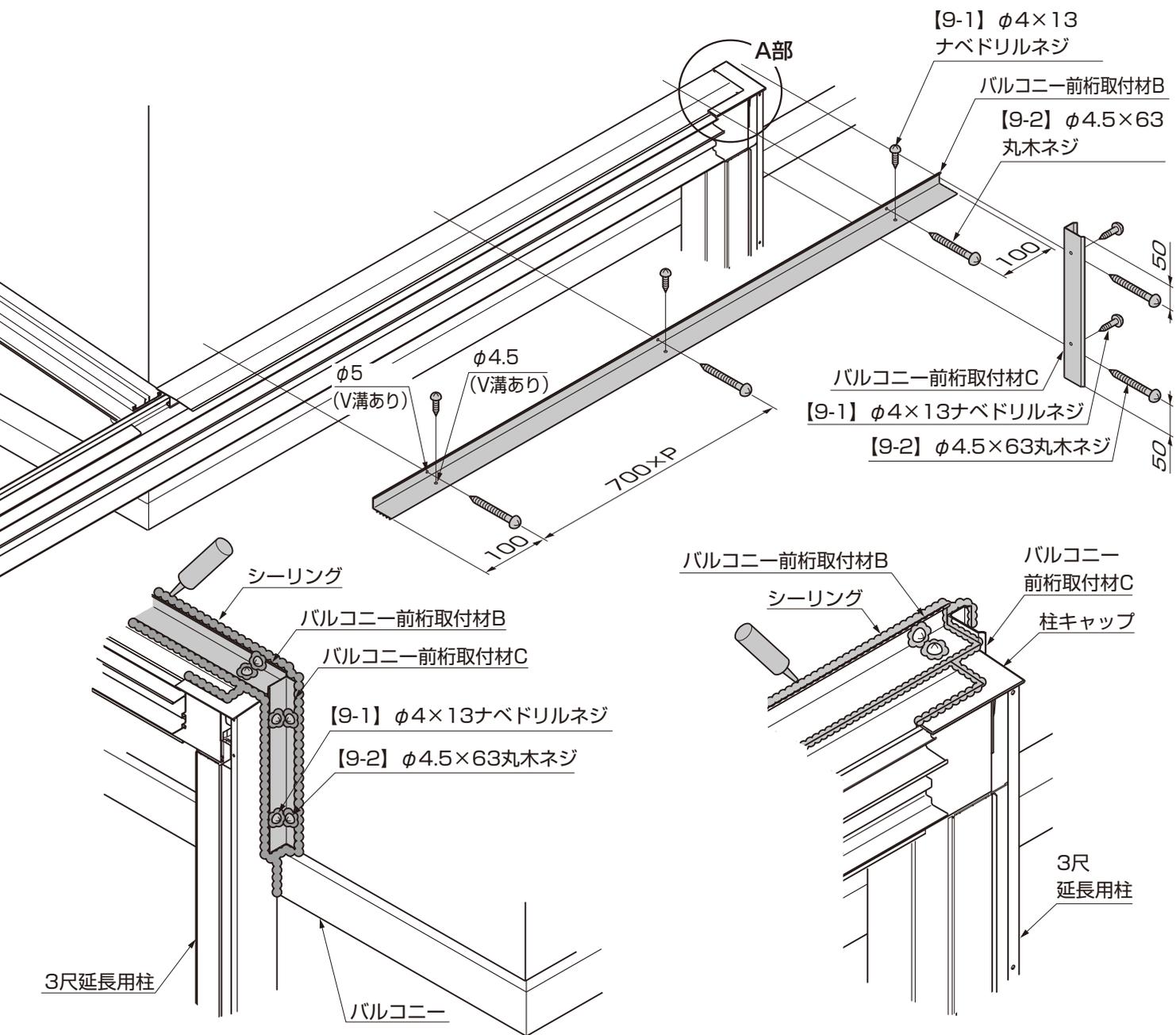


図12-4 A部詳細図

図12-5 A部詳細図

- ①バルコニー前桁取付材BをW寸法に切断加工してください。(図12-1、図12-2参照)
- ②バルコニー前桁取付材BとCにφ5とφ4.5の穴をあけてください。

ポイント

- バルコニー前桁取付材Bのφ4.5の穴加工位置は、水切りの飛出し寸法(A寸法)に合わせて加工してください。(図12-3、表12-1参照)

- ③バルコニー前桁取付材Bをバルコニー前桁取付材Aに【9-1】で取付け、バルコニーに【9-2】で取付けてください。
- ④バルコニー前桁取付材Cを3尺延長用柱に【9-1】で取付け、バルコニーに【9-2】で取付けてください。

ポイント

- バルコニー前桁取付材Bをコーナー部に取付ける際は、桁と3尺延長用柱を囲うようにして取付けます。

13. 柱樋カバーの取付け

13-1 妻梁あり仕様の場合

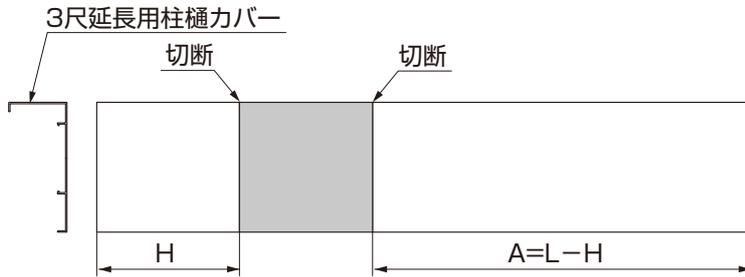


図13-1

表13-1

	6尺+3尺の場合	8尺+3尺の場合
H	250	300

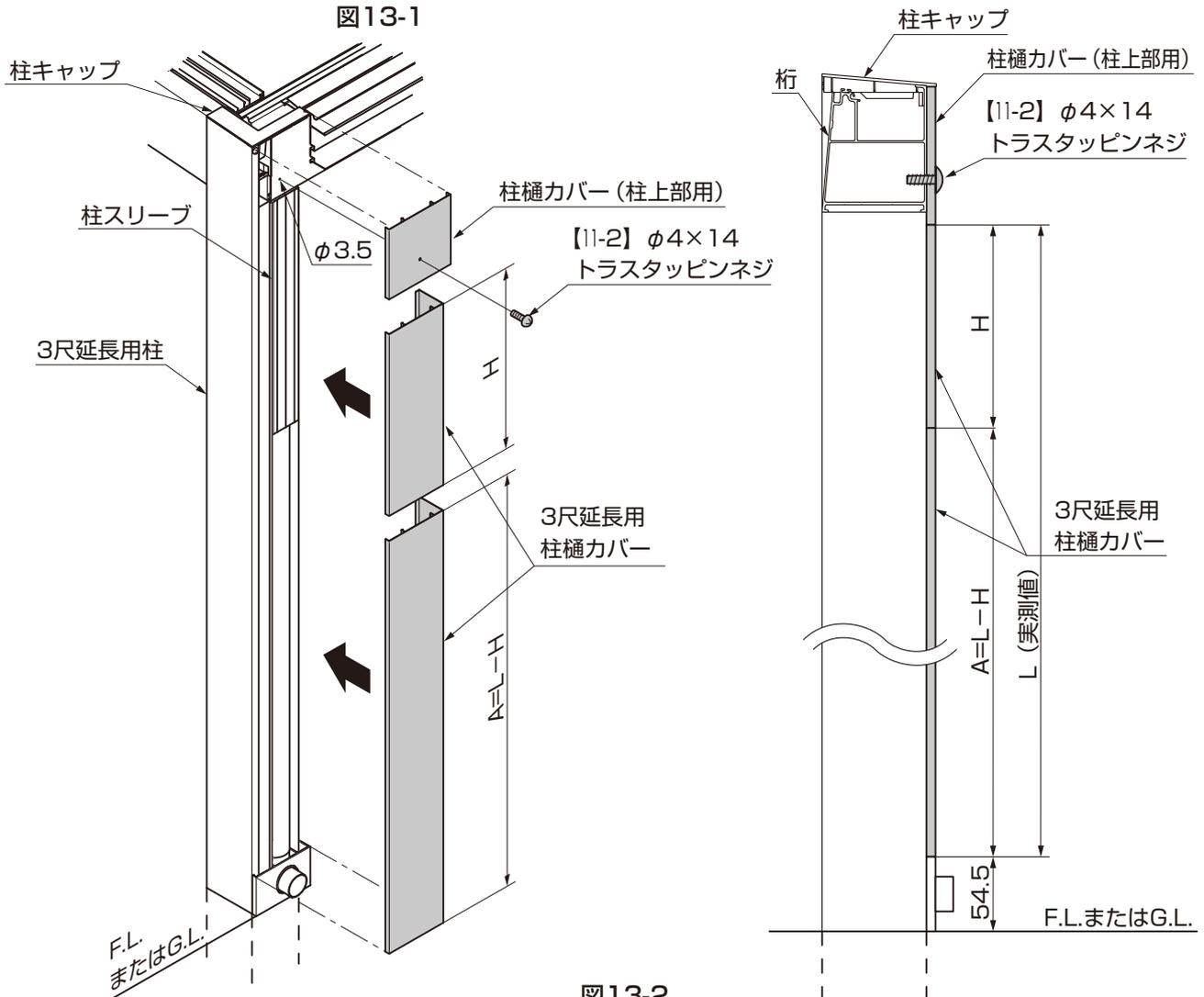


図13-2

- ① 柱樋カバー (柱上部用) を3尺延長用柱にはめ込んでください。
- ② 柱樋カバー (柱上部用) の穴をガイドにして桁にφ3.5の穴をあけてください。
- ③ 柱樋カバー (柱上部用) を桁に【11-2】で取付けてください。
- ④ 3尺延長用柱樋カバーを図13-1、表13-1を参照して加工してください。
- ⑤ 3尺延長用柱樋カバーを3尺延長柱にはめ込んでください。

ポイント

- 柱樋カバー (柱上部用) を桁に固定する【11-2】のネジの締め付けは、柱樋カバー (柱上部用) が変形しないようにしてください。

13-2 妻梁なし仕様の場合

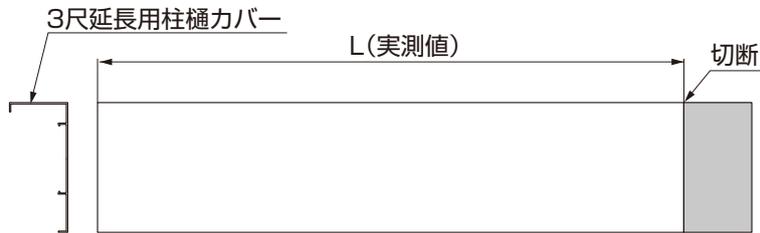
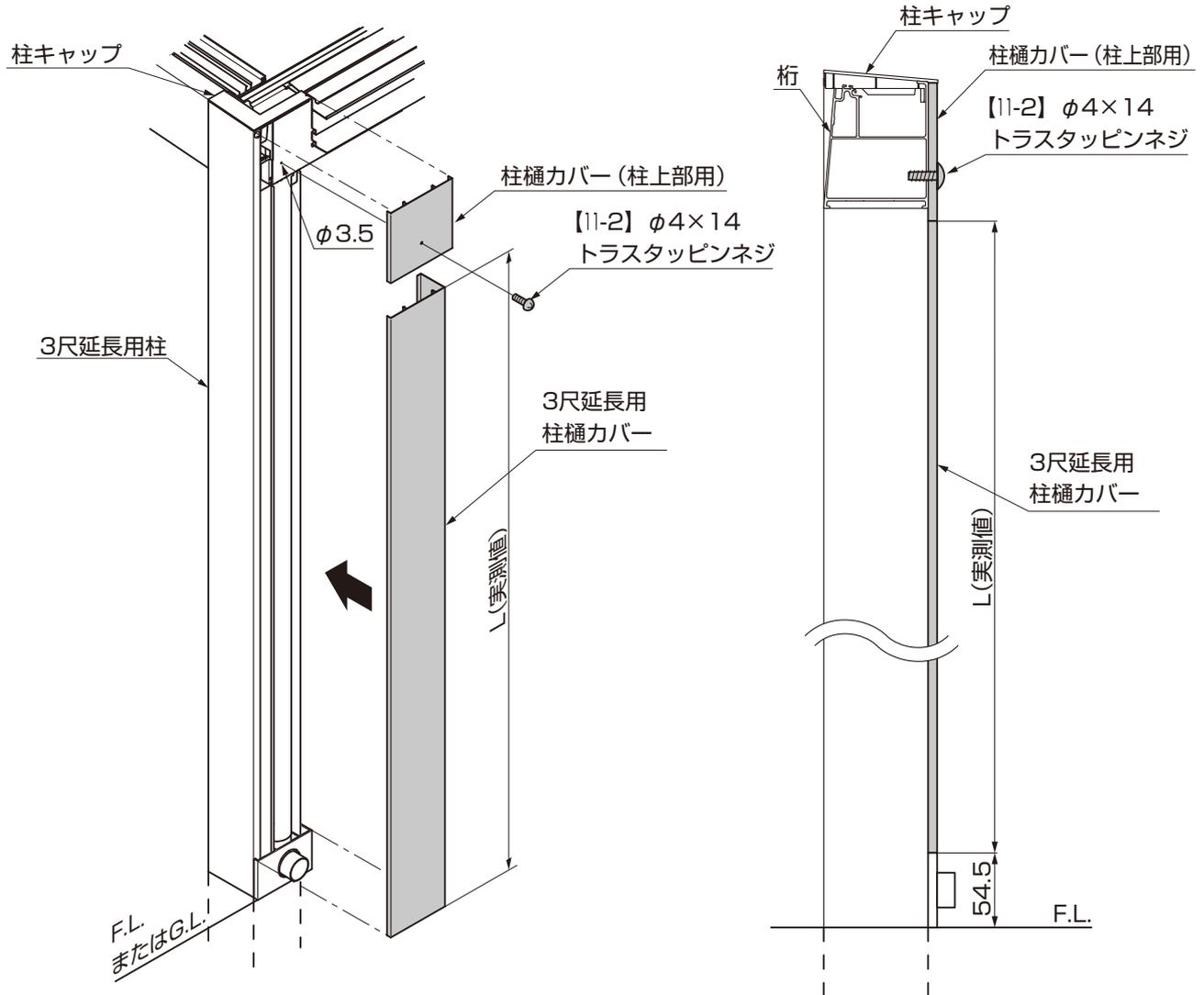


図13-3



- ① 柱樋カバー（柱上部用）を3尺延長用柱にはめ込んでください。
- ② 柱樋カバー（柱上部用）の穴をガイドにして桁にφ3.5の穴をあけてください。
- ③ 柱樋カバー（柱上部用）を桁に【11-2】で取付けてください。
- ④ 3尺延長用柱樋カバーを図13-3を参照して加工してください。
- ⑤ 3尺延長用柱樋カバーを3尺延長柱にはめ込んでください。

ポイント

- 柱樋カバー（柱上部用）を桁に固定する【11-2】のネジの締め付けは、柱樋カバー（柱上部用）が変形しないようにしてください。

14. 桁下部フタの取付け

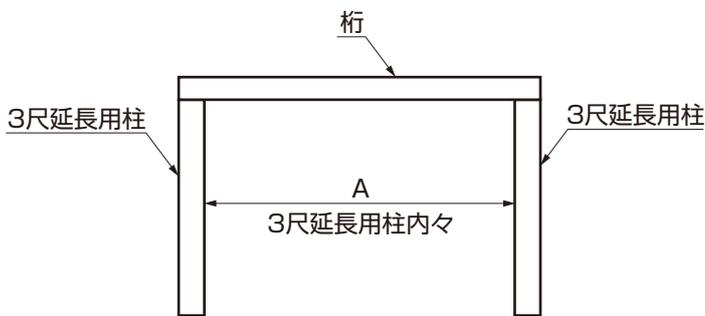


図14-2

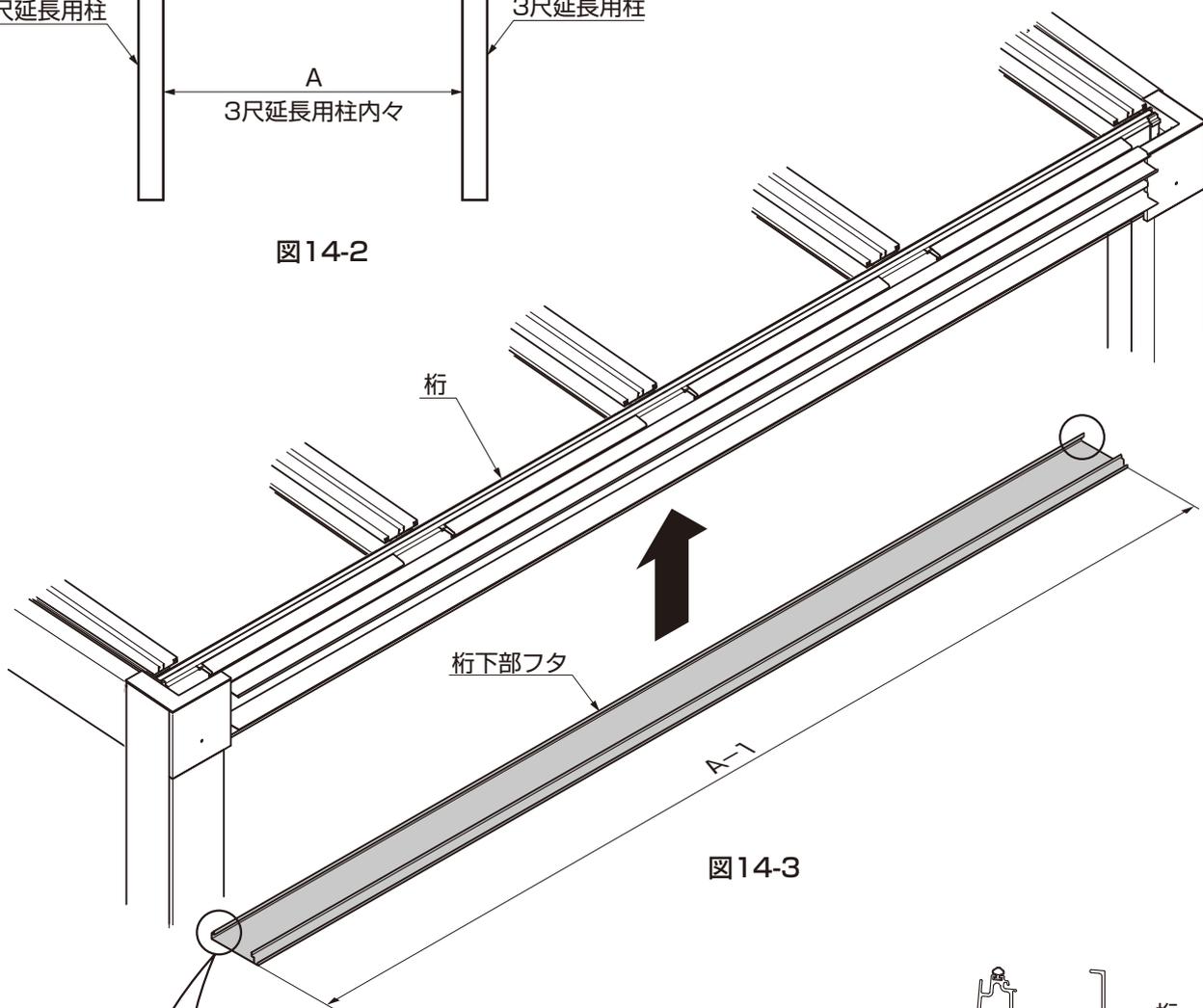


図14-3

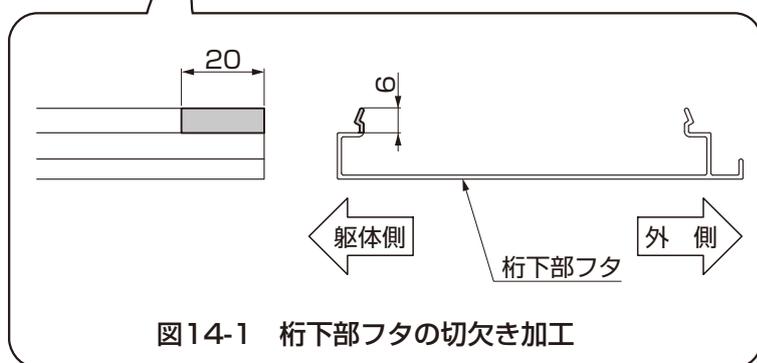


図14-1 桁下部フタの切欠き加工

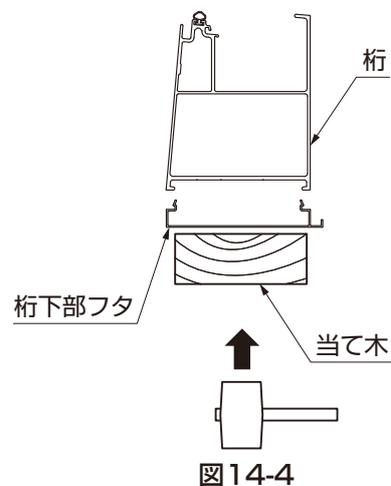


図14-4

- ① 桁下部フタの両端部を切欠き加工してください。(図14-1参照)
- ② 3尺延長用柱の内々寸法を測定して、桁下部フタを切断してください。(図14-2、図14-3参照)
- ③ 桁下部フタを当て木を使って桁にはめ込んでください。(図14-4参照)

15. 屋根材の取付け ※ [1-B]、[2-B]、[3-A] の場合の作業です。

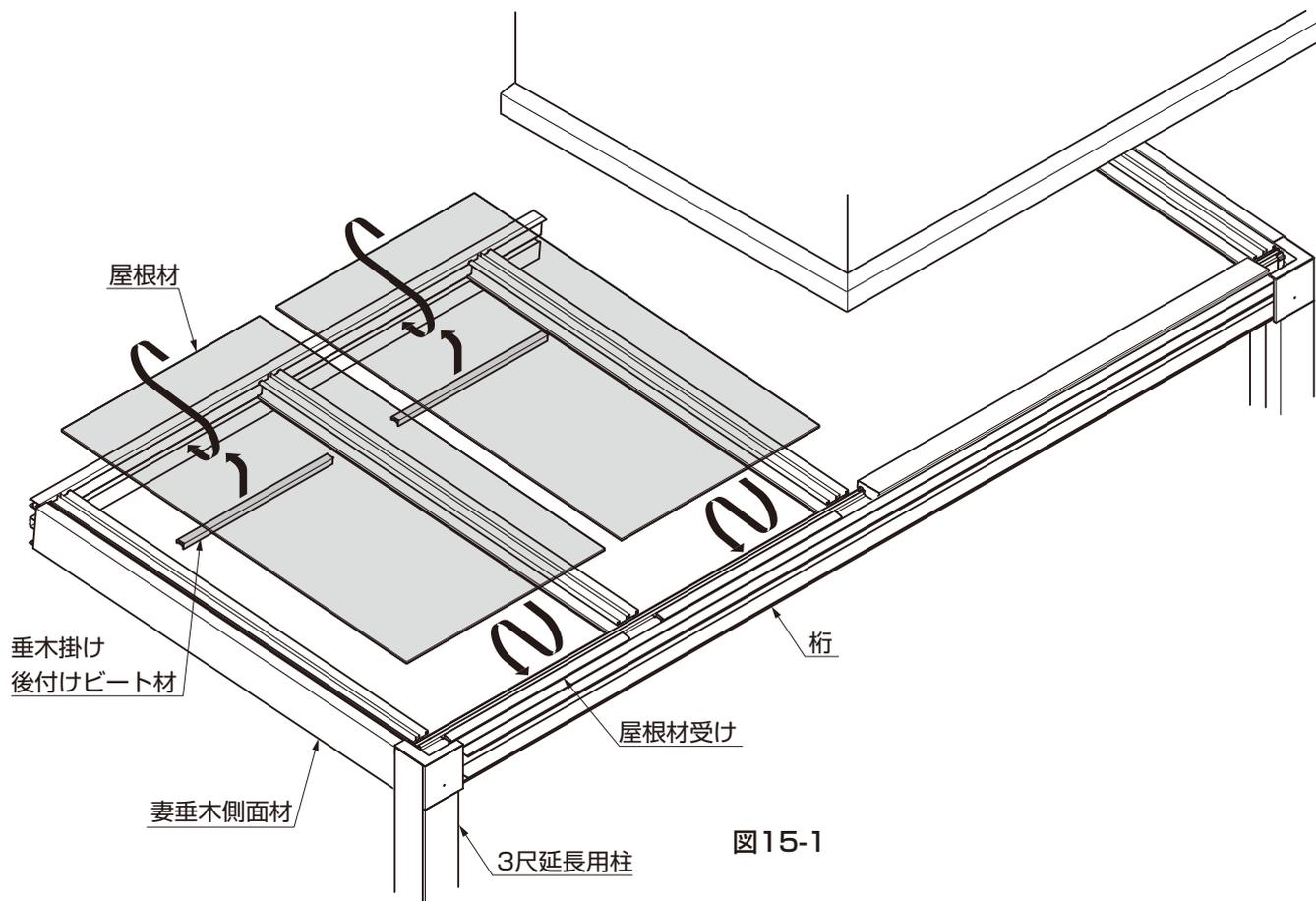


図15-1

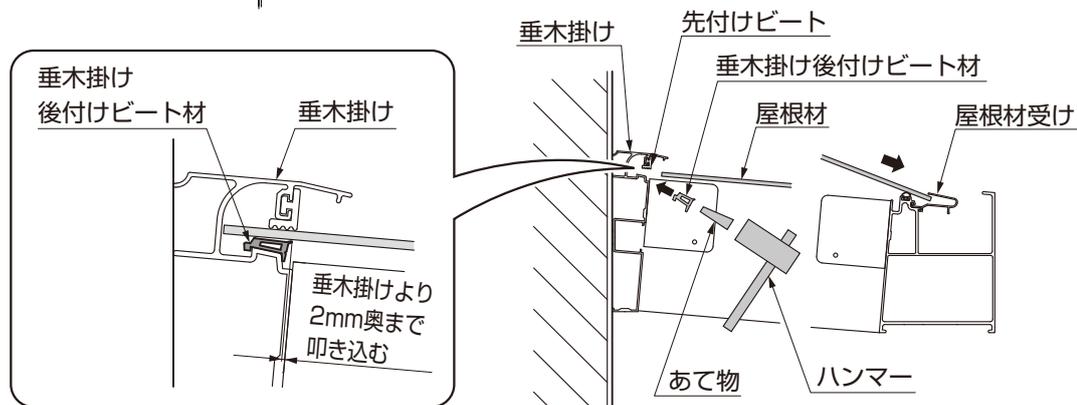


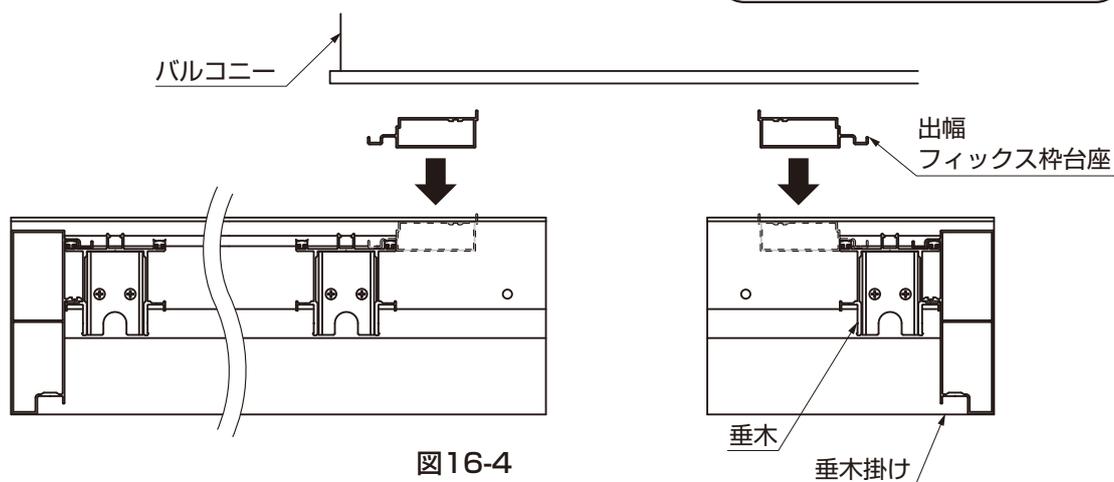
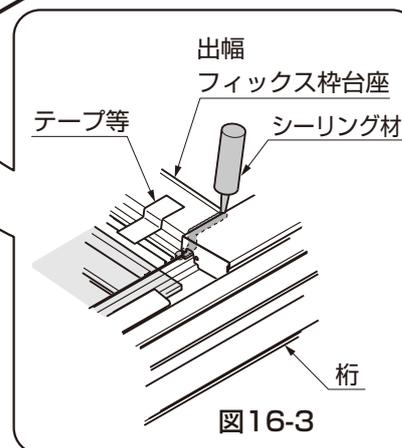
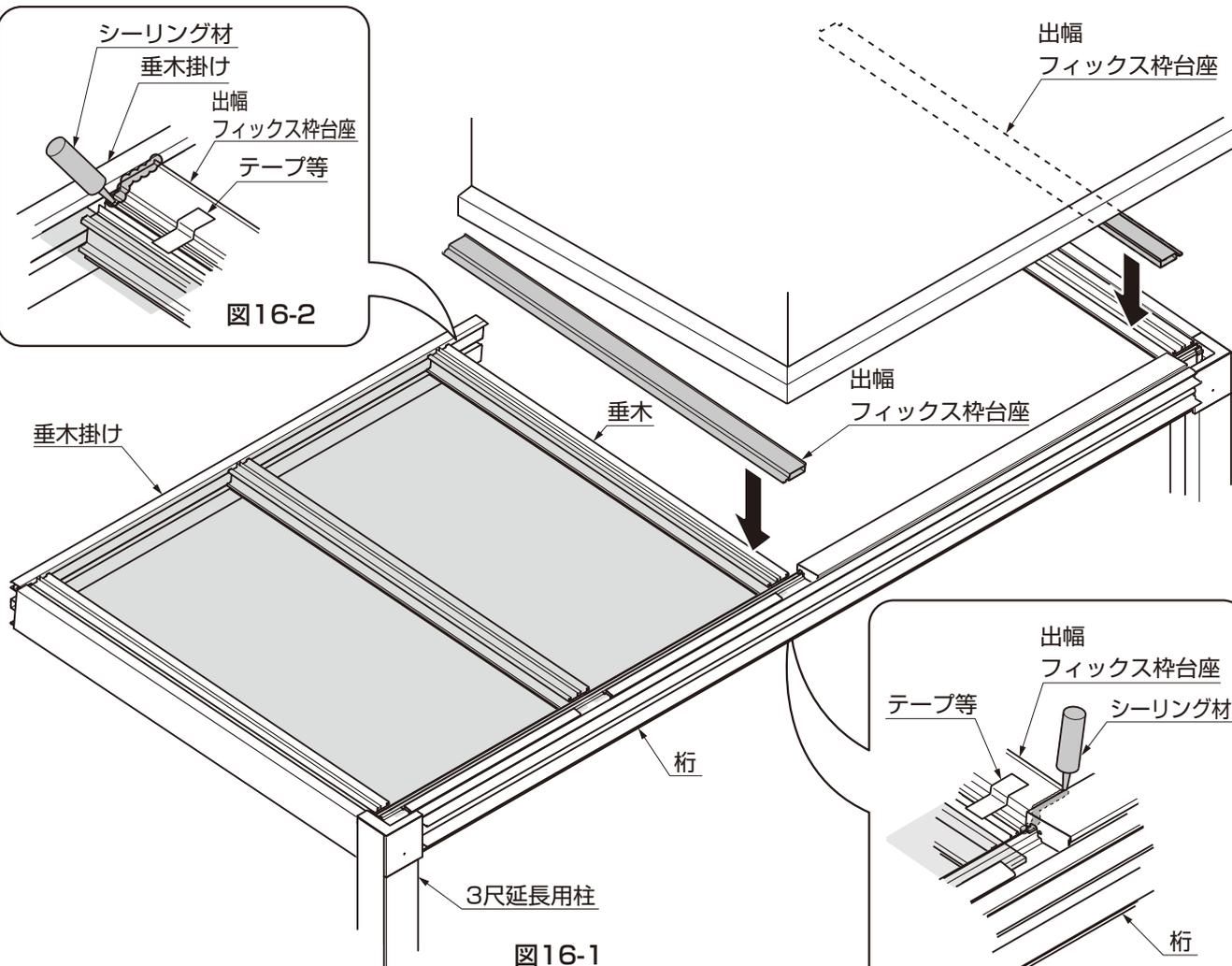
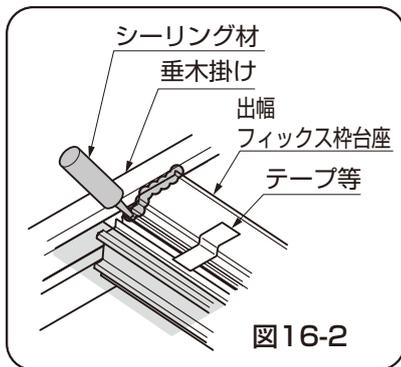
図15-2

- ① 「32. 面材の切出し」を参照して、屋根材を必要分加工してください。
- ② 屋根材受けを垂木と垂木の間になるように位置をあわせてください。
- ③ 屋根材を垂木掛けに差込んでください。
- ④ 屋根材を屋根材受けに差込んでください。
- ⑤ 垂木掛け後付けビート材をあて物をあてて垂木掛けに叩き込んでください。(図15-2参照)

ポイント

- 屋根材の取付けは、のみ込みが左右均等になるようにしてください。
- 屋根材受けを垂木間の均等な位置に合わせて、屋根材を取付けてください。
- 垂木掛け後付けビート材は、あて物をして奥まで叩き込んでください。垂木掛け後付けビート材が奥まで入っていないと外れの原因になります。(図15-2参照)

16. 出幅フィックス枠台座の取付け ※ [2-A]、[2-B] の場合の作業です。



①出幅フィックス枠台座を側面フィックス枠をはめ込む箇所の垂木にのせてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
- シーリングの際は、出幅フィックス枠台座が動かないように、テープ等で仮固定して作業してください。
(図16-2、図16-3参照)

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

17. 垂木カバーの取付け

※ [1-B]、[2-A]、[2-B]、[3-A]の場合の作業です。

表17-2

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング・シリコン(株)	SE960

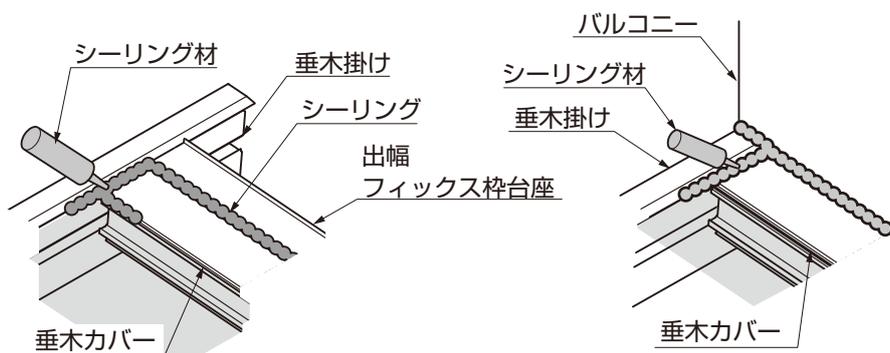


図17-1 [2-A]、[2-B]の場合

図17-2 [1-B]の場合

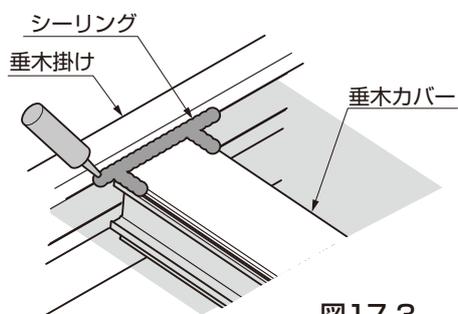


図17-3

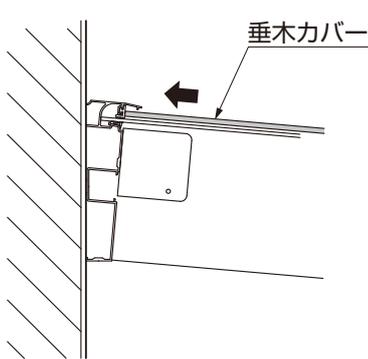
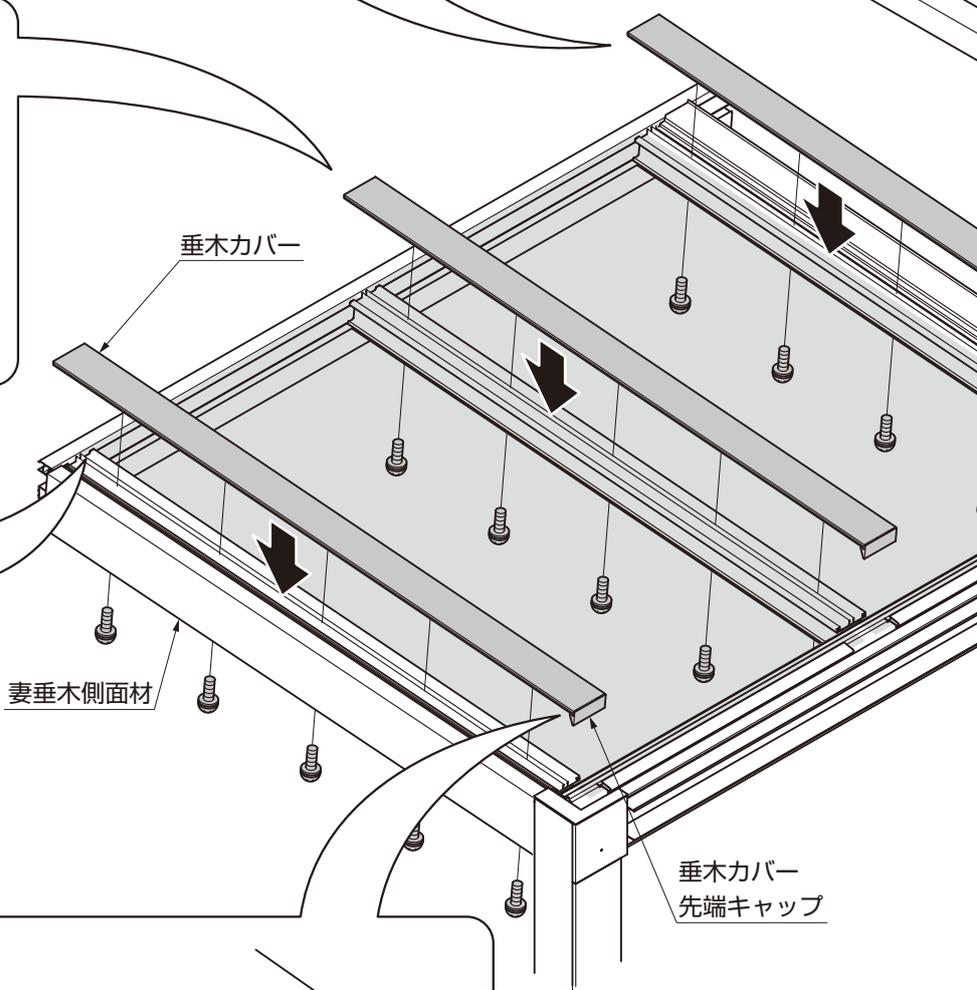


図17-4



垂木カバー
先端キャップ

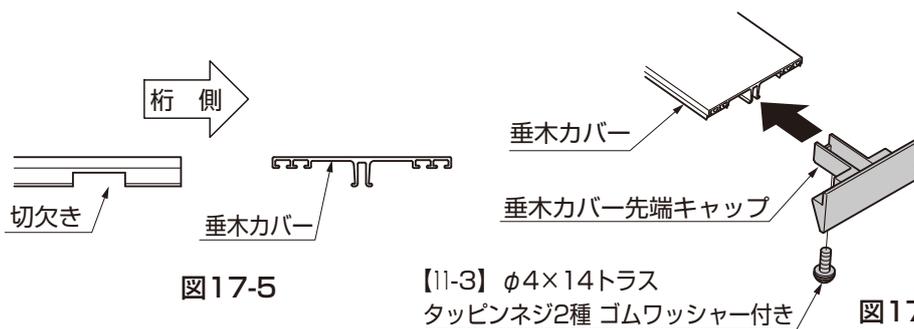


図17-5

【11-3】φ4×14トラス
タッピンネジ2種 ゴムワッシャー付き

図17-6

1-B
2-A
2-B
3-A

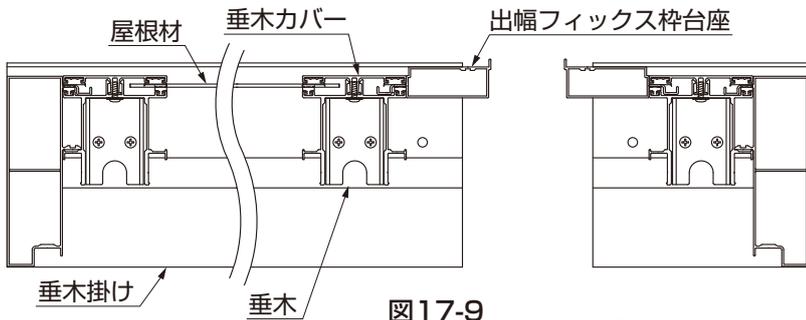
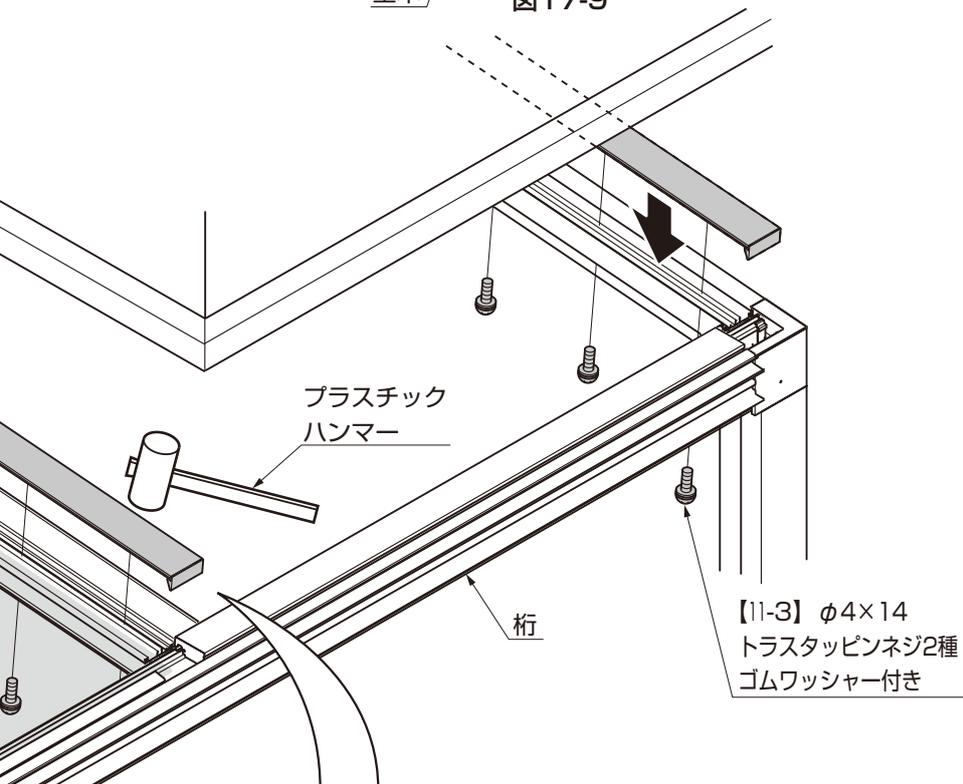


図17-9



【11-3】φ4×14
トラスタッピンネジ2種
ゴムワッシャー付き

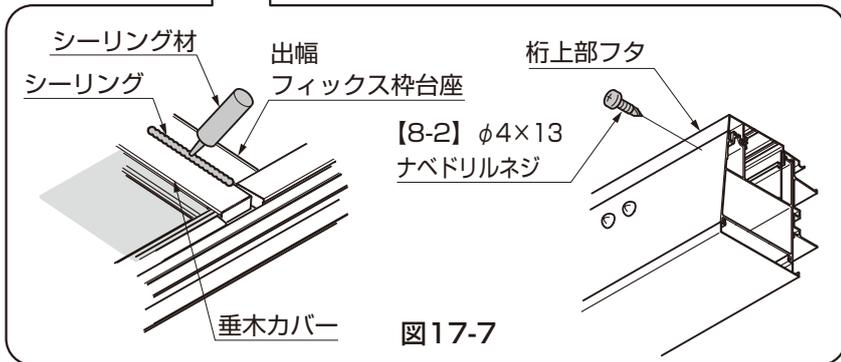


図17-7

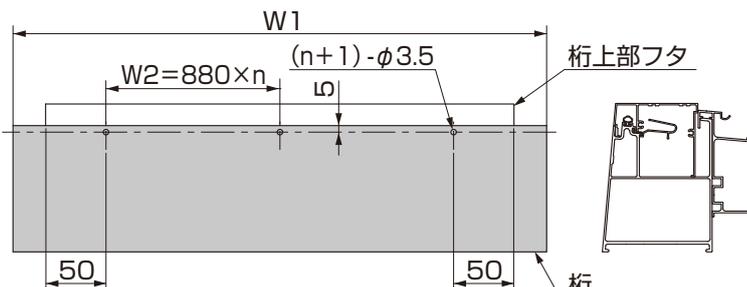


図17-8

- ①垂木カバー先端キャップを垂木カバーにはめ込んで【11-3】で取付けてください。(図17-6参照)
- ②垂木カバーを垂木掛けに差込み、【11-3】で取付けてください。(図17-4参照)

ポイント

- 垂木カバーは切欠きのあるほうを桁側にしてください。(図17-5参照)
- 垂木カバーは垂木掛けに突き当てて、取付けてください。(図17-4参照)
- 垂木カバーは部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押し込んでください。

- ③垂木カバーにシーリングしてください。(図17-3参照)
- ④バルコニー下納まりの場合は、桁上部フタが乗っている桁部分にφ3.5の穴加工をし、桁上部フタを桁に【8-2】で固定してください。(表17-1、図17-7、図17-8参照)

ポイント

- バルコニー下納まりの場合は、図17-1、17-7の箇所にシーリングしてください。
- バルコニー前納まりの場合は、図17-2の箇所にシーリングしてください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
- ポリカーボネート板へシーリングする場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。(表17-2参照)
ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがあります。

表17-1

W	W1	n
0.5間	841	0
1.0間	1751	1
1.5間	2661	2
2.0間	3571	3
2.5間	4481	4

18. 垂木化粧材の取付け ※ [1-B]、[2-A]、[2-B]、[3-A]、の場合の作業です。

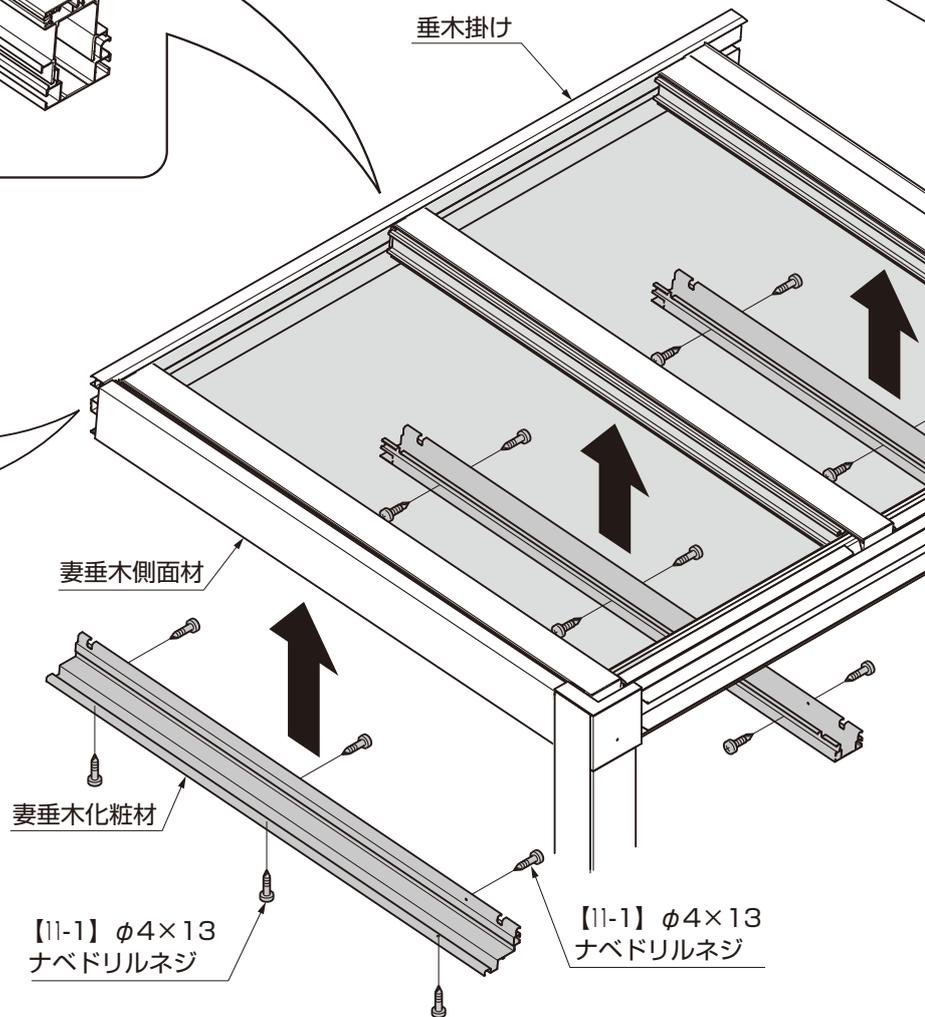
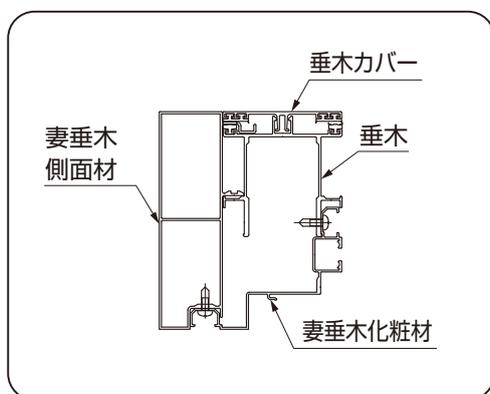
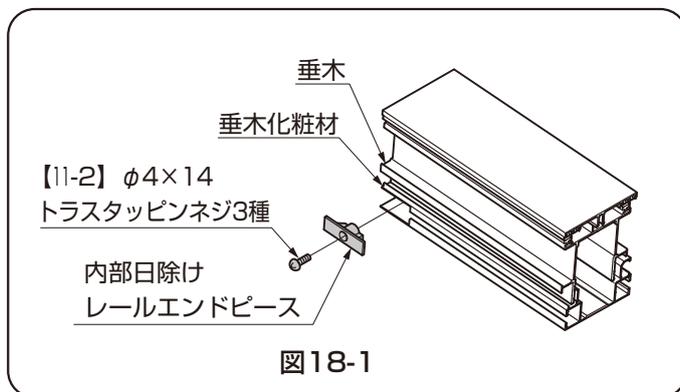


表18-1 妻垂木化粧材について

ルームタイプの場合	テラスタイプの場合

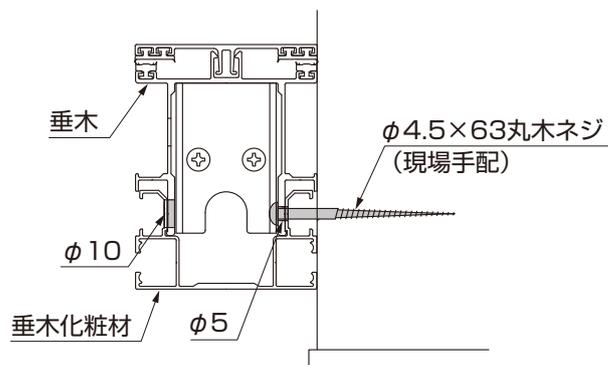


図18-2 [1-B] の場合

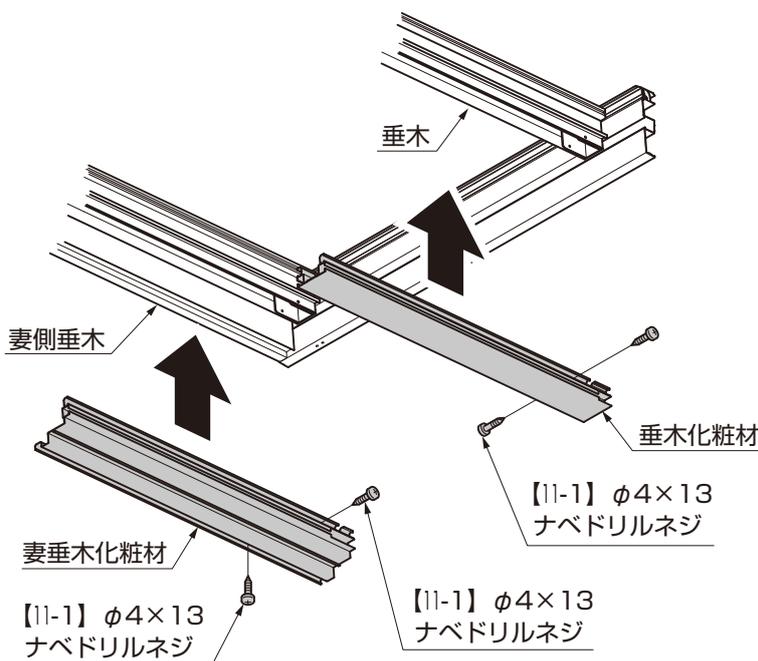
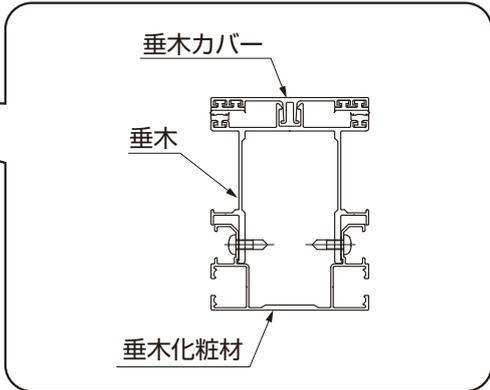
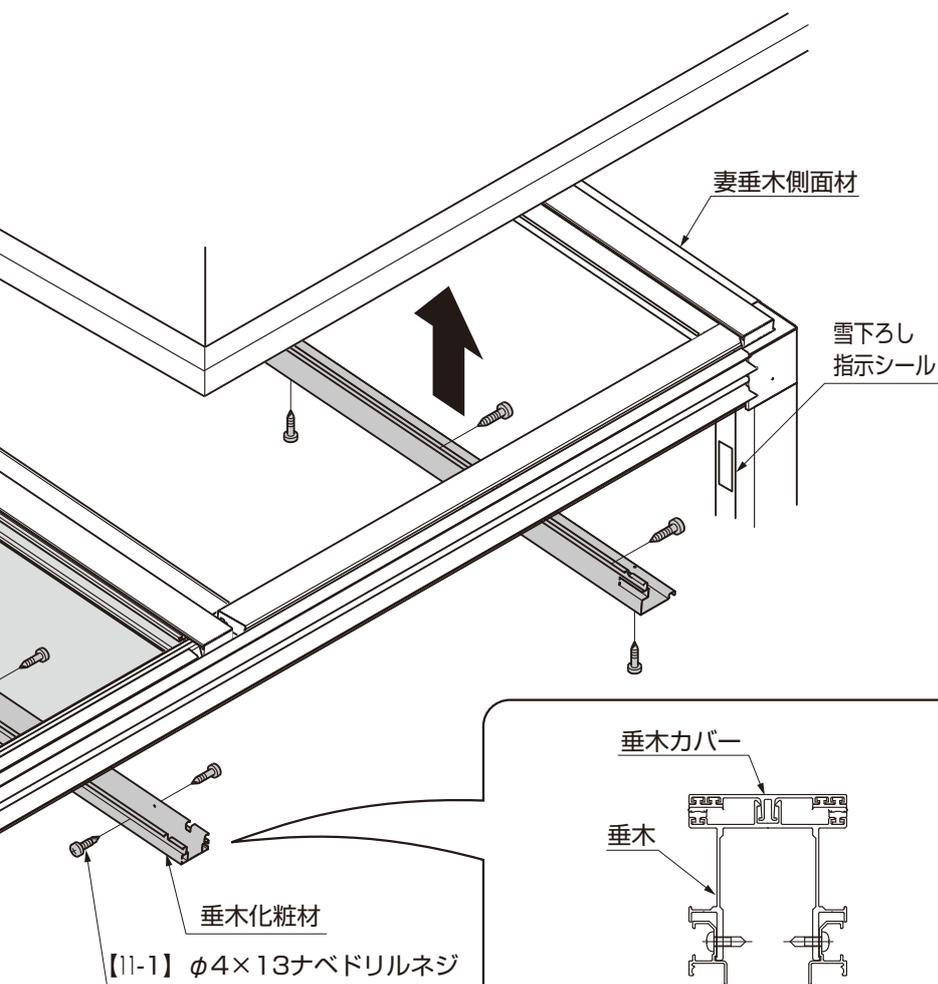


図18-3

①垂木化粧材を垂木に【11-1】で取付けてください。

ポイント

●妻垂木化粧材にはルームタイプとテラスタイプがあります。
(表18-1参照)

②妻垂木化粧材を妻側垂木に【11-1】で取付けてください。

③ [1-B] の場合の取付けで、垂木をバルコニーの側面に取付ける箇所は、垂木と垂木化粧材にφ10、φ5の穴をあけて、バルコニーに「φ4.5×63丸木ネジ」で垂木化粧材と同時に取付けてください。(図18-2参照)

ポイント

●φ4.5×63丸木ネジは、現場で手配してください。

④内部日除けレールエンドピースを垂木化粧材、妻垂木化粧材に【11-2】で取付けてください。(図18-1参照)

ポイント

●【11-2】は強く締めすぎないでください。

⑤柱の見やすい位置に雪おろし指示シールを貼付けてください。

19. 垂木掛けキャップの取付け ※ [1-B]、[2-A]、[2-B]、[3-A] の場合の作業です。

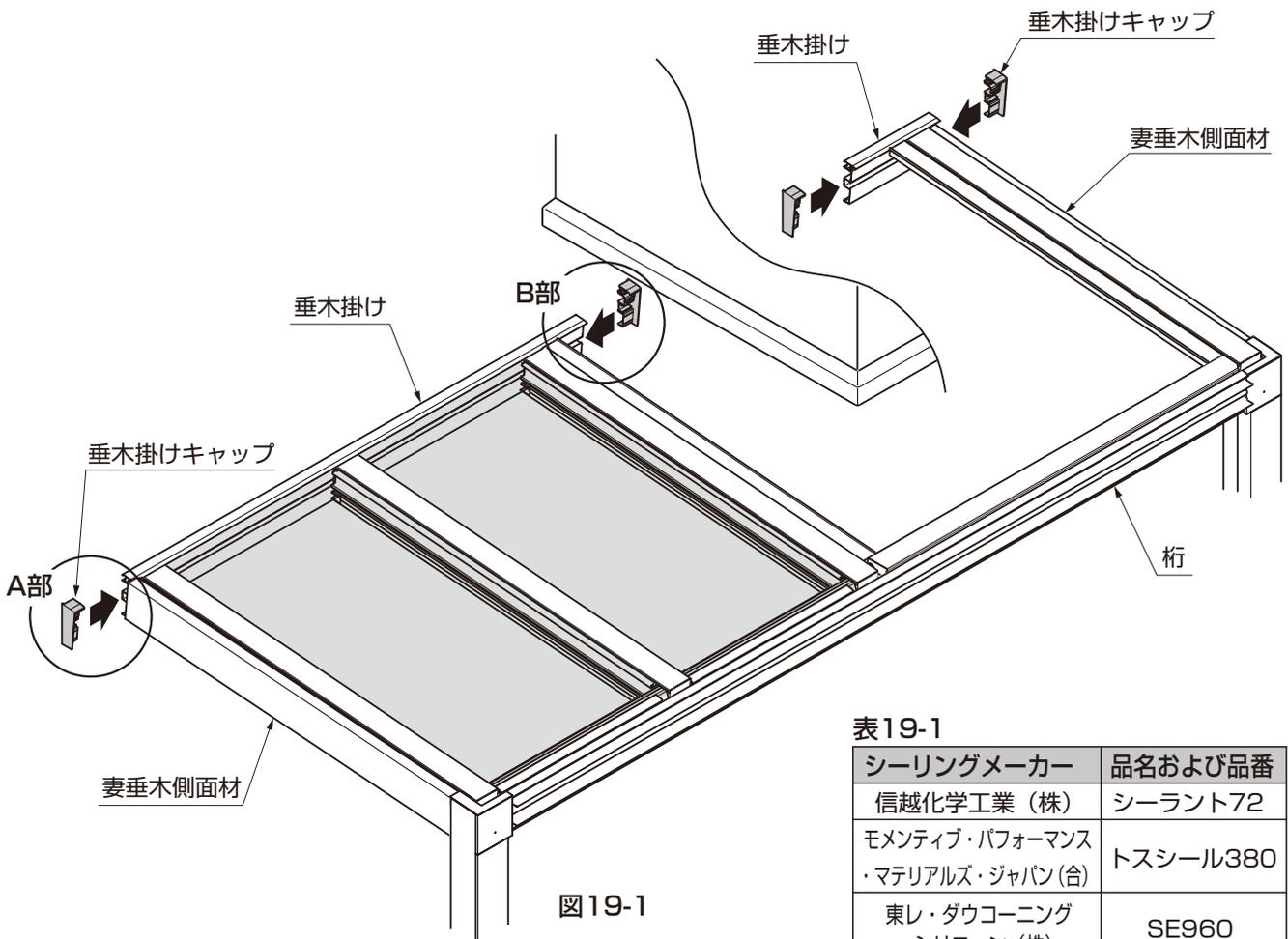


図19-1

表19-1

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業 (株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング・シリコン (株)	SE960

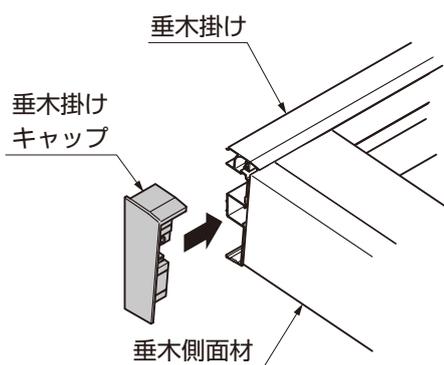


図19-2 A部詳細図

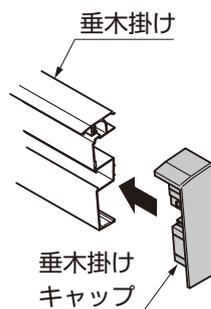


図19-3 B部詳細図
([2-A]、[2-B] の場合のみ)

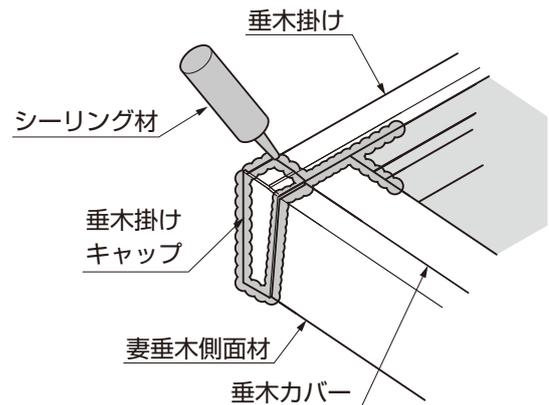


図19-4

①垂木掛けキャップを、垂木掛けに取付けてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
- ポリカーボネート板へシーリングする場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
(表19-1参照) ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがあります。

20. 妻梁上部側面フィックス部の施工

※ [1-B]、[2-A]、[2-B]、[3-A] の場合の作業です。

※ [1-B] は部分屋根側の作業です。バルコニー前側の作業は、「21. バルコニー前 側面フィックス部の加工」を確認してください。

20-1 部材の加工 ※図は右側になります。

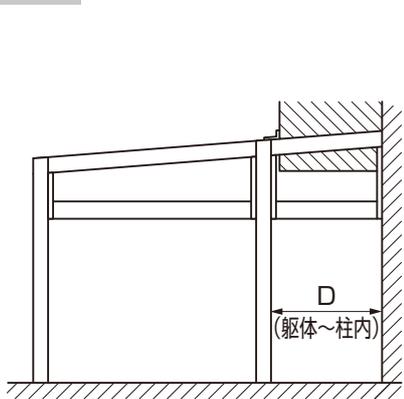


図20-1 [1-A] の場合

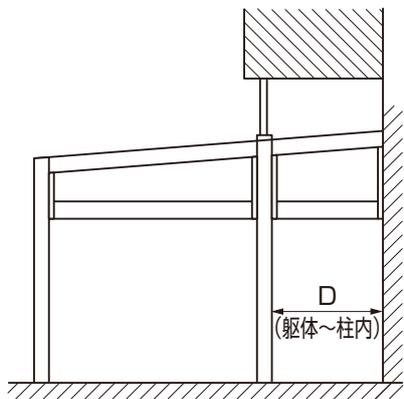


図20-2 [2-A]、[2-B] の場合

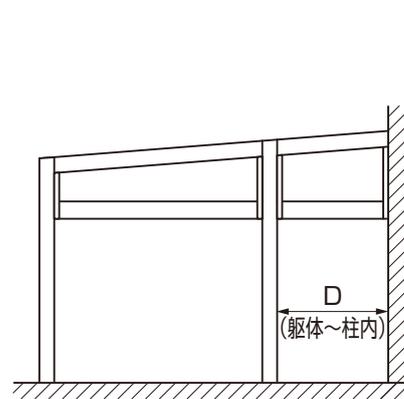


図20-3 [3-A] の場合

(1) 上部方立の加工

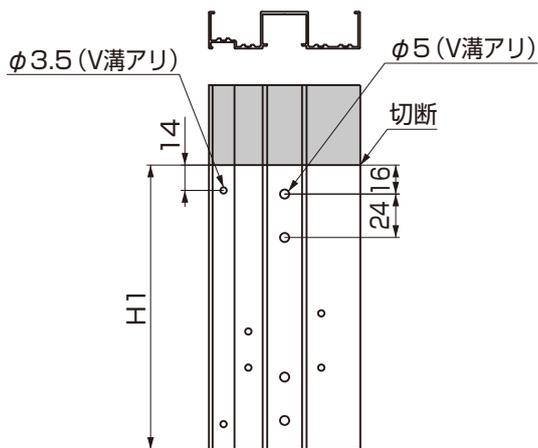


図20-4 柱側加工図

表20-1 H1加工寸法

	H1	
	6尺+3尺	8尺+3尺
妻梁を切詰めない場合		
妻梁を切詰める場合 (D寸法切詰め)	243	295

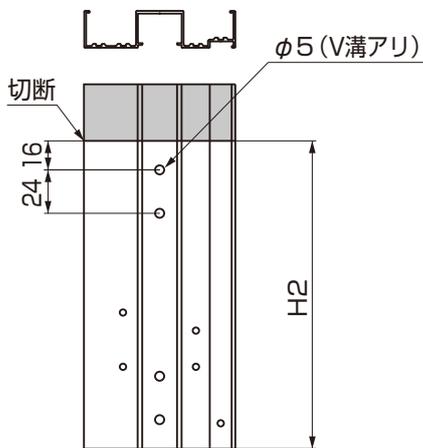


図20-5 躯体側加工図

表20-2 H2加工寸法

	H2	
	6尺+3尺	8尺+3尺
妻梁を切詰めない場合	313	切断なし
妻梁を切詰める場合 (D寸法切詰め)	$D \times 0.0875 + 244$	$D \times 0.0875 + 296$

① 上部方立を加工してください。

20. (つづき)

(2) 妻パネル方立枠と上部方立用グレチャンの加工

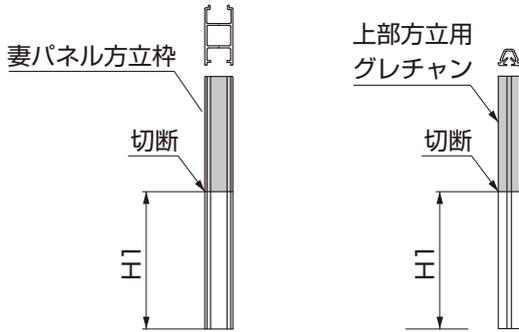


図20-6 柱側加工図

表20-3 H1加工寸法

	H1	
	6尺+3尺	8尺+3尺
妻梁を切詰めない場合		
妻梁を切詰める場合 (D寸法切詰め)	164	216

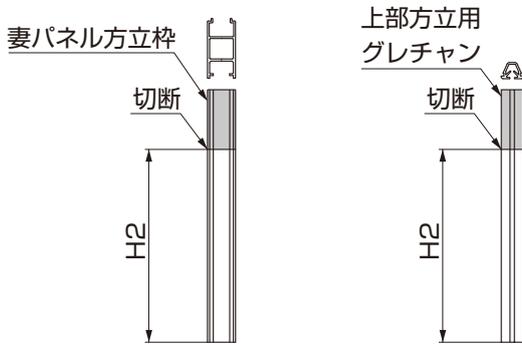


図20-7 躯体側加工図

表20-4 H2加工寸法

	H2	
	6尺+3尺	8尺+3尺
妻梁を切詰めない場合	227	切断なし
妻梁を切詰める場合 (D寸法切詰め)	$D \times 0.0875 + 158$	$D \times 0.0875 + 210$

- ①妻パネル方立枠を加工してください。
- ②妻パネル方立枠と同じ寸法で上部方立用 グレチャンを切断してください。

(3) 上部方立用ミゾ塞ぎの加工

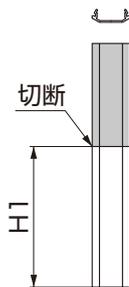


図20-8 柱側加工図

表20-5 H1加工寸法

	H1	
	6尺+3尺	8尺+3尺
妻梁を切詰めない場合		
妻梁を切詰める場合 (D寸法切詰め)	156	208

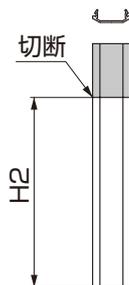


図20-9 躯体側加工図

表20-6 H2加工寸法

	H2	
	6尺+3尺	8尺+3尺
妻梁を切詰めない場合	225	切断なし
妻梁を切詰める場合 (D寸法切詰め)	$D \times 0.0875 + 156$	$D \times 0.0875 + 208$

- ①上部方立用ミゾ塞ぎを切断してください。

(4) 妻梁、妻梁フタの加工 ※妻梁を加工する場合の作業です。

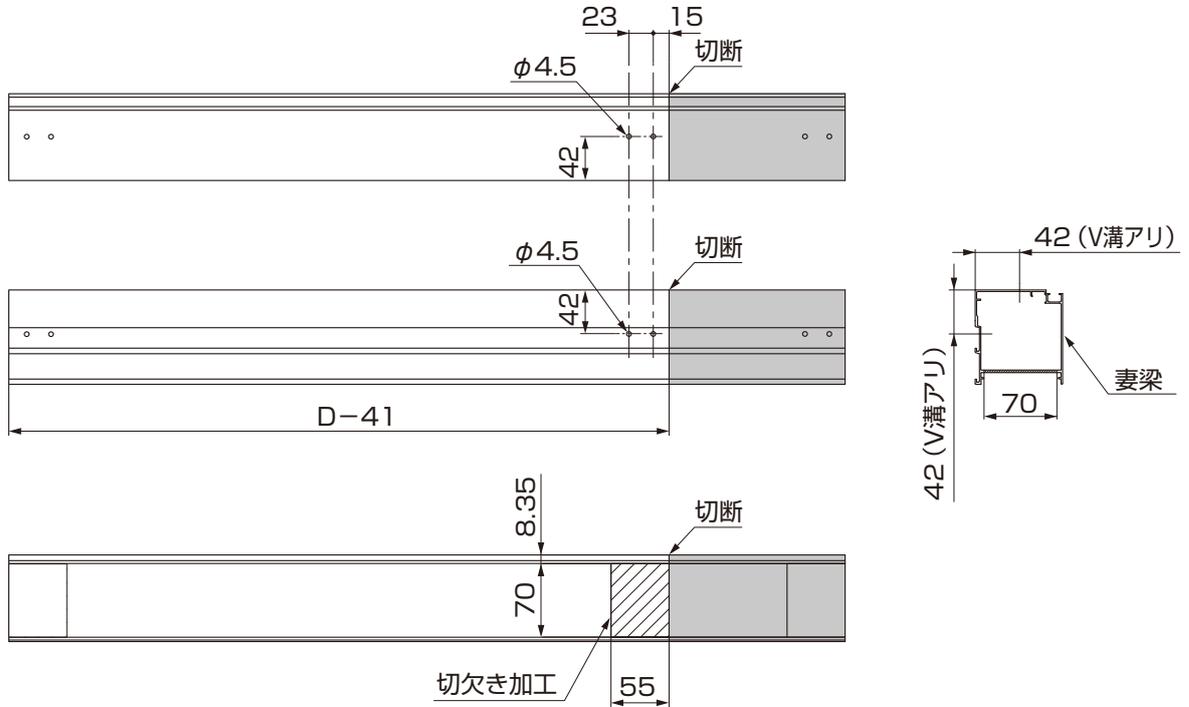


図20-10 妻梁加工図

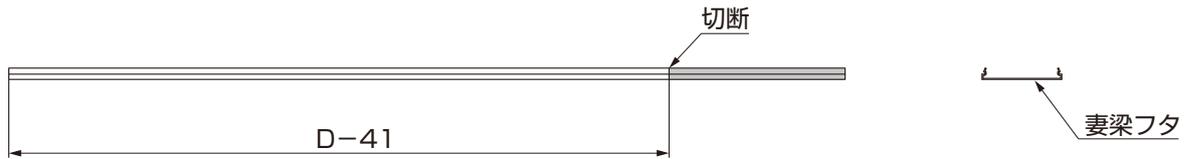


図20-11 妻梁フタ加工図

①妻梁、妻梁フタを加工してください。

20. (つづき)

20-2 部材の取付け

(1) 上部方立の取付け

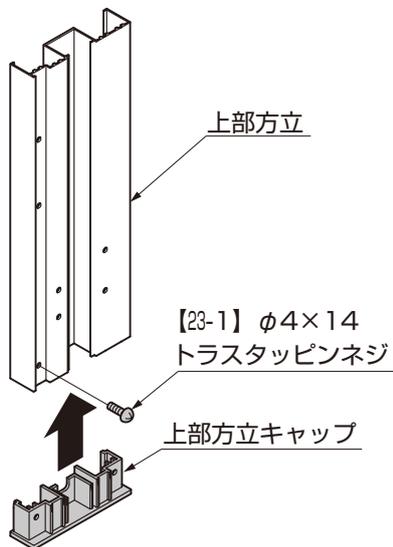


図20-15 躯体側

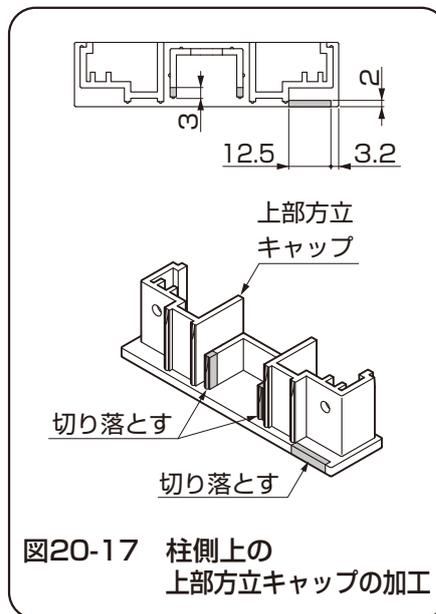


図20-17 柱側上の
上部方立キャップの加工

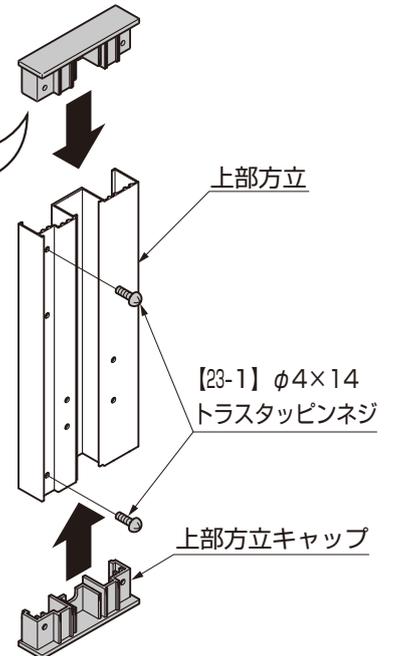


図20-16 柱側

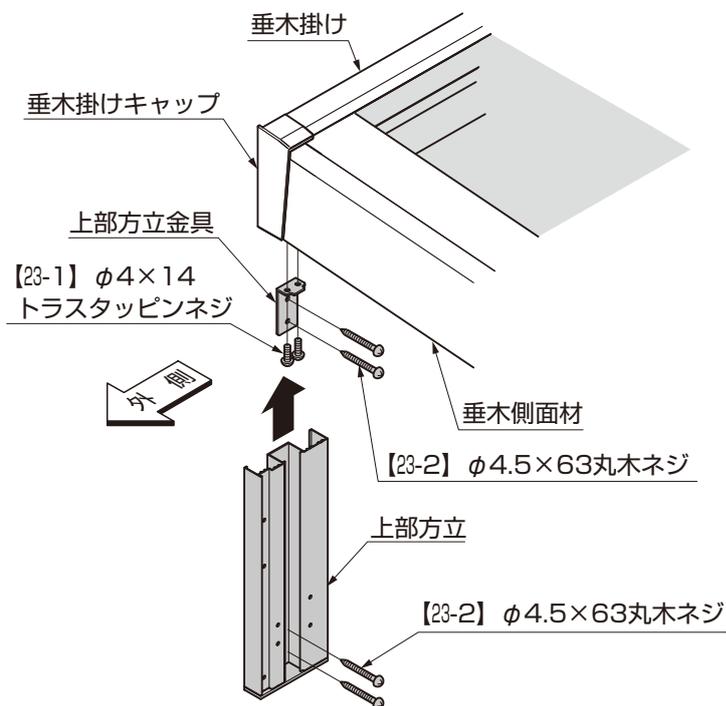


図20-18 躯体側

- ① 柱側の上に取り付ける上部方立キャップを図20-17の箇所で加工してください。
- ② 上部方立に上部方立キャップを【23-1】で取付けてください。

ポイント

- 柱側の上部方立は上下に上部方立キャップを取付けてください。

- ③ 上部方立金具を垂木掛けに【23-1】で取付けてください。
- ④ 躯体側の上部方立を上部方立金具にスライドさせ、【23-2】で取付けてください。

20-2 つづき

(1) つづき

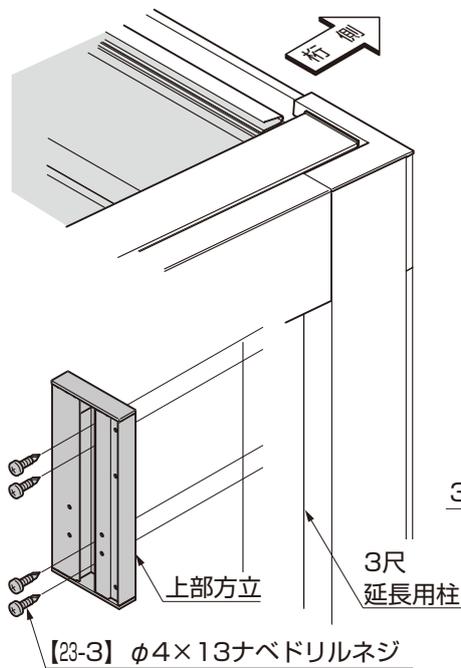


図20-19 柱側

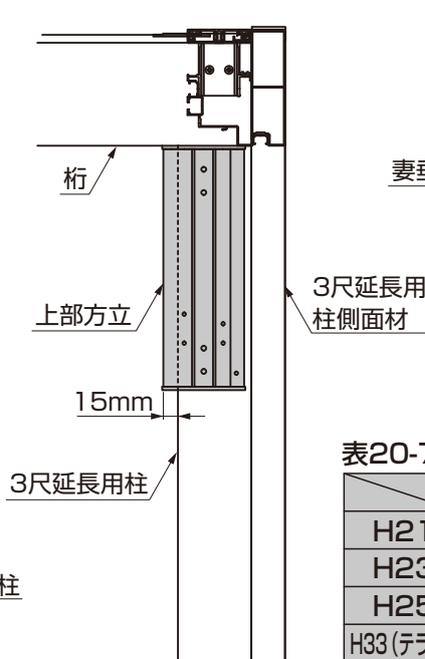


図20-20 柱側背面図

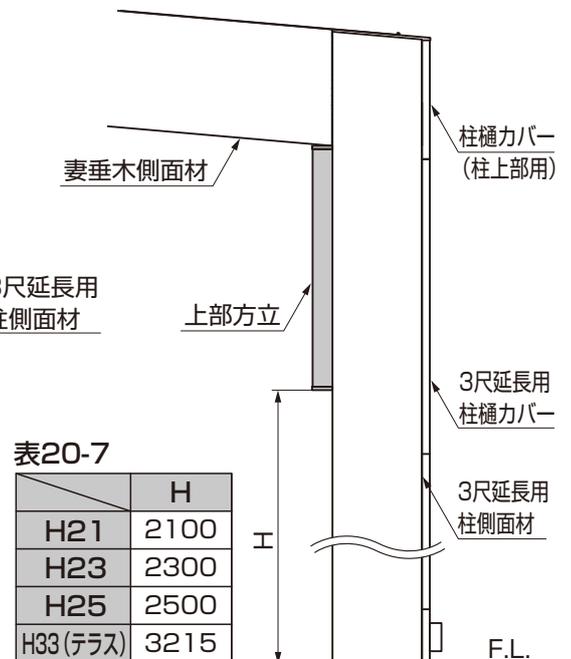


図20-21 柱側側面図

表20-7

	H
H21	2100
H23	2300
H25	2500
H33(テラス)	3215

⑤ 柱側の上部方立を3尺延長用柱に【23-3】で取付けてください。

ポイント

- 柱側の上部方立は、3尺延長用柱より15mm内側に取付けてください。(図20-20)
- 上部方立は正確に取付けてください。正確でない上レールの取付けに影響が出て、パネルの動きがスムーズでなくなるおそれがあります。

(2) 妻梁金具の取付け

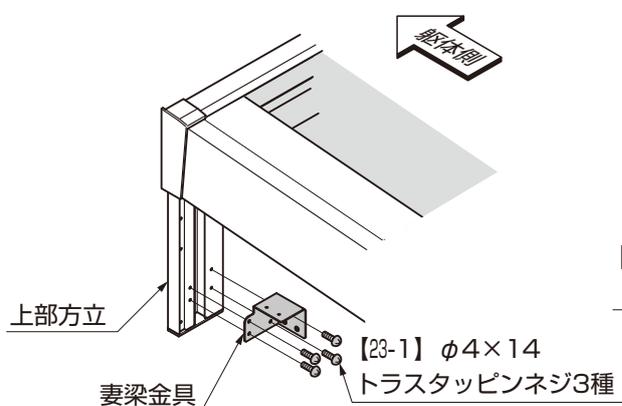


図20-22

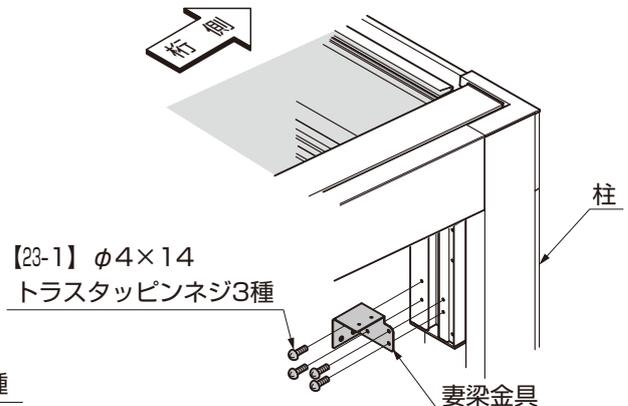


図20-23

① 妻梁金具を躯体側の上部方立と柱側の上部方立に【23-1】で取付けてください。

※ [1-A]、[1-B] の場合の作業です。
 ※テラス妻梁なし仕様の場合は、この作業を行いません。

21. バルコニー前 側面フィックス部の施工

21-1 部材の取付け

(1) 移動方立の加工

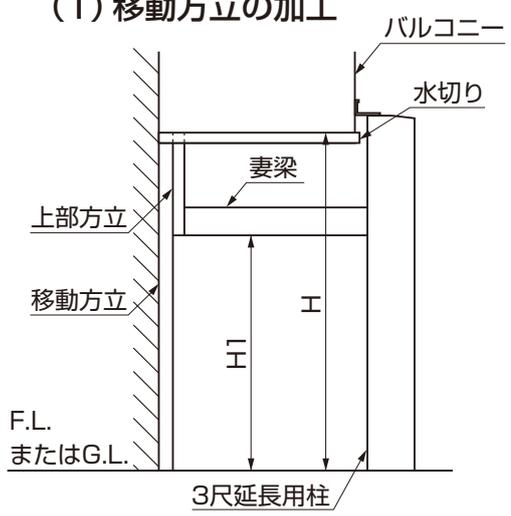


図21-1

表21-1

	H1
H21	2100
H23	2300
H25	2500
H33 (テラス)	3215

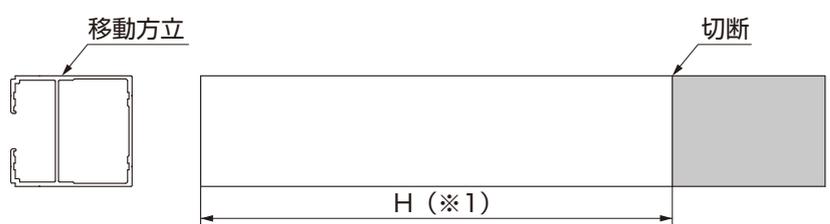


図21-2

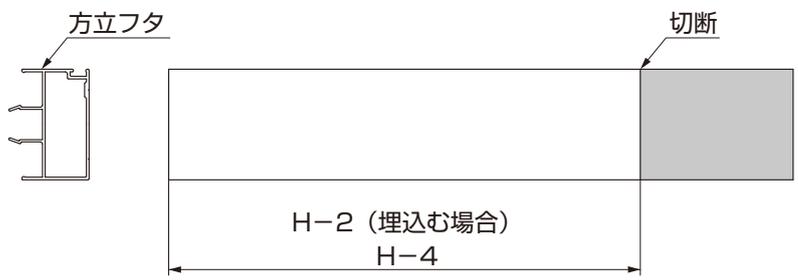


図21-3

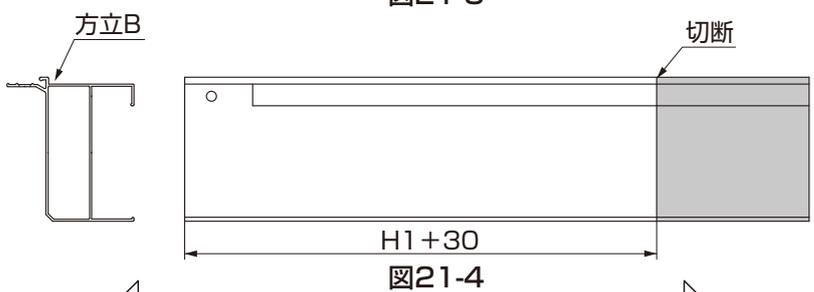


図21-4

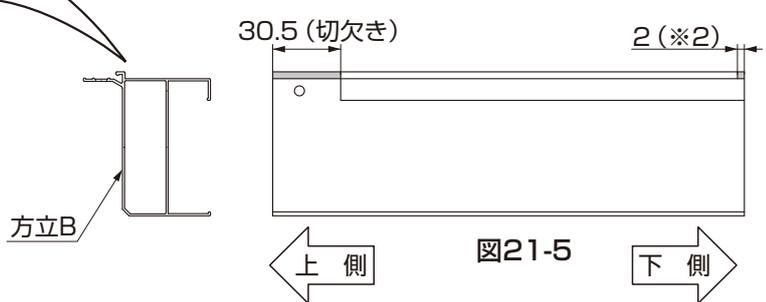
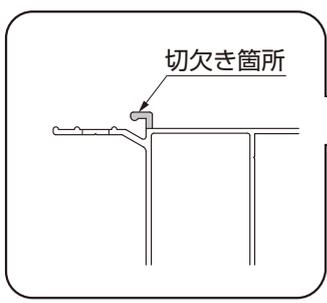


図21-5

- ①図21-1を参照してF.L.からバルコニー下面まで(H寸法)を測定してください。(図21-1参照)
- ②移動方立、方立フタ、パネル用方立Bを切断してください。(表21-1参照)

ポイント

- 移動方立を埋込む場合の最大深さは450mmです(※1)
- パネル用方立Bは図21-4の加工を行なった後、図21-5の加工をしてください。
- 方立Bの2mmの切欠き(※2)は埋込まない場合のみ行なってください。
- HはF.L.またはG.L.からバルコニー下面の寸法です。

(2) 方立取付金具Aの取付け

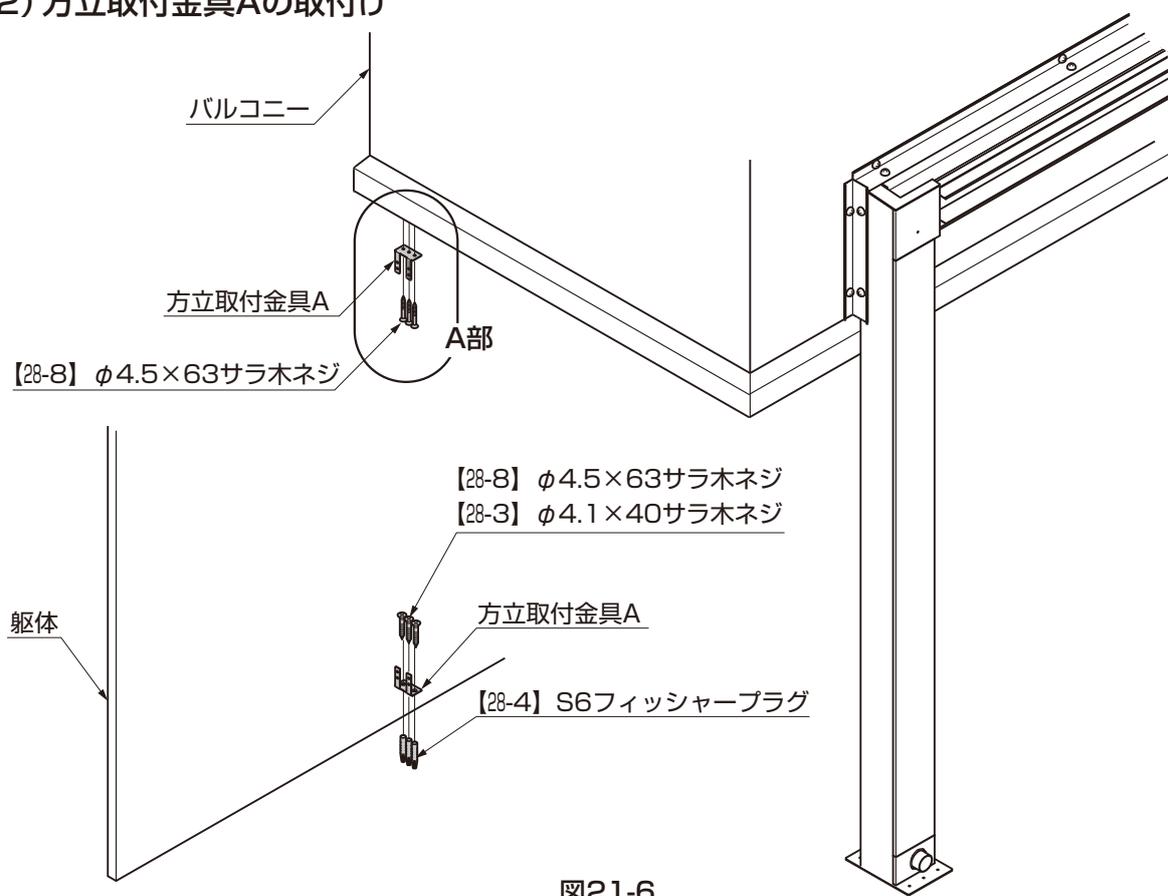


図21-6

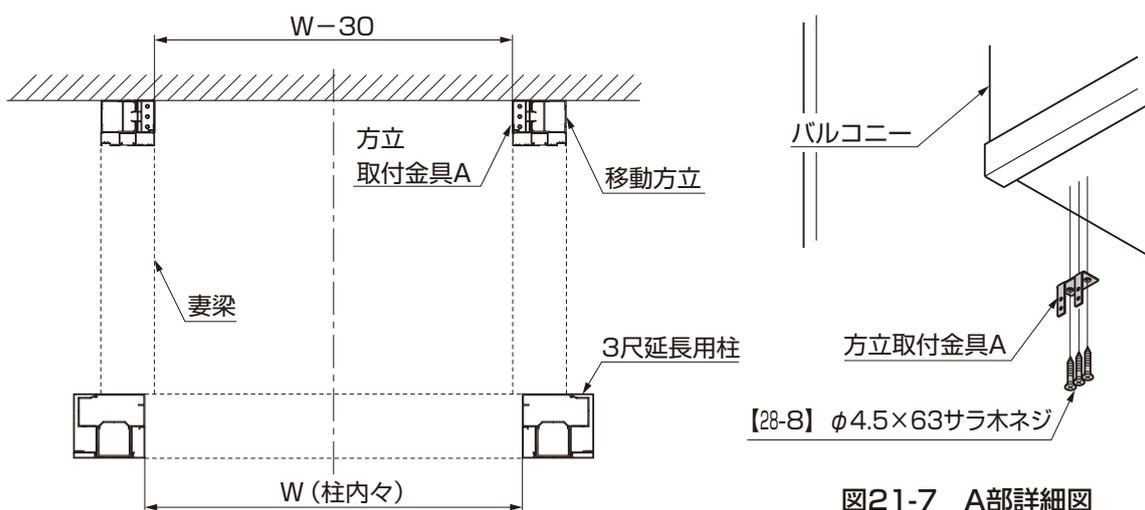


図21-7 A部詳細図

①方立取付金具Aをバルコニーの下面に【28-8】で取付けてください。床面への固定、土間仕様は【28-3】、【28-4】で、デッキ仕様は【28-8】で取付けてください。(図21-6、図21-7参照)

ポイント

●方立取付金具は正確に取付けてください。正確でないと、パネルを取付けた際、パネルの動きがスムーズでなくなるおそれがあります。

21. (つづき)

(3) 方立の取付け

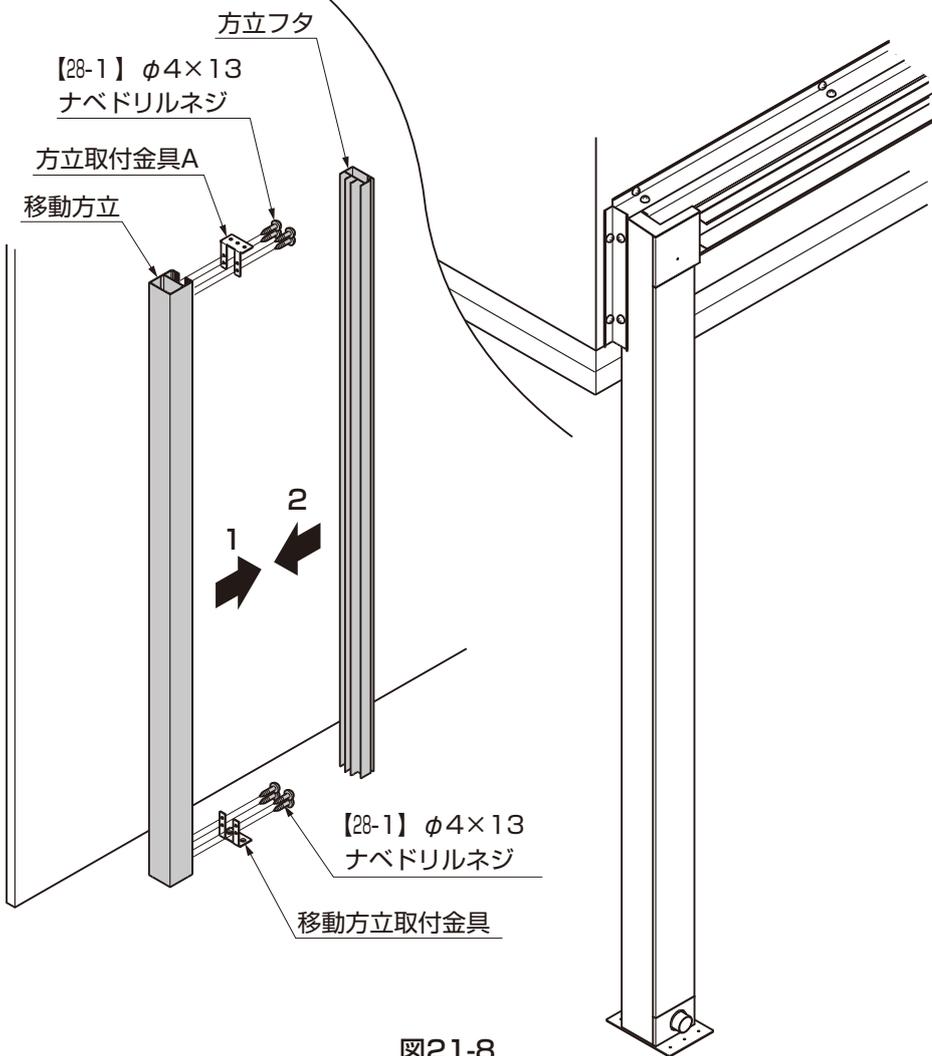


図21-8

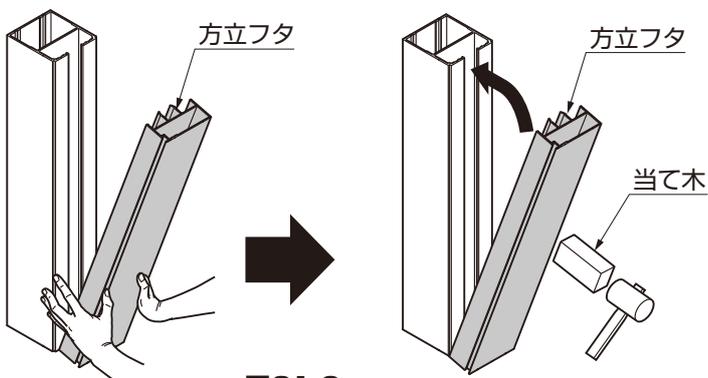


図21-9

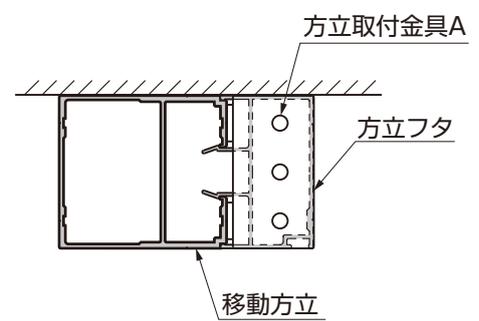


図21-10

- ① 移動方立を方立取付金具Aに【28-1】で取付けてください。
- ② 方立フタを移動方立にはめ込んでください。

ポイント

- 方立フタを取付ける時は、下側を手で強く押し込み、上側に向かって当て木を使いはめ込んでください。

(4) パネル用方立Bの取付け

※テラスタイプの場合はこの作業を行いません。
※図は左になります。

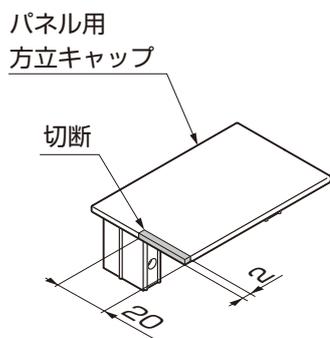


図21-11

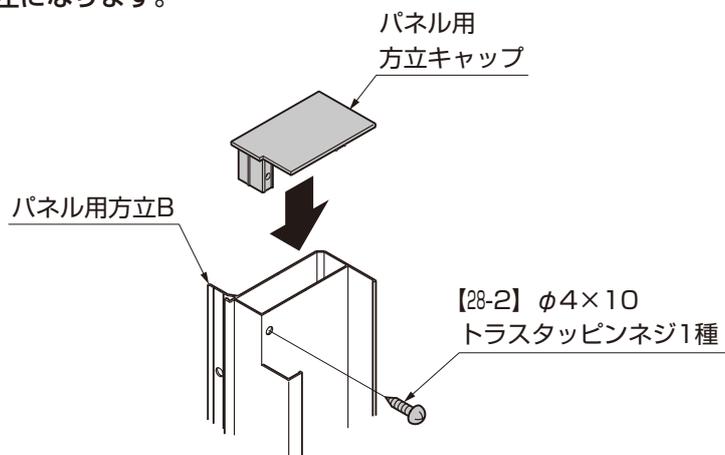


図21-12

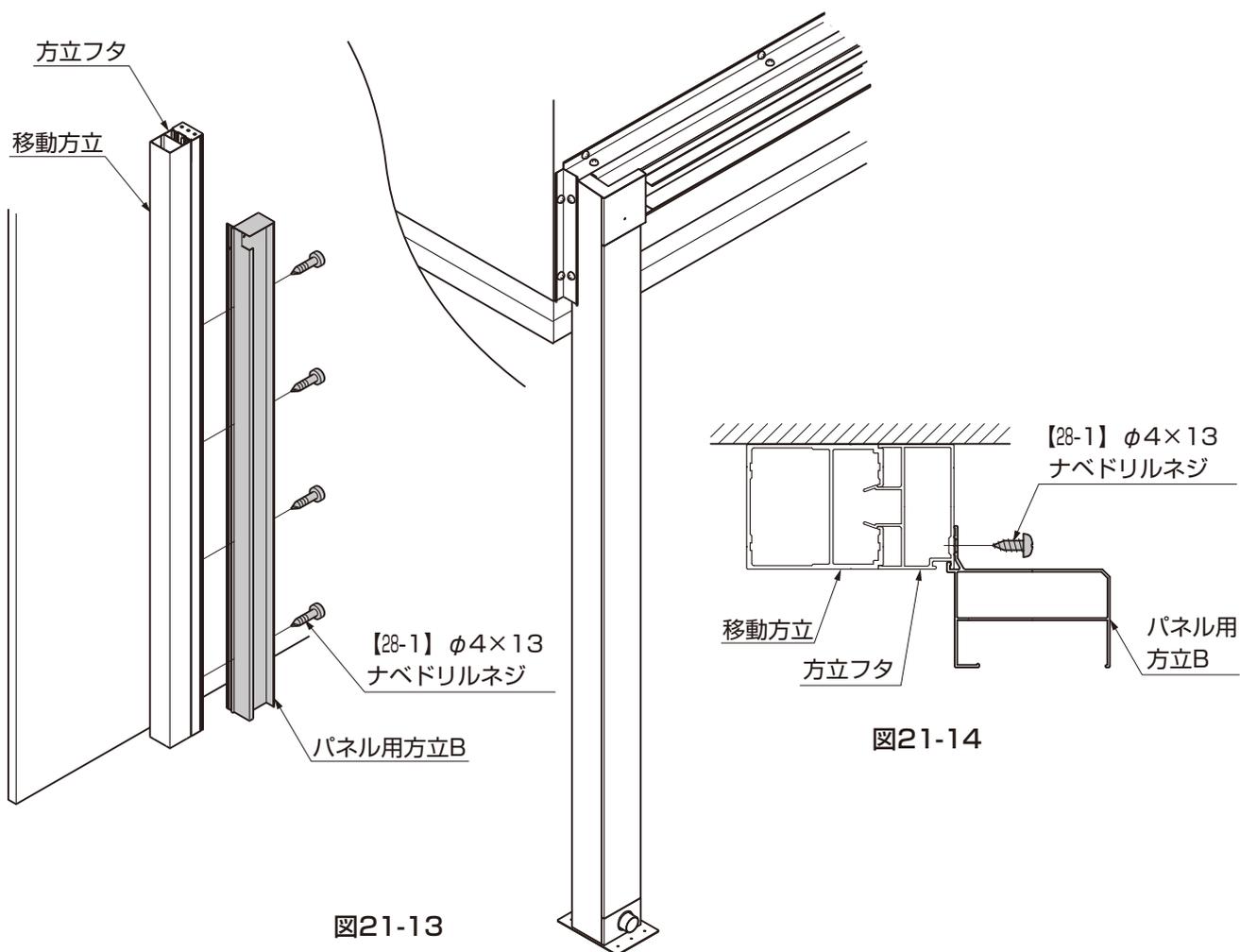


図21-13

図21-14

- ①パネル用方立キャップを加工してください。(図21-11参照)
- ②パネル用方立キャップを方立に【28-2】で取付けてください。(図21-12参照)
- ③パネル用方立Bを方立フタに【28-1】で取付けてください。(図21-13、図21-14参照)

21. (つづき)

21-2 部材の加工 ※図は左になります。

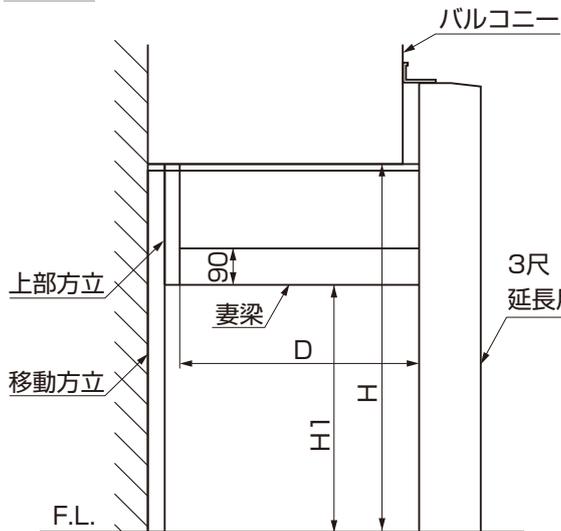


図21-15

表21-2

	H1
H21	2100
H23	2300
H25	2500
H33(テラス)	3215

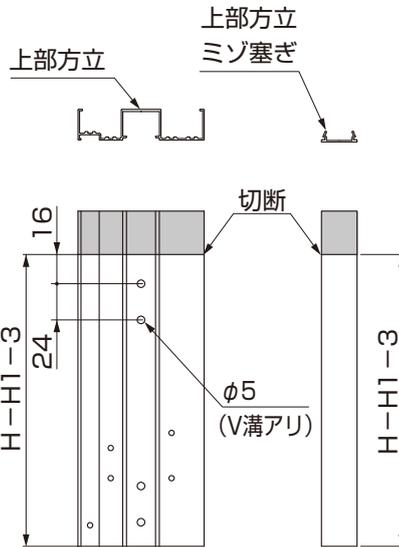


図21-16 躯体側

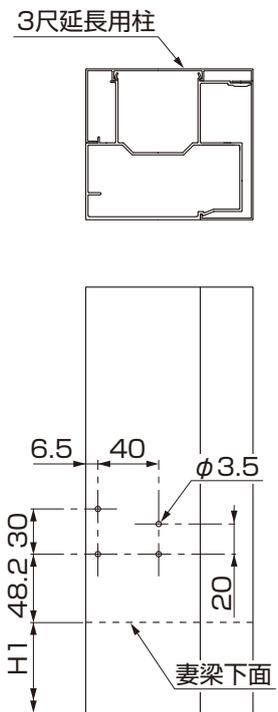


図21-17 柱側

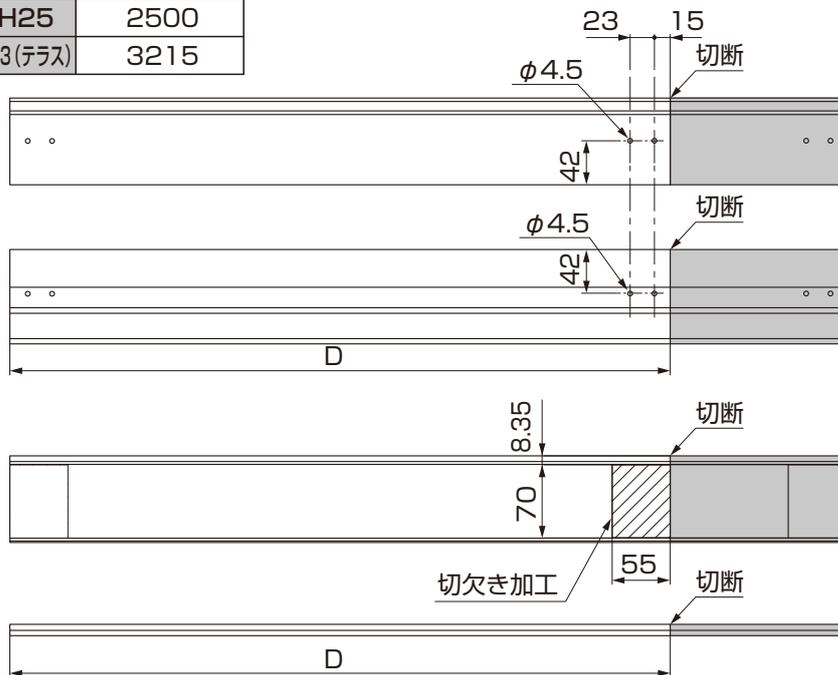
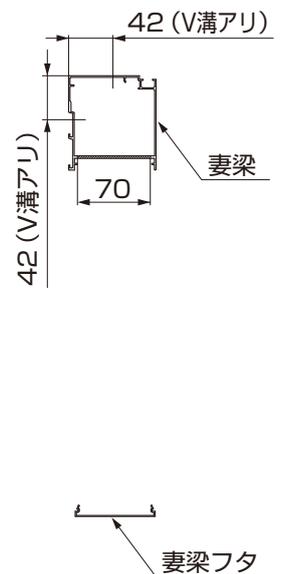


図21-18



- ① F.L.からバルコニー下面まで (H寸法) を測定してください。(図21-15参照)
- ② 上部方立、上部方立用ミゾ塞ぎを加工してください。(図21-16参照)
- ③ 3尺延長用柱に穴加工をしてください。(図21-17参照)
- ④ 妻梁、妻梁フタを加工してください。(図21-18参照)

ポイント

- HはF.L.からバルコニー下面の寸法です。

21-3 上部方立の組立て ※図は左になります。

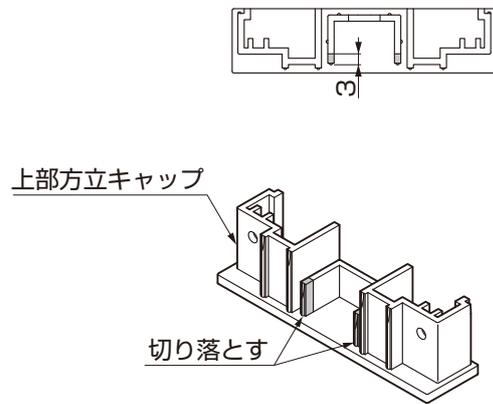


図21-19

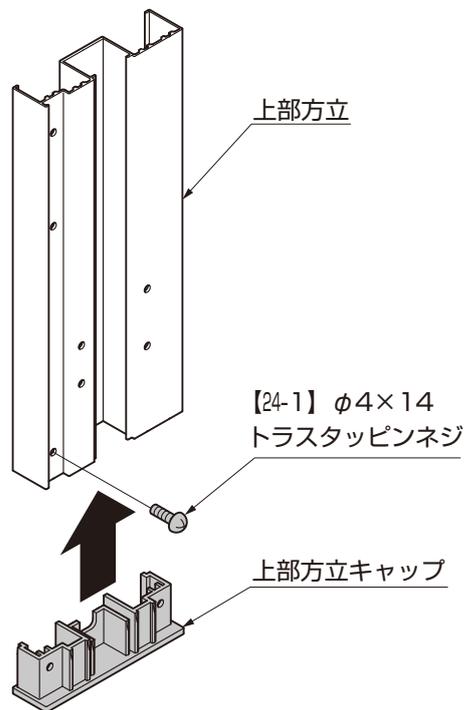


図21-20

- ①上部方立キャップを図21-19を参照して加工してください。
- ②上部方立キャップを上部方立に【24-1】で取付けてください。

21. (つづき)

21-4 上部方立の取付け

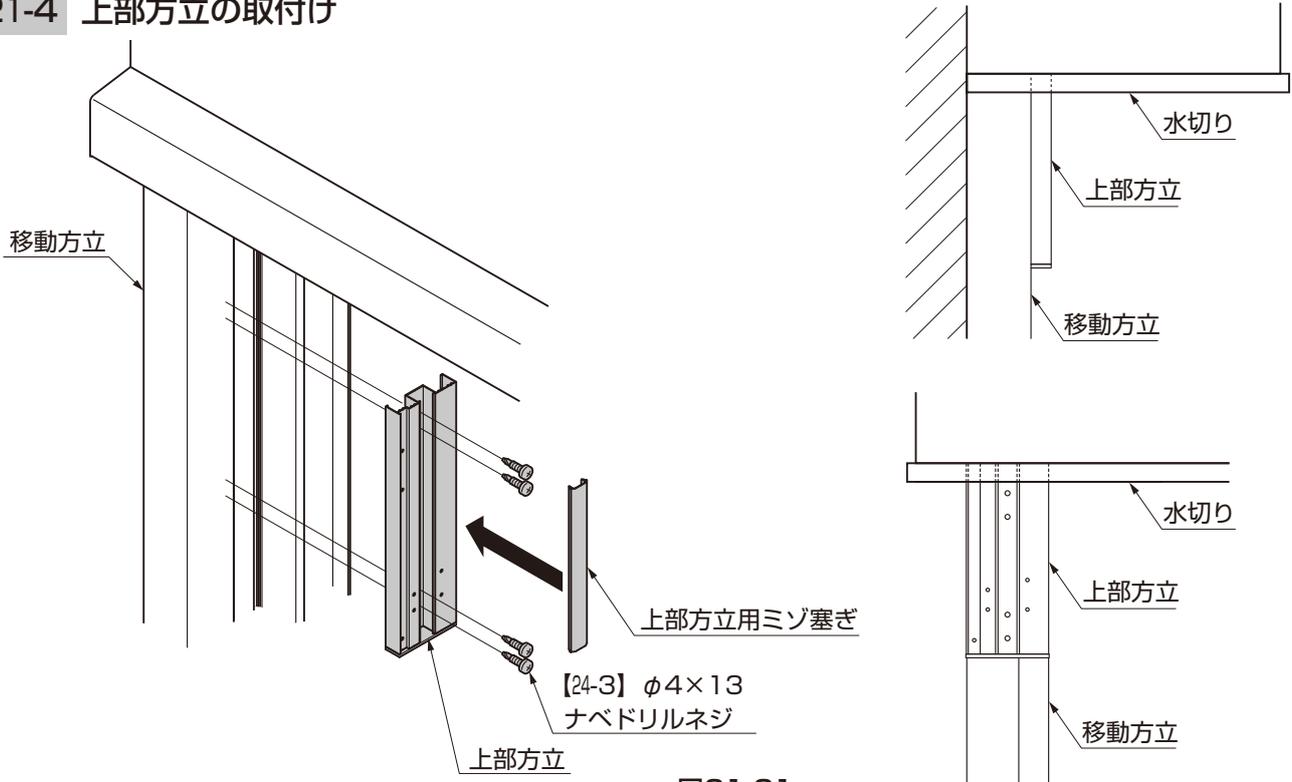


図21-21

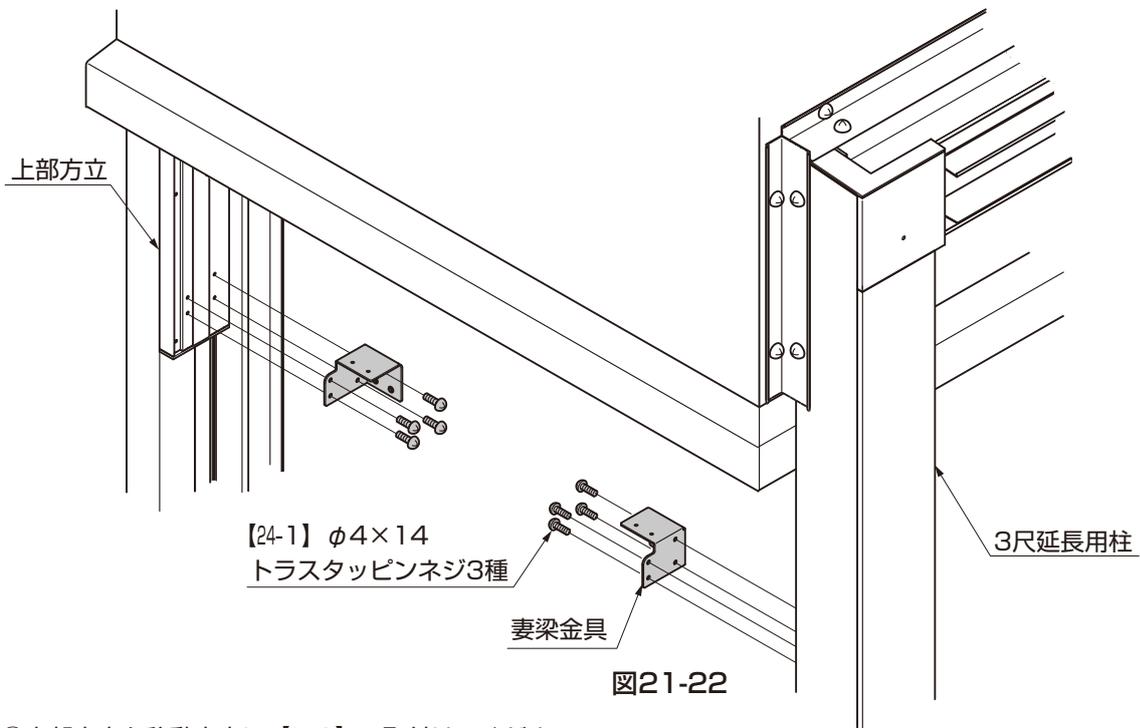


図21-22

① 上部方立を移動方立に【24-3】で取付けてください。

ポイント

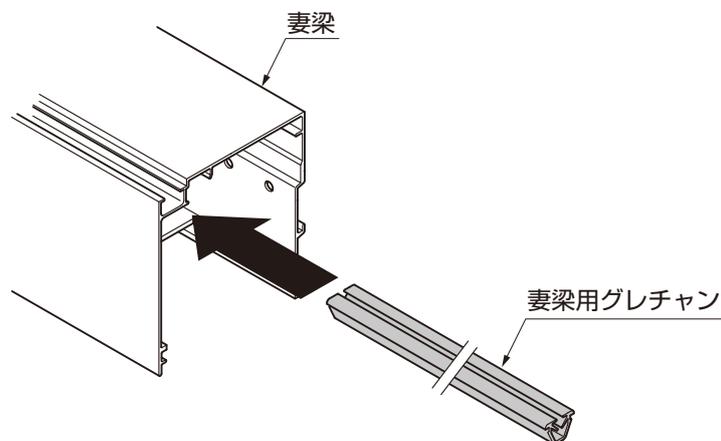
● 上部方立は、バルコニー下面に突き当てて取付けてください。

② 上部方立用ミゾ塞ぎを上部方立にはめ込んでください。

③ 妻梁金具を上部方立と3尺延長用柱に【24-1】で取付けてください。

22. 妻梁の取付け

22-1 妻梁用グレチャンのはめ込み ※ [1-A] と [1-B] のバルコニー側の場合は作業しません。



①妻梁用グレチャンを妻梁にスライドしてはめ込んでください。

22-2 妻梁の取付け

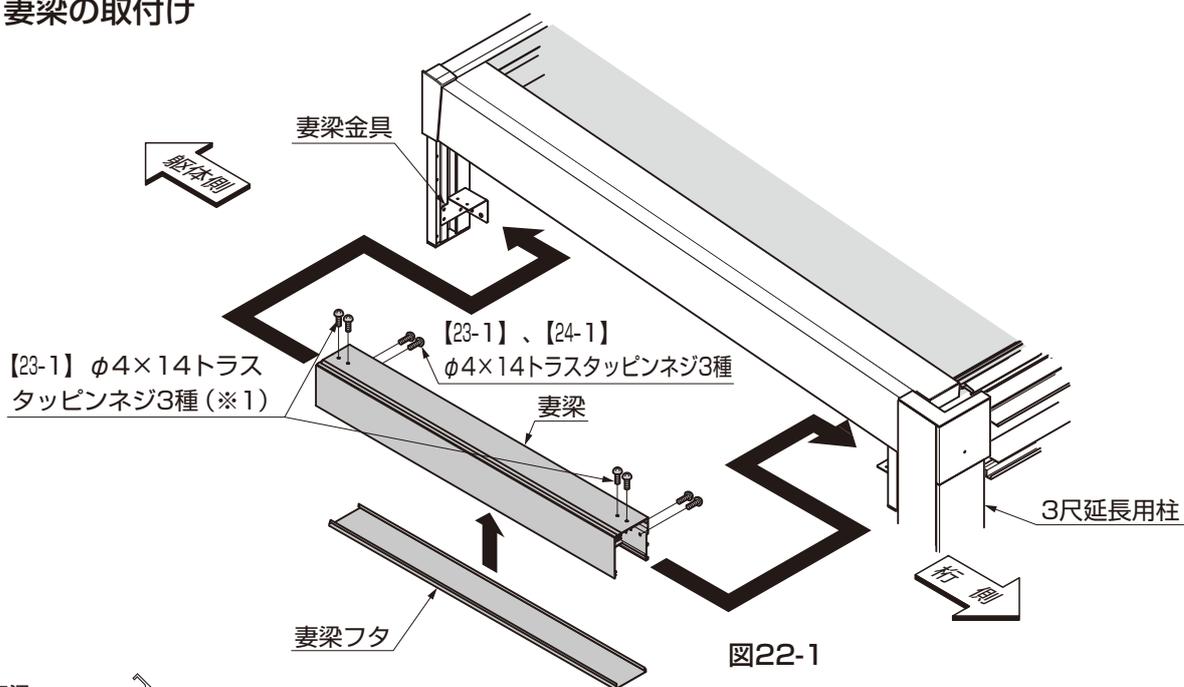


図22-1

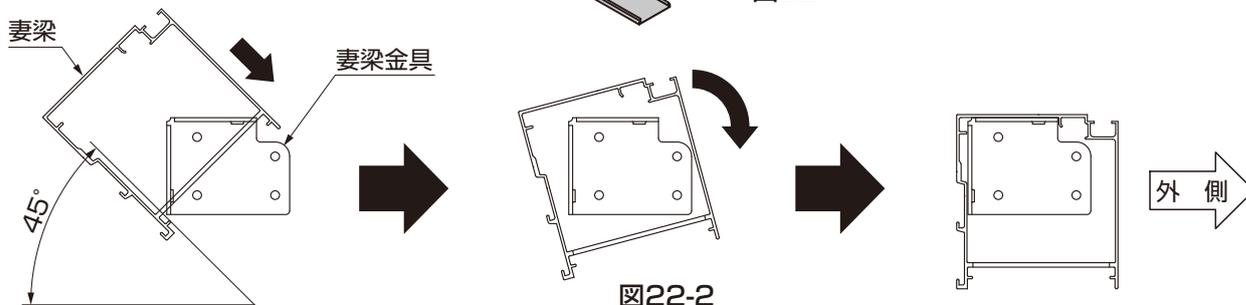


図22-2

①妻梁を妻梁金具に [23-1]、[24-1] で取付けてください。

ポイント

- [1-A] と [1-B] のバルコニー側の場合は、(※1)の箇所にはネジ止めはしないでください。
- 妻梁を取付ける際は、図22-2のように回転させて取付けてください。

②妻梁フタを妻梁にはめ込んでください。

23. 上部方立スペーサーの取付け ※妻梁あり仕様の場合の作業です。

23-1 部材の加工

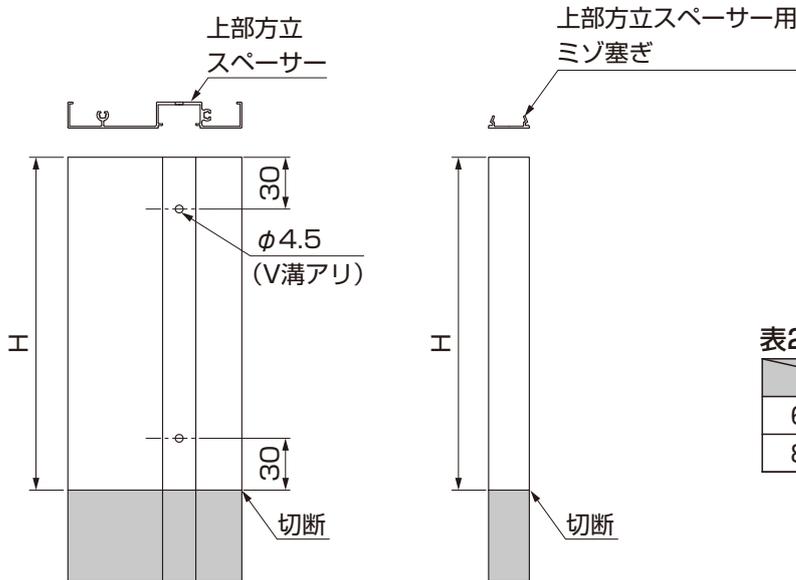
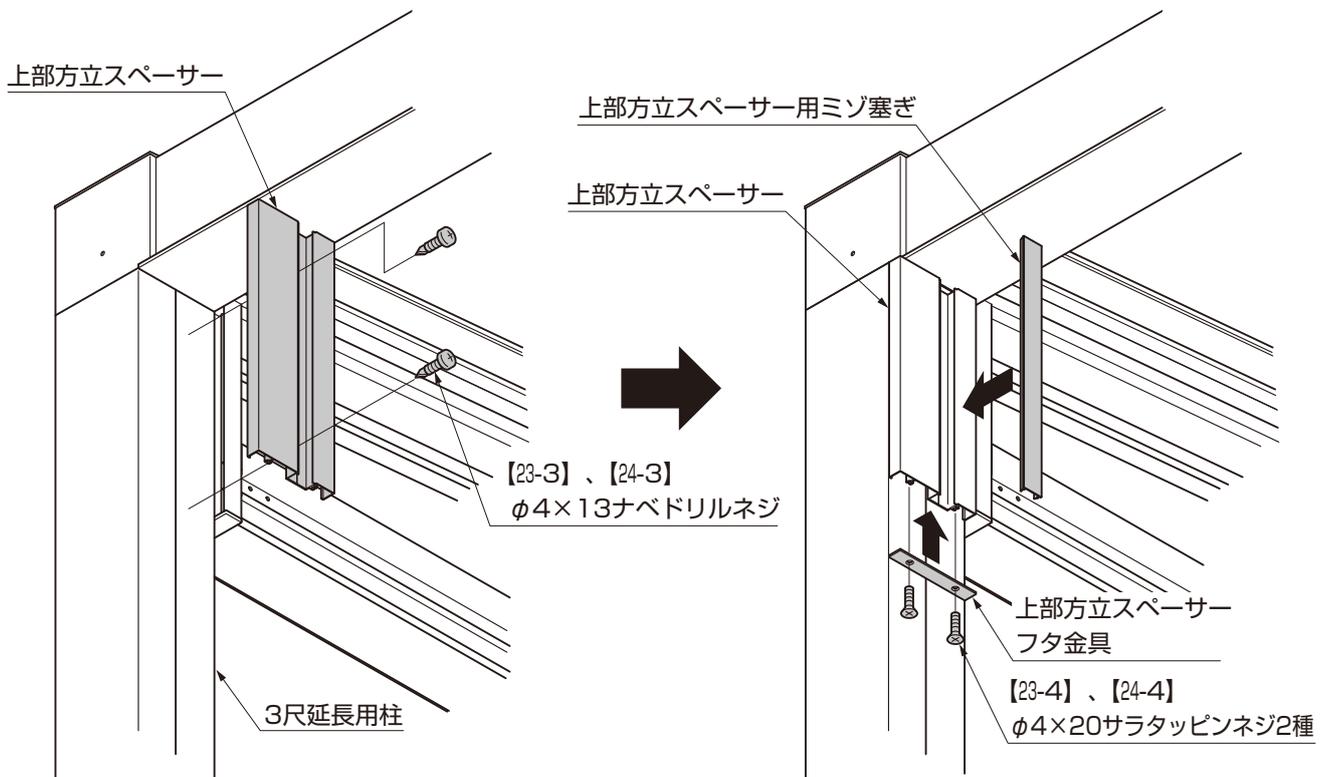


表23-1

	切断寸法 (H)
6尺+3尺	236
8尺+3尺	切断なし

①上部方立スペーサーと上部方立スペーサー用ミゾ塞ぎを加工してください。(表23-1参照)

23-2 上部方立スペーサーの取付け



- ①上部方立スペーサーを【23-3】、【24-3】で3尺延長用柱に取付けてください。
- ②上部方立スペーサーフタ金具を【23-4】、【24-4】で上部方立スペーサーに取付けてください。
- ③上部方立スペーサー用ミゾ塞ぎを上部方立スペーサーにはめこんでください。

24. 妻梁上部側面フィックスパネルの取付け

※ [1-B]、[2-A]、[2-B]、[3-A] の場合の作業です。

24-1 妻パネル方立枠の取付け

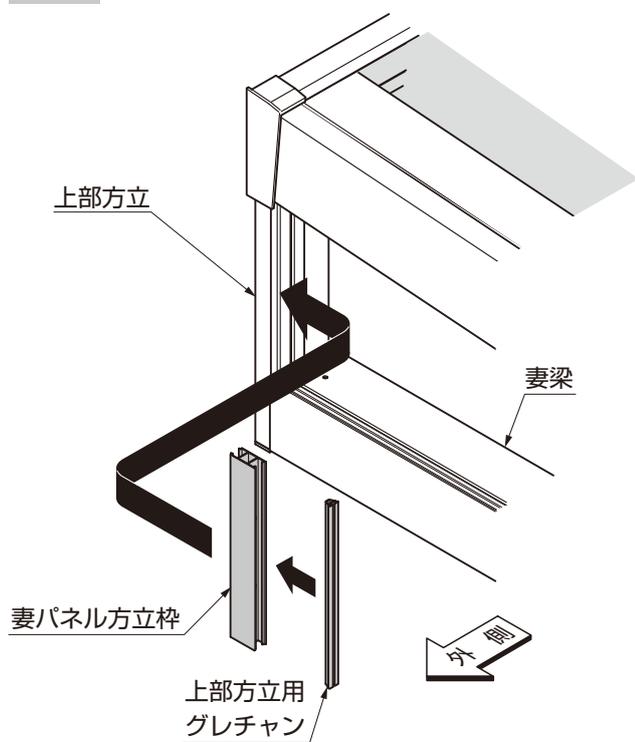


図24-1 躯体側

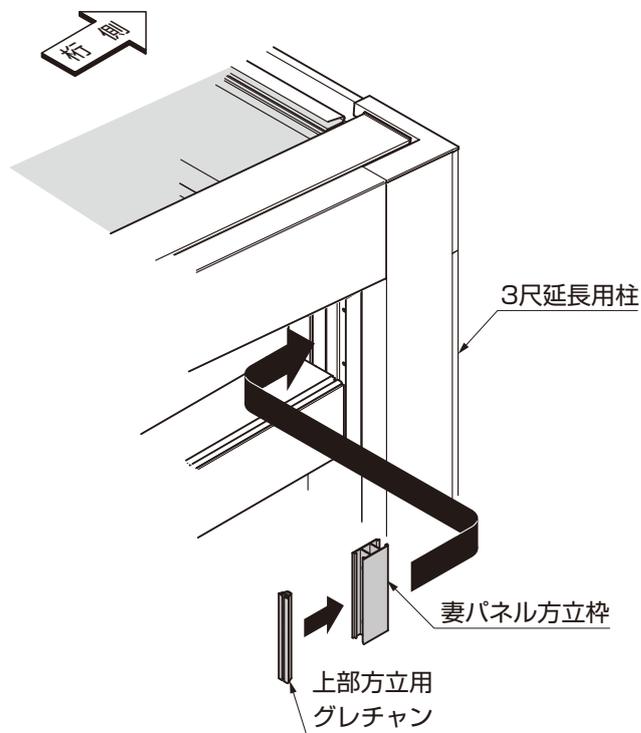


図24-2 3尺延長用柱側

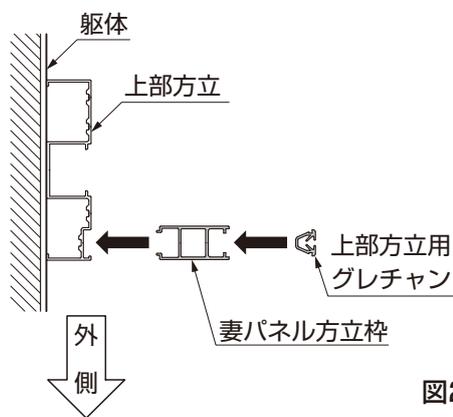


図24-3 躯体側

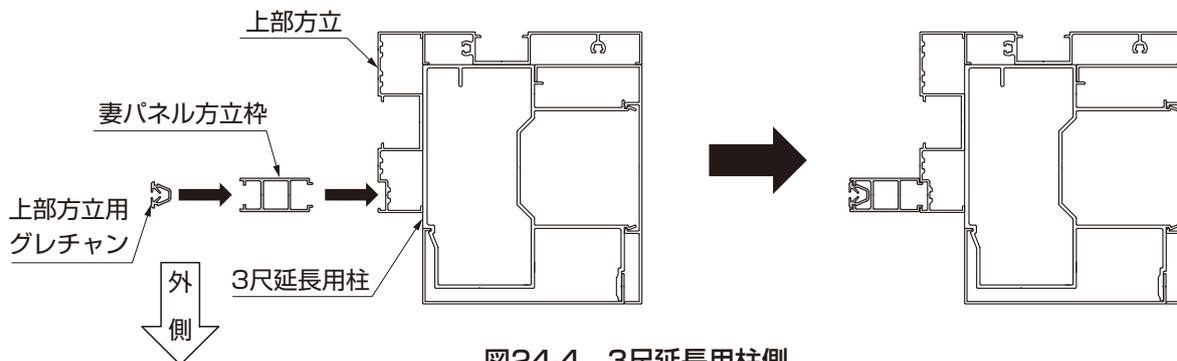


図24-4 3尺延長用柱側

- ① 上部方立用グレチャンを妻パネル方立枠にはめ込んでください。
- ② 妻パネル方立枠を上部方立に仮置きしてください。

24. (つづき)

24-2 妻梁上部側面フィックスパネルの取付け

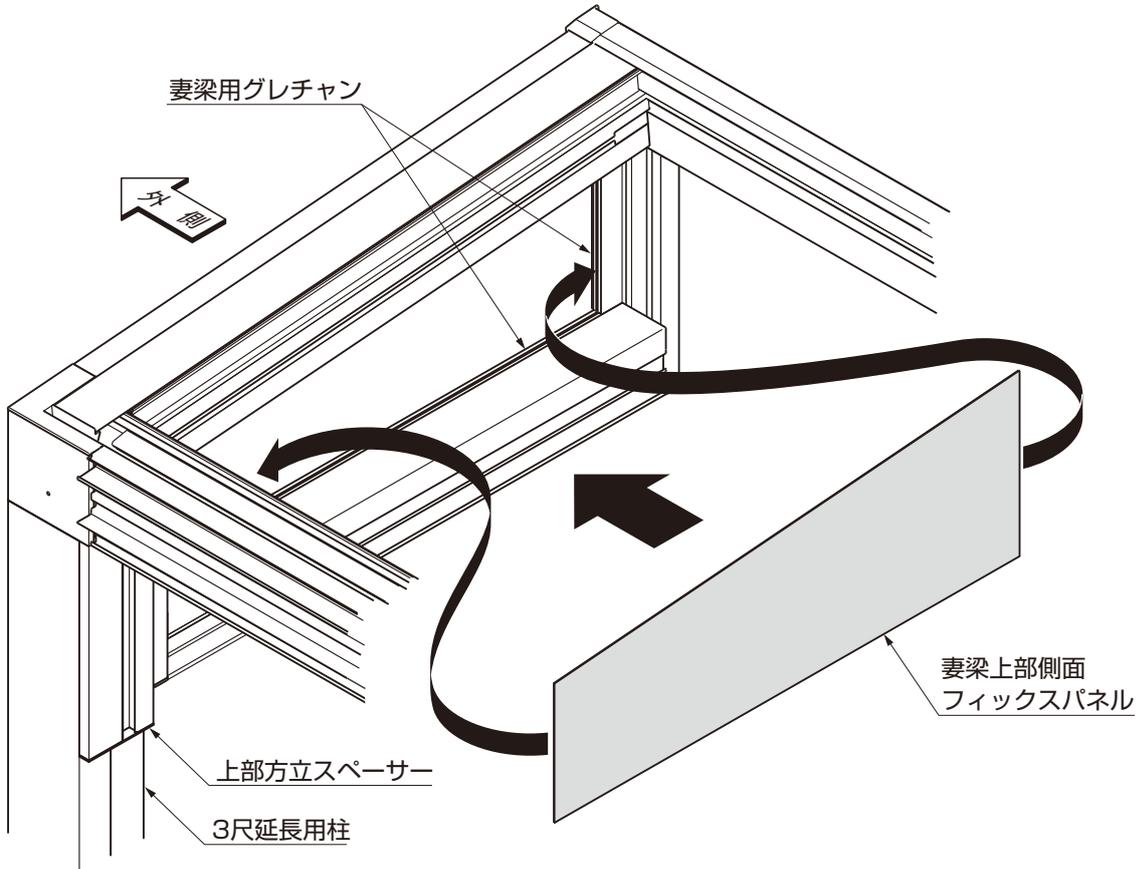


図24-5

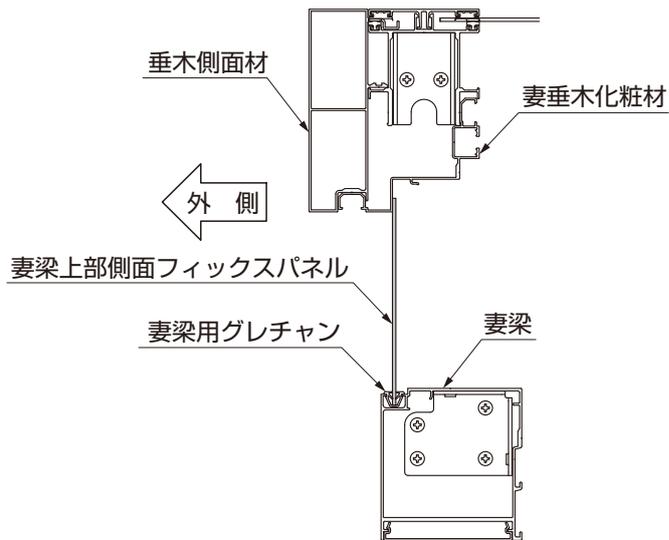


図24-6

- ① 「32. 面材の切出し」を参照して、フィックスパネルを加工してください。
- ② 妻梁上部側面フィックスパネルを妻パネル方立枠、妻梁用グレチャンにはめ込んでください。

ポイント

- 妻梁上部側面フィックスパネルには左右があります。「この面が太陽側です。」が外側です。

3-A 2-B 2-A 1-B

24-3 フィックス押えの取付け

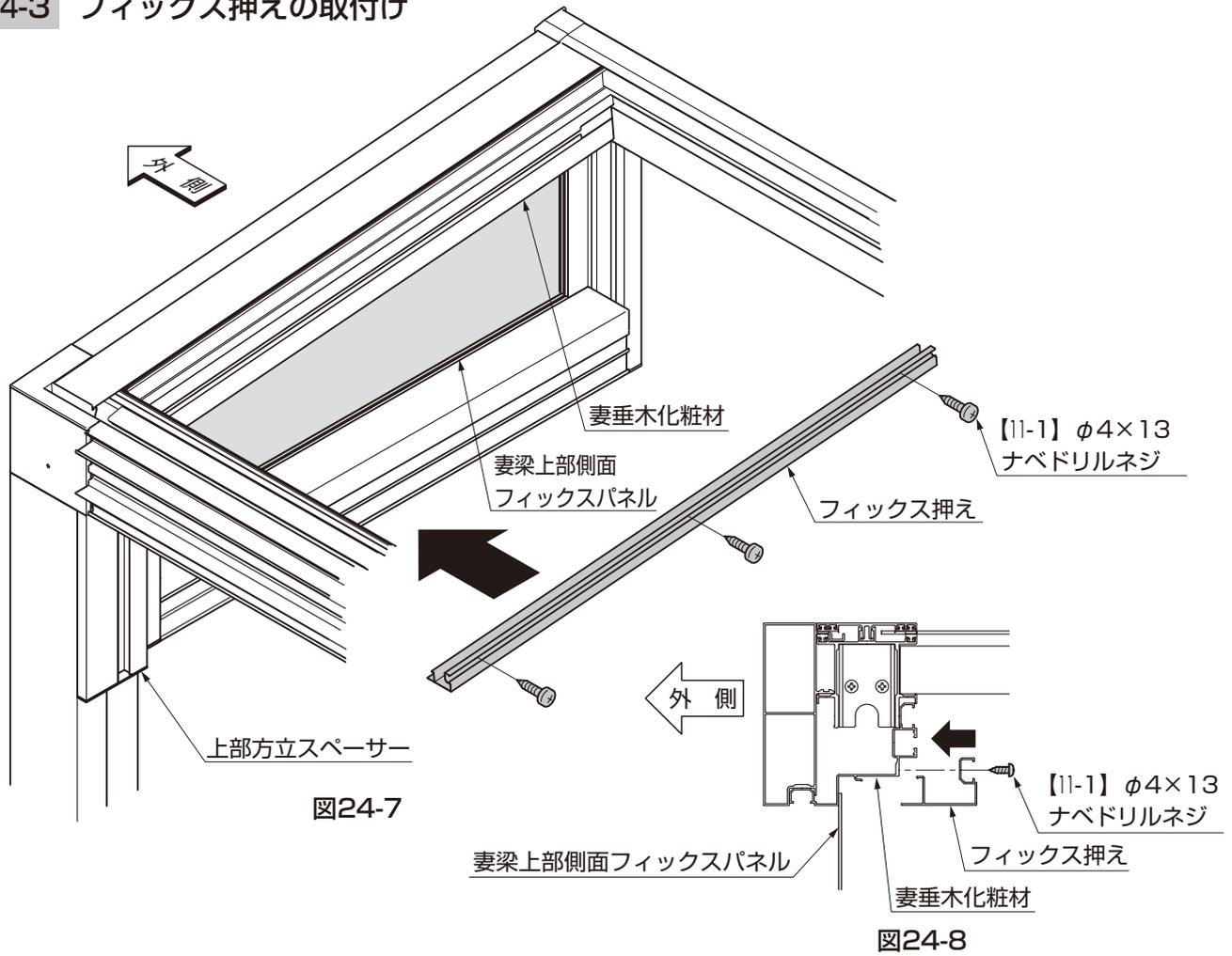


図24-7

図24-8

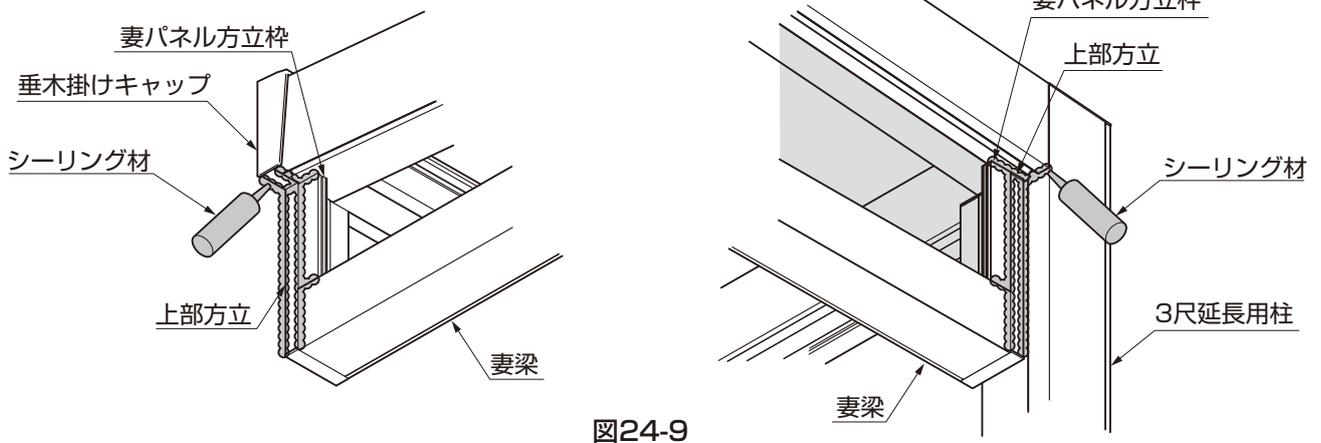


図24-9

- ① フィックス押えを垂木化粧材に【11-1】で取付けてください。
- ② 図24-9の箇所にシーリングをしてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

25. バルコニー前 側面フィックス枠の取付け ※ [1-A]、[1-B] の場合の作業です。

25-1 側面フィックスの組立て

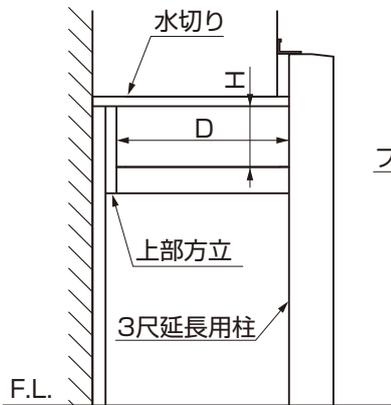


図25-1

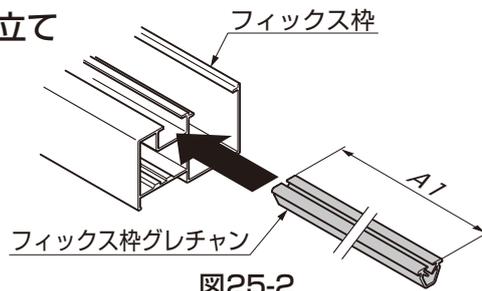


図25-2

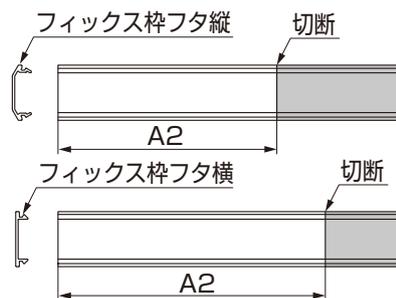


図25-3

表25-1 フィックス枠グレチャン加工寸法

	A1
フィックス枠縦	H-61
フィックス枠横	D-61

表25-2 フィックス枠フタ加工寸法

	A2
フィックス枠フタ縦	H-61
フィックス枠フタ横	D-61

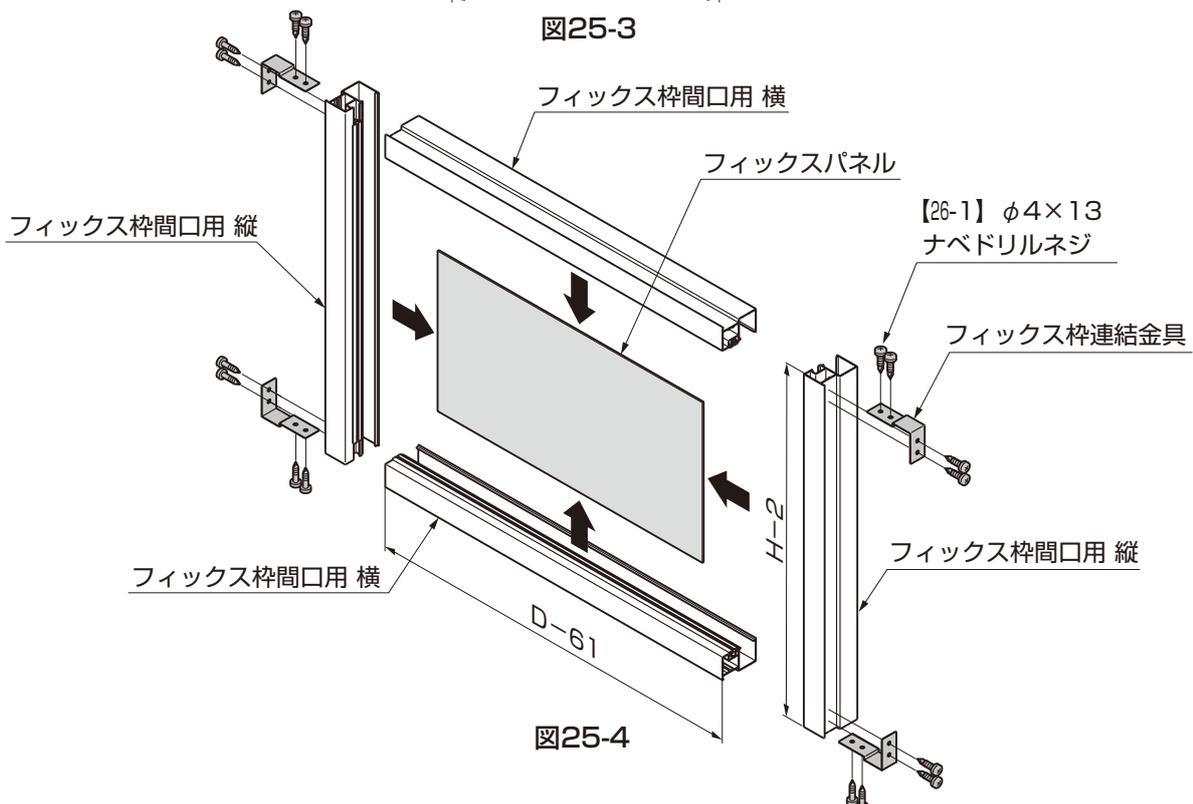


図25-4

- ① フィックスパネルを「32. 面材の切出し」を参照して切断してください。
- ② 図25-1を参照して、妻梁上部からバルコニー水切り下面まで (H寸法) を測定してください。
- ③ 図25-1を参照して、上部方立から3尺延長用柱背面まで (D寸法) を測定してください。
- ④ グレチャン、フィックス枠、フィックス枠フタを加工してください。(図25-1、表25-1、表25-2参照)
- ⑤ グレチャンをフィックス枠にはめ込んでください。
- ⑥ フィックス枠連結金具とフィックス枠、フィックスパネルを【26-1】で取付け、側面フィックス枠を組立ててください。

ポイント

- Hは妻梁上面から、バルコニー水切り下面までの寸法です。
- Dは3尺延長用柱背面から上部方立までの寸法です。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

25. (つづき)

25-2 側面フィックス枠の取付け

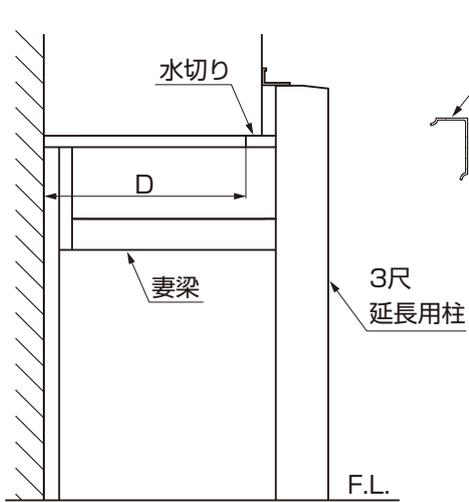


図25-6

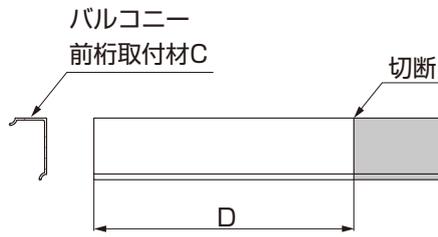


図25-7

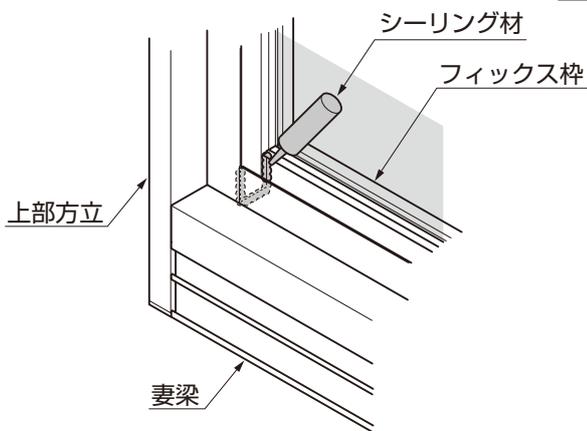
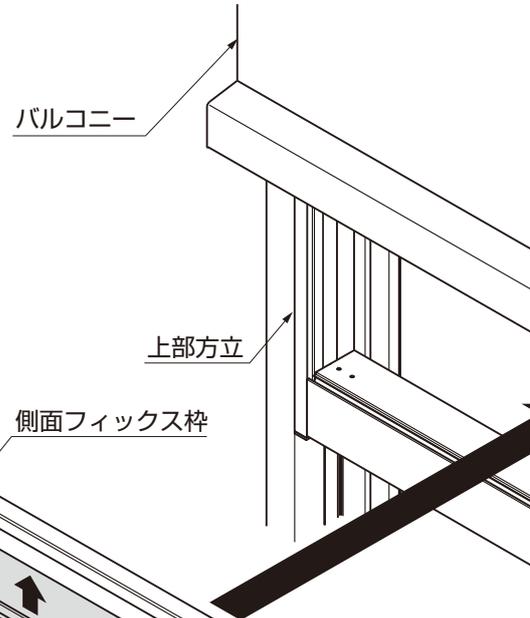


図25-8 躯体側

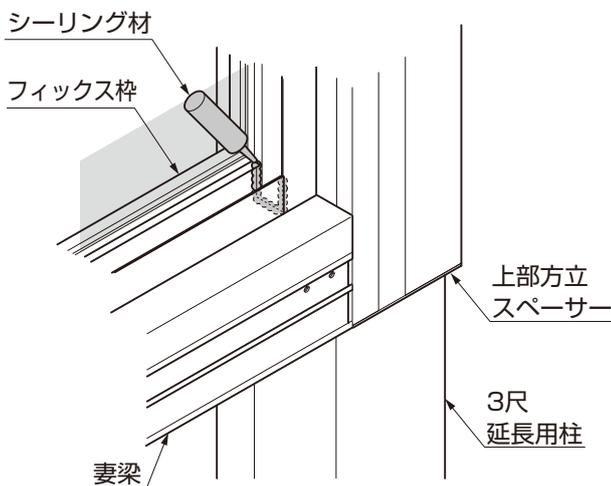


図25-9 柱側

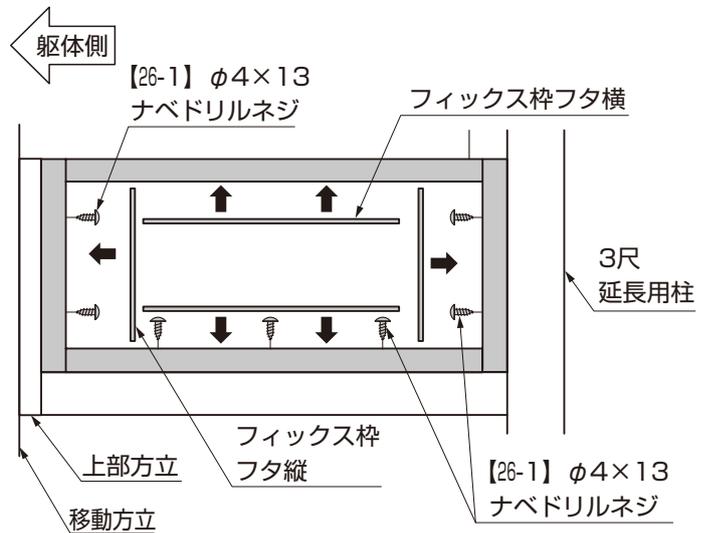
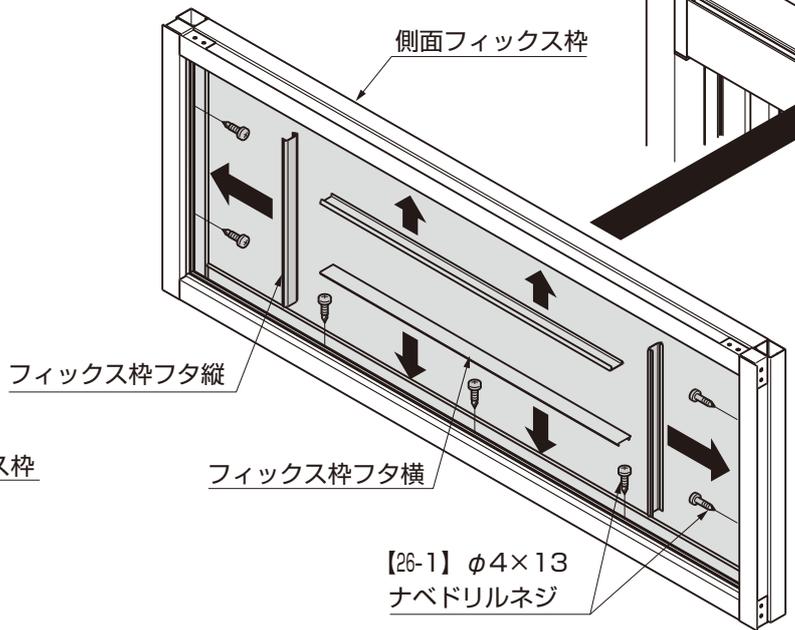


図25-10 納まり図

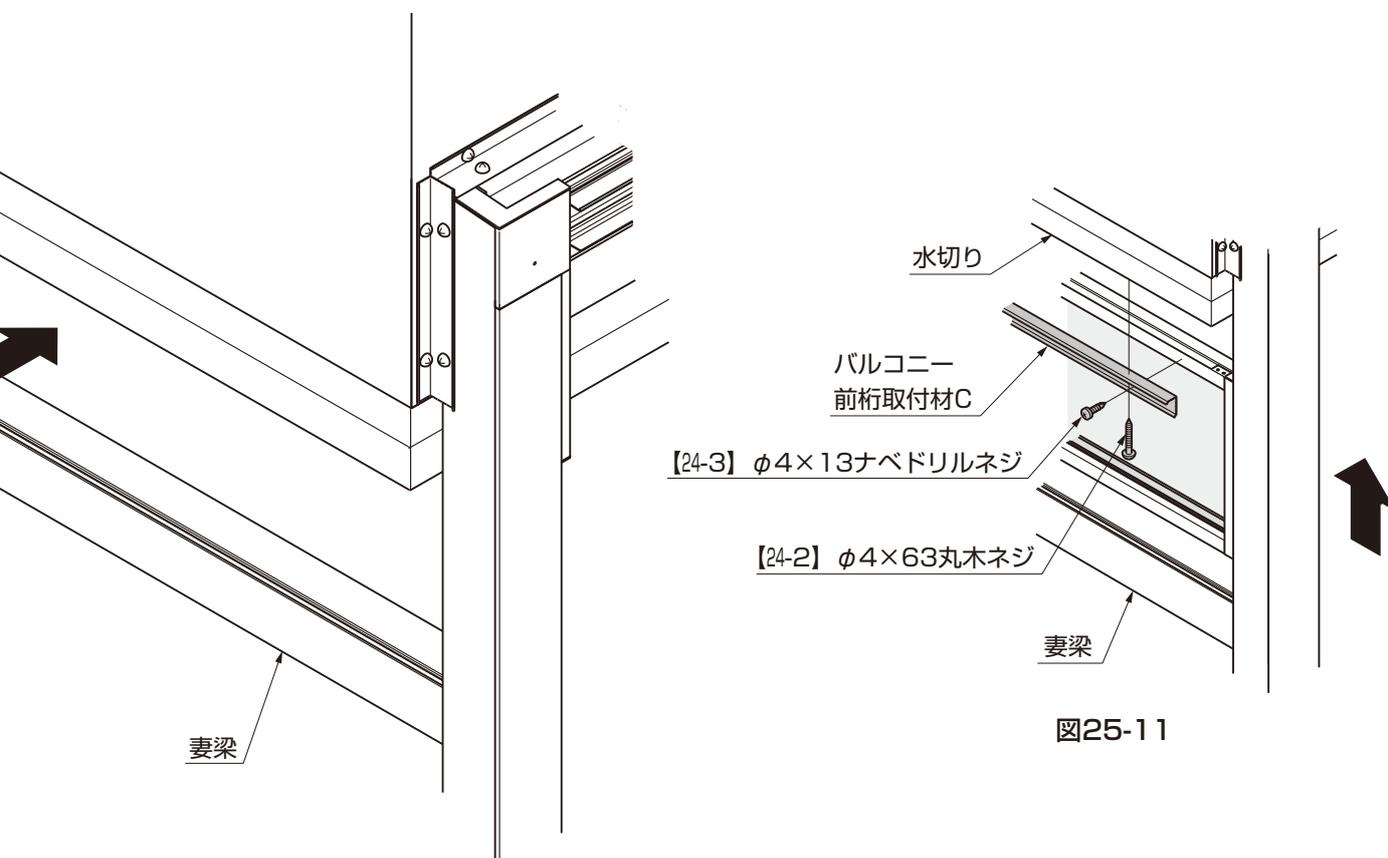


図25-11

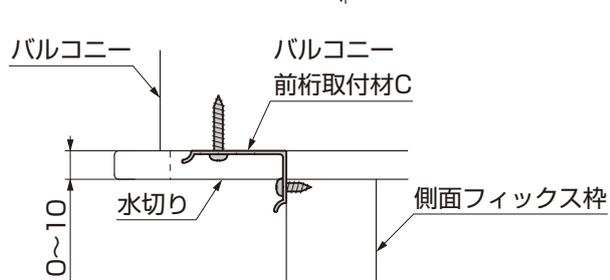


図25-12 水切り高さ0~10mmの場合

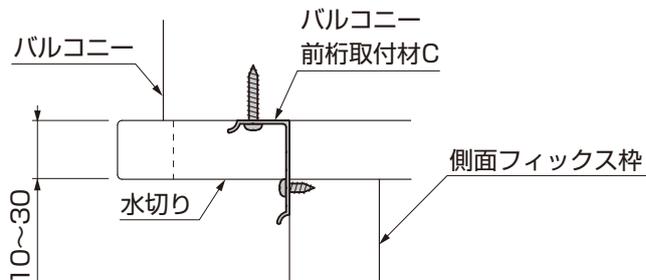


図25-13 水切り高さ10~30mmの場合

- ①側面フィックス枠を妻梁とバルコニーのすき間にはめ込み、四方を【26-1】で取付けてください。(図25-10参照)
- ②フィックス枠縦とフィックス枠横の連結箇所をシーリングしてください。(図25-8、図25-9参照)

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

- ③フィックス枠フタ縦を躯体側、3尺延長用柱側のフィックス枠に取付けてください。(図25-10参照)
- ④フィックス枠フタ横を上面、下面のフィックス枠に取付けてください。(図25-10参照)
- ⑤バルコニー下に水切りがついている場合は、躯体からバルコニー水切りまで(D寸法)を測定してください。(図25-6参照)
- ⑥バルコニー下に水切りがついている場合は、バルコニー前桁取付材CをD寸法に切断し、バルコニー下面、側面フィックス枠に取付けてください。(図25-7、図25-11参照)

ポイント

●Dは躯体からバルコニー水切り(間口側)までの寸法です。(図25-6参照)

25. (つづき)

25-3 シーリング処理

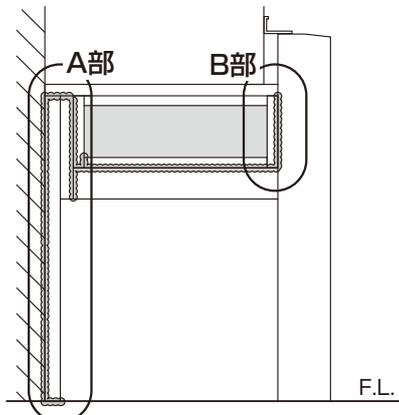


図25-14 内側からのシーリング箇所

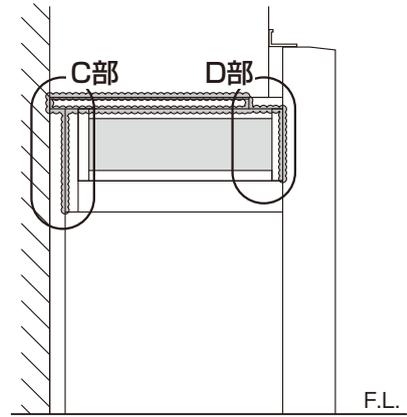


図25-17 外側からのシーリング箇所

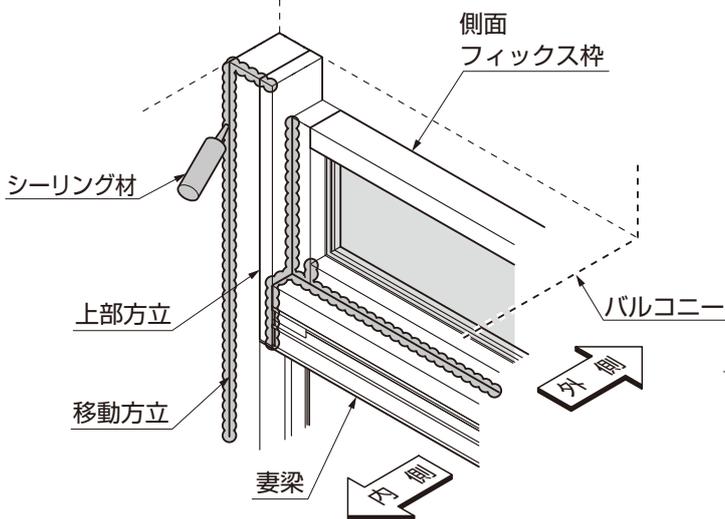


図25-15 A部詳細図

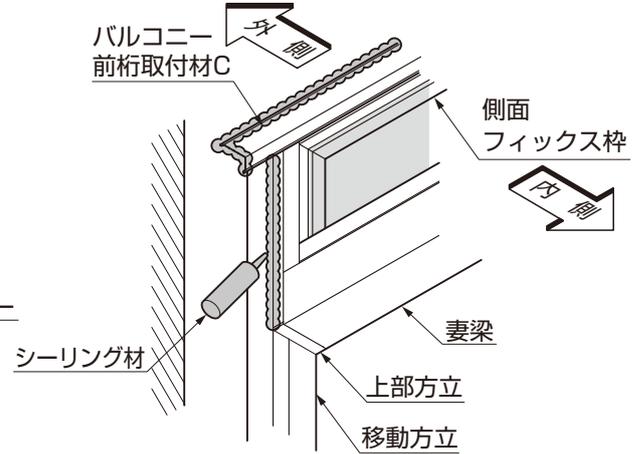


図25-18 C部詳細図

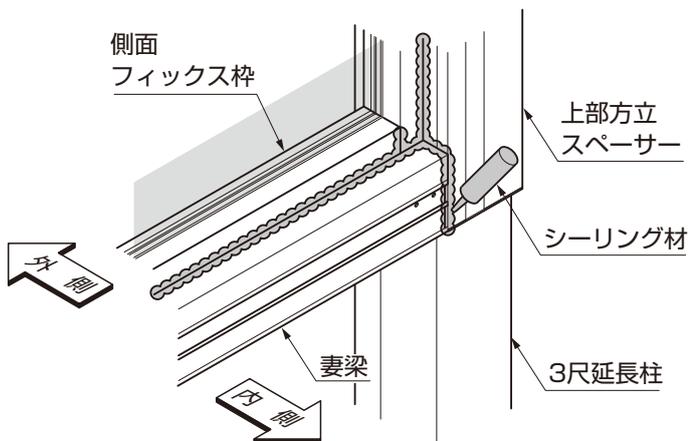


図25-16 B部詳細図

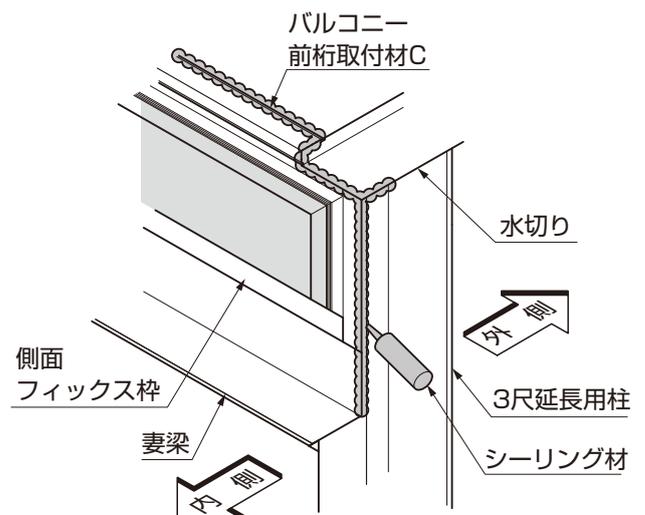


図25-19 D部詳細図

①指定の箇所にシーリングしてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

26. バルコニー下用フィックスの取付け ※ [2-A]、[2-B]の場合の作業です。

26-1 束柱の取付け



図26-1

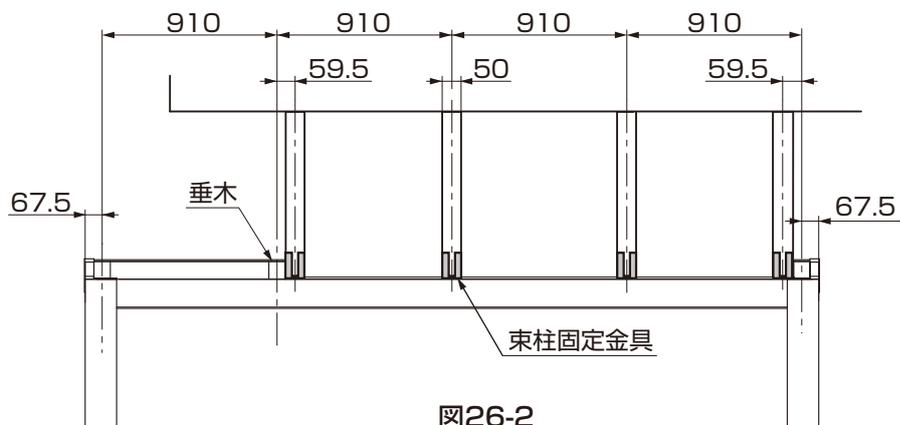


図26-2

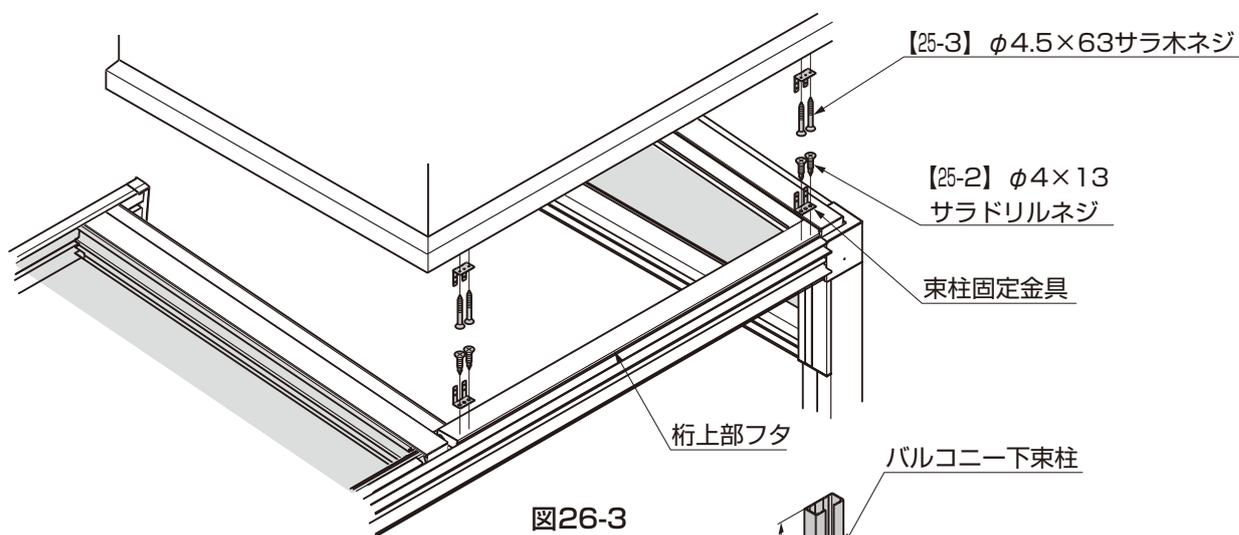


図26-3

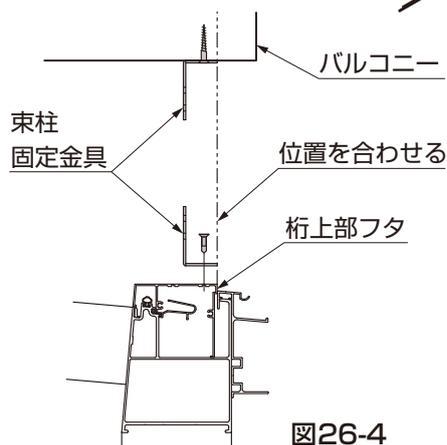


図26-4

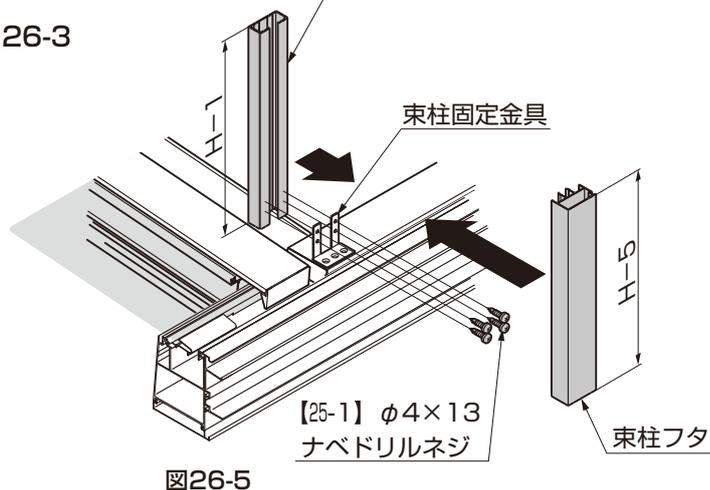


図26-5

- ① 束柱固定金具を桁上部フタに【25-2】で取付けてください。(図26-2、図26-4参照)

ポイント

● バルコニー下束柱の取付け位置は、中間部が垂木と同じ910mmピッチ、端部は垂木中心から59.5mm内側になります。

- ② 桁上部フタからバルコニー下面まで(H寸法)を測定してください。(図26-1参照)
 ③ バルコニー下束柱をH-1で切断してください。(図26-5参照)
 ④ 束柱フタをH-5で切断してください。(図26-5参照)
 ⑤ バルコニー下束柱を束柱固定金具に【25-1】で取付けてください。
 ⑥ 束柱フタをバルコニー下束柱にはめ込んでください。(図26-5参照)

26. (つづき)

26-2 正面フィックス枠の組立て

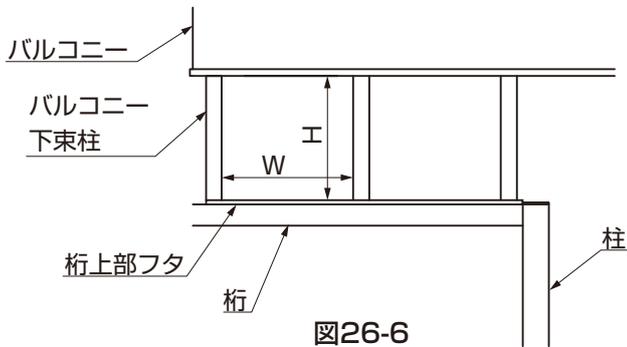


図26-6

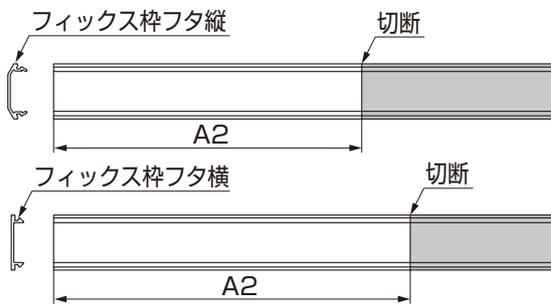


図26-7

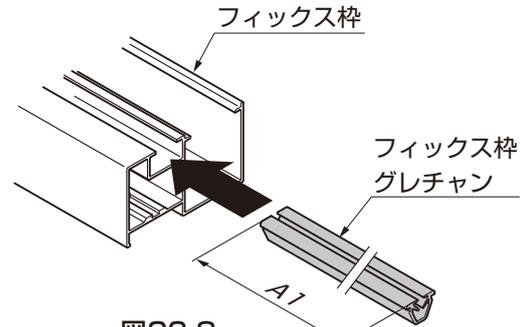


図26-8

表26-1 グレチャン加工寸法

	A1
フィックス枠間口用縦	H-61
フィックス枠間口用横	W-61

表26-2 フィックス枠フタ加工寸法

	A2
フィックス枠フタ縦	H-61
フィックス枠フタ横	W-61

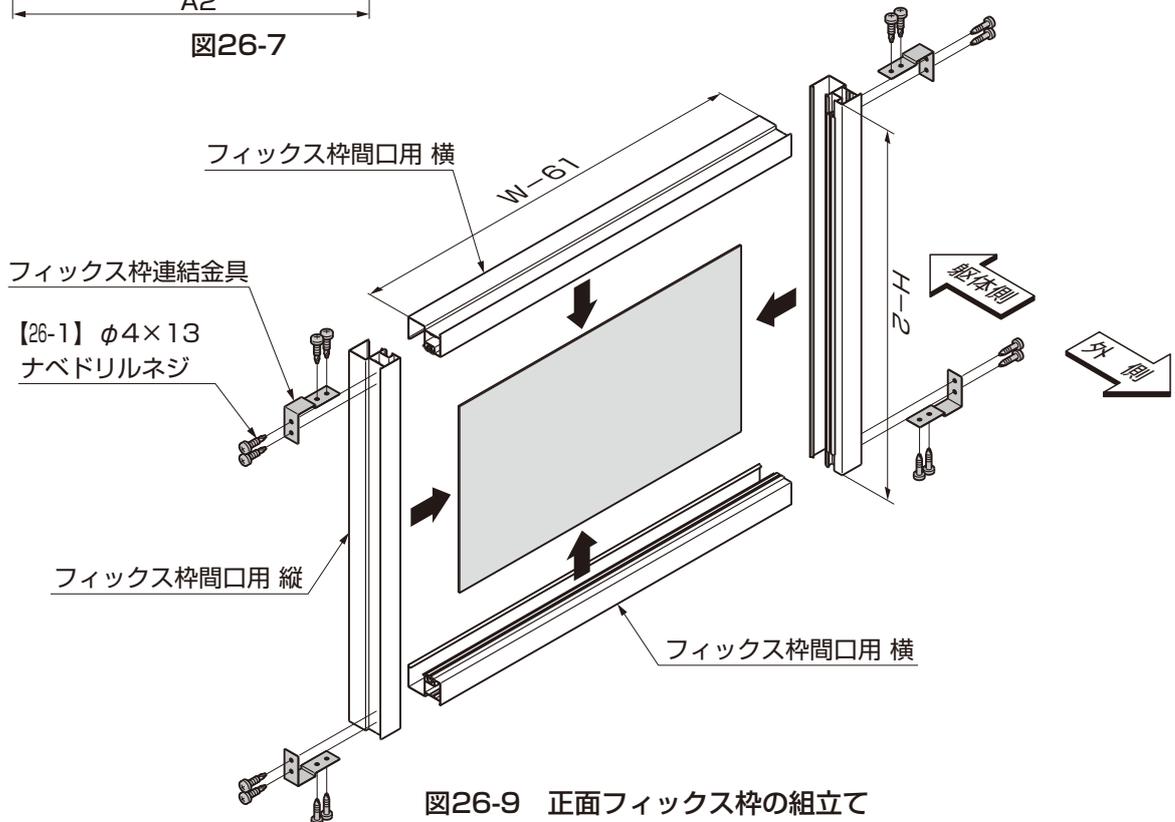


図26-9 正面フィックス枠の組立て

- ①バルコニー下束柱の内々 (W寸法)、桁上部フタからバルコニー下面まで (H寸法) を測定してください。(図26-6参照)
- ②フィックスパネルを「32. 面材の切出し」を参照して切断してください。
- ③フィックス枠間口用、フィックス枠グレチャン、フィックス枠フタを切断してください。(表26-1、表26-2、図26-8参照)
- ④フィックス枠にフィックス枠グレチャンを取付けてください。(図26-8参照)
- ⑤フィックス枠連結金具とフィックス枠、フィックス枠パネルを【26-1】で取付けて、正面フィックス枠を組立ててください。

26-3 側面フィックス枠の組立て

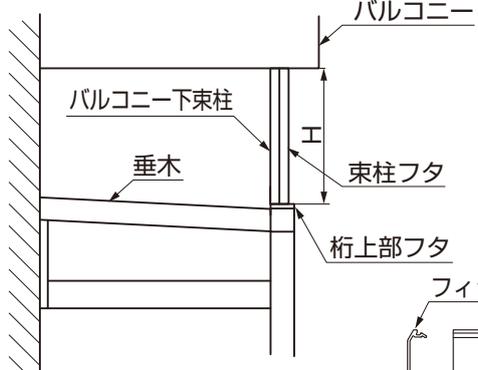


図26-10

※図は左側です。

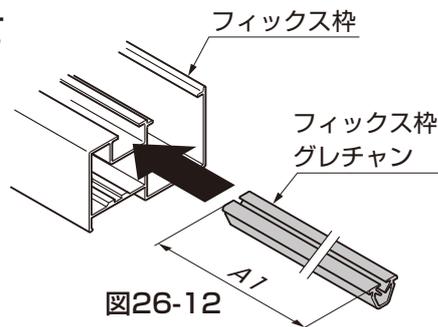


図26-12



図26-11

表26-3 グレチャン加工寸法

	A1
フィックス枠横(上側)	768
フィックス枠横(下側)	771
フィックス枠縦(柱側)	H-62
フィックス枠縦(躯体側)	H-129

表26-4 フィックス枠フタ加工寸法

	A2
フィックス枠フタ横(上側)	768
フィックス枠フタ横(下側)	771
フィックス枠フタ縦(柱側)	H-62
フィックス枠フタ縦(躯体側)	H-129

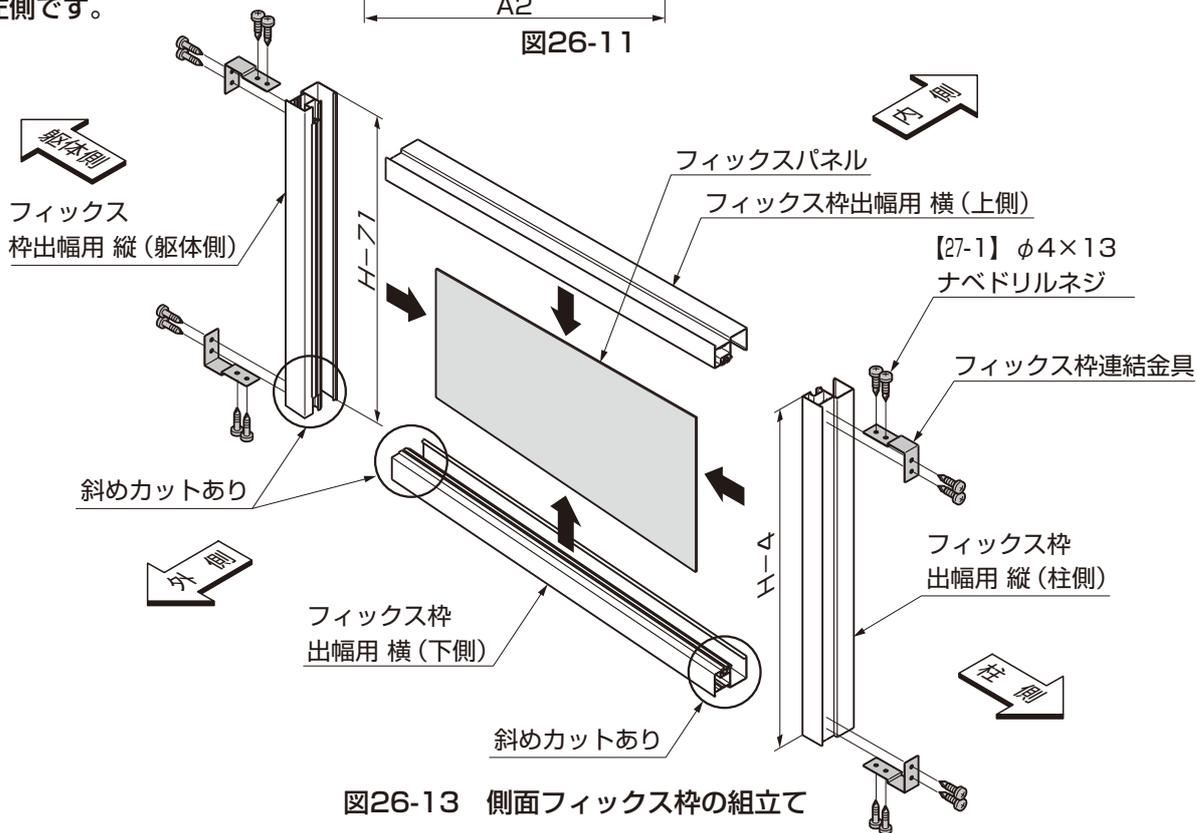


図26-13 側面フィックス枠の組立て

- ① 桁上部フタからバルコニー下面まで (H寸法) を測定してください。(図26-10参照)
- ② フィックスパネルを「32. 面材の切出し」を参照して切断してください。
- ③ フィックス枠出幅用、フィックス枠グレチャン、フィックス枠フタを切断してください。(表26-3、表26-4、図26-11参照)
- ④ フィックス枠用にフィックス枠グレチャンを取付けてください。(図26-12参照)

ポイント

●フィックス枠縦(躯体側)は、斜めカットのない側から切断してください。

- ⑤ フィックス枠連結金具とフィックス枠、フィックス枠パネルを【27-1】で取付けて、側面フィックス枠を組立ててください。

26. (つづき)

26-4 フィックス枠の取付け

2-A
2-B

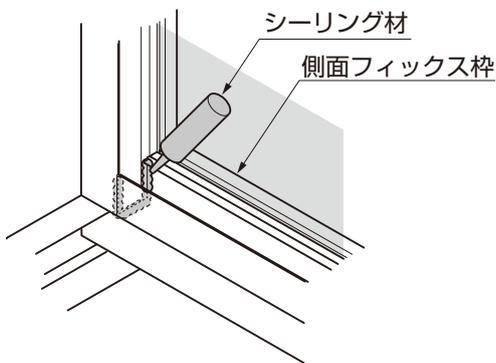
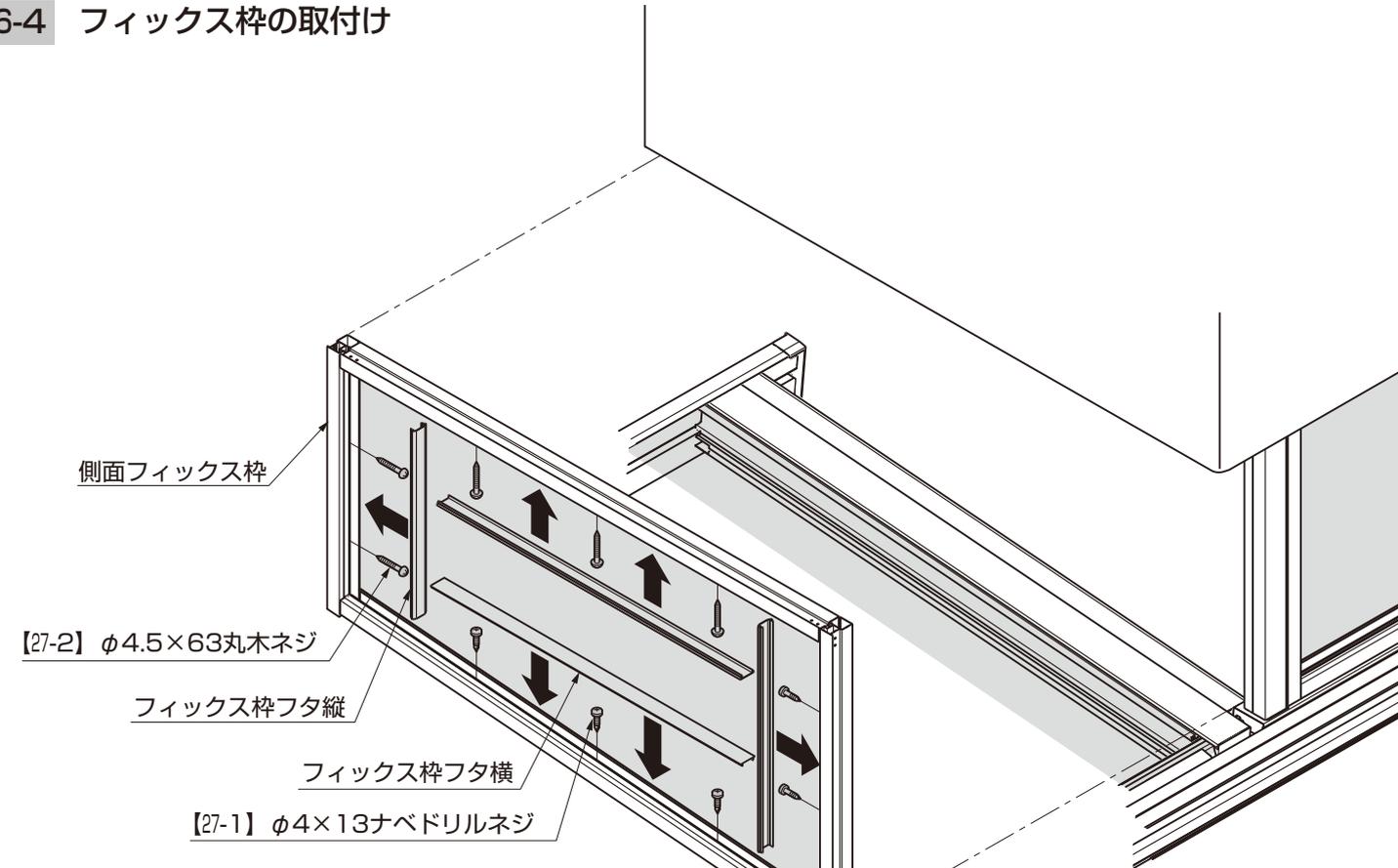


図26-14 躯体側

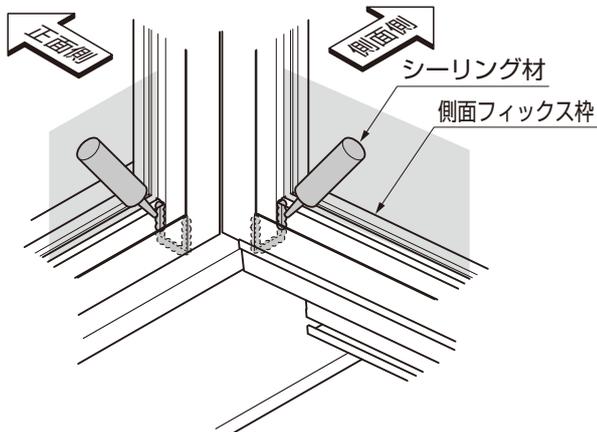


図26-15 正面側

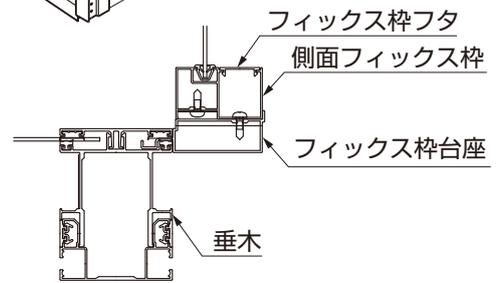


図26-16 側面納まり図

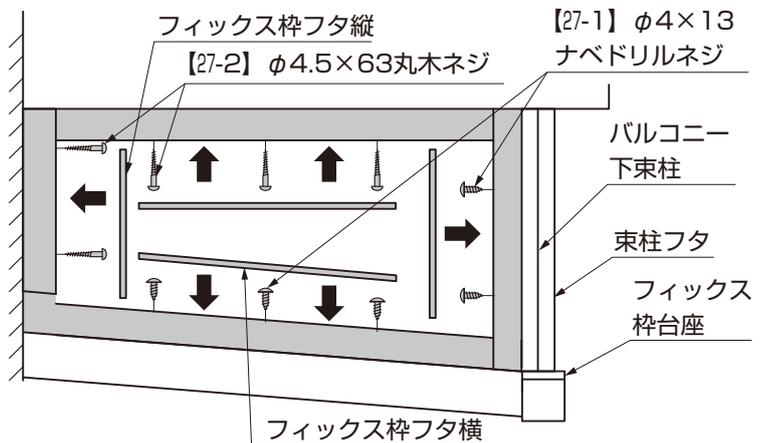


図26-17 側面図

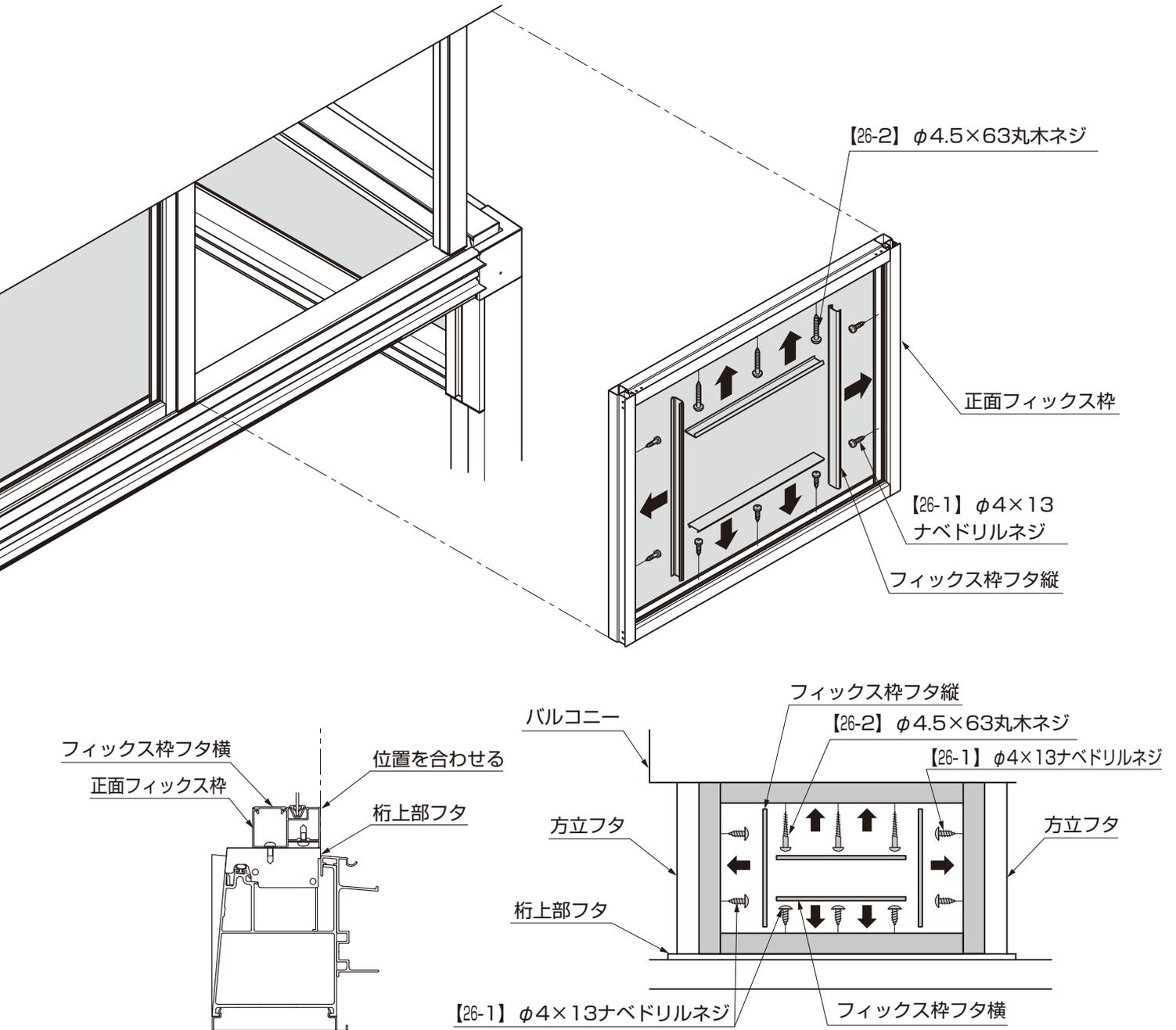


図26-18 正面納まり図

図26-19 正面図

- ①正面フィックス枠を取付け箇所にはめ込み、上部を【26-2】で取付け、側面、下面を【26-1】で取付けてください。
(図26-19参照)
- ②側面フィックス枠を取付け箇所にはめ込み、上側、躯体側を【27-2】で取付け、柱側、下側を【27-1】で取付けてください。
(図26-17参照)
- ③フィックス枠縦とフィックス枠横の連結箇所をシーリングしてください。
- ④フィックス枠フタ縦、フィックス枠フタ横、をフィックス枠に取付けてください

ポイント

- 指定の箇所には必ずシーリングしてください。

26. (つづき)

26-5 シーリング処理

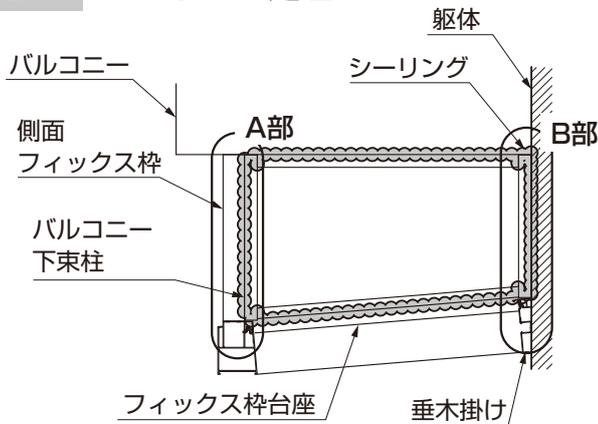


図26-20 側面フィックス枠
内側からのシーリング

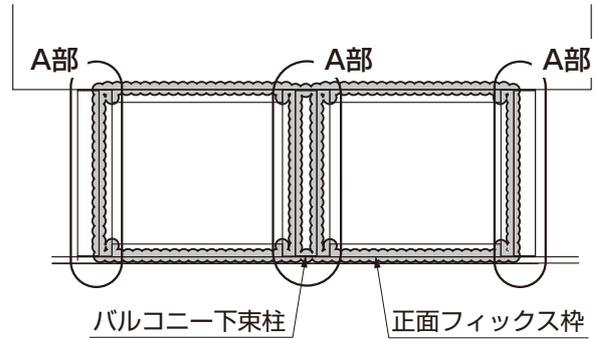


図26-21 正面フィックス枠
内側からのシーリング

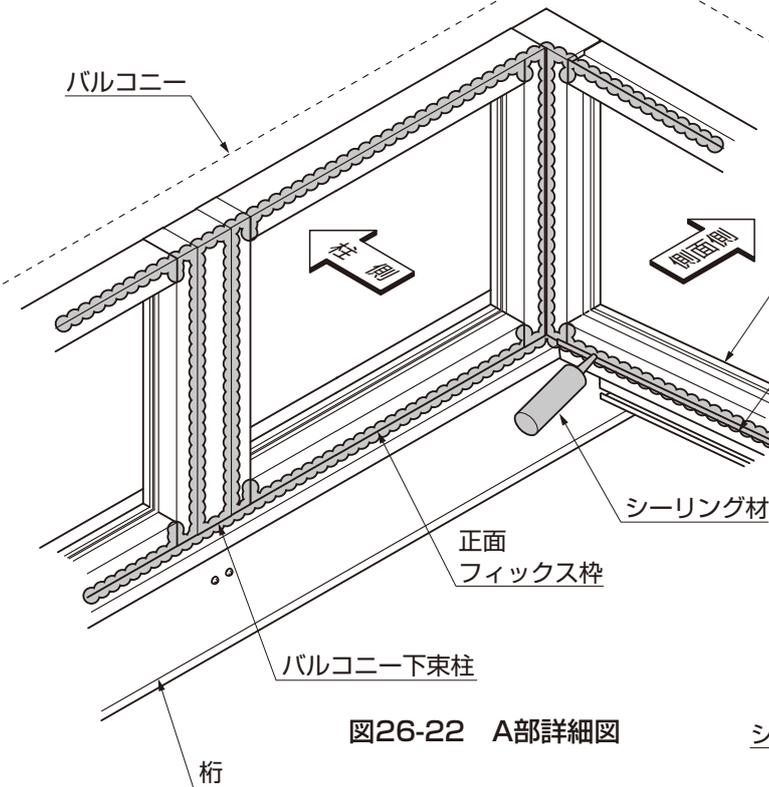


図26-22 A部詳細図

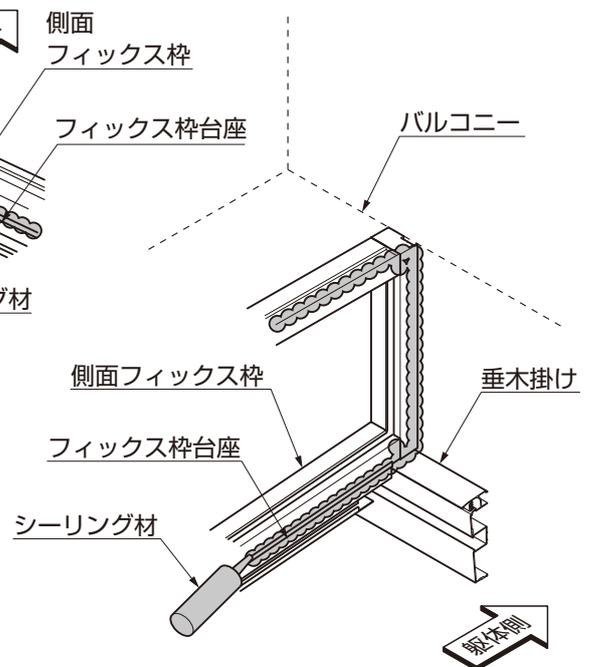


図26-23 B部詳細図

①指定の箇所にシーリングしてください。

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

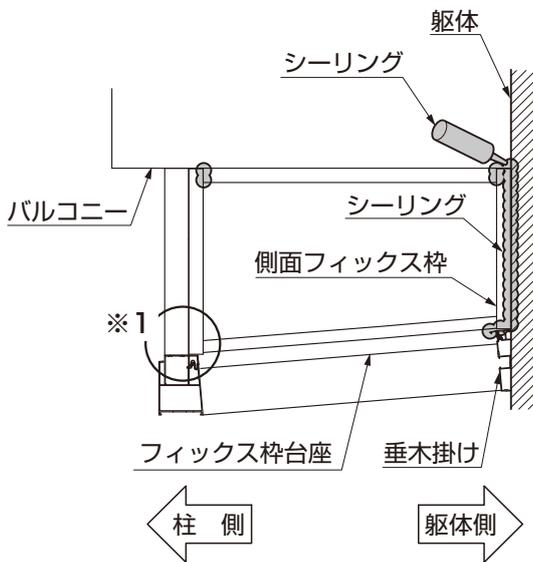


図26-24 側面フィックス枠
外側からのシーリング箇所

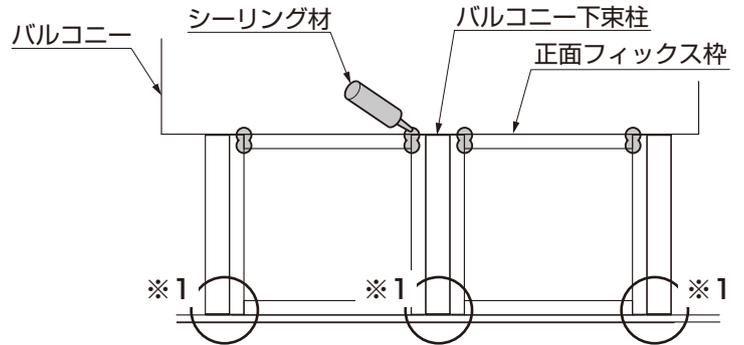
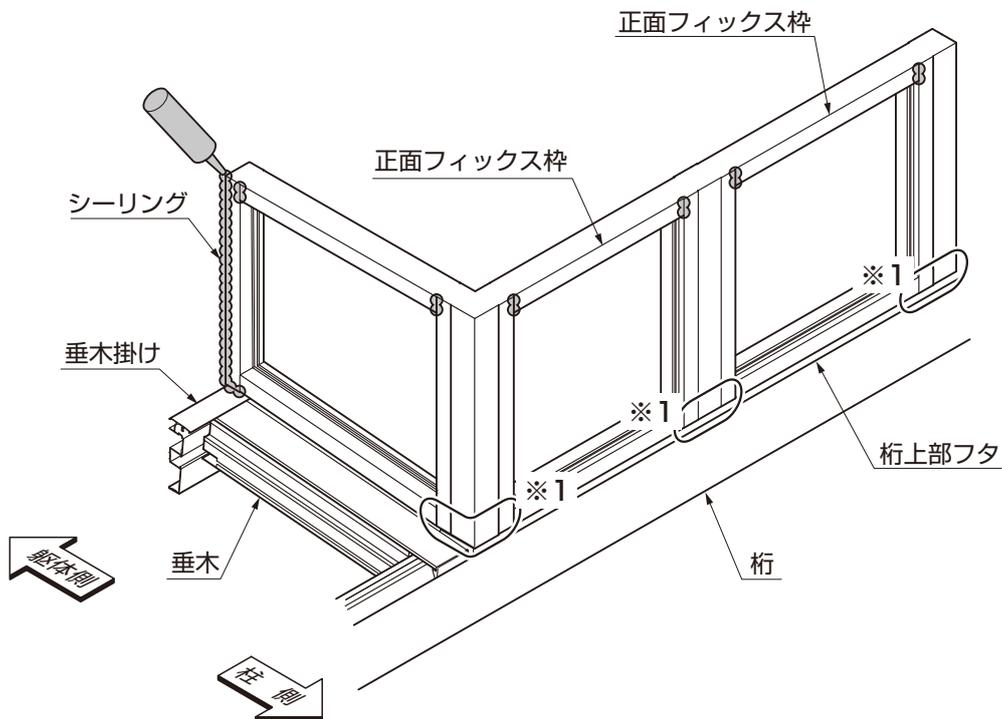


図26-25 正面フィックス枠
外側からのシーリング箇所



②指定の箇所にシーリングしてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
- ※1の箇所には、シーリングをしないでください。部材の中に入った雨がルーム内へ流れ出す場合があります。

27. ミゾ塞ぎ材の取付け ※各タイプで必要な箇所のみ行なってください。

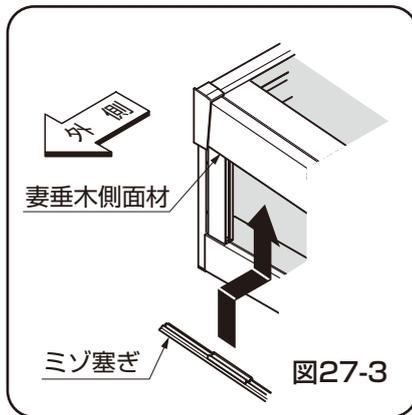
1-A

1-B

2-A

2-B

3-A



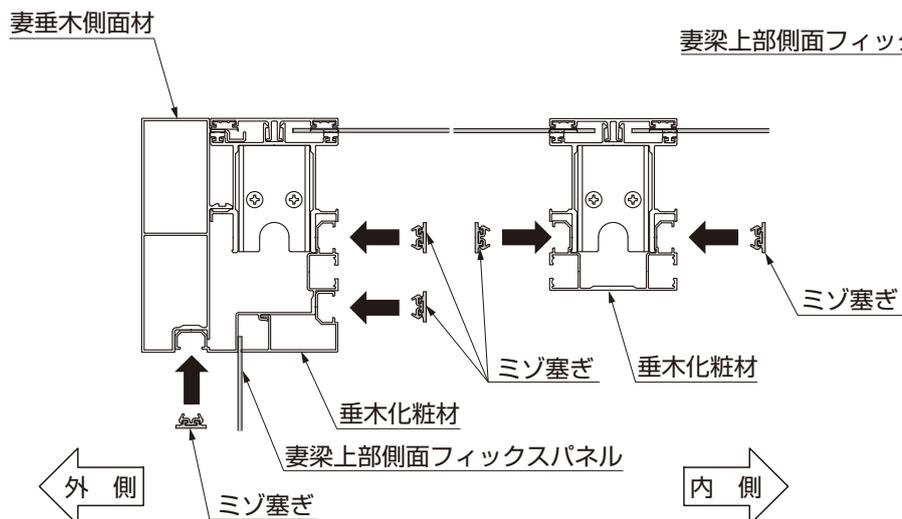
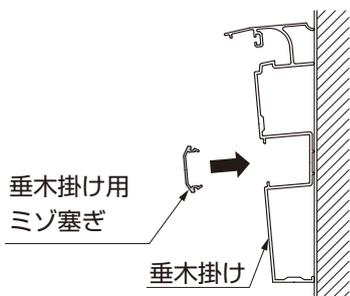
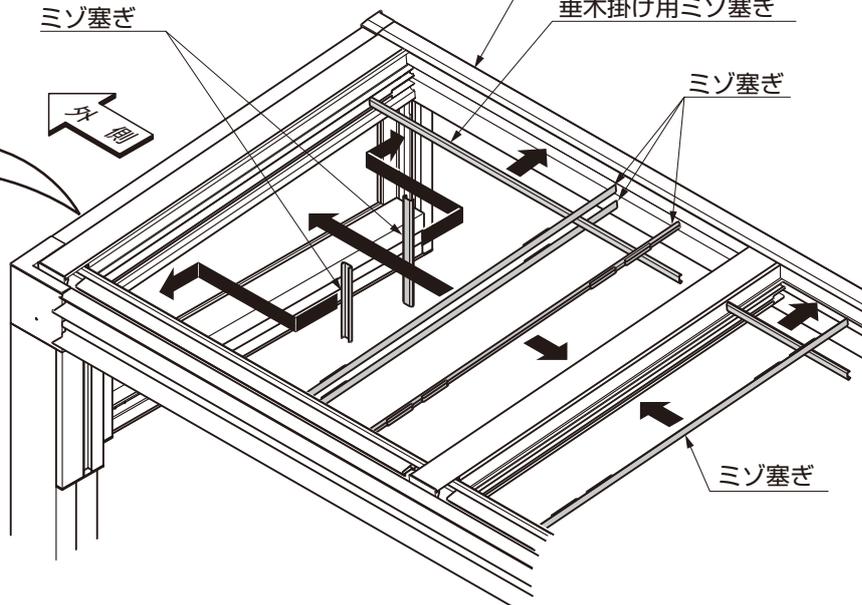
上方方立用
ミゾ塞ぎ

垂木掛け

垂木掛け用ミゾ塞ぎ

ミゾ塞ぎ

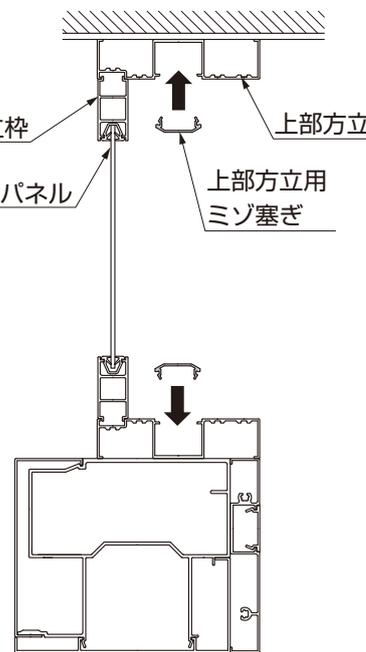
ミゾ塞ぎ



妻パネル方立枠

上方方立

上方方立用
ミゾ塞ぎ



- ① ミゾ塞ぎを垂木化粧材、妻垂木側面材にはめ込んでください。(図27-4参照)
- ② 上方方立用ミゾ塞ぎを上方方立にはめ込んでください。(図27-5参照)
- ③ 垂木掛け用ミゾ塞ぎを垂木掛けにはめ込んでください。(図27-1参照)

ポイント

- ミゾ塞ぎの先端を取付ける場合は、あて木等を使用してはめ込んでください。

28. 延長部分本体の取付け

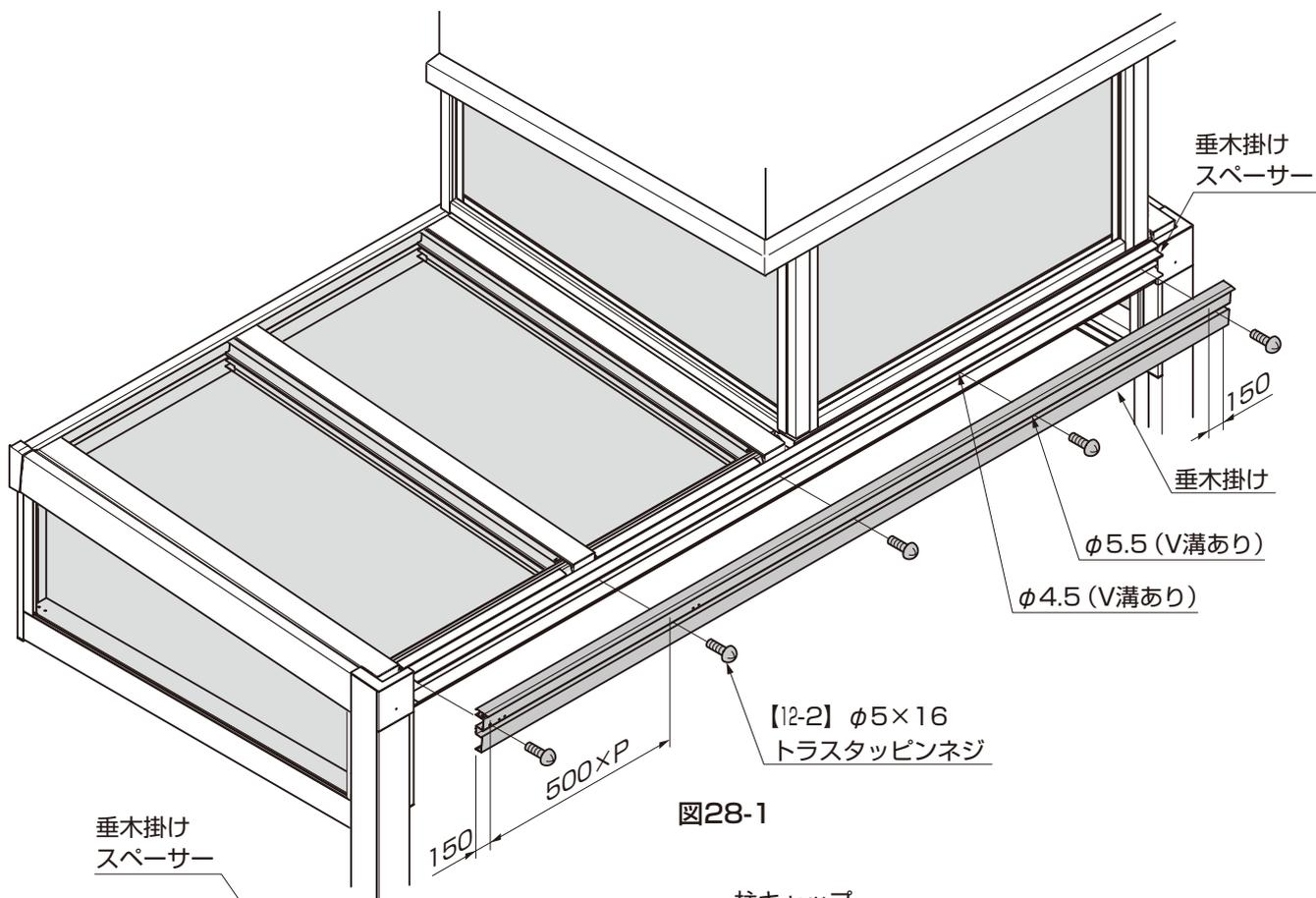


図28-1

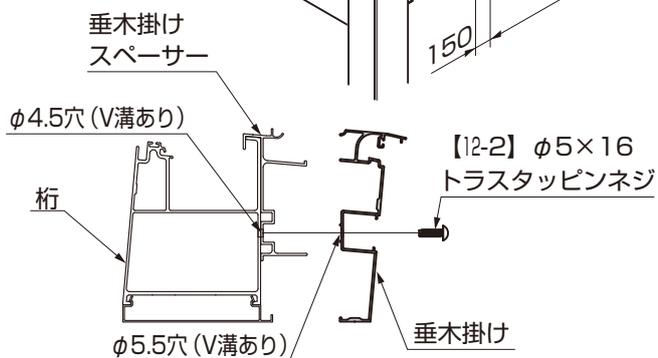


図28-2

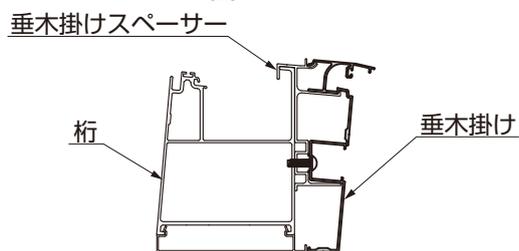


図28-3

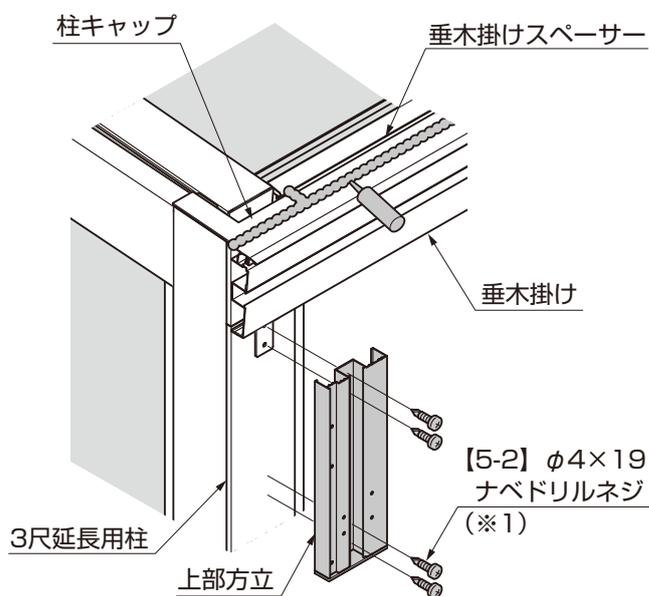


図28-4

- ① 本体の垂木掛けにφ5.5の穴をあけてください。
- ② 垂木掛けスペーサーに本体の垂木掛けを引っ掛けてください。
- ③ 本体の垂木掛けのφ5.5の穴をガイドにして、垂木掛けスペーサー、桁にφ4.5の穴をあけてください。
- ④ 本体の垂木掛けを垂木掛けスペーサーに【12-2】で取付けてください。

ポイント

- 以降の取付けは「自然浴家族ジューマ - 本体編 - (E273)」を参照してください。
- 本体の上部方立を3尺延長用柱に取付ける際は、必ず【5-2】(※1)を使用してください。

29. 3尺延長用レールについて

29-1 部材の加工

(1) 3尺延長部上下レールの切断

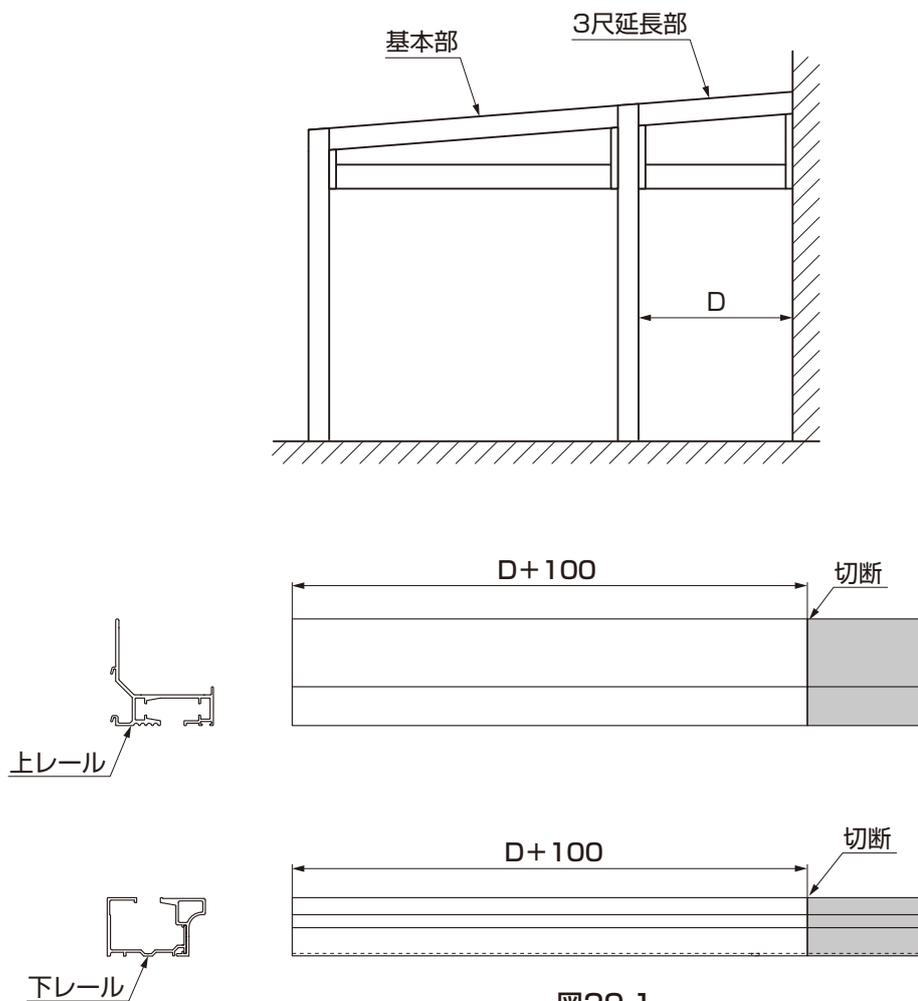


図29-1

①図29-1を参考に、上下レールを加工してください。

ポイント

- 上レールは切詰めを行なうと左右が出てしまいます。切断の際は注意して作業してください。(図29-1参照)

(2) 3尺延長部下レールの加工

※図は左側になります。

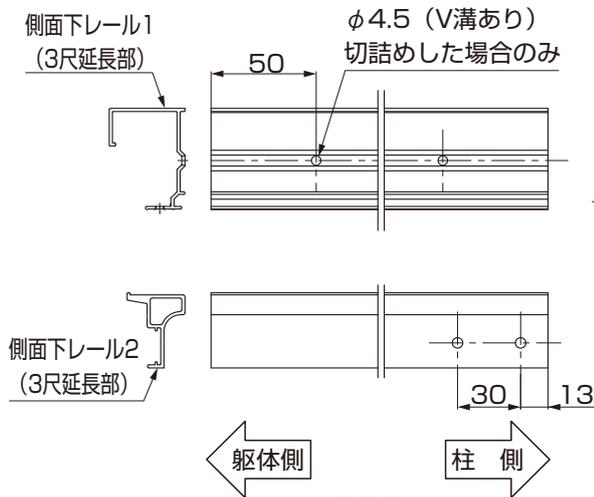


図29-2

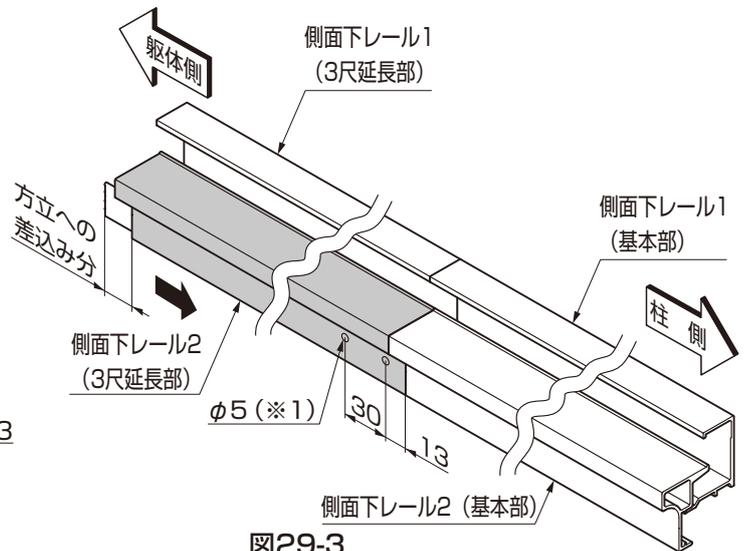


図29-3

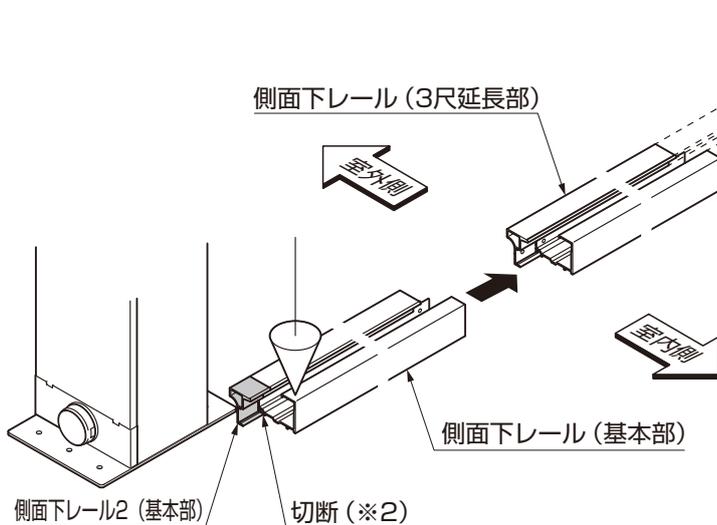


図29-4

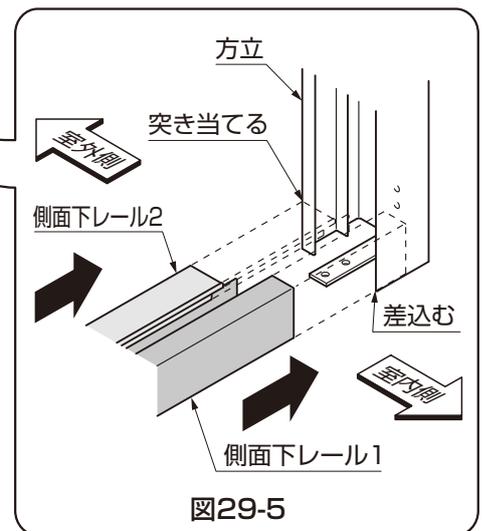


図29-5

- ①側面下レール2をスライドして外してください。
- ②側面上レール、側面下レール1 (3尺延長部)、側面下レール (3尺延長部) に穴加工をしてください。(図29-2参照)
- ③側面下レール2を元にもどしてください。
- ④側面下レール (3尺延長部) を方立に仮置きしてください。
- ⑤側面下レール (基本部) を側面下レール (3尺延長部) と組み合わせてください。
- ⑥下げ振りを使って側面レール内側角部と側面下レール1内側角部が同じ位置になるように位置出しをしてください。
- ⑦側面下レール2 (3尺延長部) の穴をガイドにφ5 (※1) の穴加工を行なってください。(図29-3参照)

ポイント

- 下レールは、方立取付金具の下になるように取付けてください。
- 穴加工は側面下レール1と側面下レール2の位置関係がずれないようにテープで固定するなどしてから行ってください。

補足

- 側面下レール1は方立に差込むように、側面下レール2は方立に突き当たるようにしてください。(図29-5参照)
- ⑧側面下レール1と側面下レール2の端面が同じになるように下レール2を切断 (※2) してください。

29. (つづき)

(3) 基本部 (6、8尺側面) 上レールの加工

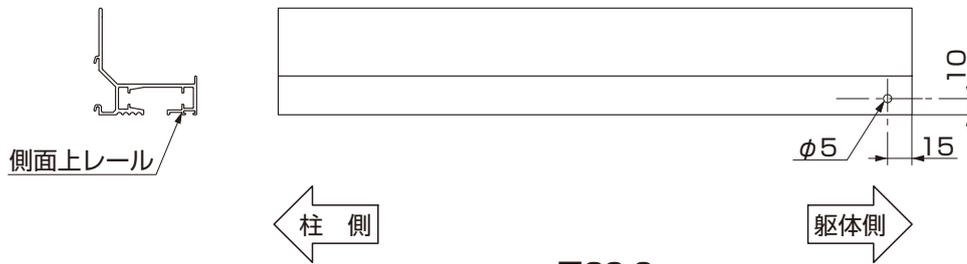
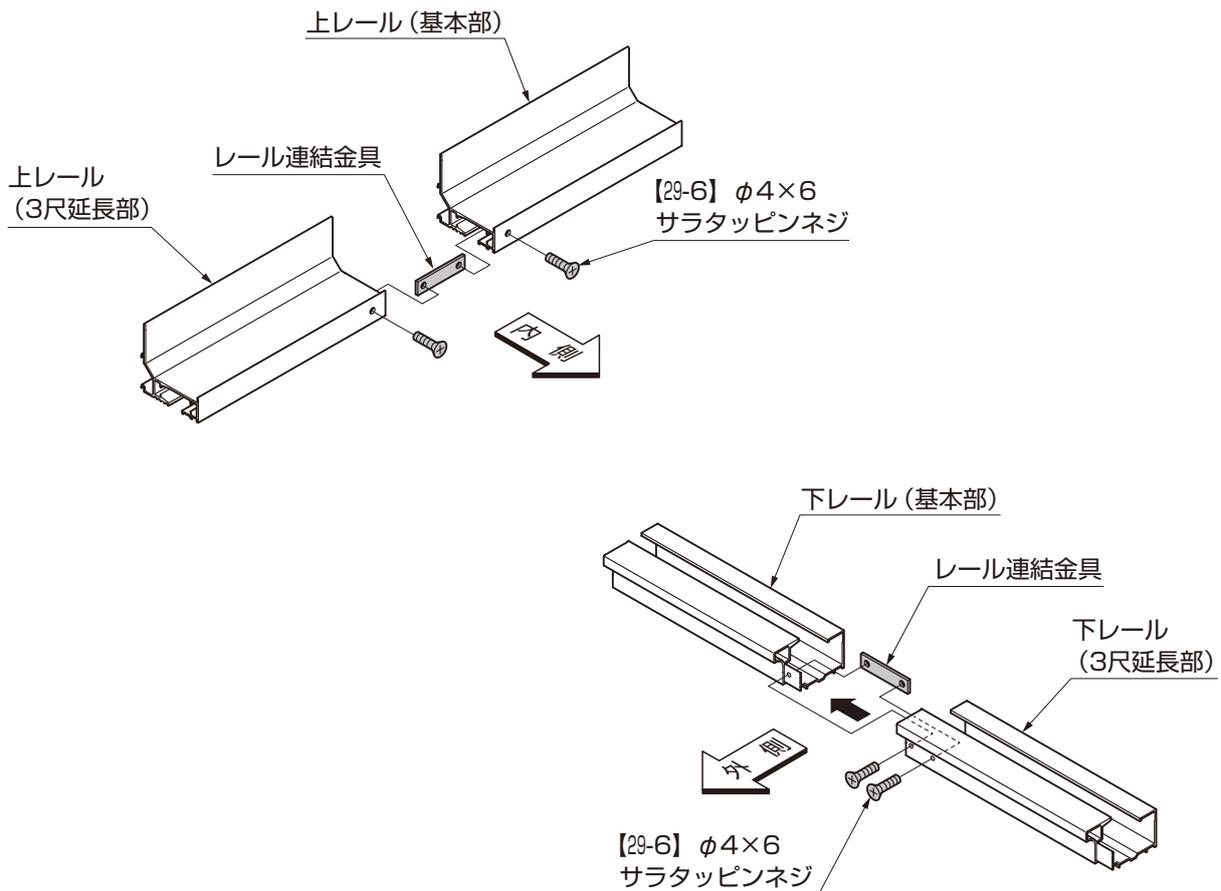


図29-6

①側面上レールに穴加工をしてください。(図29-6参照)

29-2 レールの連結



①上下レールをレール連結金具と【29-6】で連結してください。

ポイント

- 上レールの連結は妻梁に取付けた後、行なってください。
- 以降の取付けは「自然浴家族ジーマー本体編-(E273)」を参照してください。

30. 側面パネルの納まり

30-1 [2-A]、[2-B]、[3-A] の場合

表30-1

		D
[2-A]、[2-B]、[3-A]	6尺+3尺	2260~2262
	8尺+3尺	2736~2738

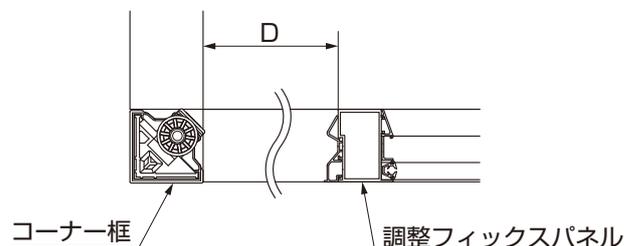


図30-1

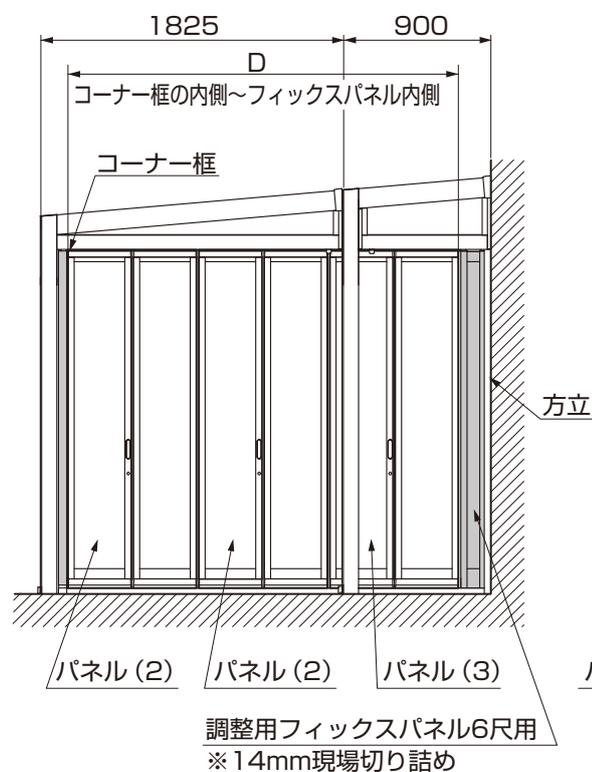


図30-2 6尺+3尺の場合

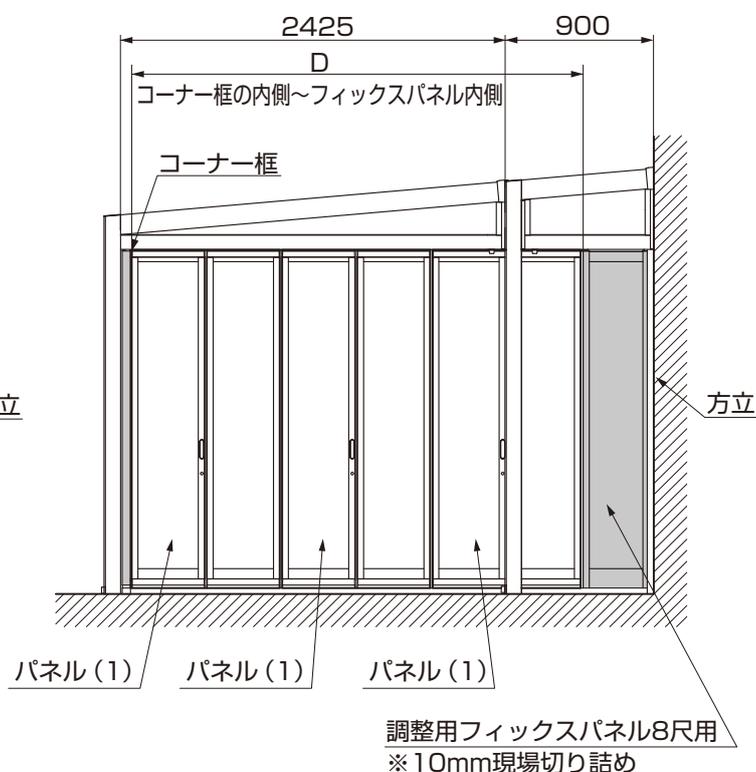


図30-3 8尺+3尺の場合

- ① コーナー枠の内側～フィックスパネルの内側を表30-1の寸法Dになるようにフィックスパネルの位置および寸法で調整してください。(図30-1、図30-2、図30-3参照)
- ② フィックスパネルと方立を本体編 (E273) 中の【44-1】で固定してください。

ポイント

- コーナー枠の内側～フィックスパネルの内側を表30-1の通りにしないと、ボトム材がうまく作動しなかったり、パネルがうまく開閉しない場合があります。
- 6尺+3尺の場合の折戸パネルは、パネル(2)を2折れ、パネル(3)を1折れ使用します。吊り込む順番は現場の状況に合わせて、調整してください。

30. (つづき)

30-2 [1-A]、[1-B]の場合

表30-2

		D
[1-A]、[1-B]	6尺+3尺	2500~2502
	8尺+3尺	3174~3176

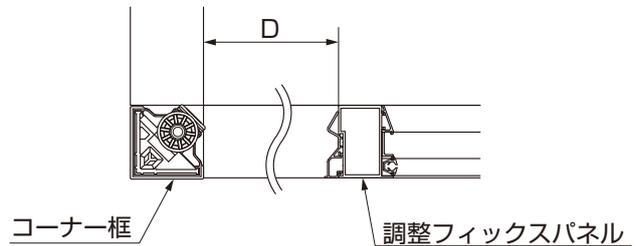
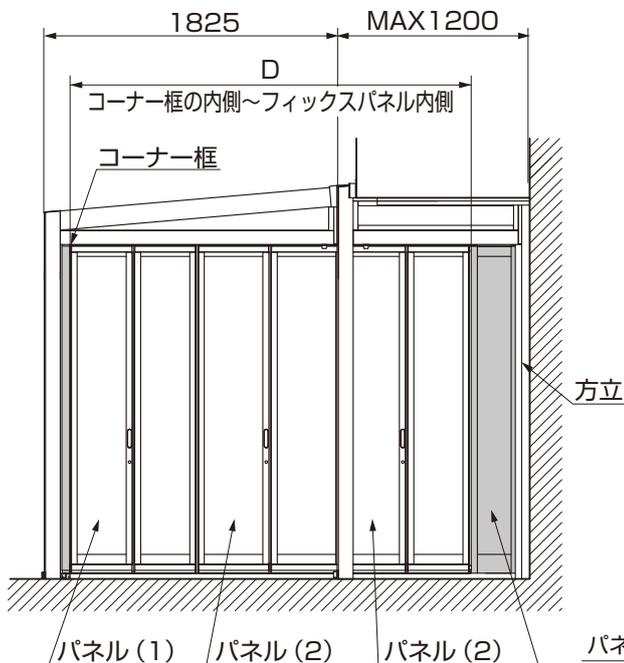
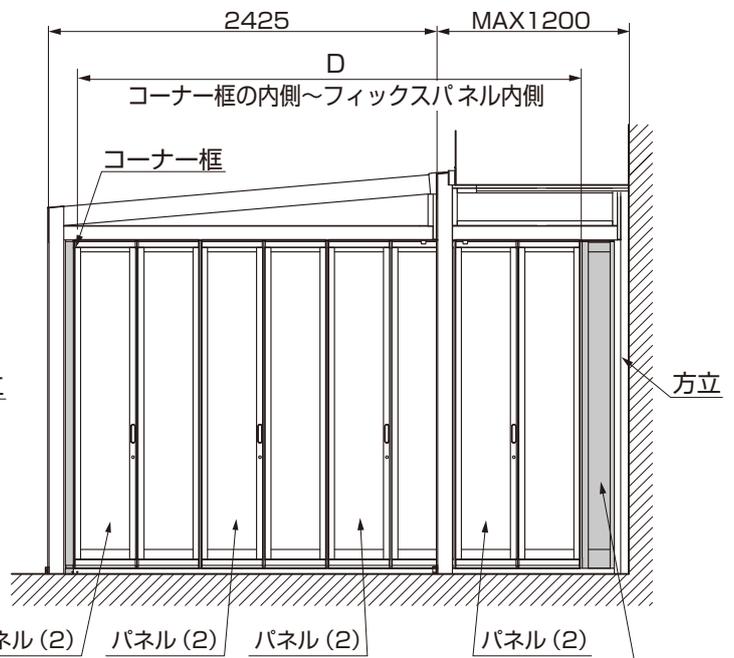


図30-4



調整用フィックスパネル8尺用
※124mm現場切り詰め
(部分屋根側は調整フィックスパネル
8尺用を74mm現場切り詰め)

図30-5 6尺+3尺の場合



調整用フィックスパネル8尺用
※198mm現場切り詰め
(部分屋根側は148mm現場切り詰め)

図30-6 8尺+3尺の場合

- ① コーナー枠の内側～フィックスパネルの内側が上から下まで表30-2の寸法Dになるようにフィックスパネルの位置を調整してください。(図30-4、図30-5、図30-6参照)
- ② フィックスパネルと方立を本体編 (E273) 中の【44-1】で固定してください。

ポイント

- コーナー枠の内側～フィックスパネルの内側を表30-2の通りにしないと、ボトム材がうまく作動しなかったり、パネルがうまく開閉しない場合があります。
- 調整フィックスパネルの現場切り詰め寸法は、3尺延長部がMAX1200mmの時の最大です。
- 部分屋根側は移動方立がない分、切り詰め寸法が50mm小さくなります。
- 6尺+3尺の場合の折戸パネルは、パネル(1)を1折れ、パネル(2)を2折れ使用します。吊り込む順番は現場の状況に合わせて、調整してください。

31. 戸当りゴムの取付け ※ルームタイプの場合の作業です。

31-1 パネル戸当りゴムの取付け

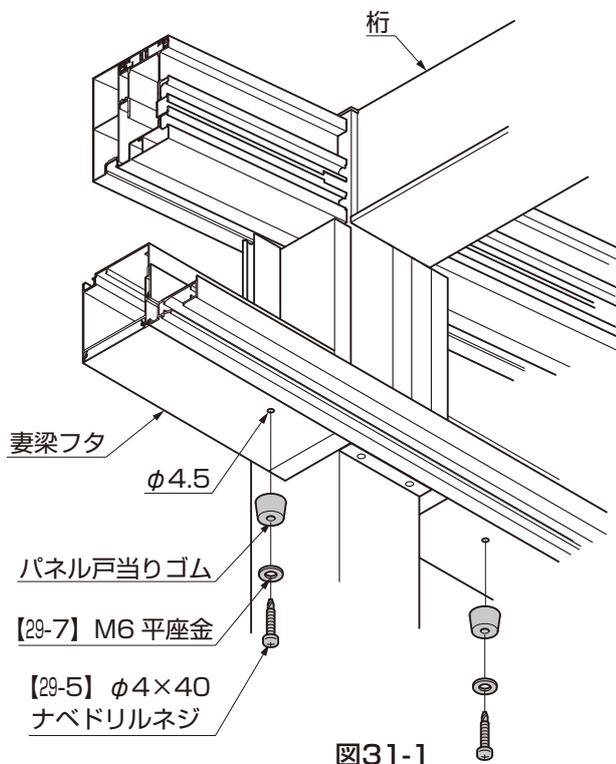


図31-1

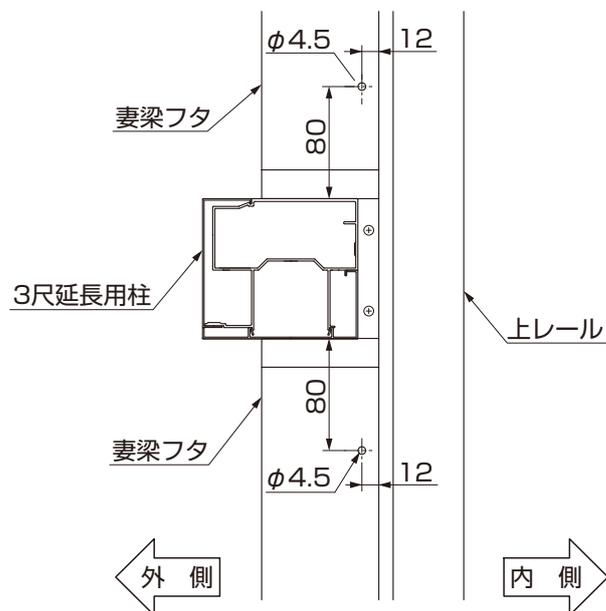


図31-2

- ① 図31-2を参照して妻梁フタを加工してください。
- ② パネル戸当りゴムを【29-5】、【29-7】で取付けてください。

⚠ 注意

- パネル戸当りゴムは安全の為、寸法を守り、必ず取付けてください。

31-2 柱戸当りゴムの取付け

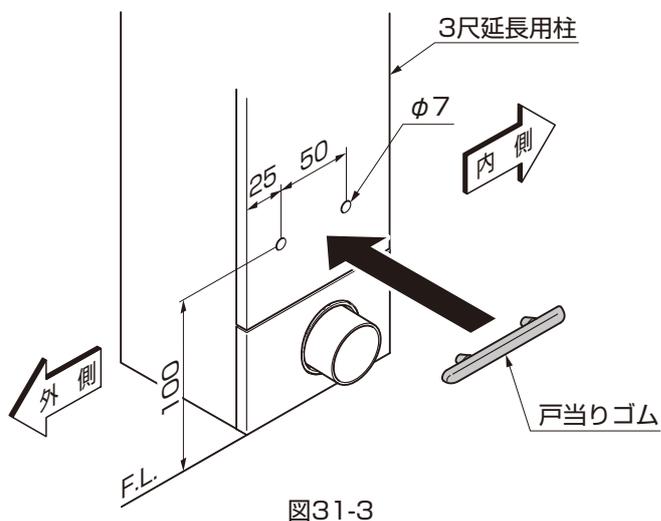


図31-3

- ① 図31-3参照して3尺延長用柱を加工してください。
- ② 戸当りゴムを3尺延長用柱に取付けてください。

🔑 ポイント

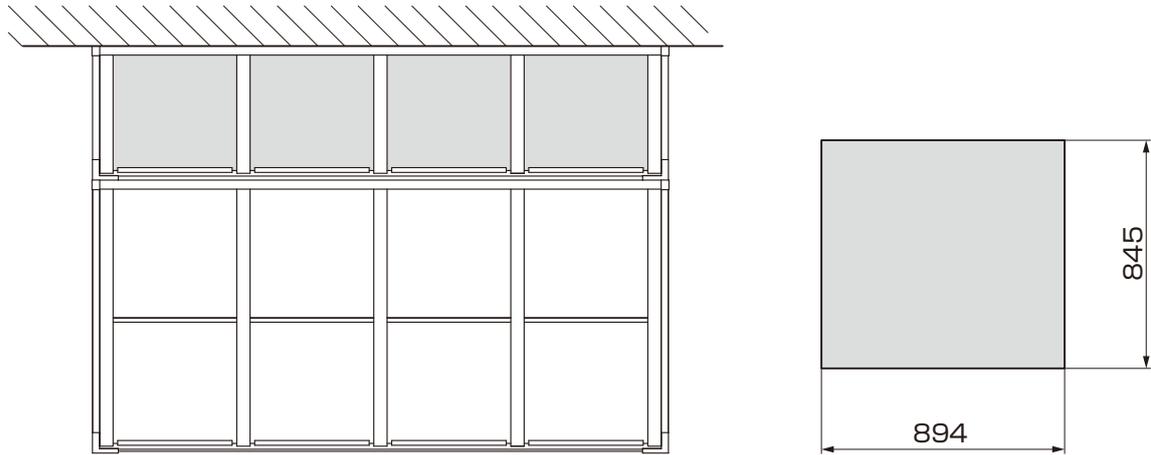
- φ7の穴加工時に3尺延長用柱内の縦樋を破損しないように作業してください。

⚠ 注意

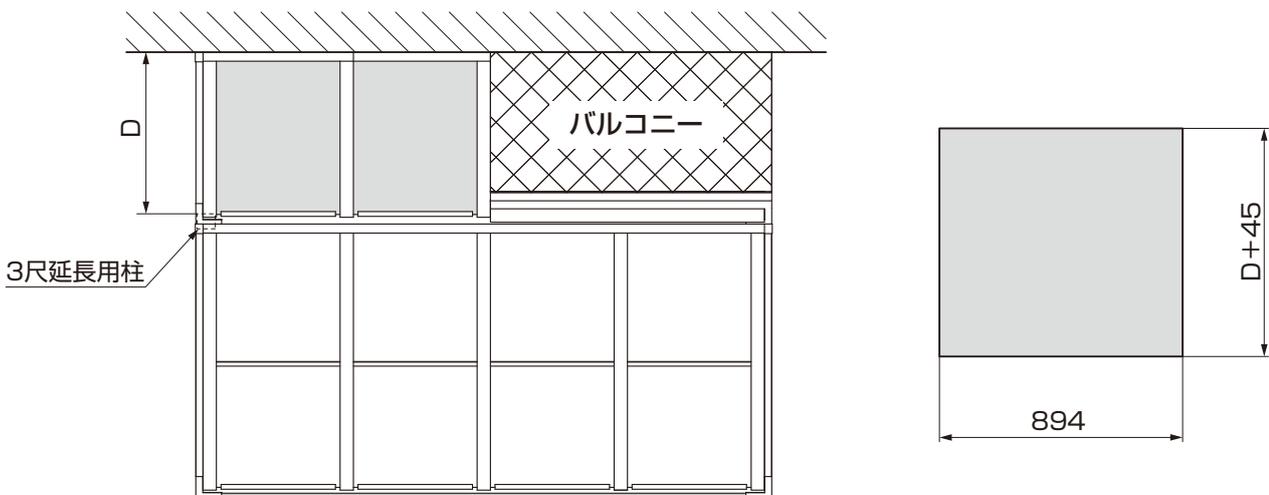
- 戸当りゴムは安全の為、寸法を守り、必ず取付けてください。

32. 面材の切出し

32-1 屋根部 ※ [2-B]、[3-A] の場合の作業です。



32-2 屋根部 ※ [1-B] の場合の作業です。



ポイント

●Dは躯体から3尺延長用柱背面までの寸法です。

32-3 妻梁上部側面フィックス部 ※ [1-B]、[2-A]、[2-B]、[3-A] の場合の作業です。

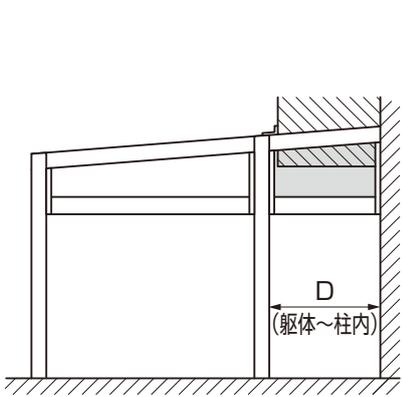


図32-1 [1-A] の場合

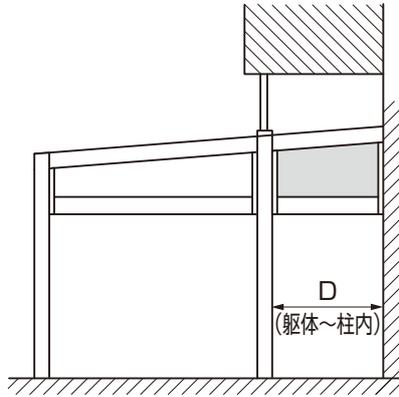


図32-2 [2-A]、[2-B] の場合

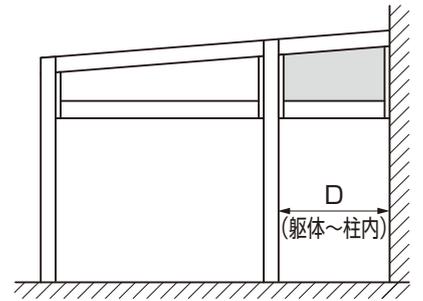


図33-3 [3-A] の場合

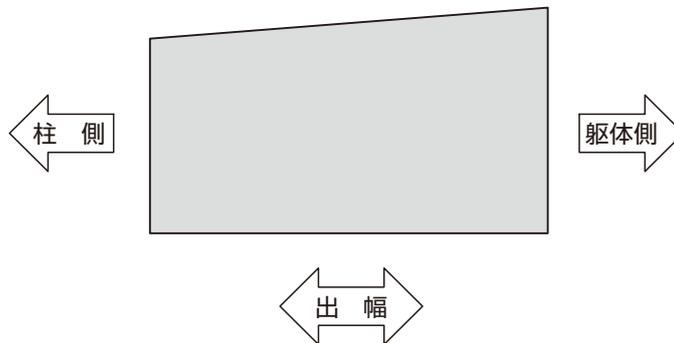


表32-1 妻梁を切詰めない場合

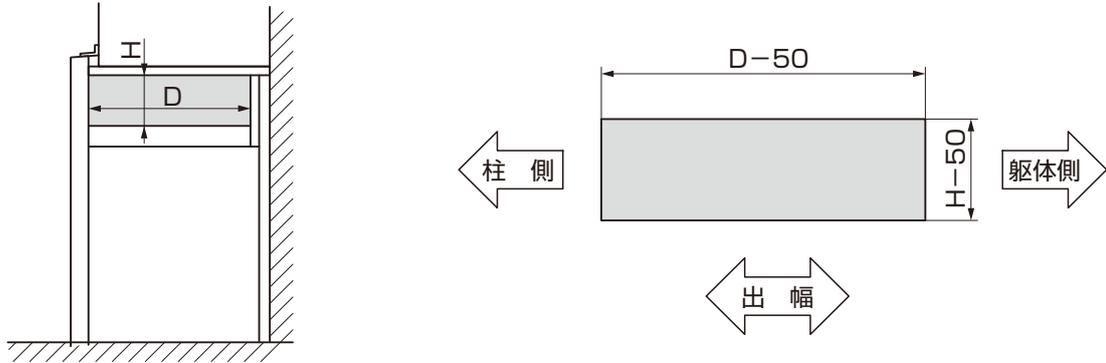
	柱側	出幅	躯体側
6尺+3尺	180	710	242
8尺+3尺	232	710	294

表32-2 妻梁を切詰める場合 (D寸法切詰め)

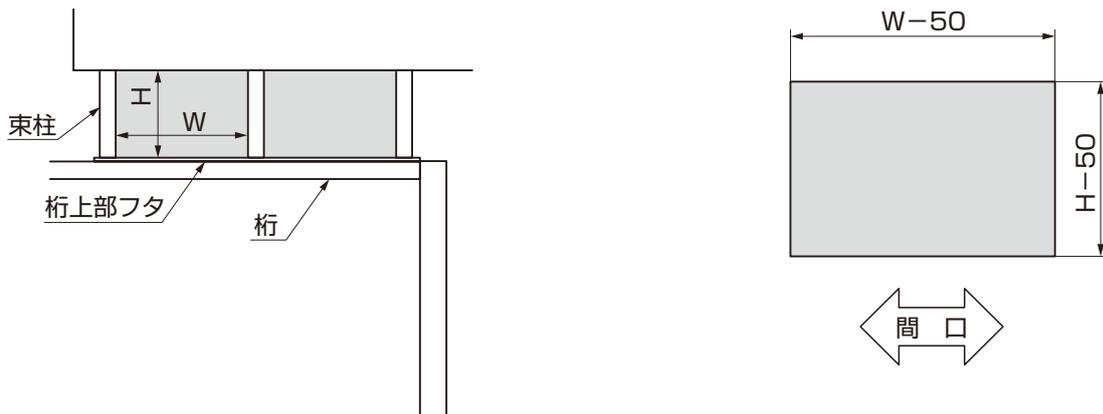
	柱側	出幅	躯体側
6尺+3尺	180	D-90	出幅×0.0875+柱側寸法
8尺+3尺	232	D-90	出幅×0.0875+柱側寸法

32. (つづき)

32-4 側面フィックス部 ※ [1-A]、[1-B] の場合の作業です。

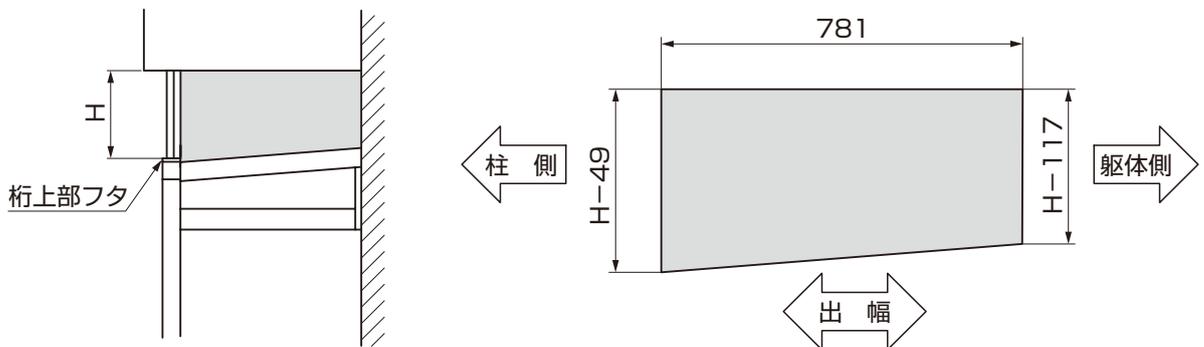


32-5 前面フィックス部 ※ [2-A]、[2-B] の場合の作業です。



①各スパンごとにW、Hを計測して、前面フィックスパネルを切り出してください。

32-6 側面フィックス部 ※ [2-A]、[2-B] の場合の作業です。



メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

取説コード

E270

JZZ616593G
200812A_1039
201607G_1039